平成 25 年度厚生労働省老人保健事業推進等補助金
（老人保健健康増進等事業分）

**『施設入居者に対する栄養管理、口腔管理のあり方に関する調査研究』**

# 介護保険施設における摂食・嚥下機能が低下した高齢者の「食べること」支援のための栄養ケア・マネジメントのあり方に関する研究

# 報告書

平成 26 年 3 月

一般社団法人　日本健康・栄養システム学会

# ご挨拶

介護保険制度創設により、平成 17 年 10 月に導入された介護保険施設の食事料の全額自己負担化に伴う、栄養ケア・マネジメント制度の導入は、介護保険分野における低栄養問題の存在を社会的に明らかにし、その対応として高齢者の個別栄養ケアの社会的重要性の認識醸成に著しく貢献した。平成18年4月に摂食嚥下機能が低下した高齢者の「食べること」を支援するために経口移行加算及び経口維持加算が導入され、摂食嚥下機能の低下を評価したうえでの栄養ケア･マネジメントにおける管理栄養士による栄養ケア計画の作成がされることになった。しかし、介護保険施設においては、嚥下造影検査（VF）や嚥下内視鏡検査（VE）などの医療機関と連携した摂食・嚥下機能評価は困難な状況にある施設が多く、経口移行加算や経口維持加算Ⅰの取得が、現在も依然として伸びず、また、医療的な摂食嚥下評価を行なわない経口維持加算Ⅱの取得も、簡便なスクリーニング機能をはたす摂食嚥下機能の評価票（様式例）が厚生労働省から通知されていないこともあり推進されていない。

介護保険施設入所者の摂食嚥下機能低下者の早期把握のための簡便なスクリーニング法の導入と、その個別の身体状況、栄養状態、嗜好、食環境等に見合って、経口摂取を支援することを目的とした栄養ケア･マネジメントを推進するために、アセスメント・モニタリング表の様式例の見直しや、栄養ケア計画作成上の指針が緊急に求められている。

そこで、本研究は、介護保険施設における要介護高齢者の経口摂取を支援するために、摂食嚥下評価のための簡易スクリーニング、効果的な栄養ケア・マネジメントのためのアセスメント･モニタリング表および効果的な栄養ケア計画作成のための指針の試案を作成し、さらに介護保険施設において、これらの試案を用いての利用者の実態調査を行い、その実用化をはかるために推進された。

この成果は、地域包括ケアシステムにおける施設及び在宅高齢者の栄養改善、認知症、摂食･嚥下障害、エンド・オブ･ライフなどの困難事例への有効な栄養ケア･マネジメントの具体的な取り組み方を提示するものであり、今後の施設及び在宅高齢者の栄養ケア･マネジメントの推進に寄与することを願うものである。

平成 25 年度厚生労働省老人保健事業推進等補助金（老人保健健康増進等事業分）
**『施設入居者に対する栄養管理、口腔管理のあり方に関する調査研究』**
介護保険施設における摂食・嚥下機能が低下した高齢者の「食べること」支援のための栄養ケア・マネジメントのあり方に関する研究

委員長　杉山　みち子

平成25年度厚生労働省老人保健事業推進等補助金(老人保健健康増進等事分)

# 『施設入居者に対する栄養管理、口腔管理のあり方に関する調査研究』

## 介護護保険施設における摂食・嚥下機能が低下した高齢者の「食べること」支援のための栄養ケア・マネジメントのあり方に関する研究班

委員長　杉山みち子　神奈川県立保健福祉大学教授

統括・運営小委員会

| | |
|---|---|
| 小山秀夫 | 兵庫県立大学大学院教授 |
| 加藤昌彦 | 椙山女学院大学教授 |
| 葛谷雅文 | 名古屋大学大学院医学系研究科教授 |
| 高田和子 | 国立健康・栄養研究所栄養ケア・マネジメント研究室長 |
| 榎裕美 | 愛知淑徳大学准教授 |
| 大原里子 | 東京医科歯科大学歯学部 |
| 杉山みち子 | 前述 |

経口摂取を支援するためのスクリーニング法作成小委員会

| | |
|---|---|
| 葛谷雅文 | 前述 |
| 鎌倉やよい | 愛知県立大学副学長　看護学部教授 |
| 榎裕美 | 前述 |
| 角保徳 | 国立長寿医療研究センター　歯科口腔先進医療開発センター<br>歯科口腔先端診療開発部　部長 |
| 藤本保志 | 名古屋大学医学部付属病院耳鼻咽喉科講師 |
| 沢田恵美 | 医療法人北辰会　蒲郡厚生館病院　栄養管理室　室長 |

経口摂取を支援するための栄養ケア・マネジメントのアセスメント・モニタリング表と栄養ケア計画指針作成小委員会

| | |
|---|---|
| 高田和子 | 前述 |
| 杉山みち子 | 前述 |
| 榎裕美 | 前述 |
| 大原里子 | 前述 |
| 岡本節子 | 北新宿特別養護老人ホーム　管理栄養士 |
| 西村悦子 | 医療法人社団　光陽会ヴィラ光陽　事務長　管理栄養士 |

実態調査小委員会

| | |
|---|---|
| 杉山みち子 | 前述 |

榎裕美　　前述
高田和子　前述
分析協力　高田健人　神奈川県立保健福祉大学栄養学科助教
研究補助　長瀬香織　神奈川県立保健福祉大学大学院

協力（講師、資料提供等）
梶井文子　聖路加看護大学准教授
菊谷武　　日本歯科大学教授　口腔リハビリテーション多摩クリニック院長
　　大学院生生命学研究科臨床口腔機能学教授
合田敏尚　静岡県立大学食品栄養科学学部長･教授
田中和美　神奈川県大和市役所健康福祉部健康づくり推進課〔臨床栄養師〕
谷口英喜　神奈川県立保健福祉大学栄養学科教授
藤谷順子　国立国際医療センター　リハビリテーション科医長

経理担当　　駒形公大（日本健康・栄養システム学会事務局）

# 目　　次

研 究 概 要 ……1

Ⅰ．介護保険施設における経口摂取を支援するための栄養ケア・マネジメントの
アセスメント・モニタリング表と栄養ケア計画指針試案と実態調査 ……13

Ⅱ．要介護高齢者のための摂食･嚥下機能評価簡易スクリーニング方法の開発 ……63

Ⅲ．介護保険施設における嚥下調整食分類の利用状況 ……71

Ⅳ．地域健常高齢者における摂食嚥下障害ならびに栄養障害の実態調査からの
簡易スクリーニング法の必要性 ……79

Ⅴ．介護保険施設における栄養ケア･マネジメント　口腔管理のあり方に関する提言 ……83

資 料 編 ……85
研究Ⅰ
・別表　要介護度別集計結果一式（特養・老健・全体）
・施設調査票（摂食嚥下調整食分類に対する施設の食事形態用語に関する調査票を含む）
・経口摂取を支援するための栄養ケア・マネジメントのアセスメント・モニタリング表と
栄養ケア計画指針試案(調査票一式)
・調査説明書

研究Ⅱ
・要介護高齢者のための摂食･嚥下機能評価簡易スクリーニング方法の開発　調査票

# 研　究　概　要

介護保険施設においては、嚥下造影検査（VF）や嚥下内視鏡検査（VE）などの医療機関と連携した摂食・嚥下機能評価は困難な状況にある施設が多く、経口移行加算や経口維持加算Ⅰの取得が、現在も依然として伸びず、また、医療的な摂食嚥下評価を行なわない経口維持加算Ⅱの取得も、簡便なスクリーニング機能をはたす摂食嚥下機能の評価票（様式例）が厚生労働省から通知されていないこともあり推進されていない。

そこで、本研究事業においては、介護保険施設入所者の摂食嚥下機能低下者の早期把握のための簡便なスクリーニング法の導入と、その個別の身体状況、栄養状態、嗜好、食環境等に見合って、介護保険施設における要介護高齢者の経口摂取を支援するために、摂食嚥下評価のための簡易スクリーニング、効果的な栄養ケア・マネジメントのためのアセスメント･モニタリング表および効果的な栄養ケア計画作成のための指針の試案を作成し、これらの試案を用いての介護保険施設入所者に対する実態調査を行い、その実用化をはかることによって施設入所者に対する栄養管理・口腔管理のあり方の質の向上に寄与することを目的とした。

本研究事業では、Ⅰ．介護保険施設における経口摂取を支援するための栄養ケア・マネジメントのアセスメント・モニタリング表と栄養ケア計画指針試案と実態調査　Ⅱ．要介護高齢者のための摂食･嚥下機能評価簡易スクリーニング方法の開発　Ⅲ．介護保険施設における嚥下調整食分類の利用状況　Ⅳ．地域健常高齢者における摂食嚥下障害ならびに栄養障害の実態調査からの簡易スクリーニング法の必要性　Ⅴ．介護保険施設における栄養ケア・マネジメント　口腔管理のあり方に関する提言を行った。

## Ⅰ．介護保険施設において経口摂取を支援するための栄養ケア・マネジメントのアセスメント･モニタリング表と栄養ケア計画指針試案と実態調査

本研究は、介護保険施設における要介護高齢者の経口摂取を支援するために、摂食嚥下評価のための簡易スクリーニング、効果的な栄養ケア・マネジメントのためのアセスメント･モニタリング表および効果的な栄養ケア計画作成のための指針の試案を作成し、さらに介護保険施設において、これらの試案を用いての利用者の実態調査を行い、その実用化をはかることを目的とした。

委員長　杉山みち子（神奈川県立保健福祉大学教授）のもとに、１）統括・運営小委員会、２）「経口摂取を支援するための簡易スクリーニング法作成小委員会」、３）「経口摂取を支援するための栄養ケア・マネジメントのアセスメント･モニタリング表と栄養ケア計画指針」作成小委員会、４)実態調査小委員会の４つの委員会を設置し、４回にわたる学識経験者や専門職からのヒアリングと２回の検討会議を経て、「経口

摂取を支援するための栄養ケア・マネジメントのアセスメント･モニタリング表と栄養ケア計画指針試案」（従来の低栄養に加えて、簡便な摂食嚥下障害リスク、口腔、食事中の姿勢や認知症の徴候・症状、脱水・溢水、食事形態には摂食嚥下調整食分類を導入）を調査票として作成した（資料編　調査票参照のこと）。

日本健康・栄養システム学会の認定臨床栄養師がいる、あるいは認定臨床研修施設の介護保険施設である特養54か所、老健39か所、全93か所のうち協力同意が得られた施設37か所（特養24か所、老健13か所）の管理栄養士を調査責任者として、平成25年10月～12月の入所者各施設50名、全1,500名を目標として、調査票への既存関連資料からの転記及び入所者の観察による記載を依頼し、12月末に郵送により回収した。SPSSを用いて基本集計を行い、施設の種類、要介護度別にアセスメント、モニタリング、ケア項目の利用状況を把握し、以下の結果を得た。なお、愛知淑徳大学研究倫理審査委員会の承認を得た。

１．調査票は特養 22 施設、老健 13 施設、合わせて 35 施設から回収され、個別調査票は特養 1,021 名､老健 625 名､合計 1,646 名であった｡記入者は､特養 22 施設のうち 95.9%、老健 13 施設のうち 84.6%が「管理栄養士」であり、その他として「生活相談員」「事務員」であり、施設の「入所者数」「入所者の年齢」「要介護度」「管理栄養士の配置数」等からみて標準的な施設であった。

２．調査月の前月の 1 か月間の「新入所者」は、特養平均 1.4（SD1.4）名、老健平均 8.2（SD5.5）名、「入院中の者」は特養平均 2.0（SD2.3）名、老健平均 0.5（SD1.1）名、「入院した者」は特養平均 2.8（SD2.8）名、老健平均 3.6（SD1.9）名、「自宅への退所者」は特養 0（SD0.2）名、老健平均 10.2（SD27.1）名、「死亡者」は特養平均 1.5（SD1.5）名、老健 0.4（SD0.9）名、「経管栄養」の者は特養平均 5.9 名（SD4.3）名、老健平均 5.4（SD7.1）名であり、その殆どは「胃瘻・腸瘻」による経管栄養であった。

３．「経口移行加算」は特養 9.1%、取得件数平均 1.5（SD0.5）件／月、老健 23.1%、取得件数平均 0.7（SD0.5）件／月、「経口維持加算Ⅰ」は特養 13.6%、取得件数平均 13.7（SD9.2）件／月、老健 15.4%、取得件数平均 0.5（SD0.5）件／月、「経口維持加算Ⅱ」は特養 36.4%､取得件数平均 10.8（SD9.2）件／月､老健 23.1%､取得件数平均 6.2（SD5.7）件／月と取得率、取得数とも少なく、これらの「加算の非請求の理由」には、「VE、VF による嚥下評価が困難」「対象者がいない」「医師、歯科医師による指示が得られない」「人員不足」が従来の調査と同様にあげられていた。

４．「歯科衛生士」「歯科医師」の常勤配置は特養・老健ともに殆どみられないものの、「歯科医師の訪問」が月 1 回の施設は特養 14.3%、老健 15.4%であり、1 か月に 2 回以上の訪問がある施設が特養 66.7%、老健 76.9%であり、「管理栄養士による利用者の食事時

の観察（ミールラウンド)」は、特養、老健ともに「毎日行っている」施設は少ないものの、特養は「毎日」4.8%、「週に 5〜6 回」61.9%と「週に 3〜4 回」23.8%とを合わせて 80%以上、老健は「毎日」23.0%、「週に 5〜6 回」46.2%、「週に 3〜4 回」30.8%と合わせて 100%であった。

5．「経口摂取を支援するための栄養ケア・マネジメントのアセスメント･モニタリング表と栄養ケア計画指針試案」の各項目についての記載が、「不明」の割合は、殆どの項目において 2%前後であり、高い場合も 1 割未満であったことから、当該実用可能であった。

6．「低栄養状態のリスクレベル」は、栄養マネジメント加算取得における区分により、特養では「低リスク」42.0%、「中リスク」45.0%、「高リスク」11.6%、老健では「低リスク」47.7%、「中リスク」43.2%、「高リスク」8.8%であった。「中リスク」「高リスク」を合わせて、特養 56.5%、老健 52.0%と半数以上に及んでいたが、「3%以上の体重減少がある」が特養 31.5%、老健 32.3%、「食事摂取量が 75%未満」が特養 14.0%。老健 10.0%と比較的低いことから、入所後の栄養ケア・マネジメントが体重や食事量の維持に寄与していることが推察された

7．「摂食・嚥下能力のグレード評価」では、「軽症」が特養 51.3%、老健 44.2%と多くみられ、「中等症」が特養 12.6%、老健 11.4%、重症は特養 4.0%、老健 0.5%と少ないことから、これらの摂食嚥下能力低下の「軽症」「中等症」者には、摂食嚥下機能低下に対して VE や VF といった医療的評価体制を強化するよりも、当該調査で実施したような簡便な摂食嚥下スクリーニング表やアセスメント表の活用が求められていた。

8．鎌倉らの開発した「摂食・嚥下障害リスク得点」は、特養平均 9.1（SD10.3）点、老健平均 6.0（SD9.3）点であり、要介護度の重度化に伴って高得点となった。各項目別には、「噛むことが困難である」特養 41.6%、老健 30.4%、「硬い食べ物を避け、軟らかい食べ物ばかり食べる」特養 47.3%、老健 32.3%、「口から食べ物がこぼれる」「ことばが明瞭でない」特養 36.8%、老健 24.0%、「食べ物をいつまでも飲み込まずに噛んでいる」特養 25.2%、老健 13.6%、「食事中や食後に濁った声に変わる」特養 11.4%、老健 8.6%、「食べるのが遅くなる」特養 35.0%、老健 20.2%、「水分や食べ物が口に入った途端にむせたり、せきこんだりする」特養 26.1%、老健 12.0%、「水分や食べ物を飲み込むときにむせたり、せきこんだりする」特養 35.3%、老健 19.7%、「口に水をふくむことができない」特養 17.7%、老健 10.1%、「口に水をふくむことはできるが口からこぼれる」特養 25.2%、老健 14.6%、「口に水をふくむことはできるが口内にためておけない」特養 22.2%、老健 14.7%であった。これらのいずれも項目に該当した場合も

対応したケアとして「食形態の変更」が最も多く行われ、次いで「頭位･体位の調整」「口腔ケア」「増粘剤の使用」などであったが、「食事前のアイスマッサージ」「顎を引いて嚥下を促す」「空嚥下を行う」「義歯管理や歯科受診」「Supraglottic　Swallow」による対応は比較的少なかった。また、特養は老健に比べて各項目に該当する割合が高かったが、対応するケアの実施率は低かった。なお、摂食･嚥下障害のリスクの点数化やその妥当性については、さらに、本データの詳細な解析や追跡研究によって検証を行っていくことが求められた。

9．「歯科医師の訪問回数」が「月 2 回以上」あった施設が約 70%であったが、歯科医療の必要な施設入居者の割合は高く、「月 1 回以下」の施設では歯科医療の必要性の把握と提供が不足していた。口腔のアセスメントによって「口腔乾燥」がみられた者は、要介護 1 ～ 3 では約 14～19%あったが、要介護 4 では 23%、要介護 5 では 27%把握された。口腔乾燥により味覚機能、咀嚼機能、嚥下機能が低下するので、「保湿」を積極的に実施することが望まれた。「開口やうがいに問題」がある場合、介護職による日常的な口腔ケアを効果的に行うことが困難となる。嚥下性肺炎のリスクが高い咀嚼機能低下や嚥下機能低下がある要介護者は、「専門的口腔ケア」「歯科医師・歯科衛生士による介護職への指導」「歯科受診」の必要性が特に高かった。「咀嚼力の低下」は、口腔乾燥、味覚機能低下、嚥下機能低下の要因となり、低栄養のリスクを大きくするので、義歯を使用して咀嚼することにより、さらなる咀嚼機能低下を防ぐことが可能となる。「口臭や口の中の問題」がある者の割合は、軽度の要介護者よりも重度の要介護者の方が高く、「歯科受診」の割合は重度の要介護者の方が低かった。口腔の不具合を訴えることが困難な、重度の要介護者への歯科医療の提供が、特に不足していると考えられた。

10. 「嚥下調整食」は、特養では「主食」55.6%、「副食」53.9%、老健では「主食」56.6%「副食」49.9%と約半数であり、そのうち、嚥下調整食基準コード（日本摂食嚥下リハビリテーション学会による）の有効記載は全体の 98.7%であり、摂食嚥下能力や口腔の課題に対する対応のための「食形態の変更」にも活用されていた。なお、主食の嚥下調整食には、「コード 4」（軟飯、全粥など）が特養 58.5%、老健 76.3%と過半数を占め、「コード 1J」（おもゆゼリー、ミキサー粥のゼリーなど）が特養 13.0%、老健 9.9「コード 3」（離水に配慮した粥）が特養 12.1%、老健 6.5%、次いで「コード 2A」（粒がなく付着性の低いペースト状のおもゆや粥）が特養 10.4%、老健 6.5%であった。副食の嚥下調整食は、「コード 4」が特養 31.8%、老健 53.8%、次いで、「コード 3」が特養 31.5%、老健 13.5%、「コード 2A」が特養 15.8%、老健 14.7%であった。一方、「とろみ剤」の使用者は、特養 28.7%、老健 24.6%、嚥下調整食基準の「とろみ剤」濃度の 3 段階の有効記載は全体の 98.0%であり、特養は「うすい」31.7%、「中間」40.6%、

「濃い」24.9%、老健は「うすい」19.5%、「中間」66.2%、「濃い」老健 13.6%であった。

11. 「食事中の姿勢」は食欲や摂食嚥下機能の低下への影響が大きいが、以下の認知症の徴候･症状と同様に、特養では「管理栄養士」84.1%、「介護福祉士」64.7%、「介護士」38.9%、老健では、「管理栄養士」74.1%とともに「介護福祉士」が 77.6%という高い割合で担当し、「理学療法士」「作業療法士」の参加もそれぞれ 22.2%、16.0%と特養に比べ多くなっているのが特徴であった。「食事の姿勢」の問題がいずれか一つ以上に有とした者の割合は特養では 4 割近く、老健では 2 割強あった。問題のある者に対しては、「摂食動作」「姿勢の評価」が 3 割以上で行われ、「座席･テーブル椅子の調整」は、リハビリテーションの専門職が配置された老健で 4 割近く、「食事姿勢の調整」が特養では 6 割以上、老健で 5 割以上に行われていた。

12. 対象者の約 9 割のものが「認知症」であり、「認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲa 以上」の重度なものが半数以上存在した。「調査で評価した食事中の認知症関連の徴候・症状」について欠損の無いもの（有効回答）は 1,596 名（97.0%）であり、実用化できることが確認された。そのうち少なくとも「1 つ以上」の徴候・症状について「週に 1~2 回」以上（「週に 1~2 回」「週に 3~5 回」「1 日に 1~2 回」「毎食事」の合計）の頻度でみられたものは特養 70.2%、老健 42.6%、「2 つ以上」の徴候・症状について「週に 1~2 回」以上みられたものは特養 45.3%、老健 23.8%と重度な認知症患者の多い特養でその割合は高かった。認知症関連の徴候・症状の各項目別の出現頻度は、1 ～2 割前後と比較的少ない状況にあり、対応する栄養ケア計画の目的は主に食事摂取の促しと安全面への配慮であり、その内容は、「本人への直接的な働きかけ」と「食事をするための周辺環境への働きかけ」に大別されるが。前者は「声掛け」「見守り」「ボディータッチ」などで、後者は「姿勢の保持」「食事時間の変更」「食事場所の変更」「食器具の変更」「食形態の変更や代替食の提供」などであり、「声掛け」は最も基本的な本人への働きかけとして、いずれの項目に該当した場合にもよく実施されていた。

13. 病的な「脱水」症と判断された対象者は 10%以下であり、先行研究と比べると少なかった。一方、「溢水」に関しては、5%前後であったが、先行研究は殆ど行われていないので比較はできなかった。これらは、水分管理が上手く行われている結果でもあるが、アセスメントが不十分なために、軽度な「脱水」「溢水」が抽出されていない可能性もあった。「溢水」のアセスメントに有効な「経静脈の怒張に関する評価」は今後の課題である。食事および飲水量、体重、血圧、脈拍に関しては多くの利用者で定期的な評価が実施されていた。しかし、「尿量の確認」「必要水分補給量の算出」「血清ナトリウムイオン濃度の評価」が実施されることは少なかった。

14. 当該アセスメントやケア計画を「担当した職種」は、特養では、「管理栄養士」が主体となり、「介護福祉士」「介護士」「看護師」「歯科衛生士」「准看護士」「栄養士」「歯科医師」「医師」「作業療法士」「言語聴覚士」が、老健では、「管理栄養士」が同様に主体となり「介護福祉士」「看護師」「准看護士」「医師」「言語聴覚士」「歯科衛生士」「作業療法士」「理学療法士」「歯科医師」「栄養士」等の多職種が担当し、チームアプローチが推進されていた。

介護保険施設においては、平成 17 年 10 月に栄養管理体制加算(当該加算は平成 24 年に介護報酬に包括化)、栄養マネジメント加算が設置され、管理栄養士の常勤配置が推進されたが、当該調査の対象施設においても、施設当たりの常勤管理栄養士の平均配置数は 1.2 名であり、当初期待されていたような常勤管理栄養士の 2 人体制には、現在も至っていなかった。また、歯科衛生士の施設配置もすすんでいない状況が提示された。そのため、施設に 1 名程度の管理栄養士がミールウンドを毎日行うには無理があり、毎日の食事時の観察やケアは社会福祉士はじめとするチームによって行われていた。一方では　低栄養の中高リスクの施設入所者は半数を上回り、嚥下調整食の利用も半数を超え、管理栄養士による個別の栄養ケア計画の作成と実施の必要性は高く、さらに、これらの入所者の摂食嚥下機能の低下については、低症者が大多数と占めており、その対応する計画の多くの部分で食形態の変更による対応がされていることから、現在もなお加算請求数の低迷している VE、VFによる摂食嚥下評価体制の更なる推進を今後も要するのかは再検討する必要があると考えられた。

以上の結果から、介護保険施設において今回作成された「経口摂取を支援するための栄養ケア・マネジメントのアセスメント･モニタリング表と栄養ケア計画指針試案」は実用可能できることが確認されたので、介護現場の軽中度要介護者を主なターゲットして、今後とも実用試験を重ね改善を繰り返すことが必要である。この効果的な活用法ついての根拠を継続して提示し、当該方法を制度として導入するための適切な体制とサービスのあり方を提示していくことが求められる。

**Ⅱ．要介護高齢者のための摂食･嚥下機能評価簡易スクリーニング方法の開発**

介護保険施設おいて、摂食・嚥下機能低下者を早期に把握するための簡便なスクリーニング法の開発を目的として、H介護老人保健施設入所高齢者59名（平均年齢83.4±9.4歳）、及び併設デイサービス･デイケアの通所型サービス利用高齢者172名（平均年齢82.3±8.4歳）を対象とし、摂食・嚥下障害の評価は、鎌倉らの高齢者の嚥下障害に対する他者評価尺度（以下、他者評価尺度）及び摂食・嚥下能力のグレード評価（藤島ら、嚥下グレード）を用いた。さらに、他者評価尺度には、口腔内への水の取り込みに関する３項目（うがい）を加えた。なお、本研究は、愛知淑徳大学研究倫理審査委員会の承認を得て行い、以下の結果を得た。

1．デイサービス、デイケア利用高齢者においては、要介護度は軽度のものが多く、食事は自力摂取、食べる姿勢も座位がほとんどであったが、他者評価尺度スコア、嚥下グレードの評価において、約27～30%のリスク者または軽症以上のものが認められ、通所サービスを利用している段階からのスクリーニングは有効と考えられた。

2．入所高齢者においては、他者評価尺度スコア、嚥下グレードの評価でのリスク者は約68～75%に認められ、今後、これらの個々の設問別の問題点とその解決策を、他者評価尺度の項目を用いながら検討していく必要があった。

3．他者評価尺度による評価で、摂食嚥下にリスクがある群と問題の無い群の比較を行い、BMI、ADL、食事の種類、とろみ剤、食事の終わるまでの時間の因子と強い関連があることから、これらの因子の把握に有効なツールと考えられた。

この研究の限界は、施設高齢者のサンプルサイズが小さかったこと、肺炎の発症率が少なく、よく栄養管理されている施設であったことである。また、今回は、点数化だけの解析にとどめたがが、うがいの評価については、他者評価尺度とともに合計点を使用するのが妥当か、また個別に問題把握のために実施するのかなど、前向きのイベント調査結果をふまえ今後検討することが求められた。

**Ⅲ．介護保険施設における嚥下調整食分類の利用状況**

本研究は、各介護保険施設において使用している食事形態に関する用語が「嚥下調整食学会分類 2013」（以下、学会分類）にどのように対応するかを検討することを目的とした。Ⅰの研究において登録された 35 施設（特養 22 施設、老健 13 施設　計 35 施設）を対象として、①各施設の食事形態用語が学会分類のどの分類に該当するか、②刻みの対応　③とろみについて段階わけと学会分類のとろみの 3 段階の対応について調査し、以下の結果を得た。

1．学会分類における摂食嚥下食には 5 コードに対し、コード０に J と T、コード２に 1 と 2 の 2 種があり、計 7 種類の食形態がある。回答が得られた 35 施設における食形態の種類は平均 4 種類であり、学会分類に対応する食形態の種類数は、1 種類（2 施設）、2 種類（4 施設）、3 種類（8 施設）、4 種類（10 施設）、5 種類（5 施設）、6 種類（2 施設）、7 種類（4 施設）であった。

2．該当する食形態が最も多くあるのは、2-1 の 29 施設であり、1J、3、4 が 26 施設と多かった。一方で 2-2 は最も少なく 9 施設であった。嚥下訓練食であるコード 0 については、既存の食形態でなく個別対応している施設があった。また０J 以外では、他のコ

ードに分類された食形態が共通して使用されていた。該当する食形態がないものは0J、0T、2-2がそれぞれ18施設と多かった。

3．咀嚼や嚥下が困難な人に嚥下調整食分類以外に刻みなどの対応をしている施設は、29施設あった。記載されていた刻み食の種類は、1種類が11施設、2種類が10施設と多いが、最大で7種類の記載があり、計60種類となった。咀嚼が困難な人への使用では、「軟らかく煮る」、「ピューレ、あんかけ」のいづれもしていないものが最も多く、これらの食事が咀嚼の困難な人に適した状態になっているかについて検討が必要であった。

4．施設が使用しているとろみ剤の種類がばらばらのために、同じ程度のとろみであるかの比較は難しい。また、今回の記述では、形状の説明は少なかったので、3段階のとろみがあったとしても、それらが学会分類とあっているかについては、今後、使用しているとろみ剤の種類を考慮の上、検討が必要であった。

施設の食事の学会分類へのあてはめは、ある程度は適正にされていると考えられるが、一部、不適切な説明（施設での定義）がみられた。また、訓練食でなく、普段の食事では食材や調理法が多様なため、短い言葉での定義が困難であることも予測される。一方で、説明に使用されている用語が多様であり、今後はある程度は学会分類で使用されている用語を共通して使用していく工夫も必要と思われた。一方で、刻み食については、嚥下障害を有する患者での使用について危険性も指摘されており、「軟らかく煮る」、「ピューレ、あんかけ」のない状態での使用については、適正な対象に提供されているかを検討する必要があると思われる。

## Ⅳ．地域健常高齢者における摂食嚥下障害ならびに栄養障害の実態調査からの簡易スクリーニング法の必要性

要介護認定を受けて施設入所している高齢者と元気に地域で生活している高齢者との比較を目的として、名古屋市高年大学鯱城学院に通学している健常高齢者を対象に摂食嚥下や栄養状態に対する内容を検討することを目的とした。

名古屋市高年大学鯱城学園に通学する全対象者のうち、性別は問わず年齢60歳以上（1学年550人程度）で、研究に対して同意した対象者470名（男性：186名；女性：284名、平均年齢68.7±4.7歳、男性：69.2±4.5歳、女性：68.5±4.8歳）に対して、施設において連結可能匿名化した調査用紙を用いた調査を実施し、以下の結果を得た。なお、名古屋大学医学部倫理委員会の承認を受け、解析は集団として行い、個人情報の保護に努めた。

1．470 名全員の基本的 ADL は自立しており、要介護認定も受けていない自立した高齢者であった。また経済状態についても「一部の援助が必要」と回答したのはごく一部であり、経済的にも恵まれた集団であったが、男性女性とも 7 割が定期的通院をしていると回答していた。

2．自立した健常と思われる高齢者ではあるが、「半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか」の問いに「はい」と回答した咀嚼機能障害が疑われる対象者は男性、女性とも 15～16%程度存在した。また、「お茶や汁物等でむせることがありますか」の問いに対して「はい」と回答した嚥下機能障害を疑う対象者はさらに多く、男性で 18.3%、女性で 17.0%存在した。しかし、これらは全て主観的な評価であり、今後客観的評価が必要である。

3．栄養状態に関しては MNA-SF で低栄養と評価されたのは、男性で 0%、女性で 0.4%と参加者のうち、女性でただ一人であった。これらの在宅で元気に生活している高齢者の栄養状態は良好であることが想像できる。

それゆえ、470 名の健常高齢者の主観的咀嚼・嚥下機能ならびに MNA-SF を使用した栄養評価を時視した。栄養状態は総じて良好であったが、このような健常高齢者においても主観的な咀嚼・嚥下機能の低下が相当数観察された。今後、これらの高齢者が継時的にどのような変化を呈するのかを縦断的に観察することが求められる。また、今回の結果から、介護保健施設入所者ばかりでなく、地域健常高齢者にも摂食嚥下障害や低栄養の簡易スクリーニングの必要性があることは明らかであった。

## Ⅴ．介護保険施設における栄養ケア・マネジメント　口腔管理のあり方に関する提言

本調査結果から以下のような提言を行うことができる。（文責：小山秀夫）

1．介護保険制度創設により、平成 17 年 10 月に導入された介護保険施設の食事料の全額自己負担化に伴う、栄養ケア・マネジメント制度の導入は、介護保険分野における低栄養問題の存在（今回の調査結果からも 5 割以上が中程度以上の栄養問題を有している）を社会的に明らかにし、その対応として高齢者の個別栄養ケアが社会的重要性の認識醸成に著しく貢献したことは明らかであり、今後とも栄養ケア・マネジメント体制を強固に構築することが求められている。

2．介護保険施設の栄養ケア・マネジメント体制の確立には、管理栄養士の適切な配置が必要である。介護保険施設の管理栄養士は、栄養ケア・マネジメントにおけるモニタリング、アセスメント、プランニング、および評価といった一連のマネジメント業務

を遂行し、ミールラウンドや適切な食形態の選択などに努力しているが、摂食嚥下機能が低下した高齢者への経口移行加算及び経口維持加算に至っていない現状が明らかであり、各種専門職によるチームによる体制の確立が求められている。

3．介護保険施設の栄養・咀嚼嚥下に関する問題の発見、改善計画の実施、評価に至る一連の業務において、介護福祉士をはじめと介護職員の技術能力や勤務意欲およびその他の職種とのチームワークが業務結果を左右していることは明らかであるとともに、介護職員をサポートする専門職集団の支援が必要である。この意味では、利用者の栄養状態の改善は職員全体の技術集積と施設全体のマネジメントの徹底が求められている。

4．介護保険施設入所者の摂食嚥下機能低下者の早期把握のための簡便なスクリーニング法の導入と、その個別の身体状況、栄養状態、嗜好、食環境等に見合って、経口摂取を支援することを目的とした栄養ケア･マネジメントを推進するために､アセスメント･モニタリング表の様式例の見直しや、栄養ケア計画作成上の新しい指針を、行政サイドから発信することが求められている。

5．本研究でも明らかなように、月 2 回以上の歯科医の施設訪問、常勤が無理であっても定期的な歯科衛生士の関与、定期的なアセスメントや食事中の姿勢の改善などには、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士の定期的関与が望ましい。これらの、何らかの専門職集団の利用者への科学的アセスメントや介護専門職種に対する支援体制の構築が必要である。

6．今回作成されたアセスメント･モニタリング表および効果的な栄養ケア計画作成のための指針（対応するケア内容）については、実用可能であると判断されたこともあり、介護現場の軽中度要介護者を主なターゲットして、今後とも実用試験を重ね改善を繰り返すことが必要である。

7．介護保険施設では､利用者 100 名当たり 2 名以上の管理栄養士の配置が不可欠である。これは､栄養ケア･マネジメントが介護報酬上算定できるようになった平成 17 年度 10 月改正で､管理栄養士の配置加算 12 単位､栄養マネジメント加算 12 単位と設定され、当時の民間施設の管理栄養士の 1 人当たり人件費が 420 万円程度であり、それを利用者 1 人日当たり 120 円と積算し、100 人 365 日で 438 万となることを前提としたものである。したがって、栄養マネジメント加算算定施設では 2 名以上の管理栄養士の配置が経営的に可能になるように配慮されているのである。平成 24 年度改正では、管理栄養士の配置加算が介護報酬に包括化され、栄養マネジメント加算は、14 単位に引き

上げられた。この意味では、介護保険施設 100 名当たり 2 名以上の管理栄養士が配置されていなければ､栄養マネジメント業務の遂行は人員的に支障をきたすことになる。それにもかかわらず、管理栄養士 1 名配置の施設が多数であるという現状は、早急に是正を要する。

8．以上の事柄に関連して、栄養マネジメント加算の算定要件に人員配置（構造評価）と、マネジメントの実施過程（プロセス評価)、さらに咀嚼嚥下問題や低栄養状態の改善度合い（アウトカム評価）と 3 側面から算定の在り方を見直す必要がある。

9．さらに、嚥下造影検査（VF）や嚥下内視鏡検査（VE）などの医療機関と連携した摂食・嚥下機能評価は困難な状況にある施設が多く、経口移行加算や経口維持加算Ⅰの取得が、現在も依然として伸びず、また、医療的な摂食嚥下評価を行なわない経口維持加算Ⅱの取得も、簡便なスクリーニング機能をはたす摂食嚥下機能の評価票（様式例）が徹底されていないことから、経口維持加算の算定要件の見直しと、管理栄養士、歯科医師、歯科衛生士、言語聴覚士などによりチーム体制加算的な算定方式に改善することが望ましい。

10. 栄養状態のアセスメントやモニタリングには、医師の判断が重要であるとともに、ケアスタッフへの支持権限を実質的に有する介護保険施設に関与する医師に対しての栄養ケアや咀嚼嚥下に対する医療的な教育も必ずしも十分でない現状から、少なくとも老人保健施設の施設長である医師や特別養護老人ホームにおいて医師配置加算の対象となる医師には、何らかの方法で研修を義務づけるとともに、特別養護老人ホームの嘱託医等にも医師団体等の協力を得て研修機会を確保する必要があると考えられる。

# Ⅰ．介護保険施設において経口摂取を支援するための栄養ケア・マネジメントのアセスメント･モニタリング表と栄養ケア計画指針試案と実態調査

## 目　的

介護保険施設への平成 17 年 10 月の栄養ケア･マネジメントの導入に伴い、平成 18 年 4 月に摂食嚥下機能が低下した高齢者の「食べること」を支援するために経口移行加算及び経口維持加算が導入され、摂食嚥下機能の低下を評価したうえでの栄養ケア･マネジメントにおける管理栄養士による栄養ケア計画の作成がされることになった。しかし、介護保険施設においては、嚥下造影検査（VF）や嚥下内視鏡検査（VE）などの医療機関と連携した摂食・嚥下機能評価や医師・歯科医師の指示の取得の困難な状況にある施設が多く、経口移行加算や経口維持加算Ⅰの取得が、現在も依然として伸びず、また、医療的な摂食嚥下評価を行なわない経口維持加算Ⅱの取得も、簡便なスクリーニング機能をはたす摂食嚥下機能の評価票（様式例）が厚生労働省から通知されていないこともあり推進されていない。

介護保険施設入所者の摂食嚥下機能低下者の早期把握のための簡便なスクリーニング法の導入と、その個別の身体状況、栄養状態、嗜好、食環境等に見合って、経口摂取を支援することを目的とした栄養ケア･マネジメントを推進するために、アセスメント・モニタリング表の様式例の見直しや、栄養ケア計画作成上の指針が緊急に求められている。

そこで、本研究は、介護保険施設における要介護高齢者の経口摂取を支援するために、摂食嚥下評価のための簡易スクリーニング、効果的な栄養ケア・マネジメントのためのアセスメント･モニタリング表および効果的な栄養ケア計画作成のための指針の試案を作成し、さらに介護保険施設において、これらの試案を用いての利用者の実態調査を行い、その実用化をはかることを目的とした。

## 方　法

### １．経口摂取を支援するための栄養ケア・マネジメントのアセスメント･モニタリング表と栄養ケア計画指針試案の作成

委員長　杉山みち子（神奈川県立保健福祉大学教授）のもとに、１）統括・運営小委員会、２）「経口摂取を支援するための簡易スクリーニング法作成小委員会」、３）「経口摂取を支援するための栄養ケア・マネジメントのアセスメント･モニタリング表と栄養ケア計画指針」作成小委員会、４）実態調査小委員会の４つの委員会を設置し、４回にわたり経口摂取の支援と栄養ケアに関する学識経験者や専門職からのヒアリングを行うとともに、２回の検討会議を経て、経口摂取を支援するための栄養ケア・マネジメントのアセスメント･モニタリング表と栄養ケア計画指針試案を調査票として作成した（資料　調査票参照のこ

と)。なお、ヒアリングしたアセスメント項目は、すでに学術的に検討されたものであることから文献レビューは行わなかった。

## ２．調査票の内容

当該調査票は施設属性（施設調査票)、対象者の基本属性、アセスメント・モニタリング・ケア項目（栄養スクリーニング・アセスメント・モニタリング・栄養ケア計画調査票）から構成されている。摂食嚥下リスク評価尺度は、当該小委員会である鎌倉、葛谷らが、口腔に関する項目は大原、角、菊谷らの口腔の専門家によって、脱水・溢水については谷口によって、食事中の認知症の徴候・症状は田中、高田らが、姿勢は合田らによるこれまでの研究成果の提供に基づいて作成された。また、食事形態の記載は、藤谷らの日本摂食・嚥下リハビテーション学会による嚥下調整食分類を取り入れた。

## ３．実態調査の実施（平成25年10月～平成26年3月）

対象施設及び対象者

日本健康・栄養システム学会の認定臨床栄養師がいる介護保険施設及び認定臨床研修施設の介護保険施設である特養54か所、老健39か所、全93か所の施設長及び管理栄養士を対象に協力依頼を郵送によって行い、協力同意が得られた施設37か所（特養24か所、老健13か所）の管理栄養士を調査責任者として、調査説明書及び調査票を郵送した。その後1年間の健康障害に対して前向きに記載するためのイベント調査票も合わせて郵送した（結果は、本研究事業終了後であるので日本健康・栄養システム学会により平成26年12月末に回収予定)。全ての調査票には施設及び対象者ID番号を交付し連結可能匿名化し、対照表は協力施設の調査責任者が保管した。

調査票への食事の場面の観察や記載は、管理栄養士が他の専門職と協力して行うものとした。協力同意を得られた施設の平成25年10月～12月の入所者50名、全1,500名を目標として、調査票への既存関連資料からの転記及び観察による記載を依頼し、12月末に郵送により回収した。

回収した施設において連結可能匿名化した調査票の記載を確認後、データ入力を委託し、匿名化されたデータベースについて、神奈川県立保健福祉大学、愛知淑徳大学、愛知県立大学、東京医科歯科大学、国立健康・栄養研究所においてデータの解析を行った。SPSSを用いて基本集計を行い、施設の種類、要介護度別にアセスメント、モニタリング、ケア項目の利用状況を把握した。

研究倫理審査は、愛知淑徳大学研究倫理審査委員会に申請し、承認を得た。

## 結　果

### １．対象施設の特性

#### ⑴回収数と記入者

表 1.

| | | 特養 | | 老健 | | 合計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 記入者職名 | | | | | | | |
| 管理栄養士 | | 21 | (95.5) | 11 | (84.6) | 32 | (91.4) |
| その他 | | 1 | (4.5) | 2 | (15.4) | 3 | (8.6) |
| | 生活相談員 | 1 | (4.5) | 0 | (0.0) | 1 | (2.9) |
| | 事務員 | 0 | (0.0) | 2 | (15.4) | 2 | (5.7) |

調査票は特養 22 施設、老健 13 施設、合わせて 35 施設から回収され、個別調査票は特養 1,021 名、老健 625 名、合計 1,646 名であった。

「記入者」は、特養 22 施設のうち 95.9%、老健 13 施設のうち 84.6%が「管理栄養士」であり、その他として「生活相談員」「事務員」であった（表 1)。

#### ⑵定員数と要介護度別入所者

「定員数」は、特養平均 89.8（SD25.2）名、老健平均 101.2（SD15.8）名であり、特養は要介護度 4、5 の入所者数多く、老健は要介護度 3、4 の入所者数が多い標準的な施設であった（表 2)。

#### ⑶新入所者、入院者、自宅への退所者、死亡者

調査月の前月の 1 か月間の「新入所者」は、特養平均 1.4（SD1.4）名、老健平均 8.2（SD5.5）名、「入院中の者」は特養平均 2.0（SD2.3）名、老健平均 0.5（SD1.1）名、「入院した者」は特養平均 2.8（SD2.8）名、老健平均 3.6（SD1.9）名、「自宅への退所者」は特養 0（SD0.2）名、老健平均 10.2（SD27.1）名、「死亡者」は特養平均 1.5（SD1.5）名、老健 0.4（SD0.9）名であった（表 3)。

#### ⑷施設において看取った者と経口摂取を維持して看取った者

「施設において調査月の前月 1 か月間に看取った者」は特養 0.6（1.0）名、老健 0.4（0.9）名でありその殆どが「経口摂取を維持して看取った者」であった（表 3)。

#### ⑸経管栄養者

調査月の前月 1 か月間の「経管栄養の者」は特養平均 5.9（SD4.3）名、老健平均 5.4（SD7.1）名であり、その殆どは「胃瘻・腸瘻」による経管栄養であった（表 3)。

表 2.

| | 特養(n=22) | | 老健(n=13) | | 合計(n=35) | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | mean | SD | mean | SD | mean | SD |
| 定員数(床) | 89.8 | (25.2) | 101.2 | (15.8) | 94.0 | (22.6) |
| (特養) | 76.9 | (23.6) | − | − | − | − |
| (短期生活介護, n=19) | 14.9 | (6.5) | − | − | − | − |
| 現在の入所人数 | 77.1 | (26.5) | 94.7 | (16.9) | 83.7 | (24.7) |
| 要介護1(人) | 2.4 | (2.2) | 9.2 | (4.5) | 4.9 | (4.6) |
| 要介護2(人) | 6.6 | (4.5) | 18.9 | (6.6) | 11.2 | (8.0) |
| 要介護3(人) | 15.5 | (6.9) | 23.4 | (4.5) | 18.4 | (7.2) |
| 要介護4(人) | 23.9 | (6.4) | 22.5 | (5.1) | 23.4 | (5.9) |
| 要介護5(人) | 27.9 | (13.0) | 20.5 | (8.0) | 25.1 | (11.8) |
| その他(人) | 0.9 | (4.3) | 0.2 | (0.4) | 0.6 | (3.4) |

表 3.

| | 特養(n=22) | | 老健(n=13) | | 合計(n=35) | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | mean | SD | mean | SD | mean | SD |
| 新入所者(人) | 1.4 | (1.4) | 8.2 | (5.5) | 3.9 | (4.8) |
| 入院中の者(人) | 2.0 | (2.3) | 0.5 | (1.1) | 1.5 | (2.0) |
| 入院した者(人) | 2.8 | (2.8) | 3.6 | (1.9) | 3.1 | (2.5) |
| 自宅への退所者(人) | 0.0 | (0.2) | 10.2 | (27.1) | 3.8 | (16.9) |
| 死亡者(人) | 1.5 | (1.5) | 0.4 | (0.9) | 1.1 | (1.4) |
| 施設において看取った者(人) | 0.6 | (1.0) | 0.4 | (0.9) | 0.5 | (1.0) |
| そのうち経口摂取を最後まで維持して看取った者(人) | 0.5 | (1.0) | 0.4 | (0.9) | 0.4 | (0.9) |
| 経管栄養の者(人) | 5.9 | (4.3) | 5.4 | (7.1) | 5.7 | (5.4) |
| 経鼻(人) | 0.7 | (2.0) | 1.1 | (2.6) | 0.9 | (2.2) |
| 胃瘻・腸瘻(人) | 5.1 | (4.0) | 4.3 | (5.1) | 4.8 | (4.4) |
| 静脈(人) | 0.0 | (0.0) | 0.0 | (0.0) | 0.0 | (0.0) |

**⑹栄養マネジメント加算、経口移行、経口維持Ⅰ、Ⅱ、看取り（ターミナル）加算、療養食加算の取得状況**

「栄養マネジメント加算」は、全施設が取得し、調査の前月 1 か月間の取得件数は特養平均 2185.9（SD819.0）件、老健平均 2834.7（SD593.9）件であった（表 4-a、b)。「経口移行加算」は特養 9.1%、取得件数平均 1.5（SD0.5）件／月、老健 23.1%、取得件数平均 0.7（SD0.5）件／月、「経口維持加算Ⅰ」は特養 13.6%、取得件数平均 13.7（SD9.2）件／月、老健 15.4%、取得件数平均 0.5（SD0.5）件／月、「経口維持加算Ⅱ」は特養 36.4%、取得件数平均 10.8（SD9.2）件／月、老健 23.1%、取得件数平均 6.2（SD5.7）件／月が取得されていた。

「看取り加算」は特養 40.9%、「ターミナル加算」は老健 30.8%で取得され、「加算請求されない看取り」は、特養 0.8（SD1.8）件／月、老健 0.4（SD1.0）件／月であった。

「療養食加算」の取得は、「糖尿病食」が特養 90.9%、老健 100%で取得され、次いで、「腎臓病食」が特養 77.3%、老健 100%、「脂質異常食」が特養 40.9%、老健 61.5%で取得されていた。

表 4-a.

| | 特養 (n=22) | | 老健 (n=13) | | 合計 (n=35) | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 加算請求している | | | | | | |
| 経口移行加算 | 2 | (9.1) | 3 | (23.1) | 5 | (14.3) |
| 経口維持加算Ⅰ | 3 | (13.6) | 2 | (15.4) | 5 | (14.3) |
| 経口維持加算Ⅱ | 8 | (36.4) | 5 | (38.5) | 13 | (37.1) |
| 看取り加算 | 9 | (40.9) | − | − | 9 | (40.9) |
| ターミナル加算 | − | − | 4 | (30.8) | 4 | (30.8) |
| 併設の通所サービス事業所(複数回答) | | | | | | |
| 通所リハビリテーション | 0 | (0.0) | 12 | (92.3) | 12 | (34.3) |
| 介護予防通所リハビリテーション | 0 | (0.0) | 9 | (69.2) | 9 | (25.7) |
| 通所介護 | 20 | (90.9) | 1 | (7.7) | 21 | (60.0) |
| 介護予防通所介護 | 13 | (59.1) | 0 | (0.0) | 13 | (37.1) |
| 併設していない | 2 | (9.1) | 0 | (0.0) | 2 | (5.7) |
| 通所サービス登録あり | 4 | (18.2) | 10 | (76.9) | 14 | (40.0) |
| 通所サービス栄養改善加算請求あり | 5 | (22.7) | 3 | (23.1) | 8 | (22.9) |
| 通所サービス担当管理栄養士の所属(複数回答) | | | | | | |
| 専任(常勤) | 2 | (28.6) | 3 | (37.5) | 5 | (33.3) |
| 専任(非常勤) | 0 | (0.0) | 1 | (12.5) | 1 | (6.7) |
| 兼任(常勤) | 5 | (71.4) | 3 | (37.5) | 8 | (53.3) |
| 専任(常勤)と兼任(常勤) | 0 | (0.0) | 1 | (12.5) | 1 | (6.7) |

表 4-b.

| | 特養(n=22) | | | 老健(n=13) | | | 合計(n=35) | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | n | mean | SD | n | mean | SD | n | mean | SD |
| 加算請求件数 | | | | | | | | | |
| 栄養マネジメント加算(件) | 22 | 2185.9 | (819.0) | 13 | 2834.7 | (593.9) | 35 | 2426.9 | (800.0) |
| 経口移行加算(件) | 22 | 0.1 | (0.5) | 13 | 0.2 | (0.4) | 35 | 0.1 | (0.4) |
| 請求施設のみ(n=5)(件) | 2 | 1.5 | (0.5) | 3 | 0.7 | (0.5) | 5 | 1.0 | (0.6) |
| 経口維持加算Ⅰ(件) | 22 | 1.9 | (5.9) | 13 | 0.1 | (0.3) | 35 | 1.2 | (4.7) |
| 請求施設のみ(n=5)(件) | 3 | 13.7 | (9.2) | 2 | 0.5 | (0.5) | 5 | 8.4 | (9.6) |
| 経口維持加算Ⅱ(件) | 22 | 3.9 | (7.8) | 13 | 2.4 | (4.8) | 35 | 3.3 | (6.8) |
| 請求施設のみ(n=13)(件) | 8 | 10.8 | (9.2) | 5 | 6.2 | (5.7) | 13 | 9.0 | (8.3) |
| 看取り加算(件) | 22 | 0.9 | (1.9) | 13 | 0.3 | (0.6) | 35 | 0.7 | (1.6) |
| 請求施設のみ(n=11)(件) | 8 | 2.4 | (2.4) | 3 | 1.3 | (0.5) | 11 | 2.1 | (2.1) |
| ターミナル加算(件) | 22 | 0.0 | (0.2) | 13 | 0.1 | (0.3) | 35 | 0.1 | (0.2) |
| 請求施設のみ(n=2)(件) | 1 | 1.0 | (0.0) | 1 | 1.0 | (0.0) | 2 | 1.0 | (0.0) |
| 加算を請求していない看取り | 22 | 0.8 | (1.8) | 13 | 0.4 | (1.0) | 35 | 0.7 | (1.6) |
| 療養食加算請求件数 | | | | | | | | | |
| 糖尿病食(件) | 22 | 27.0 | (57.2) | 13 | 142.2 | (203.2) | 35 | 69.8 | (140.7) |
| 請求施設のみ(n=33)(件) | 20 | 29.8 | (58.0) | 13 | 142.2 | (195.3) | 33 | 74.1 | (141.7) |
| 腎臓病食(心臓病食を含む)(件) | 22 | 15.0 | (31.5) | 13 | 141.1 | (285.6) | 35 | 61.9 | (182.2) |
| 請求施設のみ(n=30)(件) | 17 | 19.5 | (33.8) | 13 | 141.1 | (274.4) | 30 | 72.2 | (192.1) |
| 肝臓病食(件) | 22 | 0.2 | (0.5) | 13 | 1.0 | (1.2) | 35 | 0.5 | (0.9) |
| 請求施設のみ(n=10)(件) | 3 | 1.3 | (0.5) | 7 | 1.9 | (1.0) | 10 | 1.7 | (0.9) |
| 胃潰瘍食(流動食は除く)(件) | 22 | 1.5 | (6.4) | 13 | 0.2 | (0.6) | 35 | 1.0 | (5.1) |
| 請求施設のみ(n=4)(件) | 3 | 11.3 | (13.2) | 1 | 2.0 | (0.0) | 4 | 9.0 | (12.1) |
| 貧血食(件) | 22 | 2.5 | (6.6) | 13 | 31.5 | (88.0) | 35 | 13.3 | (54.4) |
| 請求施設のみ(n=20)(件) | 11 | 4.9 | (8.4) | 9 | 45.6 | (98.4) | 20 | 23.2 | (69.3) |
| 膵臓病食(件) | 22 | 0.0 | (0.0) | 13 | 7.2 | (25.5) | 35 | 2.7 | (15.5) |
| 請求施設のみ(n=2)(件) | 0 | − | − | 2 | 46.5 | (45.5) | 2 | 46.5 | (45.5) |
| 脂質異常症食(件) | 22 | 6.9 | (19.8) | 13 | 76.3 | (233.3) | 35 | 32.7 | (143.5) |
| 請求施設のみ(n=17)(件) | 9 | 16.9 | (27.3) | 8 | 124.0 | (275.2) | 17 | 67.3 | (197.2) |
| 痛風食(件) | 22 | 0.0 | (0.0) | 13 | 2.5 | (8.6) | 35 | 0.9 | (5.2) |
| 請求施設のみ(n=2)(件) | 0 | − | − | 2 | 16.0 | (15.0) | 2 | 16.0 | (15.0) |

### (7)経口移行、経口維持Ⅰ、Ⅱ加算非請求の理由。

「経口移行加算が非請求の理由」は、特養では、「VE、VF による嚥下評価が困難」60%、「対象者がいない」55%、「医師、歯科医師による指示が得られない」35%、「VE、VF 以外の評価が困難」30%であり、老健では、「対象者がいない」60%、「VE、VF による評価が困難」30%が主な理由であった（表 4-c)。

「経口維持加算Ⅰ」が非請求の理由は、特養では、「VE、VF による嚥下評価が困難」78.9%、「医師、歯科医師による指示が得られにくい」36.8%、「VE、VF 以外の評価が困難」26.3%、「人員不足」26.3%、「その他」31.6%、老健では、「対象者がいない」63.6%、「その他」36,4%であった。

「経口維持加算Ⅱ」が非請求の理由は、特養では、「嚥下の評価が困難」64.3%、「人員不足」50.0%。老健では、「人員不足」50.0%であった。

表 4-c.

| | 特養 (n=22) | | 老健 (n=13) | | 合計 (n=35) | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 経口移行加算非請求理由(非請求施設n=30, 複数回答) | | | | | | |
| ①必要性を感じていない | 0 | (0.0) | 1 | (10.0) | 1 | (3.3) |
| ②対象者がいない | 11 | (55.0) | 6 | (60.0) | 17 | (56.7) |
| ③VE・VFによる嚥下の評価が困難 | 12 | (60.0) | 3 | (30.0) | 15 | (50.0) |
| ④③以外の嚥下の評価が困難 | 6 | (30.0) | 1 | (10.0) | 7 | (23.3) |
| ⑤個別の食事対応ができない | 2 | (10.0) | 0 | (0.0) | 2 | (6.7) |
| ⑥医師・歯科医師の指示が得られにくい | 7 | (35.0) | 1 | (10.0) | 8 | (26.7) |
| ⑦人員不足 | 4 | (20.0) | 0 | (0.0) | 4 | (13.3) |
| ⑧その他 | 4 | (20.0) | 1 | (10.0) | 5 | (16.7) |
| 経口維持加算Ⅰ非請求理由(非請求施設n=30, 複数回答) | | | | | | |
| ①必要性を感じていない | 0 | (0.0) | 1 | (9.1) | 1 | (3.3) |
| ②対象者がいない | 2 | (10.5) | 2 | (18.2) | 4 | (13.3) |
| ③VE・VFによる嚥下の評価が困難 | 15 | (78.9) | 7 | (63.6) | 22 | (73.3) |
| ④③以外の嚥下の評価が困難 | 5 | (26.3) | 1 | (9.1) | 6 | (20.0) |
| ⑤個別の食事対応ができない | 2 | (10.5) | 0 | (0.0) | 2 | (6.7) |
| ⑥医師・歯科医師の指示が得られにくい | 7 | (36.8) | 1 | (9.1) | 8 | (26.7) |
| ⑦人員不足 | 5 | (26.3) | 0 | (0.0) | 5 | (16.7) |
| ⑧その他 | 6 | (31.6) | 4 | (36.4) | 10 | (33.3) |
| 経口維持加算Ⅱ非請求理由(非請求施設n=22, 複数回答) | | | | | | |
| ①必要性を感じていない | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| ②対象者がいない | 2 | (14.3) | 1 | (12.5) | 3 | (13.6) |
| ③嚥下の評価が困難 | 9 | (64.3) | 3 | (37.5) | 12 | (54.5) |
| ④個別の食事対応ができない | 2 | (14.3) | 0 | (0.0) | 2 | (9.1) |
| ⑤医師・歯科医師の指示が得られにくい | 4 | (28.6) | 1 | (12.5) | 5 | (22.7) |
| ⑥人員不足 | 4 | (28.6) | 0 | (0.0) | 4 | (18.2) |
| ⑦その他 | 7 | (50.0) | 4 | (50.0) | 11 | (50.0) |

### (8)併設通所サービスと栄養改善加算

「併設通所サービス事業所」を特養 90.9%、老健 92.3%が有しており、「栄養改善加算」取得は特養 22.7%、老健 23.1%にすぎなかった。また、「常勤専任の管理栄養士」が配置されている事業所は特養 28.6%、老健 37.5%であり、多くは「施設常勤管理栄養士」の併任であった（表 4-a)。

### (9)歯科医師の訪問回数

「歯科医師の訪問」が「月 1 回」の施設は特養 14.3%、老健 15.4%であり、「月 2 回以上」の訪問がある施設が特養 66.7%、老健 76.9%であった(表 5)。

### (10)管理栄養士の食事時の観察（ミールラウンド）

「管理栄養士による利用者の食事時の観察（ミールラウンド)」は、特養は「毎日」4.8%、「週 5～6 回」61.9%と「週 3～4 回」23.8%とを合わせて 80%以上、老健は「毎日」23.0%、「週に 5～6 回」46.2%、「週に 3～4 回」30.8%と 100%となり頻回に実施されていた(表 5)。

表 5.

| | 特養 | | 老健 | | 合計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 歯科医師訪問回数 | | | | | | |
| 月2回以上 | 14 | (66.7) | 10 | (76.9) | 24 | (70.6) |
| 月1回 | 3 | (14.3) | 2 | (15.4) | 5 | (14.7) |
| 2～3か月に1回 | 2 | (9.5) | 0 | (0.0) | 2 | (5.9) |
| 4～6か月に1回 | 1 | (4.8) | 0 | (0.0) | 1 | (2.9) |
| ほとんどない | 1 | (4.8) | 1 | (7.7) | 2 | (5.9) |
| (未記入) | 1 | (4.8) | 0 | (0.0) | 1 | (2.9) |
| 管理栄養士の食事時の観察(ミールラウンド) | | | | | | |
| 全くできなかった | 1 | (4.5) | 0 | (0.0) | 1 | (2.9) |
| 週に1～2回 | 2 | (9.5) | 0 | (0.0) | 2 | (5.9) |
| 週に3～4回 | 5 | (23.8) | 4 | (30.8) | 9 | (26.5) |
| 週に5～6回 | 13 | (61.9) | 6 | (46.2) | 19 | (55.9) |
| 毎日 | 1 | (4.8) | 3 | (23.1) | 4 | (11.8) |

### (11)管理栄養士、歯科医師、歯科衛生士、言語聴覚士の常勤配置

「常勤管理栄養士の 100 床当たりの配置数」は、特養 1.3（0.4）名、老健 1.1（0.3）名であった、「歯科医師の常勤配置数」は特養、老健ともに 0 名、「非常勤の常勤換算数」は特養 0.4（0.7）名、老健 0 名、「言語聴覚士」は特養 0 名、老健 0.4 名（0.5）名、「非常勤の常勤換算数」は特養 0.1（0.3）名、老健 0.0（0.1 名)、「歯科衛生士の常勤配置」は特養、老健ともに 0 名、「非常勤の常勤加算数」では 0.3（0.7）名、老健 0.1（0.4）名であり、口腔の専門職の配置は十分ではなかった（表 6-a、b)。

表 6-a.

| | 特養(n=22) | | 老健(n=13) | | 合計(n=35) | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | mean | SD | mean | SD | mean | SD |
| 職種人数構成 | | | | | | |
| 管理栄養士 | | | | | | |
| 常勤(人) | 1.2 | (0.4) | 1.1 | (0.3) | 1.2 | (0.4) |
| 非常勤(人) | 0.0 | (0.0) | 0.0 | (0.0) | 0.0 | (0.0) |
| 栄養士 | | | | | | |
| 常勤(人) | 0.6 | (1.1) | 0.4 | (1.0) | 0.5 | (1.0) |
| 非常勤(人) | 0.0 | (0.2) | 0.1 | (0.3) | 0.1 | (0.2) |
| 医師 | | | | | | |
| 常勤(人) | 0.1 | (0.3) | 1.0 | (0.0) | 0.4 | (0.5) |
| 非常勤(人) | 1.1 | (1.2) | 0.7 | (1.2) | 1.0 | (1.2) |
| 歯科医師 | | | | | | |
| 常勤(人) | 0.0 | (0.0) | 0.0 | (0.0) | 0.0 | (0.0) |
| 非常勤(人) | 0.4 | (0.6) | 0.0 | (0.0) | 0.2 | (0.5) |
| 看護師 | | | | | | |
| 常勤(人) | 2.4 | (1.3) | 5.1 | (3.5) | 3.4 | (2.7) |
| 非常勤(人) | 1.0 | (1.2) | 1.6 | (1.2) | 1.2 | (1.2) |
| 准看護師 | | | | | | |
| 常勤(人) | 1.6 | (1.4) | 3.3 | (3.1) | 2.3 | (2.3) |
| 非常勤(人) | 1.1 | (1.3) | 1.4 | (1.6) | 1.2 | (1.4) |
| 介護福祉士 | | | | | | |
| 常勤(人) | 23.5 | (12.2) | 20.7 | (10.2) | 22.4 | (11.4) |
| 非常勤(人) | 2.5 | (3.5) | 2.4 | (2.7) | 2.5 | (3.2) |
| 介護士 | | | | | | |
| 常勤(人) | 13.1 | (11.5) | 12.5 | (6.8) | 12.9 | (9.9) |
| 非常勤(人) | 6.6 | (7.5) | 3.8 | (5.1) | 5.5 | (6.7) |
| 理学療法士 | | | | | | |
| 常勤(人) | 0.3 | (0.5) | 2.4 | (1.7) | 1.1 | (1.5) |
| 非常勤(人) | 0.2 | (0.4) | 0.2 | (0.4) | 0.2 | (0.4) |
| 作業療法士 | | | | | | |
| 常勤(人) | 0.2 | (0.4) | 1.7 | (1.1) | 0.7 | (1.0) |
| 非常勤(人) | 0.2 | (0.3) | 0.4 | (0.9) | 0.2 | (0.6) |
| 言語聴覚士 | | | | | | |
| 常勤(人) | 0.0 | (0.0) | 0.4 | (0.5) | 0.1 | (0.3) |
| 非常勤(人) | 0.0 | (0.2) | 0.1 | (0.2) | 0.0 | (0.2) |
| 歯科衛生士 | | | | | | |
| 常勤(人) | 0.0 | (0.0) | 0.0 | (0.0) | 0.0 | (0.0) |
| 非常勤(人) | 0.2 | (0.5) | 0.2 | (0.4) | 0.2 | (0.5) |

表 6-b.

| | 特養(n=22) | | 老健(n=13) | | 合計(n=35) | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | mean | SD | mean | SD | mean | SD |
| 定員100床あたりの職種人数構成 | | | | | | |
| 管理栄養士 | | | | | | |
| 常勤(人) | 1.3 | (0.4) | 1.1 | (0.3) | 1.3 | (0.4) |
| 非常勤(人) | 0.0 | (0.0) | 0.0 | (0.0) | 0.0 | (0.0) |
| 栄養士 | | | | | | |
| 常勤(人) | 0.6 | (1.0) | 0.4 | (1.0) | 0.5 | (1.0) |
| 非常勤(人) | 0.0 | (0.2) | 0.1 | (0.3) | 0.1 | (0.2) |
| 医師 | | | | | | |
| 常勤(人) | 0.1 | (0.3) | 1.0 | (0.1) | 0.4 | (0.5) |
| 非常勤(人) | 1.3 | (1.5) | 0.7 | (1.2) | 1.1 | (1.4) |
| 歯科医師 | | | | | | |
| 常勤(人) | 0.0 | (0.0) | 0.0 | (0.0) | 0.0 | (0.0) |
| 非常勤(人) | 0.4 | (0.7) | 0.0 | (0.0) | 0.3 | (0.6) |
| 看護師 | | | | | | |
| 常勤(人) | 2.8 | (1.6) | 4.8 | (2.7) | 3.5 | (2.3) |
| 非常勤(人) | 1.1 | (1.2) | 1.6 | (1.3) | 1.3 | (1.3) |
| 准看護師 | | | | | | |
| 常勤(人) | 1.9 | (1.5) | 3.3 | (3.1) | 2.4 | (2.3) |
| 非常勤(人) | 1.2 | (1.5) | 1.5 | (1.6) | 1.3 | (1.5) |
| 介護福祉士 | | | | | | |
| 常勤(人) | 26.2 | (12.2) | 20.2 | (9.0) | 24.0 | (11.4) |
| 非常勤(人) | 2.5 | (2.8) | 2.5 | (2.7) | 2.5 | (2.7) |
| 介護士 | | | | | | |
| 常勤(人) | 15.1 | (11.9) | 12.8 | (7.6) | 14.3 | (10.5) |
| 非常勤(人) | 7.1 | (7.4) | 3.8 | (5.1) | 5.9 | (6.8) |
| 理学療法士 | | | | | | |
| 常勤(人) | 0.3 | (0.5) | 2.5 | (1.7) | 1.1 | (1.5) |
| 非常勤(人) | 0.2 | (0.5) | 0.2 | (0.4) | 0.2 | (0.4) |
| 作業療法士 | | | | | | |
| 常勤(人) | 0.2 | (0.4) | 1.7 | (1.1) | 0.7 | (1.0) |
| 非常勤(人) | 0.2 | (0.4) | 0.4 | (0.9) | 0.2 | (0.6) |
| 言語聴覚士 | | | | | | |
| 常勤(人) | 0.0 | (0.0) | 0.4 | (0.5) | 0.1 | (0.3) |
| 非常勤(人) | 0.1 | (0.3) | 0.0 | (0.1) | 0.1 | (0.2) |
| 歯科衛生士 | | | | | | |
| 常勤(人) | 0.0 | (0.0) | 0.0 | (0.0) | 0.0 | (0.0) |
| 非常勤(人) | 0.3 | (0.7) | 0.1 | (0.4) | 0.2 | (0.6) |

## ２．個別調査の結果

### (1)基本的事項について

#### 1）性、年齢、要介護度

特養利用者（1,021 名、以下、特養という）においては、「女性」79.6%、「男性」20.4%、老健利用者（以下 625 名、以下、老健という）においては、「女性」70.2%、「男性」29.8%であった。「年齢」は、「80 歳以上」が特養 82.3%、老健 74.6%、そのうち「90 歳以上」が特養 39.2%、老健 30.1%であり（表 7-1）、特養では要介護度 4、5 が 65.8%、老健では要介護度 2~4 の者が 71.0%と多かった（別表）。

#### 2）日常生活活動動作

「Barthel　Index の合計点」において、全介助に相当する「20 点以下」は特養 46.3%、老健 29.8%、かなり介助を要するに相当する「20-40 点」が特養 20.5%、老健 14.7%、合せて特養 66.8%、老健 44.5%であった(表 7-2a、b)。なお、要介護度５では「20 点以下」は特養 85.8%、老健 78.8%にまで増大した(別表)。

#### 3）認知症及び認知症高齢者の日常生活自立度

「認知症」は特養で 94.9%、老健で 88.5%であり高頻度にみられた。「認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲa 以上」は特養で 65.7%を占めるのに対して老健では 52.1%であり、老健では比較的軽度の「Ⅱa、Ⅱb」の者もみられた（表 7-3)。なお、要介護度５では、「Ⅲa 以上」が特養 87.2%、老健 72.0%であった（別表)。

表 7-1.

| | 特養 n=1021 | | 老健 n=625 | | 合計 n=1646 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 性別 | | | | | | |
| 男性 | 208 | (20.4) | 186 | (29.8) | 394 | (23.9) |
| 女性 | 813 | (79.6) | 439 | (70.2) | 1252 | (76.1) |
| 年齢階級 | | | | | | |
| 65歳未満 | 14 | (1.4) | 21 | (3.4) | 35 | (2.1) |
| 65-74歳 | 75 | (7.3) | 68 | (10.9) | 143 | (8.7) |
| 75-79歳 | 92 | (9.0) | 70 | (11.2) | 162 | (9.8) |
| 80-84歳 | 172 | (16.8) | 133 | (21.3) | 305 | (18.5) |
| 85-89歳 | 268 | (26.2) | 145 | (23.2) | 413 | (25.1) |
| 90-94歳 | 243 | (23.8) | 114 | (18.2) | 357 | (21.7) |
| 95-99歳 | 126 | (12.3) | 59 | (9.4) | 185 | (11.2) |
| 100歳以上 | 31 | (3.0) | 15 | (2.4) | 46 | (2.8) |
| 要介護度 | | | | | | |
| 要介護1 | 36 | (3.5) | 68 | (10.9) | 104 | (6.3) |
| 要介護2 | 94 | (9.2) | 141 | (22.6) | 235 | (14.3) |
| 要介護3 | 219 | (21.4) | 170 | (27.2) | 389 | (23.6) |
| 要介護4 | 319 | (31.2) | 133 | (21.3) | 452 | (27.5) |
| 要介護5 | 353 | (34.6) | 113 | (18.1) | 466 | (28.3) |

表 7-2a.

| | 特養 n=1021 | | | 老健 n=625 | | | 合計 n=1646 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | n | mean | (SD) | n | mean | (SD) | n | mean | (SD) |
| 年齢（歳） | 1021 | 86.5 | (8.2) | 625 | 84.3 | (9.2) | 1646 | 85.7 | (8.7) |
| バーサルインデックス（点） | 1021 | 30.3 | (26.5) | 625 | 46.8 | (32.2) | 1646 | 36.6 | (29.9) |

表 7-2b.

| | 特養 n=1021 | | 老健 n=625 | | 合計 n=1646 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 基本的生活動作(Barthel Index: BI) | | | | | | |
| 食事(n=1643) | | | | | | |
| 0点 | 273 | (26.8) | 92 | (14.7) | 365 | (22.2) |
| 5点 | 319 | (31.3) | 173 | (27.7) | 492 | (29.9) |
| 10点 | 427 | (41.9) | 359 | (57.5) | 786 | (47.8) |
| 車いすからベッドへの移動(n=1643) | | | | | | |
| 0点 | 353 | (34.7) | 133 | (21.3) | 486 | (29.6) |
| 5点 | 226 | (22.2) | 102 | (16.3) | 328 | (20.0) |
| 10点 | 246 | (24.2) | 151 | (24.2) | 397 | (24.2) |
| 15点 | 193 | (19.0) | 239 | (38.2) | 432 | (26.3) |
| 整容(n=1642) | | | | | | |
| 0点 | 782 | (76.7) | 359 | (57.7) | 1141 | (69.5) |
| 5点 | 238 | (23.3) | 263 | (42.3) | 501 | (30.5) |
| トイレ動作(n=1646) | | | | | | |
| 0点 | 473 | (46.3) | 196 | (31.4) | 669 | (40.6) |
| 5点 | 439 | (43.0) | 241 | (38.6) | 680 | (41.3) |
| 10点 | 109 | (10.7) | 188 | (30.1) | 297 | (18.0) |
| 入浴(n=1644) | | | | | | |
| 0点 | 984 | (96.4) | 543 | (87.2) | 1527 | (92.9) |
| 5点 | 37 | (3.6) | 80 | (12.8) | 117 | (7.1) |
| 歩行(n=1645) | | | | | | |
| 0点 | 555 | (54.4) | 219 | (35.0) | 774 | (47.1) |
| 5点 | 265 | (26.0) | 140 | (22.4) | 405 | (24.6) |
| 10点 | 101 | (9.9) | 111 | (17.8) | 212 | (12.9) |
| 15点 | 99 | (9.7) | 155 | (24.8) | 254 | (15.4) |
| 階段昇降(n=1645) | | | | | | |
| 0点 | 863 | (84.6) | 406 | (65.0) | 1269 | (77.1) |
| 5点 | 124 | (12.2) | 150 | (24.0) | 274 | (16.7) |
| 10点 | 33 | (3.2) | 69 | (11.0) | 102 | (6.2) |
| 着替え(n=1645) | | | | | | |
| 0点 | 614 | (60.2) | 235 | (37.6) | 849 | (51.6) |
| 5点 | 297 | (29.1) | 224 | (35.8) | 521 | (31.7) |
| 10点 | 109 | (10.7) | 166 | (26.6) | 275 | (16.7) |
| 排便コントロール(n=1646) | | | | | | |
| 0点 | 450 | (44.1) | 209 | (33.4) | 659 | (40.0) |
| 5点 | 451 | (44.2) | 218 | (34.9) | 669 | (40.6) |
| 10点 | 120 | (11.8) | 198 | (31.7) | 318 | (19.3) |
| 排尿コントロール(n=1646) | | | | | | |
| 0点 | 492 | (48.2) | 222 | (35.5) | 714 | (43.4) |
| 5点 | 428 | (41.9) | 218 | (34.9) | 646 | (39.2) |
| 10点 | 101 | (9.9) | 185 | (29.6) | 286 | (17.4) |
| BI合計得点(n=1646) | | | | | | |
| 20点以下（全介助） | 473 | (46.3) | 186 | (29.8) | 659 | (40.0) |
| 25~40点（かなり介助を要する） | 209 | (20.5) | 92 | (14.7) | 301 | (18.3) |
| 45~55点 | 160 | (15.7) | 108 | (17.3) | 268 | (16.3) |
| 60~95点（介助が少ない） | 172 | (16.8) | 198 | (31.7) | 370 | (22.5) |
| 100点（病棟内自立） | 7 | (0.7) | 41 | (6.6) | 48 | (2.9) |

表 7-3.

| | 特養 n=1021 | | 老健 n=625 | | 合計 n=1646 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 認知症であるもの | 969 | (94.9) | 553 | (88.5) | 1522 | (92.5) |
| *1 認知症高齢者の日常生活自立度 | | | | | | |
| Ⅰ | 38 | (3.9) | 40 | (7.2) | 78 | (5.1) |
| Ⅱ | 14 | (1.4) | 22 | (4.0) | 36 | (2.4) |
| Ⅱa | 58 | (6.0) | 60 | (10.8) | 118 | (7.8) |
| Ⅱb | 151 | (15.6) | 93 | (16.8) | 244 | (16.0) |
| Ⅲ | 59 | (6.1) | 41 | (7.4) | 100 | (6.6) |
| Ⅲa | 284 | (29.3) | 182 | (32.9) | 466 | (30.6) |
| Ⅲb | 111 | (11.5) | 41 | (7.4) | 152 | (10.0) |
| Ⅳ | 183 | (18.9) | 40 | (7.2) | 223 | (14.7) |
| M | 59 | (6.1) | 25 | (4.5) | 84 | (5.5) |
| (不明) | 12 | (1.2) | 9 | (1.6) | 21 | (1.4) |

*1:認知症であるもの(特養n=969, 老健n=553, 全体n=1522)を分母に割合を算出

### 4) 1年間での発熱、肺炎の既往、入院

この1年間(平成25年1月~12月)で「熱発がある」は特養で29.4%、老健で20.3%、「肺炎の既往」は特養 8.9%、老健 8.5%、「入院したもの」は特養 16.3%、老健 17.0%であり、「1年に2回以上の入院」が特養・老健ともに3割程度みられた (表 7-4)。

表 7-4.

| | 特養 n=1021 | | 老健 n=625 | | 合計 n=1646 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 今年の1月からの状況 | | | | | | |
| 熱発(38度以上)あるもの | 300 | (29.4) | 127 | (20.3) | 427 | (25.9) |
| *1 熱発回数 | | | | | | |
| 1回 | 242 | (80.7) | 99 | (78.0) | 341 | (79.9) |
| 2回 | 30 | (10.0) | 11 | (8.7) | 41 | (9.6) |
| 3回 | 17 | (5.7) | 14 | (11.0) | 31 | (7.3) |
| (不明) | 11 | (3.7) | 3 | (2.4) | 14 | (3.3) |
| 肺炎既往あるもの | 91 | (8.9) | 53 | (8.5) | 144 | (8.7) |
| 入院したもの | 166 | (16.3) | 106 | (17.0) | 272 | (16.5) |
| *2 入院回数 | | | | | | |
| 1回 | 112 | (67.5) | 82 | (77.4) | 194 | (71.3) |
| 2回 | 35 | (21.1) | 17 | (16.0) | 52 | (19.1) |
| 3回 | 5 | (3.0) | 3 | (2.8) | 8 | (2.9) |
| 4回 | 3 | (1.8) | 0 | (0.0) | 3 | (1.1) |
| 5回 | 0 | (0.0) | 1 | (0.9) | 1 | (0.4) |
| (不明) | 11 | (6.6) | 3 | (2.8) | 14 | (5.1) |

*1:熱発(38度以上)あるもの(特養n=300, 老健n=127, 全体n=427)を分母に割合を算出
*2入院したもの(特養n=166, 老健n=106, 全体n=272)を分母に割合を算出

表 7-5.

| | 特養 n=1021 | | 老健 n=625 | | 合計 n=1646 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| ここ1か月くらいの健康・平穏状態 | | | | | | |
| 非常に健康・平穏 | 169 | (16.6) | 189 | (30.2) | 358 | (21.7) |
| まあ健康・平穏 | 639 | (62.6) | 372 | (59.5) | 1011 | (61.4) |
| あまり健康・平穏でない | 167 | (16.4) | 58 | (9.3) | 225 | (13.7) |
| 全く健康・平穏でない | 34 | (3.3) | 5 | (0.8) | 39 | (2.4) |
| (不明) | 12 | (1.2) | 1 | (0.2) | 13 | (0.8) |
| 本人の食べることへの意欲 | | | | | | |
| よい | 348 | (34.1) | 261 | (41.8) | 609 | (37.0) |
| まあよい | 213 | (20.9) | 150 | (24.0) | 363 | (22.1) |
| ふつう | 222 | (21.7) | 133 | (21.3) | 355 | (21.6) |
| あまりよくない | 130 | (12.7) | 58 | (9.3) | 188 | (11.4) |
| よくない | 77 | (7.5) | 19 | (3.0) | 96 | (5.8) |
| (不明) | 31 | (3.0) | 4 | (0.6) | 35 | (2.1) |

**5) 1か月間の健康・平穏状況、食べることへの意欲**

「この 1 か月位の健康・平穏状態」は、「非常に健康・平穏」「まあ健康・平穏」を合わせて特養 79.1%、老健 89.8%と高く、一方、「あまり健康・平穏でない」「全く健康・平穏でない」を合わせて特養 19.7%、老健 10.1%みられた。

「食べることへの意欲」が「よい」「まあよい」を合わせて特養 54.9%、老健 65.8%と過半数であり、一方「あまりよくない」、「よくない」を合わせて特養 20.3%、老健 12.3%みられ(表 7-5)。要介護 5 では特養 31.2%、老健 22.1%みられた(別表)。

**6) 摂食・嚥下能力**

「摂食・嚥下能力のグレード評価」は、「正常 (Gr.10)」は特養 31.3%、老健 43.4%であった。「軽症」(Gr.9 : 普通食の経口摂取加納ただし臨床観察 (ムセなど) と指導 (姿勢など) が必要、Gr8 : 特別嚥下しにくい食品 (パサつくもの、堅いもの、水など) を除き 3 食経口摂取、Gr.7 : 嚥下調整食で 3 食とも経口摂取) が特養 51.3%、老健 44.2%と多くみられ、「中等症」(Gr.6 : 3 食経口摂取プラス補助食品、Gr.5 : 一部 (1～2 食) 経口摂取、Gr.4 : 楽しみとしての摂食が可能) が特養 12.7%,老健 11.4%であった。一方、重症 (Gr.3 : 厳密な条件下での摂食訓練が可能、Gr.2 : 基礎的嚥下訓練のみ可能、Gr.1 : 嚥下困難または不能) は特養 4.0%、老健 0.5%と少なかった (表 7-6)。

要介護度 5 において、「重症」(Gr.1～3) は特養 8.8%、老健 2.7%程度であり、特養では「Gr.7」35.4%と「Gr.6」19.8%とを合わせて 55.2%、老健では「Gr.7」36.3%と「Gr.6」31.0%とを合わせて 67.3%と高い割合となっていた (別表)。

表 7-6.

| | | 特養 n=1021 | | 老健 n=625 | | 合計 n=1646 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 摂食･嚥下能力のグレード評価 | | | | | | | |
| 重症 | Gr.1 | 39 | (3.8) | 3 | (0.5) | 42 | (2.6) |
| | Gr.2 | 1 | (0.1) | 0 | (0.0) | 1 | (0.1) |
| | Gr.3 | 1 | (0.1) | 0 | (0.0) | 1 | (0.1) |
| 中等症 | Gr.4 | 5 | (0.5) | 1 | (0.2) | 6 | (0.4) |
| | Gr.5 | 16 | (1.6) | 1 | (0.2) | 17 | (1.0) |
| | Gr.6 | 108 | (10.6) | 69 | (11.0) | 177 | (10.8) |
| 軽症 | Gr.7 | 244 | (23.9) | 151 | (24.2) | 395 | (24.0) |
| | Gr.8 | 124 | (12.1) | 74 | (11.8) | 198 | (12.0) |
| | Gr.9 | 156 | (15.3) | 51 | (8.2) | 207 | (12.6) |
| 正常 | Gr.10 | 320 | (31.3) | 271 | (43.4) | 591 | (35.9) |
| | (不明) | 7 | (0.7) | 4 | (0.6) | 11 | (0.7) |

### 7) 口腔の状態

#### 歯の数

「自分の歯がない」(0 本) が特養 47.3%、老健 38.9%、「1～9 本」が特養 23.8%、老健 25.6%、「10～19 本」が特養 13.3%、老健 15.0%、「20 本以上」は特養 9.8%、老健 17.6% であった。平均の歯の数は特養 5.5 本、老健 7.8 本であった。

#### 義歯

「義歯をしている」は特養 54.8%、老健 55.4%であった (表 7-7a)。「平均現在歯数」は、要介護度の軽度者よりも重度者の方が少なく、特養は老健よりも少なかった (表 7-7b)。

「義歯の使用率」は要介護 1 ～3 では大きな差は認められないが、要介護 4、要介護 5 では低くなっている。要介護 1～4 では老健より特養の「義歯使用率」が高く、要介護 5 では特養より老健の「義歯使用率」が高くなっていた (表 7-7c)。

表 7-7a.

| | | 特養 n=1021 | | 老健 n=625 | | 合計 n=1646 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 自分の歯の状態 | | | | | | | |
| 自分の歯がある | | 512 | (50.1) | 370 | (59.2) | 882 | (53.6) |
| 自分の歯がない | | 483 | (47.3) | 243 | (38.9) | 726 | (44.1) |
| 開口不能等のため不明 | | 23 | (2.3) | 11 | (1.8) | 34 | (2.1) |
| (不明) | | 3 | (0.3) | 1 | (0.2) | 4 | (0.2) |
| 歯の数 | | | | | | | |
| | 0 本(歯がない) | 483 | (47.3) | 243 | (38.9) | 726 | (44.1) |
| | 1~9 本 | 243 | (23.8) | 160 | (25.6) | 403 | (24.5) |
| | 10~19 本 | 136 | (13.3) | 94 | (15.0) | 230 | (14.0) |
| | 20 本以上 | 100 | (9.8) | 110 | (17.6) | 210 | (12.8) |
| | (不明) | 59 | (5.8) | 18 | (2.9) | 77 | (4.7) |
| 歯の数 | (平均値) | 963 | (5.5) | 607 | (7.8) | 1570 | (6.4) |
| 義歯について | | | | | | | |
| 義歯をしている | | 560 | (54.8) | 346 | (55.4) | 906 | (55.0) |

表 7-7b.

| | 要介護1 n=104 | | | 要介護2 n=235 | | | 要介護3 n=389 | | | 要介護4 n=452 | | | 要介護5 n=466 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | n | mean | SD | n | mean | SD | n | mean | SD | n | mean | SD | n | mean | SD |
| 歯の数 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全体/合計 | 56 | 13.2 | (8.2) | 137 | 12.9 | (9.0) | 186 | 12.2 | (8.4) | 224 | 11.6 | (8.3) | 240 | 10.8 | (8.4) |
| 男性 | 15 | 13.3 | (8.5) | 47 | 12.8 | (9.2) | 54 | 11.6 | (7.8) | 53 | 12.1 | (8.7) | 55 | 13.4 | (9.4) |
| 女性 | 41 | 13.1 | (8.1) | 90 | 13.0 | (9.0) | 132 | 12.5 | (8.6) | 171 | 11.5 | (8.2) | 185 | 10.0 | (8.0) |
| 特養/合計 | 19 | 11.4 | (6.9) | 49 | 11.8 | (8.2) | 92 | 11.4 | (8.3) | 147 | 10.5 | (7.6) | 172 | 11.0 | (8.4) |
| 男性 | 5 | 11.2 | (7.7) | 15 | 11.3 | (7.2) | 28 | 10.1 | (7.9) | 32 | 10.2 | (7.7) | 36 | 13.5 | (9.8) |
| 女性 | 14 | 11.4 | (6.8) | 34 | 12.1 | (8.7) | 64 | 11.9 | (8.5) | 115 | 10.6 | (7.6) | 136 | 10.4 | (7.9) |
| 老健/合計 | 37 | 14.1 | (8.7) | 88 | 13.6 | (9.4) | 94 | 13.1 | (8.4) | 77 | 13.8 | (9.1) | 68 | 10.3 | (8.6) |
| 男性 | 10 | 14.4 | (9.1) | 32 | 13.5 | (10.0) | 26 | 13.2 | (7.5) | 21 | 14.9 | (9.6) | 19 | 13.1 | (8.9) |
| 女性 | 27 | 14.0 | (8.7) | 56 | 13.6 | (9.2) | 68 | 13.1 | (8.7) | 56 | 13.4 | (9.0) | 49 | 9.1 | (8.2) |
| 年齢 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全体/合計 | 104 | 83.3 | (8.7) | 235 | 84.9 | (8.7) | 389 | 85.7 | (9.0) | 452 | 86.4 | (8.8) | 466 | 85.9 | (8.1) |
| 男性 | 28 | 77.0 | (9.8) | 64 | 78.1 | (9.3) | 105 | 80.5 | (9.6) | 95 | 81.2 | (9.3) | 102 | 81.8 | (8.9) |
| 女性 | 76 | 85.6 | (7.0) | 171 | 87.5 | (6.9) | 284 | 87.7 | (8.1) | 357 | 87.8 | (8.2) | 364 | 87.1 | (7.4) |
| 特養/合計 | 36 | 85.3 | (8.5) | 94 | 86.5 | (7.6) | 219 | 87.2 | (7.9) | 319 | 86.8 | (8.5) | 353 | 86.0 | (8.3) |
| 男性 | 7 | 83.7 | (9.1) | 23 | 79.7 | (7.6) | 49 | 83.0 | (8.5) | 62 | 80.2 | (9.5) | 67 | 80.8 | (9.3) |
| 女性 | 29 | 85.7 | (8.5) | 71 | 88.7 | (6.2) | 170 | 88.4 | (7.4) | 257 | 88.4 | (7.4) | 286 | 87.3 | (7.5) |
| 老健/合計 | 68 | 82.2 | (8.7) | 141 | 83.9 | (9.2) | 170 | 83.9 | (10.0) | 133 | 85.3 | (9.5) | 113 | 85.6 | (7.4) |
| 男性 | 21 | 74.7 | (9.2) | 41 | 77.2 | (10.1) | 56 | 78.4 | (10.0) | 33 | 83.0 | (8.9) | 35 | 83.7 | (8.0) |
| 女性 | 47 | 85.6 | (6.0) | 100 | 86.6 | (7.3) | 114 | 86.6 | (8.9) | 100 | 86.1 | (9.6) | 78 | 86.5 | (7.0) |

表 7-7c.

| | 要介護1 n=104 | | 要介護2 n=235 | | 要介護3 n=389 | | 要介護4 n=452 | | 要介護5 n=466 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 義歯使用率 | | | | | | | | | | |
| 全体/合計 | 70 | (67.3) | 152 | (64.7) | 258 | (66.3) | 253 | (56.0) | 173 | (37.1) |
| 男性 | 17 | (60.7) | 35 | (54.7) | 51 | (48.6) | 51 | (53.7) | 41 | (40.2) |
| 女性 | 53 | (69.7) | 117 | (68.4) | 207 | (72.9) | 202 | (56.6) | 132 | (36.3) |
| 特養/合計 | 28 | (77.8) | 69 | (73.4) | 151 | (68.9) | 189 | (59.2) | 123 | (34.8) |
| 男性 | 6 | (85.7) | 17 | (73.9) | 24 | (49.0) | 34 | (54.8) | 23 | (34.3) |
| 女性 | 22 | (75.9) | 52 | (73.2) | 127 | (74.7) | 155 | (60.3) | 100 | (35.0) |
| 老健/合計 | 42 | (61.8) | 83 | (58.9) | 107 | (62.9) | 64 | (48.1) | 50 | (44.2) |
| 男性 | 11 | (52.4) | 18 | (43.9) | 27 | (48.2) | 17 | (51.5) | 18 | (51.4) |
| 女性 | 31 | (66.0) | 65 | (65.0) | 80 | (70.2) | 47 | (47.0) | 32 | (41.0) |

### 8) 摂食方法・食事時間・食べる姿勢

「食事時間」は、「15 分程度」「30 分程度」を合わせて特養 75.7%、老健 85.1%であり、「45 分程度」「1 時間程度」を合わせて特養 22.2%、老健 13.8%であった。

「食事の自力摂取（自助具の使用を含めて）」は、特養 60.7%、老健 78.1%、「部分介助・全面介助」は特養 36.0%、老健 20.6%であった。

「食べる姿勢」では、「挙上（ギャッチアップ、0～15°、30～45°、45～90°）」を要するものは、特養 14.5%、老健 4.7%であった（表 7-8）。

要介護度の重度化に伴って、「部分介助・全面介助」は特養の要介護 4 では 27.9%、要介

表 7-8.

| | 特養 n=1021 | | 老健 n=625 | | 合計 n=1646 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 食事時間 | | | | | | |
| 15分程度 | 287 | (28.1) | 176 | (28.2) | 463 | (28.1) |
| 30分程度 | 486 | (47.6) | 356 | (57.0) | 842 | (51.2) |
| 45分程度 | 180 | (17.6) | 82 | (13.1) | 262 | (15.9) |
| 1時間以上 | 47 | (4.6) | 4 | (0.6) | 51 | (3.1) |
| (不明) | 21 | (2.1) | 7 | (1.1) | 28 | (1.7) |
| 摂食方法 | | | | | | |
| 自力摂取(はし/スプーン) | 559 | (54.8) | 457 | (73.1) | 1016 | (61.7) |
| 自力摂取(自助具) | 60 | (5.9) | 31 | (5.0) | 91 | (5.5) |
| 部分介助・全面介助 | 368 | (36.0) | 129 | (20.6) | 497 | (30.2) |
| (不明) | 34 | (3.3) | 8 | (1.3) | 42 | (2.6) |
| 食べる姿勢 | | | | | | |
| 座位 | 860 | (84.2) | 589 | (94.2) | 1449 | (88.0) |
| 60～90° 挙上 | 102 | (10.0) | 26 | (4.2) | 128 | (7.8) |
| 30～45° 挙上 | 45 | (4.4) | 3 | (0.5) | 48 | (2.9) |
| 0～15° 挙上 | 1 | (0.1) | 0 | (0.0) | 1 | (0.1) |
| (不明) | 13 | (1.3) | 7 | (1.1) | 20 | (1.2) |

護５では 73.1%、老健の要介護４では 26.3%、要介護５では 59.3%、「食べる姿勢」は「挙上」が特養の要介護５では 28.6%、老健の要介護５では 19.5%、「食事時間」では、「45 分以上」は特養では要介護４では 24.4%、要介護５では 28.6%、老健では要介護４では 21.6%、要介護５では 29.2%であった（別表）。

### 9）経口移行、経口維持加算Ⅰ、Ⅱ、看取り・ターミナル加算及び療養食加算の取得、看取りのための計画作成

「経口移行加算」の取得は特養及び老健において１％未満、「経口維持加算Ⅰ」は特養 2.1%、老健 0%、「経口維持加算Ⅱ」は老健、特養ともに 5%前後と少数であった。「看取り加算」は特養 1.4%、「ターミナル加算」は老健 0.5%が取得していた。なお、「看取りのための計画作成をしている」は、特養 4.1%、老健 0.5%であった（表 7-9）。また、これらの加算取得は要介護３、４、５の利用者でおこなわれていた(別表)。

「療養食加算」は、特養利用者の 24.8%、老健利用者の 39.9%が利用し、「糖尿病食」「腎臓病食」「脂質異常症食」の順で多かった。なお、「療養食加算」の取得状況には要介護度による取得状況への影響は殆どみられなかった(別表)。

## ⑵低栄養状態のリスクレベルとその状況、食事について

### 1）低栄養状態、経腸栄養法、静脈栄養法の利用、褥瘡

「低栄養状態のリスクレベル」は、栄養マネジメント加算取得における区分により、特養では「低リスク」42.0%、「中リスク」45.0%、「高リスク」11.6%、老健では「低リスク」47.7%、「中リスク」43.2%、「高リスク」8.8%であった。「中リスク」と「高リスク」を合

表 7-9.

| | 特養 n=1021 | | 老健 n=625 | | 合計 n=1646 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 現在の加算取得 | | | | | | |
| 経口移行加算 | 1 | (0.1) | 3 | (0.5) | 4 | (0.2) |
| 経口維持加算Ⅰ | 21 | (2.1) | 0 | (0.0) | 21 | (1.3) |
| 経口維持加算Ⅱ | 55 | (5.4) | 30 | (4.8) | 85 | (5.2) |
| 看取り加算 | 14 | (1.4) | 0 | (0.0) | 14 | (0.9) |
| ターミナル加算 | 0 | (0.0) | 3 | (0.5) | 3 | (0.2) |
| 療養食加算 | 249 | (24.8) | 247 | (39.9) | 496 | (30.5) |
| 糖尿病食 | 117 | (11.5) | 99 | (15.8) | 216 | (13.1) |
| 腎臓病食 | 63 | (6.2) | 60 | (9.6) | 123 | (7.5) |
| 肝臓病食 | 2 | (0.2) | 8 | (1.3) | 10 | (0.6) |
| 胃潰瘍食 | 1 | (0.1) | 1 | (0.2) | 2 | (0.1) |
| 貧血食 | 13 | (1.3) | 22 | (3.5) | 35 | (2.1) |
| 膵臓病食 | 1 | (0.1) | 2 | (0.3) | 3 | (0.2) |
| 脂質異常症食 | 41 | (4.0) | 38 | (6.1) | 79 | (4.8) |
| 痛風食 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 検査食 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 看取りのための計画作成をしている | 42 | (4.1) | 3 | (0.5) | 45 | (2.7) |

わせて、特養の 56.5%、老健の 52.0%と半数以上に及んでいた（表 8-1-1、2）。

BMI は特養で平均 20.3（SD3.5）kg/m$^2$、老健で 20.1（SD3.4）kg/m$^2$ と差はなかった。「BMI が 18.5kg/m$^2$ 未満」は、特養 31.5%、老健 32.3%、1 か月あたりの体重減少は特養で平均 1.0（SD0.8）kg/月、老健で平均 1.3（SD1.5）kg/月、「3%以上の体重減少」が特養 18.2%、老健 10.6%であった。

「血清アルブミン値の測定」は特養の 82.5%、老健の 74.1%で実施されており、特養で平均 3.5（SD0.4）g/dl、老健で平均 3.6（SD0.4）g/dl、「血清アルブミン値 3.5g/dl 以下」は特養 48.9%、老健 39.7%、「3.0g／dl 以下」は特養 10.5%、老健 9.9%であった。

食事摂取量は特養で平均 89.8（SD15.2）%、老健で平均 92.5（SD14.5）%、食事摂取量 75%以下は特養 14.0%、老健 10.0%であった。

表 8-1-1.

| | 特養 n=1021 | | 老健 n=625 | | 合計 n=1646 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 低栄養状態のリスクレベル | | | | | | |
| 低リスク | 429 | (42.0) | 298 | (47.7) | 727 | (44.2) |
| 中リスク | 459 | (45.0) | 270 | (43.2) | 729 | (44.3) |
| 高リスク | 118 | (11.6) | 55 | (8.8) | 173 | (10.5) |
| （不明） | 15 | (1.5) | 2 | (0.3) | 17 | (1.0) |
| BMI 18.5kg/m2未満 | 322 | (31.5) | 202 | (32.3) | 524 | (31.8) |
| 3%以上の体重減少あり | 186 | (18.2) | 66 | (10.6) | 252 | (15.3) |
| 血清アルブミン測定値あり | 842 | (82.5) | 463 | (74.1) | 1305 | (79.3) |
| *1 3.0g/dl以下 | 88 | (10.5) | 46 | (9.9) | 134 | (10.3) |
| 3.1～3.5g/dl | 323 | (38.4) | 138 | (29.8) | 461 | (35.3) |
| 3.6～3.9g/dl | 314 | (37.3) | 173 | (37.4) | 487 | (37.3) |
| 4.0g/dl以上 | 117 | (13.9) | 106 | (22.9) | 223 | (17.1) |
| 褥瘡あり | 49 | (4.8) | 12 | (1.9) | 61 | (3.7) |
| 経腸栄養法 | 183 | (17.9) | 113 | (18.1) | 296 | (18.0) |
| 静脈栄養法 | 2 | (0.2) | 0 | (0.0) | 2 | (0.1) |
| 食事摂取量75%以下 | 138 | (14.0) | 62 | (10.0) | 200 | (12.4) |

*1:血清アルブミン測定値あり(特養n=842, 老健n=463, 全体n=1305)を分母に割合を算出

表 8-1-2.

| | 特養 n=1021 | | | 老健 n=625 | | | 合計 n=1646 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | n | mean | (SD) | n | mean | (SD) | n | mean | (SD) |
| 身長(cm) | 1021 | 147.2 | (9.1) | 625 | 150.1 | (9.8) | 1646 | 148.3 | (9.4) |
| 体重(kg) | 1021 | 44.1 | (8.9) | 625 | 45.4 | (9.2) | 1646 | 44.6 | (9.0) |
| BMI(kg/$m^2$) | 1021 | 20.3 | (3.5) | 625 | 20.1 | (3.4) | 1646 | 20.3 | (3.5) |
| 1か月あたりの体重減少(kg) | 183 | 1.0 | (0.8) | 62 | 1.3 | (1.5) | 245 | 1.1 | (1.1) |
| 血清アルブミン値(g/dl) | 842 | 3.5 | (0.4) | 463 | 3.6 | (0.4) | 1305 | 3.6 | (0.4) |
| 食事摂取量（全体%） | 985 | 89.8 | (15.2) | 622 | 92.5 | (14.5) | 1607 | 90.8 | (15.0) |
| （主食%） | 983 | 91.4 | (15.5) | 622 | 94.3 | (14.1) | 1605 | 92.5 | (15.0) |
| （主菜%） | 981 | 88.9 | (17.1) | 622 | 91.3 | (16.5) | 1603 | 89.8 | (16.9) |
| （副菜%） | 980 | 88.3 | (17.8) | 622 | 91.1 | (16.5) | 1602 | 89.4 | (17.3) |

褥瘡は特養 4.8%、老健 1.9%にみられた。

「経腸栄養法」は、特養 17.9%、老健 18.1%、「静脈栄養法」は特養 0.2%、老健 0%と殆どみられなかった。

要介護度が重度になるほど、特養では、「中リスク」「高リスク」合わせた割合は、要介護３では 42.5%、要介護４では 59.3%、要介護５では 70.5%にまで増大し、「BMI18.5 未満」は、要介護３では 23.3%、要介護４では 31.3%、要介護５では 42.5%、「血清アルブミン値 3.5g/dl 以下」は、要介護３では 39.2%、要介護４では 53.1%、要介護５では 58.1%、「血清アルブミン値 3.0g/dl 以下」は、要介護３では 3.3%、要介護４では 10.4%、要介護５では 16.8%、「褥瘡」は、要介護３では 2.8%、要介護４では 5.0%、要介護５では 7.4%、「経腸栄養法」は要介護５では 24.1%であった。「食事摂取量 75%以下」及び「３%以上の体重減少」は要介護度による差はみられなかった（別表)。

一方、老健では、「中リスク者」「高リスク者」を合わせて、要介護３では 48.9%、要介護４では 58.6%、要介護５では 64.6%にまで増大し、「BMI18.5 未満」は、要介護３では 27.1%、要介護４では 34.6%、要介護５では 44.2%、「血清アルブミン値 3.5g/dl 以下」は、要介護３では 39.5%、要介護４では 45.1%、要介護５では 46.6%、「血清アルブミン値 3.0g/dl 以下」は、要介護３では 5.9%、要介護４では 14.7%、要介護５では 14.0%、「褥瘡」は、要介護３では 1.8%、要介護４では 0%、要介護５では 6.2%、「経腸栄養法」は要介護５では 23.0%であった。「食事摂取量 75%以下」は要介護５では 19.1%であり、「３%以上の体重減少」は要介護度による差はみられなかった（別表)。

**2) 食事形態**（日本摂食嚥下リハビリテーション学会による嚥下調整食基準コードによる）

「嚥下調整食」は、特養では「主食」55.6%、「副食」53.9%、老健では「主食」56.6%、「副食」49.9%と約半数で提供され、日本摂食嚥下リハビリテーション学会による嚥下調整食基準コード（調査票参照のこと）の有効記載は全体の 98.7%であった（表 8-2)。

「主食の嚥下調整食」は、「コード４」（軟飯、全粥など）が特養 58.5%、老健 76.3%と

過半数であり、「コード 1J」（おもゆゼリー、ミキサー粥のゼリーなど）が特養 13.0%、老健 9.9%、「コード 3」（離水に配慮した粥）が特養 12.1%、老健 6.5%、次いで「コード 2A」（粒がなく付着性の低いペースト状のおもゆや粥）が特養 10.4%、老健 6.5%であった。

「副食の嚥下調整食」は、「コード 4」が特養 31.8%、老健 53.8%、次いで「コード 3」が特養 31.5%、老健 13.5%、「コード 2A」が特養 15.8%、老健 14.7%であった。

「とろみ剤」の使用者は特養 28.7%、老健 24.6%、日本摂食嚥下リハビリテーション学会による嚥下調整食基準のとろみ剤濃度の 3 段階の有効記載は全体の 98.0%であり、特養は「うすい」31.7%、「中間」40.6%、「濃い」24.9%、老健は「うすい」19.5%、「中間」66.2%、「濃い」老健 13.6%であった。

「嚥下調整食」は、要介護度の重度化に伴いその割合が増大し、「主食」については、特養では、要介護 4 では 53.6%、要介護度 5 では 75.9%、老健では要介護 4 では 63.9%、要介護度 5 では 80.5%であり、「副食」についても、特養では要介護 4 では 52.4%、要介護 5 では 73.9%、老健では、要介護 4 では 54.9%、要介護 5 では 75.2%であった(別表)。

表 8-2.

| | 特養 n=1021 | | 老健 n=625 | | 合計 n=1646 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 食事形態-主食 | | | | | | |
| 常食 | 411 | (40.3) | 267 | (42.7) | 678 | (41.2) |
| 嚥下調整食 | 568 | (55.6) | 354 | (56.6) | 922 | (56.0) |
| （不明） | 42 | (4.1) | 4 | (0.6) | 46 | (2.8) |
| *1 嚥下調整食基準（主食） | | | | | | |
| 0J 重度者向け | 1 | (0.2) | 1 | (0.3) | 2 | (0.2) |
| 0T | 2 | (0.4) | 0 | (0.0) | 2 | (0.2) |
| 1J | 74 | (13.0) | 35 | (9.9) | 109 | (11.8) |
| 2A | 59 | (10.4) | 23 | (6.5) | 82 | (8.9) |
| 2B | 19 | (3.3) | 2 | (0.6) | 21 | (2.3) |
| 3 | 69 | (12.1) | 23 | (6.5) | 92 | (10.0) |
| 4 | 332 | (58.5) | 270 | (76.3) | 602 | (65.3) |
| （不明） | 12 | (2.1) | 0 | (0.0) | 12 | (1.3) |
| 食事形態-副食 | | | | | | |
| 常食 | 418 | (40.9) | 308 | (49.3) | 726 | (44.1) |
| 嚥下調整食 | 550 | (53.9) | 312 | (49.9) | 862 | (52.4) |
| （不明） | 53 | (5.2) | 5 | (0.8) | 58 | (3.5) |
| *2 嚥下調整食基準（副食） | | | | | | |
| 0J 重度者向け | 1 | (0.2) | 0 | (0.0) | 1 | (0.1) |
| 0T | 2 | (0.4) | 0 | (0.0) | 2 | (0.2) |
| 1J | 54 | (9.8) | 28 | (9.0) | 82 | (9.5) |
| 2A | 87 | (15.8) | 46 | (14.7) | 133 | (15.4) |
| 2B | 39 | (7.1) | 18 | (5.8) | 57 | (6.6) |
| 3 | 173 | (31.5) | 42 | (13.5) | 215 | (24.9) |
| 4 | 175 | (31.8) | 168 | (53.8) | 343 | (39.8) |
| （不明） | 19 | (3.5) | 10 | (3.2) | 29 | (3.4) |
| とろみ剤の使用 | 293 | (28.7) | 154 | (24.6) | 447 | (27.2) |
| *3 とろみ剤段階 | | | | | | |
| うすい | 93 | (31.7) | 30 | (19.5) | 123 | (27.5) |
| 中間 | 119 | (40.6) | 102 | (66.2) | 221 | (49.4) |
| 濃い | 73 | (24.9) | 21 | (13.6) | 94 | (21.0) |
| （不明） | 8 | (2.7) | 1 | (0.6) | 9 | (2.0) |

*1:食事形態-主食-嚥下調整食(特養n=568, 老健n=354, 全体n=922)を分母に割合を算出
*2:食事形態-副食-嚥下調整食(特養n=550, 老健n=312, 全体n=862)を分母に割合を算出
*3:とろみ剤の使用(特養n=293, 老健n=154, 全体n=447)を分母に割合を算出

特養では、「主食」については、要介護４では「コード４」67.3%、「コード3」11.1%、「コード１J」7.6%、要介護５では「コード４」43.3%、「コード１J」22.0%、「コード２A」17.2%、「コード３」11.9%、「副食」については、要介護４では「コード４」38.3%、「コード 3」35.9%、要介護５では「コード３」28.4%、「コード２A」27.2%、「コード４」17.6%、「コード１J」14.2%と多様なコードが活用されていた（別表)。

老健では、「主食」については、要介護４では「コード４」74.1%、「コード１」12.9%、「コード３」9.4%、要介護５では「コード４」53.8%、「コード１J」20.9%、「コード 2A」15.4%、「コード３」7.7%、「副食」については、要介護４では「コード４」54.8%、「コード３」13.7%、要介護５では「コード４」及び「コード１J」が 29.4%、「コード 2B」「コード 1J」が 11.8%であった（別表)。

「とろみ剤」の使用は、特養においては、要介護４が 24.5%（そのうち「中間」と「濃い」が 48.8%)、要介護５が 53.5%（そのうち「中間」と「濃い」が 77.6%)、老健においては、要介護４が 30.1%（そのうち「中間」と「濃い」が 80.0%)、要介護５が 61.1.％（そのうち「中間」と「濃い」が 82.6%）であった（別表)。

### (3)摂食・嚥下障害リスクとケア計画について

#### 1) 担当専門職

「摂食・嚥下障害リスクとケア計画」のチェックを担当した職種は、特養では、「管理栄養士」78.1%、「介護福祉士」60.6%、「介護士」36.1%、「看護師」25.6%、「歯科衛生士」19.8%、「准看護師」19.4%、「栄養士」12.2%、「歯科医師」10.9%、「医師」9.0%、「作業療法士」3.9%、「言語聴覚士」0.1%、「理学療法士」0%であった（表 9-1)。

老健では、「管理栄養士」78.6%、「介護福祉士」57.6%、「看護師」32.8%、「准看護師」31.5%、「医師」30.2%、「言語聴覚士」25.9%、「歯科衛生士」24.6%、「作業療法士」23.0%、「理学療法士」16.2%、「歯科医師」15.2%、「栄養士」8.3%であった。

表 9-1.

| | 特養 n=1021 | | 老健 n=625 | | 合計 n=1646 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 担当職種−摂食・嚥下リスクとケア計画 | | | | | | |
| 管理栄養士 | 797 | (78.1) | 491 | (78.6) | 1288 | (78.3) |
| 栄養士 | 125 | (12.2) | 52 | (8.3) | 177 | (10.8) |
| 医師 | 92 | (9.0) | 189 | (30.2) | 281 | (17.1) |
| 歯科医師 | 111 | (10.9) | 95 | (15.2) | 206 | (12.5) |
| 看護師 | 261 | (25.6) | 205 | (32.8) | 466 | (28.3) |
| 准看護師 | 198 | (19.4) | 197 | (31.5) | 395 | (24.0) |
| 介護福祉士 | 619 | (60.6) | 360 | (57.6) | 979 | (59.5) |
| 介護士 | 369 | (36.1) | 200 | (32.0) | 569 | (34.6) |
| 作業療法士 | 40 | (3.9) | 144 | (23.0) | 184 | (11.2) |
| 理学療法士 | 0 | (0.0) | 101 | (16.2) | 101 | (6.1) |
| 言語聴覚士 | 1 | (0.1) | 162 | (25.9) | 163 | (9.9) |
| 歯科衛生士 | 202 | (19.8) | 154 | (24.6) | 356 | (21.6) |

**2）摂食・嚥下障害リスクとケア計画（この 3 か月の間の食事中の症状と対応して実施するケア計画）**（文責　鎌倉やよい）

**合計点**

「摂食・嚥下障害リスク」得点は、特養では平均 9.1（SD10.3）点、要介護 1 では平均 2.0（SD3.9）、要介護 2 では平均 2.1（SD3.6）要介護 3 が平均 5.1（SD6.8）点、要介護 4 は平均 7.7（SD8.7）点、要介護 5 は平均 15.4（SD11.6）点と要介護度の重度化にともなって高得点となった（表 9-2-1-a）。老健でも同様に平均 6.0（SD9.3）点、要介護 1 では平均 1.3（SD3.4）、要介護 2 では平均 2.2（SD4.4）、要介護 3 では平均 3.6（SD6.1）、要介護 4 では平均 7.8（SD9.5）点、要介護 5 では平均 15.0（SD12.9）点と同様に要介護度の重度化に伴って高得点となっていた（別表）。

**「噛むことが困難である」、「堅い食べ物を避け、軟らかい食べ物ばかり食べる」**

これらの質問は、口腔の咀嚼機能を把握する項目である。「噛むことが困難である」は、「いつもある」、「時々ある」、「まれにある」を合わせて特養 41.6%、老健 30.4%、「硬い食べ物を避け、軟らかい食べ物ばかり食べる」は、「いつもある」、「時々ある」、「まれにある」を合わせて特養 47.3%、老健 32.3%であった（表 9-2-1）。これらの諸症状（いずれかがあるもの）に対応して実施したケア計画（複数回答）は、「口腔ケア」が特養 57.2%、老健 53.0%、「食形態変更」が特養 48.7%、老健 67.6%、「義歯管理」が特養 24.1%、老健 29.6%、「歯科受診」が特養 19.6%、老健 27.1%であった。いずれかの症状があるもののうち「主食を嚥下調整食」にしているものは特養 42.1%、老健 61.5%、「副食を嚥下調整食」にしているものは特養 42.8%、老健 60.7%、「とろみ剤の使用」は特養 24.3%、老健 30.4%であった。

**口から食べ物がこぼれる」、「ことばが明瞭でない」**

これらの質問は、口唇及び舌の機能を把握する項目である。「口から食べ物がこぼれる」は、「いつもある」、「時々ある」、「まれにある」を合わせて特養 31.6%、老健 18.4%、「ことばが明瞭でない」は、「いつもある」、「時々ある」、「まれにある」を合わせて特養 36.8%、老健 24.0%であった（表 9-2-2）。これらの諸症状（いずれかがあるもの）に対応して実施したケア計画（複数回答）は、「食形態変更」が特養 31.5%、老健 62.0%、「話す機会をつくる」が特養 39.6%、老健 30.2%、「食事前のアイスマッサージ」が特養 4.5%、老健 1.1%であった。いずれかの症状があるもののうち「主食を嚥下調整食」にしているものは特養 25.7%、老健 58.1%、「副食を嚥下調整食」にしているものは特養 27.4%、老健 56.4%、「とろみ剤」の使用は特養 27.0%、老健 41.9%であった。

表 9-2-1a.

| | 特養 n=1021 | | | 老健 n=625 | | | 合計 n=1646 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | n | mean | (SD) | n | mean | (SD) | n | mean | (SD) |
| 摂食・嚥下障害リスク合計点 | 1021 | 9.1 | (10.3) | 625 | 6.0 | (9.3) | 1646 | 7.9 | (10.0) |

**「食べ物をいつまでも飲み込まずに噛んでいる」、「食事中や食後に濁った声に変わる」、「食べるのが遅くなる」**

「食べ物をいつまでも飲み込まずに噛んでいる」は、舌による食物の送りこみ機能を把握する項目であり、「いつもある」、「時々ある」、「まれにある」を合わせて特養 25.2%、老健 13.6%であった。「食事中や食後に濁った声に変わる」は、食残渣や唾液が喉頭前庭に残留しているために湿性音に変化することを把握する項目であり、誤嚥のリスクが高いことを表している。「いつもある」、「時々ある」、「まれにある」を合わせて特養 11.4%、老健 8.6%、「食べるのが遅くなる」は、「いつもある」、「時々ある」、「まれにある」を合わせて特養 35.0%、老健 20.2%であった（表 9-2-3）。これらの諸症状（いずれかがあるもの）に対応して実施したケア計画（複数回答）は、「食形態変更」が特養 40.0%、老健 64.8%、「顎を軽く引いて嚥下を促す」が特養 14.7%、老健 17.6%、「空嚥下を行う」が特養 3.0%、老健 6.3%であった。いずれかの症状があるもののうち「主食を嚥下調整食」にしているものは特養 34.4%、老健 60.4%、「副食を嚥下調整食」にしているものは特養 36.0%、老健 57.2%、「とろみ剤の使用」は特養 22.8%、老健 40.3%であった。

**水分や食べ物が口に入った途端にむせたり、せきこんだりする**

「水分や食べ物が口に入った途端にむせたり、せきこんだりする」は、舌で水を口腔内に維持することができず、嚥下しようとする前に咽頭流入をきたしていることを把握する項目であり、嚥下前誤嚥を表している。「いつもある」、「時々ある」、「まれにある」を合わせて特養 26.1%、老健 12.0%であった（表 9-2-4）。この諸症状に対応して実施したケア計画（複数回答）は、「頭位・体位の調整」が特養 42.1%、老健 42.7%、「食形態変更」が特養 41.0%、老健 58.7%、「増粘剤の使用」が特養 27.4%、老健 20.0%、「食事前のアイスマッサージ」が特養 6.0%、老健 0%であった。症状があるもののうち「主食を嚥下調整食」にしているものは特養 32.0%、老健 53.3%、「副食を嚥下調整食」にしているものは特養 33.5%、老健 57.3%、「とろみ剤の使用」は特養 33.5%、老健 44.0%であった。

**水分や食べ物を飲み込むときにむせたり、せきこんだりする**

「水分や食べ物を飲み込むときにむせたり、せきこんだりする」は、嚥下中誤嚥を示す症状であり、「いつもある」、「時々ある」、「まれにある」を合わせて特養 35.3%、老健 19.7%であった（表 9-2-5）。この諸症状に対応して実施したケア計画（複数回答）は、「食形態変更」が特養 43.6%、老健 64.2%、「頭位・体位の調整」が特養 35.6%、老健 35.0%、「増粘剤の使用」が特養 26.7%、老健 22.8%であった。症状があるもののうち「主食を嚥下調整食」にしているものは特養 35.3%、老健 58.5%、「副食を嚥下調整食」にしているものは特養 35.0%、老健 58.5%、「とろみ剤の使用」は特養 33.3%、老健 49.6%であった。

**水分や食べ物を飲み込んだ後にむせたり、せきこんだりする**

「水分や食べ物を飲み込んだ後にむせたり、せきこんだりする」ものは、「いつもある」、「時々ある」、「まれにある」を合わせて特養 38.0%、老健 21.6%であった（表 9-2-6）。この諸症状に対応して実施したケア計画（複数回答）は、「食形態変更」が特養 42.5%、老健

74.8%、「食物と液体を交互に嚥下」が特養 25.5%、老健 21.5%であった。症状があるもののうち「主食を嚥下調整食」にしているものは特養 34.8%、老健 68.9%、「副食を嚥下調整食」にしているものは特養 35.3%、老健 68.1%、「とろみ剤の使用」は特養 32.5%、老健 60.7%であった。

**水分を飲み込むときにむせる、ご飯を飲み込むときにむせる**

「水分を飲み込むときにむせる」は、「いつもある」、「時々ある」、「まれにある」を合わせて特養 34.4%、老健 22.2%、「ご飯を飲み込むときにむせる」は、「いつもある」、「時々ある」、「まれにある」を合わせて特養 26.3%、老健 13.8%であった（表 9-2-7）。これらの諸症状（いずれかがあるもの）に対応して実施したケア計画（複数回答）は、「食形態変更」が特養 40.1%、老健 73.4%、「頭位・体位の調整」が特養 35.0%、老健 39.2%、「増粘剤の使用」が特養 32.9%、老健 40.6%であった。いずれかの症状があるもののうち「主食を嚥下調整食」にしているものは特養 32.6%、老健 66.4%、「副食を嚥下調整食」にしているものは特養 33.2%、老健 65.0%、「とろみ剤の使用」は特養 35.3%、老健 59.4%であった。

**「口に水をふくむことができない」、「口に水をふくむことはできるが口からこぼれる」、「口に水をふくむことはできるが口内にためておけない」**

「口に水をふくむことができない」は、「いつもある」、「時々ある」、「まれにある」を合わせて特養 17.7%、老健 10.1%、「口に水をふくむことはできるが口からこぼれる」は、「いつもある」、「時々ある」、「まれにある」を合わせて特養 25.2%、老健 14.6%、「口に水をふくむことはできるが口内にためておけない」は、「いつもある」、「時々ある」、「まれにある」を合わせて特養 22.2%、老健 14.7%であった（表 9-2-8）。これらの諸症状（いずれかがあるもの）に対応して実施したケア計画（複数回答）は、「食形態変更」が特養 37.1%、老健 64.6%、「増粘剤の使用」が特養 38.4%、老健 41.6%、「体位の調整」が特養 32.2%、老健 47.8%であった。いずれかの症状があるもののうち「主食を嚥下調整食」にしているものは特養 30.9%、老健 59.3%、「副食を嚥下調整食」にしているものは特養 32.6%、老健 60.2%、「とろみ剤の使用」は特養 39.4%、老健 58.4%であった。

表 9-2-1.

| | | 特養 n=1021 n | (%) | 老健 n=625 n | (%) | 合計 n=1646 n | (%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 食事中にあらわれる諸症状（摂食・嚥下障害リスク） | | | | | | | |
| 1.噛むことが困難である | | | | | | | |
| | ほとんどない | 559 | (54.8) | 433 | (69.3) | 992 | (60.3) |
| | まれにある | 108 | (10.6) | 39 | (6.2) | 147 | (8.9) |
| | 時々ある | 106 | (10.4) | 52 | (8.3) | 158 | (9.6) |
| | いつもある | 211 | (20.7) | 99 | (15.8) | 310 | (18.8) |
| | （不明） | 37 | (3.6) | 2 | (0.3) | 39 | (2.4) |
| 2.硬い食べ物を避け、軟らかい食べ物ばかり食べる | | | | | | | |
| | ほとんどない | 496 | (48.6) | 421 | (67.4) | 917 | (55.7) |
| | まれにある | 125 | (12.2) | 37 | (5.9) | 162 | (9.8) |
| | 時々ある | 117 | (11.5) | 41 | (6.6) | 158 | (9.6) |
| | いつもある | 241 | (23.6) | 124 | (19.8) | 365 | (22.2) |
| | （不明） | 42 | (4.1) | 2 | (0.3) | 44 | (2.7) |
| *上記1,2の諸症状いずれかあり* | | *556* | *(54.5)* | *247* | *(39.5)* | *803* | *(48.8)* |
| 上記1,2の諸症状に対応して実施したケア計画（複数回答） | | | | | | | |
| *1,†1 | 1.2-口腔ケア | 318 | (57.2) | 131 | (53.0) | 449 | (55.9) |
| *1,†2 | 1.2-歯科受診 | 109 | (19.6) | 67 | (27.1) | 176 | (21.9) |
| *1,†3 | 1.2-義歯管理 | 134 | (24.1) | 73 | (29.6) | 207 | (25.8) |
| *1,†4 | 1.2-食形態変更 | 271 | (48.7) | 167 | (67.6) | 438 | (54.5) |
| *1 | 1.2-主食 | | | | | | |
| | 常食 | 27 | (4.9) | 11 | (4.5) | 38 | (4.7) |
| | 嚥下調整食 | 234 | (42.1) | 152 | (61.5) | 386 | (48.1) |
| | （不明） | 295 | (53.1) | 84 | (34.0) | 379 | (47.2) |
| *2 | 1.2-主食-嚥下調整食 | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 1 | (0.3) |
| | 0T | 1 | (0.4) | 0 | (0.0) | 1 | (0.3) |
| | 1J | 22 | (9.4) | 23 | (15.1) | 45 | (11.7) |
| | 2A | 38 | (16.2) | 14 | (9.2) | 52 | (13.5) |
| | 2B | 7 | (3.0) | 3 | (2.0) | 10 | (2.6) |
| | 3 | 31 | (13.2) | 8 | (5.3) | 39 | (10.1) |
| | 4 | 124 | (53.0) | 102 | (67.1) | 226 | (58.5) |
| | （不明） | 11 | (4.7) | 1 | (0.7) | 12 | (3.1) |
| *1 | 1.2-副食 | | | | | | |
| | 常食 | 26 | (4.7) | 19 | (7.7) | 45 | (5.6) |
| | 嚥下調整食 | 238 | (42.8) | 150 | (60.7) | 388 | (48.3) |
| | （不明） | 292 | (52.5) | 78 | (31.6) | 370 | (46.1) |
| *3 | 1.2-副食-嚥下調整食 | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| | 0T | 1 | (0.4) | 0 | (0.0) | 1 | (0.3) |
| | 1J | 19 | (8.0) | 22 | (14.7) | 41 | (10.6) |
| | 2A | 28 | (11.8) | 28 | (18.7) | 56 | (14.4) |
| | 2B | 15 | (6.3) | 8 | (5.3) | 23 | (5.9) |
| | 3 | 80 | (33.6) | 15 | (10.0) | 95 | (24.5) |
| | 4 | 68 | (28.6) | 74 | (49.3) | 142 | (36.6) |
| | （不明） | 27 | (11.3) | 3 | (2.0) | 30 | (7.7) |
| *1 | 1.2-とろみ剤の使用 | 135 | (24.3) | 75 | (30.4) | 210 | (26.2) |
| *4 | 1.2-とろみ剤段階 | | | | | | |
| | うすい | 40 | (29.6) | 10 | (13.3) | 50 | (23.8) |
| | 中間 | 60 | (44.4) | 43 | (57.3) | 103 | (49.0) |
| | 濃い | 27 | (20.0) | 22 | (29.3) | 49 | (23.3) |
| | （不明） | 8 | (5.9) | 0 | (0.0) | 8 | (3.8) |

*1:症状1,2いずれかまたは両方に「まれにある，時々ある，いつもある」と回答したもの(特養n=556，老健n=247，全体n=803)を分母に割合を算出

*2:主食-嚥下調整食と回答したもの(特養n=234，老健n=152，全体n=386)を分母に割合を算出

*3:副食-嚥下調整食と回答したもの(特養n=238，老健n=150，全体n=386)を分母に割合を算出

*4:とろみ剤を使用と回答したもの(特養n=135，老健n=75，全体n=210)を分母に割合を算出

†1:症状1,2いずれも「ほとんどない」と回答したもので「口腔ケア」を実施しているもの(特養n=61，老健n=118，全体n=179)は除く

†2:症状1,2いずれも「ほとんどない」と回答したもので「歯科受診」を実施しているもの(特養n=25，老健n=48，全体n=73)は除く

†3:症状1,2いずれも「ほとんどない」と回答したもので「義歯管理」を実施しているもの(特養n=26，老健n=57，全体n=83)は除く

†4:症状1,2いずれも「ほとんどない」と回答したもので「食形態変更」を実施しているもの(特養n=17，老健n=66，全体n=83)は除く

表 9-2-2.

| | | 特養 n=1021 | | 老健 n=625 | | 合計 n=1646 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 食事中にあらわれる諸症状(摂食・嚥下障害リスク) | | | | | | | |
| 3.口から食べ物がこぼれる | | | | | | | |
| | ほとんどない | 659 | (64.5) | 507 | (81.1) | 1166 | (70.8) |
| | まれにある | 97 | (9.5) | 29 | (4.6) | 126 | (7.7) |
| | 時々ある | 110 | (10.8) | 43 | (6.9) | 153 | (9.3) |
| | いつもある | 116 | (11.4) | 43 | (6.9) | 159 | (9.7) |
| | (不明) | 39 | (3.8) | 3 | (0.5) | 42 | (2.6) |
| 4.ことばが明瞭でない | | | | | | | |
| | ほとんどない | 609 | (59.6) | 472 | (75.5) | 1081 | (65.7) |
| | まれにある | 86 | (8.4) | 26 | (4.2) | 112 | (6.8) |
| | 時々ある | 77 | (7.5) | 34 | (5.4) | 111 | (6.7) |
| | いつもある | 213 | (20.9) | 90 | (14.4) | 303 | (18.4) |
| | (不明) | 36 | (3.5) | 3 | (0.5) | 39 | (2.4) |
| *上記3,4の諸症状いずれかあり* | | *467* | *(45.7)* | *179* | *(28.6)* | *646* | *(39.2)* |
| 上記3,4の諸症状に対応して実施したケア計画(複数回答) | | | | | | | |
| *1 | 3.4-食事前のアイスマッサージ | 21 | (4.5) | 2 | (1.1) | 23 | (3.6) |
| *1,†1 | 3.4-話す機会をつくる | 185 | (39.6) | 54 | (30.2) | 239 | (37.0) |
| *1,†2 | 3.4-食形態変更 | 147 | (31.5) | 111 | (62.0) | 258 | (39.9) |
| *1 | 3.4-主食 | | | | | | |
| | 常食 | 30 | (6.4) | 8 | (4.5) | 38 | (5.9) |
| | 嚥下調整食 | 120 | (25.7) | 104 | (58.1) | 224 | (34.7) |
| | (不明) | 317 | (67.9) | 67 | (37.4) | 384 | (59.4) |
| *2 | 3.4-主食-嚥下調整食 | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 1 | (1.0) | 1 | (0.4) |
| | 0T | 1 | (0.8) | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) |
| | 1J | 20 | (16.7) | 19 | (18.3) | 39 | (17.4) |
| | 2A | 30 | (25.0) | 11 | (10.6) | 41 | (18.3) |
| | 2B | 4 | (3.3) | 2 | (1.9) | 6 | (2.7) |
| | 3 | 20 | (16.7) | 5 | (4.8) | 25 | (11.2) |
| | 4 | 42 | (35.0) | 64 | (61.5) | 106 | (47.3) |
| | (不明) | 3 | (2.5) | 2 | (1.9) | 5 | (2.2) |
| *1 | 3.4-副食 | | | | | | |
| | 常食 | 23 | (4.9) | 9 | (5.0) | 32 | (5.0) |
| | 嚥下調整食 | 128 | (27.4) | 101 | (56.4) | 229 | (35.4) |
| | (不明) | 316 | (67.7) | 69 | (38.5) | 385 | (59.6) |
| *3 | 3.4-副食-嚥下調整食 | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| | 0T | 1 | (0.8) | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) |
| | 1J | 12 | (9.4) | 17 | (16.8) | 29 | (12.7) |
| | 2A | 26 | (20.3) | 23 | (22.8) | 49 | (21.4) |
| | 2B | 10 | (7.8) | 6 | (5.9) | 16 | (7.0) |
| | 3 | 32 | (25.0) | 17 | (16.8) | 49 | (21.4) |
| | 4 | 32 | (25.0) | 36 | (35.6) | 68 | (29.7) |
| | (不明) | 15 | (11.7) | 2 | (2.0) | 17 | (7.4) |
| *1 | 3.4-とろみ剤の使用 | 126 | (27.0) | 75 | (41.9) | 201 | (31.1) |
| *4 | 3.4-とろみ剤段階 | | | | | | |
| | うすい | 40 | (31.7) | 15 | (20.0) | 55 | (27.4) |
| | 中間 | 58 | (46.0) | 40 | (53.3) | 98 | (48.8) |
| | 濃い | 21 | (16.7) | 20 | (26.7) | 41 | (20.4) |
| | (不明) | 7 | (5.6) | 0 | (0.0) | 7 | (3.5) |

*1:症状3,4いずれかまたは両方に「まれにある, 時々ある, いつもある」と回答したもの(特養n=467, 老健n=179, 全体n=646)を分母に割合を算出

*2:主食-嚥下調整食と回答したもの(特養n=120, 老健n=104, 全体n=224)を分母に割合を算出

*3:副食-嚥下調整食と回答したもの(特養n=128, 老健n=101, 全体n=229)を分母に割合を算出

*4:とろみ剤を使用と回答したもの(特養n=126, 老健n=75, 全体n=201)を分母に割合を算出

†1:症状3,4いずれも「ほとんどない」と回答したもので「口腔ケア」を実施しているもの(特養n=34, 老健n=16, 全体n=50)は除く

†2:症状3,4いずれも「ほとんどない」と回答したもので「食形態変更」を実施しているもの(特養n=21, 老健n=78, 全体n=99)は除く

表 9-2-3.

| | 特養 n=1021 | | 老健 n=625 | | 合計 n=1646 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 食事中にあらわれる諸症状（摂食・嚥下障害リスク） | | | | | | |
| 5.食べ物をいつまでも飲み込まずに噛んでいる | | | | | | |
| ほとんどない | 726 | (71.1) | 537 | (85.9) | 1263 | (76.7) |
| まれにある | 100 | (9.8) | 17 | (2.7) | 117 | (7.1) |
| 時々ある | 94 | (9.2) | 39 | (6.2) | 133 | (8.1) |
| いつもある | 63 | (6.2) | 29 | (4.6) | 92 | (5.6) |
| （不明） | 38 | (3.7) | 3 | (0.5) | 41 | (2.5) |
| 6.食事中や食後に濁った声に変わる | | | | | | |
| ほとんどない | 867 | (84.9) | 568 | (90.9) | 1435 | (87.2) |
| まれにある | 61 | (6.0) | 22 | (3.5) | 83 | (5.0) |
| 時々ある | 39 | (3.8) | 21 | (3.4) | 60 | (3.6) |
| いつもある | 16 | (1.6) | 11 | (1.8) | 27 | (1.6) |
| （不明） | 38 | (3.7) | 3 | (0.5) | 41 | (2.5) |
| 7.食べるのが遅くなる | | | | | | |
| ほとんどない | 621 | (60.8) | 496 | (79.4) | 1117 | (67.9) |
| まれにある | 90 | (8.8) | 15 | (2.4) | 105 | (6.4) |
| 時々ある | 137 | (13.4) | 44 | (7.0) | 181 | (11.0) |
| いつもある | 130 | (12.7) | 67 | (10.7) | 197 | (12.0) |
| （不明） | 43 | (4.2) | 3 | (0.5) | 46 | (2.8) |
| *上記5,6,7の諸症状いずれかあり* | *430* | *(42.1)* | *159* | *(25.4)* | *589* | *(35.8)* |
| 上記5,6,7の諸症状に対応して実施したケア計画（複数回答） | | | | | | |
| *1,†1 5.6.7-顎を軽く引いて嚥下を促す | 63 | (14.7) | 28 | (17.6) | 91 | (15.4) |
| *1,†2 5.6.7-空嚥下を行う | 13 | (3.0) | 10 | (6.3) | 23 | (3.9) |
| *1,†3 5.6.7-食形態変更 | 172 | (40.0) | 103 | (64.8) | 275 | (46.7) |
| *1 5.6.7-主食 | | | | | | |
| 常食 | 22 | (5.1) | 5 | (3.1) | 27 | (4.6) |
| 嚥下調整食 | 148 | (34.4) | 96 | (60.4) | 244 | (41.4) |
| （不明） | 260 | (60.5) | 58 | (36.5) | 318 | (54.0) |
| *2 5.6.7-主食-嚥下調整食 | | | | | | |
| 0J | 0 | (0.0) | 1 | (1.0) | 1 | (0.4) |
| 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 1J | 17 | (11.5) | 15 | (15.6) | 32 | (13.1) |
| 2A | 33 | (22.3) | 11 | (11.5) | 44 | (18.0) |
| 2B | 3 | (2.0) | 1 | (1.0) | 4 | (1.6) |
| 3 | 21 | (14.2) | 6 | (6.3) | 27 | (11.1) |
| 4 | 68 | (45.9) | 61 | (63.5) | 129 | (52.9) |
| （不明） | 6 | (4.1) | 1 | (1.0) | 7 | (2.9) |
| *1 5.6.7-副食 | | | | | | |
| 常食 | 17 | (4.0) | 7 | (4.4) | 24 | (4.1) |
| 嚥下調整食 | 155 | (36.0) | 91 | (57.2) | 246 | (41.8) |
| （不明） | 258 | (60.0) | 61 | (38.4) | 319 | (54.2) |
| *3 5.6.7-副食-嚥下調整食 | | | | | | |
| 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 1J | 13 | (8.4) | 18 | (19.8) | 31 | (12.6) |
| 2A | 23 | (14.8) | 17 | (18.7) | 40 | (16.3) |
| 2B | 10 | (6.5) | 6 | (6.6) | 16 | (6.5) |
| 3 | 46 | (29.7) | 10 | (11.0) | 56 | (22.8) |
| 4 | 43 | (27.7) | 37 | (40.7) | 80 | (32.5) |
| （不明） | 20 | (12.9) | 3 | (3.3) | 23 | (9.3) |
| *1 5,6,7-とろみ剤の使用 | 98 | (22.8) | 64 | (40.3) | 162 | (27.5) |
| *4 5.6.7-とろみ剤段階 | | | | | | |
| うすい | 28 | (28.6) | 14 | (21.9) | 42 | (25.9) |
| 中間 | 50 | (51.0) | 33 | (51.6) | 83 | (51.2) |
| 濃い | 16 | (16.3) | 17 | (26.6) | 33 | (20.4) |
| （不明） | 4 | (4.1) | 0 | (0.0) | 4 | (2.5) |

*1:症状5,6,7いずれか一つ以上に「まれにある, 時々ある, いつもある」と回答したもの(特養n=430, 老健n=159, 全体n=589)を分母に割合を算出

*2:主食-嚥下調整食と回答したもの(特養n=148, 老健n=96, 全体n=244)を分母に割合を算出

*3:副食-嚥下調整食と回答したもの(特養n=155, 老健n=91, 全体n=246)を分母に割合を算出

*4:とろみ剤を使用と回答したもの(特養n=98, 老健n=64, 全体n=162)を分母に割合を算出

†1:症状5,6,7いずれも「ほとんどない」と回答したもので「顎を軽く引いて嚥下を促す」を実施しているもの(特養n=4, 老健n=2, 全体n=6)は除く

†2:症状5,6,7いずれも「ほとんどない」と回答したもので「空嚥下を行う」を実施しているもの(特養n=0, 老健n=1, 全体n=1)は除く

†3:症状5,6,7いずれも「ほとんどない」と回答したもので「食形態変更」を実施しているもの(特養n=13, 老健n=75, 全体n=88)は除く

表 9-2-4.

| | | 特養 n=1021 | | 老健 n=625 | | 合計 n=1646 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 食事中にあらわれる諸症状(摂食・嚥下障害リスク) | | | | | | | |
| 8.水分や食べ物が口に入った途端にむせたり、せきこんだりする | | | | | | | |
| | ほとんどない | 718 | (70.3) | 548 | (87.7) | 1266 | (76.9) |
| | まれにある | 129 | (12.6) | 37 | (5.9) | 166 | (10.1) |
| | 時々ある | 108 | (10.6) | 27 | (4.3) | 135 | (8.2) |
| | いつもある | 29 | (2.8) | 11 | (1.8) | 40 | (2.4) |
| | (不明) | 37 | (3.6) | 2 | (0.3) | 39 | (2.4) |
| *上記8の諸症状あり* | | *266* | *(26.1)* | *75* | *(12.0)* | *341* | *(20.7)* |
| 上記8の諸症状に対応して実施したケア計画(複数回答) | | | | | | | |
| *1,†1 | 8-食事前のアイスマッサージ | 16 | (6.0) | 0 | (0.0) | 16 | (4.7) |
| *1,†2 | 8-頭位、体位の調整 | 112 | (42.1) | 32 | (42.7) | 144 | (42.2) |
| *1,†3 | 8-増粘剤の使用 | 73 | (27.4) | 15 | (20.0) | 88 | (25.8) |
| *1,†4 | 8-食形態変更 | 109 | (41.0) | 44 | (58.7) | 153 | (44.9) |
| *1 | 8-主食 | | | | | | |
| | 常食 | 10 | (3.8) | 6 | (8.0) | 16 | (4.7) |
| | 嚥下調整食 | 85 | (32.0) | 40 | (53.3) | 125 | (36.7) |
| | (不明) | 171 | (64.3) | 29 | (38.7) | 200 | (58.7) |
| *2 | 8-主食-嚥下調整食 | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 1 | (2.5) | 1 | (0.8) |
| | 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| | 1J | 15 | (17.6) | 5 | (12.5) | 20 | (16.0) |
| | 2A | 14 | (16.5) | 9 | (22.5) | 23 | (18.4) |
| | 2B | 2 | (2.4) | 0 | (0.0) | 2 | (1.6) |
| | 3 | 14 | (16.5) | 1 | (2.5) | 15 | (12.0) |
| | 4 | 37 | (43.5) | 24 | (60.0) | 61 | (48.8) |
| | (不明) | 3 | (3.5) | 0 | (0.0) | 3 | (2.4) |
| *1 | 8-副食 | | | | | | |
| | 常食 | 6 | (2.3) | 3 | (4.0) | 9 | (2.6) |
| | 嚥下調整食 | 89 | (33.5) | 43 | (57.3) | 132 | (38.7) |
| | (不明) | 171 | (64.3) | 29 | (38.7) | 200 | (58.7) |
| *3 | 8-副食-嚥下調整食 | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| | 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| | 1J | 9 | (10.1) | 8 | (18.6) | 17 | (12.9) |
| | 2A | 13 | (14.6) | 10 | (23.3) | 23 | (17.4) |
| | 2B | 6 | (6.7) | 2 | (4.7) | 8 | (6.1) |
| | 3 | 30 | (33.7) | 3 | (7.0) | 33 | (25.0) |
| | 4 | 20 | (22.5) | 20 | (46.5) | 40 | (30.3) |
| | (不明) | 11 | (12.4) | 0 | (0.0) | 11 | (8.3) |
| *1 | 8-とろみ剤の使用 | 89 | (33.5) | 33 | (44.0) | 122 | (35.8) |
| *4 | 8-とろみ剤段階 | | | | | | |
| | うすい | 26 | (29.2) | 5 | (15.2) | 31 | (25.4) |
| | 中間 | 43 | (48.3) | 14 | (42.4) | 57 | (46.7) |
| | 濃い | 18 | (20.2) | 14 | (42.4) | 32 | (26.2) |
| | (不明) | 2 | (2.2) | 0 | (0.0) | 2 | (1.6) |

*1:症状8に「まれにある, 時々ある, いつもある」と回答したもの(特養n=266, 老健n=75, 全体n=341)を分母に割合を算出

*2:主食-嚥下調整食と回答したもの(特養n=85, 老健n=40, 全体n=125)を分母に割合を算出

*3:副食-嚥下調整食と回答したもの(特養n=89, 老健n=43, 全体n=132)を分母に割合を算出

*4:とろみ剤を使用と回答したもの(特養n=89, 老健n=33, 全体n=122)を分母に割合を算出

†1:症状8「ほとんどない」と回答したもので「食事前のアイスマッサージ」を実施しているもの(特養n=1, 老健n=1, 全体n=2)は除く

†2:症状8「ほとんどない」と回答したもので「頭位・体位の調整」を実施しているもの(特養n=30, 老健n=10, 全体n=40)は除く

†3:症状8「ほとんどない」と回答したもので「増粘剤の使用」を実施しているもの(特養n=9, 老健n=12, 全体n=21)は除く

†4:症状8「ほとんどない」と回答したもので「食形態変更」を実施しているもの(特養n=30, 老健n=101, 全体n=131)は除く

表 9-2-5.

| | | 特養 n=1021 | | 老健 n=625 | | 合計 n=1646 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 食事中にあらわれる諸症状（摂食・嚥下障害リスク） | | | | | | | |
| 9.水分や食べ物を飲み込むときにむせたり、せきこんだりする | | | | | | | |
| | ほとんどない | 625 | (61.2) | 500 | (80.0) | 1125 | (68.3) |
| | まれにある | 162 | (15.9) | 50 | (8.0) | 212 | (12.9) |
| | 時々ある | 154 | (15.1) | 51 | (8.2) | 205 | (12.5) |
| | いつもある | 44 | (4.3) | 22 | (3.5) | 66 | (4.0) |
| | （不明） | 36 | (3.5) | 2 | (0.3) | 38 | (2.3) |
| *上記9の諸症状あり* | | *360* | *(35.3)* | *123* | *(19.7)* | *483* | *(29.3)* |
| 上記9の諸症状に対応して実施したケア計画（複数回答） | | | | | | | |
| *1,†1 | 9-頭位、体位の調整 | 128 | (35.6) | 43 | (35.0) | 171 | (35.4) |
| *1,†2 | 9-増粘剤の使用 | 96 | (26.7) | 28 | (22.8) | 124 | (25.7) |
| *1,†3 | 9-食形態変更 | 157 | (43.6) | 79 | (64.2) | 236 | (48.9) |
| *1 | 9-主食 | | | | | | |
| | 常食 | 13 | (3.6) | 7 | (5.7) | 20 | (4.1) |
| | 嚥下調整食 | 127 | (35.3) | 72 | (58.5) | 199 | (41.2) |
| | （不明） | 220 | (61.1) | 44 | (35.8) | 264 | (54.7) |
| *2 | 9-主食-嚥下調整食 | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 1 | (1.4) | 1 | (0.5) |
| | 0T | 1 | (0.8) | 0 | (0.0) | 1 | (0.5) |
| | 1J | 20 | (15.7) | 14 | (19.4) | 34 | (17.1) |
| | 2A | 21 | (16.5) | 12 | (16.7) | 33 | (16.6) |
| | 2B | 2 | (1.6) | 0 | (0.0) | 2 | (1.0) |
| | 3 | 21 | (16.5) | 4 | (5.6) | 25 | (12.6) |
| | 4 | 57 | (44.9) | 41 | (56.9) | 98 | (49.2) |
| | （不明） | 5 | (3.9) | 0 | (0.0) | 5 | (2.5) |
| *1 | 9-副食 | | | | | | |
| | 常食 | 11 | (3.1) | 6 | (4.9) | 17 | (3.5) |
| | 嚥下調整食 | 126 | (35.0) | 72 | (58.5) | 198 | (41.0) |
| | （不明） | 223 | (61.9) | 45 | (36.6) | 268 | (55.5) |
| *3 | 9-副食-嚥下調整食 | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| | 0T | 1 | (0.8) | 0 | (0.0) | 1 | (0.5) |
| | 1J | 12 | (9.5) | 15 | (20.8) | 27 | (13.6) |
| | 2A | 23 | (18.3) | 19 | (26.4) | 42 | (21.1) |
| | 2B | 8 | (6.3) | 3 | (4.2) | 11 | (5.5) |
| | 3 | 42 | (33.3) | 9 | (12.5) | 51 | (25.6) |
| | 4 | 25 | (19.8) | 26 | (36.1) | 51 | (25.6) |
| | （不明） | 15 | (11.9) | 0 | (0.0) | 15 | (7.5) |
| *1 | 9-とろみ剤の使用 | 120 | (33.3) | 61 | (49.6) | 181 | (37.5) |
| *4 | 9-とろみ剤段階 | | | | | | |
| | うすい | 37 | (30.8) | 11 | (18.0) | 48 | (26.5) |
| | 中間 | 55 | (45.8) | 31 | (50.8) | 86 | (47.5) |
| | 濃い | 24 | (20.0) | 19 | (31.1) | 43 | (23.8) |
| | （不明） | 4 | (3.3) | 0 | (0.0) | 4 | (2.2) |

*1:症状9に「まれにある，時々ある，いつもある」と回答したもの(特養n=360，老健n=123，全体n=483)を分母に割合を算出

*2:主食-嚥下調整食と回答したもの(特養n=127，老健n=72，全体n=199)を分母に割合を算出

*3:副食-嚥下調整食と回答したもの(特養n=126，老健n=72，全体n=198)を分母に割合を算出

*4:とろみ剤を使用と回答したもの(特養n=120，老健n=61，全体n=181)を分母に割合を算出

†1:症状9「ほとんどない」と回答したもので「頭位・体位の調整」を実施しているもの(特養n=20，老健n=4，全体n=25)は除く

†2:症状9「ほとんどない」と回答したもので「増粘剤の使用」を実施しているもの(特養n=3，老健n=4，全体n=7)は除く

†3:症状9「ほとんどない」と回答したもので「食形態変更」を実施しているもの(特養n=27，老健n=94，全体n=121)は除く

表 9-2-6.

| | | 特養 n=1021 | | 老健 n=625 | | 合計 n=1646 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 食事中にあらわれる諸症状（摂食・嚥下障害リスク） | | | | | | | |
| 10.水分や食べ物を飲み込んだ後にむせたり、せきこんだりする | | | | | | | |
| | ほとんどない | 597 | (58.5) | 488 | (78.1) | 1085 | (65.9) |
| | まれにある | 185 | (18.1) | 54 | (8.6) | 239 | (14.5) |
| | 時々ある | 156 | (15.3) | 60 | (9.6) | 216 | (13.1) |
| | いつもある | 47 | (4.6) | 21 | (3.4) | 68 | (4.1) |
| | （不明） | 36 | (3.5) | 2 | (0.3) | 38 | (2.3) |
| *上記10の諸症状あり* | | *388* | *(38.0)* | *135* | *(21.6)* | *523* | *(31.8)* |
| 上記10の諸症状に対応して実施したケア計画（複数回答） | | | | | | | |
| *1,†1 | 10-食物と液体を交互に嚥下 | 99 | (25.5) | 29 | (21.5) | 128 | (24.5) |
| | 10-Supraglottic Swallow | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| *1,†2 | 10-食形態変更 | 165 | (42.5) | 101 | (74.8) | 266 | (50.9) |
| *1 | 10-主食 | | | | | | |
| | 常食 | 15 | (3.9) | 10 | (7.4) | 25 | (4.8) |
| | 嚥下調整食 | 135 | (34.8) | 93 | (68.9) | 228 | (43.6) |
| | （不明） | 238 | (61.3) | 32 | (23.7) | 270 | (51.6) |
| *2 | 10-主食-嚥下調整食 | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 1 | (0.4) |
| | 0T | 1 | (0.7) | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) |
| | 1J | 22 | (16.3) | 18 | (19.4) | 40 | (17.5) |
| | 2A | 24 | (17.8) | 12 | (12.9) | 36 | (15.8) |
| | 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| | 3 | 20 | (14.8) | 7 | (7.5) | 27 | (11.8) |
| | 4 | 60 | (44.4) | 55 | (59.1) | 115 | (50.4) |
| | （不明） | 8 | (5.9) | 0 | (0.0) | 8 | (3.5) |
| *1 | 10-副食 | | | | | | |
| | 常食 | 12 | (3.1) | 10 | (7.4) | 22 | (4.2) |
| | 嚥下調整食 | 137 | (35.3) | 92 | (68.1) | 229 | (43.8) |
| | （不明） | 239 | (61.6) | 33 | (24.4) | 272 | (52.0) |
| *3 | 10-副食-嚥下調整食 | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| | 0T | 1 | (0.7) | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) |
| | 1J | 15 | (10.9) | 18 | (19.6) | 33 | (14.4) |
| | 2A | 22 | (16.1) | 23 | (25.0) | 45 | (19.7) |
| | 2B | 8 | (5.8) | 4 | (4.3) | 12 | (5.2) |
| | 3 | 44 | (32.1) | 13 | (14.1) | 57 | (24.9) |
| | 4 | 29 | (21.2) | 34 | (37.0) | 63 | (27.5) |
| | （不明） | 18 | (13.1) | 0 | (0.0) | 18 | (7.9) |
| *1 | 10-とろみ剤の使用 | 126 | (32.5) | 82 | (60.7) | 208 | (39.8) |
| *4 | 10-とろみ剤段階 | | | | | | |
| | うすい | 35 | (27.8) | 14 | (17.1) | 49 | (23.6) |
| | 中間 | 59 | (46.8) | 45 | (54.9) | 104 | (50.0) |
| | 濃い | 29 | (23.0) | 22 | (26.8) | 51 | (24.5) |
| | （不明） | 3 | (2.4) | 1 | (1.2) | 4 | (1.9) |

*1:症状10に「まれにある, 時々ある, いつもある」と回答したもの(特養n=388, 老健n=135, 全体n=523)を分母に割合を算出

*2:主食-嚥下調整食と回答したもの(特養n=135, 老健n=93, 全体n=228)を分母に割合を算出

*3:副食-嚥下調整食と回答したもの(特養n=137, 老健n=92, 全体n=229)を分母に割合を算出

*4:とろみ剤を使用と回答したもの(特養n=126, 老健n=82, 全体n=208)を分母に割合を算出

†1:症状10「ほとんどない」と回答したもので「食物と液体を交互に嚥下」を実施しているもの(特養n=8, 老健n=2, 全体n=10)は除く

†2:症状10「ほとんどない」と回答したもので「食形態変更」を実施しているもの(特養n=24, 老健n=85, 全体n=109)は除く

表 9-2-7.

| | | 特養 n=1021 | | 老健 n=625 | | 合計 n=1646 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 食事中にあらわれる諸症状(摂食・嚥下障害リスク) | | | | | | | |
| 11.水分を飲み込むときにむせる | | | | | | | |
| | ほとんどない | 633 | (62.0) | 484 | (77.4) | 1117 | (67.9) |
| | まれにある | 153 | (15.0) | 48 | (7.7) | 201 | (12.2) |
| | 時々ある | 146 | (14.3) | 56 | (9.0) | 202 | (12.3) |
| | いつもある | 52 | (5.1) | 35 | (5.6) | 87 | (5.3) |
| | (不明) | 37 | (3.6) | 2 | (0.3) | 39 | (2.4) |
| 12.ご飯を飲み込むときにむせる | | | | | | | |
| | ほとんどない | 710 | (69.5) | 537 | (85.9) | 1247 | (75.8) |
| | まれにある | 141 | (13.8) | 37 | (5.9) | 178 | (10.8) |
| | 時々ある | 95 | (9.3) | 38 | (6.1) | 133 | (8.1) |
| | いつもある | 33 | (3.2) | 11 | (1.8) | 44 | (2.7) |
| | (不明) | 42 | (4.1) | 2 | (0.3) | 44 | (2.7) |
| *上記11,12の諸症状いずれかあり* | | *377* | *(36.9)* | *143* | *(22.9)* | *520* | *(31.6)* |
| 上記11,12の諸症状に対応して実施したケア計画(複数回答) | | | | | | | |
| *1,†1 | 11.12-頭位、体位の調整 | 132 | (35.0) | 56 | (39.2) | 188 | (36.2) |
| *1,†2 | 11.12-増粘剤の使用 | 124 | (32.9) | 58 | (40.6) | 182 | (35.0) |
| *1,†3 | 11.12-食形態変更 | 151 | (40.1) | 105 | (73.4) | 256 | (49.2) |
| *1 | 11.12-主食 | | | | | | |
| | 常食 | 15 | (4.0) | 9 | (6.3) | 24 | (4.6) |
| | 嚥下調整食 | 123 | (32.6) | 95 | (66.4) | 218 | (41.9) |
| | (不明) | 239 | (63.4) | 39 | (27.3) | 278 | (53.5) |
| *2 | 11.12-主食-嚥下調整食 | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 1 | (0.4) |
| | 0T | 1 | (0.7) | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) |
| | 1J | 22 | (16.3) | 16 | (17.2) | 38 | (16.7) |
| | 2A | 24 | (17.8) | 12 | (12.9) | 36 | (15.8) |
| | 2B | 1 | (0.7) | 1 | (1.1) | 2 | (0.9) |
| | 3 | 19 | (14.1) | 6 | (6.5) | 25 | (11.0) |
| | 4 | 51 | (37.8) | 59 | (63.4) | 110 | (48.2) |
| | (不明) | 5 | (3.7) | 0 | (0.0) | 5 | (2.2) |
| *1 | 11.12-副食 | | | | | | |
| | 常食 | 12 | (3.2) | 11 | (7.7) | 23 | (4.4) |
| | 嚥下調整食 | 125 | (33.2) | 93 | (65.0) | 218 | (41.9) |
| | (不明) | 240 | (63.7) | 39 | (27.3) | 279 | (53.7) |
| *3 | 11.12-副食-嚥下調整食 | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| | 0T | 1 | (0.7) | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) |
| | 1J | 16 | (11.7) | 14 | (15.2) | 30 | (13.1) |
| | 2A | 20 | (14.6) | 25 | (27.2) | 45 | (19.7) |
| | 2B | 7 | (5.1) | 5 | (5.4) | 12 | (5.2) |
| | 3 | 38 | (27.7) | 16 | (17.4) | 54 | (23.6) |
| | 4 | 25 | (18.2) | 33 | (35.9) | 58 | (25.3) |
| | (不明) | 18 | (13.1) | 0 | (0.0) | 18 | (7.9) |
| *1 | 11.12-とろみ剤の使用 | 133 | (35.3) | 85 | (59.4) | 218 | (41.9) |
| *4 | 11.12-とろみ剤段階 | | | | | | |
| | うすい | 38 | (30.2) | 17 | (20.7) | 55 | (26.4) |
| | 中間 | 61 | (48.4) | 44 | (53.7) | 105 | (50.5) |
| | 濃い | 30 | (23.8) | 23 | (28.0) | 53 | (25.5) |
| | (不明) | 4 | (3.2) | 1 | (1.2) | 5 | (2.4) |

*1:症状11,12いずれにも「まれにある, 時々ある, いつもある」と回答したもの(特養n=377, 老健n=143, 全体n=520)を分母に割合を算出

*2:主食-嚥下調整食と回答したもの(特養n=123, 老健n=95, 全体n=218)を分母に割合を算出

*3:副食-嚥下調整食と回答したもの(特養n=125, 老健n=93, 全体n=218)を分母に割合を算出

*4:とろみ剤を使用と回答したもの(特養n=133, 老健n=85, 全体n=218)を分母に割合を算出

†1:症状11,12いずれも「ほとんどない」と回答したもので「頭位・体位の調整」を実施しているもの(特養n=24, 老健n=3, 全体n=27)は除く

†2:症状11,12いずれも「ほとんどない」と回答したもので「増粘剤の使用」を実施しているもの(特養n=8, 老健n=2, 全体n=10)は除く

†3:症状11,12いずれも「ほとんどない」と回答したもので「食形態変更」を実施しているもの(特養n=24, 老健n=75, 全体n=99)は除く

表 9-2-8.

| | | 特養 n=1021 | | 老健 n=625 | | 合計 n=1646 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 食事中にあらわれる諸症状（摂食・嚥下障害リスク） | | | | | | | |
| 13.口に水をふくむことができない | | | | | | | |
| | ほとんどない | 812 | (79.5) | 560 | (89.6) | 1372 | (83.4) |
| | まれにある | 35 | (3.4) | 9 | (1.4) | 44 | (2.7) |
| | 時々ある | 25 | (2.4) | 6 | (1.0) | 31 | (1.9) |
| | いつもある | 121 | (11.9) | 48 | (7.7) | 169 | (10.3) |
| | （不明） | 28 | (2.7) | 2 | (0.3) | 30 | (1.8) |
| 14.口に水をふくむことはできるが口からこぼれる | | | | | | | |
| | ほとんどない | 728 | (71.3) | 531 | (85.0) | 1259 | (76.5) |
| | まれにある | 78 | (7.6) | 21 | (3.4) | 99 | (6.0) |
| | 時々ある | 49 | (4.8) | 18 | (2.9) | 67 | (4.1) |
| | いつもある | 130 | (12.7) | 52 | (8.3) | 182 | (11.1) |
| | （不明） | 36 | (3.5) | 3 | (0.5) | 39 | (2.4) |
| 15.口に水をふくむことはできるが口内にためておけない | | | | | | | |
| | ほとんどない | 758 | (74.2) | 530 | (84.8) | 1288 | (78.3) |
| | まれにある | 54 | (5.3) | 11 | (1.8) | 65 | (3.9) |
| | 時々ある | 33 | (3.2) | 19 | (3.0) | 52 | (3.2) |
| | いつもある | 140 | (13.7) | 62 | (9.9) | 202 | (12.3) |
| | （不明） | 36 | (3.5) | 3 | (0.5) | 39 | (2.4) |
| *上記13,14,15の諸症状いずれかあり* | | *307* | *(30.1)* | *113* | *(18.1)* | *420* | *(25.5)* |
| 上記13,14,15の諸症状に対応して実施したケア計画（複数回答） | | | | | | | |
| *1,†1 | 13.14.15-体位の調整 | 99 | (32.2) | 54 | (47.8) | 153 | (36.4) |
| *1,†2 | 13.14.15-増粘剤の使用 | 118 | (38.4) | 47 | (41.6) | 165 | (39.3) |
| *1,†3 | 13.14.15-食形態変更 | 114 | (37.1) | 73 | (64.6) | 187 | (44.5) |
| *1 | 13.14.15-主食 | | | | | | |
| | 常食 | 13 | (4.2) | 7 | (6.2) | 20 | (4.8) |
| | 嚥下調整食 | 95 | (30.9) | 67 | (59.3) | 162 | (38.6) |
| | （不明） | 199 | (64.8) | 39 | (34.5) | 238 | (56.7) |
| *2 | 13.14.15-主食-嚥下調整食 | | | | | | |
| | 0J | 1 | (0.7) | 1 | (1.1) | 2 | (0.9) |
| | 0T | 1 | (0.7) | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) |
| | 1J | 18 | (13.3) | 9 | (9.7) | 27 | (11.8) |
| | 2A | 26 | (19.3) | 9 | (9.7) | 35 | (15.4) |
| | 2B | 2 | (1.5) | 0 | (0.0) | 2 | (0.9) |
| | 3 | 16 | (11.9) | 3 | (3.2) | 19 | (8.3) |
| | 4 | 23 | (17.0) | 45 | (48.4) | 68 | (29.8) |
| | （不明） | 8 | (5.9) | 0 | (0.0) | 8 | (3.5) |
| *1 | 13.14.15-副食 | | | | | | |
| | 常食 | 9 | (2.9) | 6 | (5.3) | 15 | (3.6) |
| | 嚥下調整食 | 100 | (32.6) | 68 | (60.2) | 168 | (40.0) |
| | （不明） | 198 | (64.5) | 39 | (34.5) | 237 | (56.4) |
| *3 | 13.14.15-副食-嚥下調整食 | | | | | | |
| | 0J | 1 | (0.7) | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) |
| | 0T | 1 | (0.7) | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) |
| | 1J | 11 | (8.0) | 10 | (10.9) | 21 | (9.2) |
| | 2A | 23 | (16.8) | 16 | (17.4) | 39 | (17.0) |
| | 2B | 9 | (6.6) | 3 | (3.3) | 12 | (5.2) |
| | 3 | 20 | (14.6) | 12 | (13.0) | 32 | (14.0) |
| | 4 | 19 | (13.9) | 27 | (29.3) | 46 | (20.1) |
| | （不明） | 16 | (11.7) | 0 | (0.0) | 16 | (7.0) |
| *1 | 13.14.15-とろみ剤の使用 | 121 | (39.4) | 66 | (58.4) | 187 | (44.5) |
| *4 | 13.14.15-とろみ剤段階 | | | | | | |
| | うすい | 34 | (27.0) | 12 | (14.6) | 46 | (22.1) |
| | 中間 | 54 | (42.9) | 36 | (43.9) | 90 | (43.3) |
| | 濃い | 30 | (23.8) | 18 | (22.0) | 48 | (23.1) |
| | （不明） | 3 | (2.4) | 0 | (0.0) | 3 | (1.4) |

*1:症状13,14,15いずれにも「まれにある, 時々ある, いつもある」と回答したもの(特養n=307, 老健n=113, 全体n=420)を分母に割合を算出

*2:主食-嚥下調整食と回答したもの(特養n=95, 老健n=67, 全体n=162)を分母に割合を算出

*3:副食-嚥下調整食と回答したもの(特養n=10, 老健n=68, 全体n=168)を分母に割合を算出

*4:とろみ剤を使用と回答したもの(特養n=121, 老健n=66, 全体n=187)を分母に割合を算出

†1:症状13,14,15いずれも「ほとんどない」と回答したもので「体位の調整」を実施しているもの(特養n=26, 老健n=5, 全体n=31)は除く

†2:症状13,14,15いずれも「ほとんどない」と回答したもので「増粘剤の使用」を実施しているもの(特養n=15, 老健n=16, 全体n=31)は除く

†3:症状13,14,15いずれも「ほとんどない」と回答したもので「食形態変更」を実施しているもの(特養n=39, 老健n=99, 全体n=138)は除く

## (4)口腔のアセスメントとケア計画（文責　大原里子）

### 1）担当専門職

「口腔のアセスメントと口腔ケア計画」のチェックを担当した職種は、特養では、「管理栄養士」63.9%、「介護福祉士」63.7%、「歯科衛生士」34.9%、「介護士」31.2%、「看護師」25.1%、「歯科医師」12.4%、「作業療法士」5.0%、「医師」4.8%、「栄養士」0.2%、「理学療法士」0.1%、「言語聴覚士」0.1%であった（表 10-1）。

老健では、「介護福祉士」72.5%、「管理栄養士」64.0%、「介護士」43.7%、「歯科衛生士」33.6%、「准看護師」30.4%、「看護師」25.8%、「言語聴覚士」17.1%、「医師」16.0%、「歯科医師」15.8%、「作業療法士」15.7%、「理学療法士」15.7%、「栄養士」8.3%であった。

### 2）口腔のアセスメントとケア計画（食事時や口腔ケア時の観察による）

**口腔乾燥**

「口腔乾燥の問題がある」は、特養 20.9%、老健 22.9%であり、当該問題の内容は「2 種類以上の薬を飲んでいる」は特養 12.2%、老健 21.8%、「口呼吸をしている」は特養 4.5%、老健 0.5%、「口が開いている時間が長い」は特養 5.4%、老健 1.8%であった。問題に対するケアは「口腔ケア」が特養 59.2%、老健 65.7%、「専門的口腔ケア」が特養 20.2%、老健 40.6%、「歯科医師・歯科衛生士による介護職への指導」が特養 17.8%、老健 42.0%、「保湿」が特養 15%、老健 5.6%であった（表 10-2）。

**開口、うがい**

「開口の問題がある」ものは、特養 14.6%、老健 7.5%であり、当該問題の内容は「口をあけることができない、拒否する」は特養 4.4%、老健 5.0%、「口が開きにくい」は特養 7.2%、老健 2.9%、「口から食べていない」は特養 2.7%、老健 0.3%であった。

「うがいの問題がある」は、特養 43.6%、老健 33.9%であり、当該問題の内容は「日常的にうがいはしていない」は特養 25.4%、老健 13.6%、「がらがらうがいができない」は特養 15.3%、老健 19.2%、「ぶくぶくうがいができない」は特養 7.1%、老健 3.5%、「がらがらうがいの時にむせることがある」は特養 2.0%、老健 1.9%、「ぶくぶくうがいの時にむせることがある」は特養 2.6%、老健 2.6%であった。

いずれかの問題に対するケアは「口腔ケア」が特養 51.6%、老健 53.3%、「歯科医師・歯科衛生士による介護職への指導」が特養 20.6%、老健 22.0%、「専門的口腔ケア」が特養 14.2%、老健 21.0%であった。

「開口に問題のある」や「うがいに問題がある」者の割合は、要介護 1 ～ 3 より、要介護 4、要介護 5 が高かった（別表）

**咀嚼力**

「咀嚼力の問題がある」ものは、特養 19.2%、老健 10.1%であり、当該問題の内容は「頬に触れることを拒否する」は特養 4.0%、老健 2.0%、「咀嚼時に右の咬筋が硬くならない」は特養 10.5%、老健 6.4%、「咀嚼時に左の咬筋が硬くならない」は特養 10.7%、老健 6.4%

であった。問題に対するケアは「専門的口腔ケア」が特養 23.5%、老健 25.4%、「歯科受診」が特養 17.3%、老健 19.0%、「咀嚼機能訓練」が特養 4.1%、老健 6.3%であった。

**口臭や口の中の問題**

「口臭や口の中の問題がある」もの、特養 33.6%、老健 26.6%であり、当該問題の内容は「強い口臭がある」は特養 5.4%、老健 9.6%、「口をあけることができない、拒否する」は特養 4.6%、老健 5.3%、「口の中に汚れや食べかすがある」は特養 22.1%、老健 15.8%、「グラグラする歯や大きな虫歯がある」は特養 5.2%、老健 7.0%、「義歯がはずれやすい」は特養 3.7%、老健 4.3%、「義歯を取り外していない」は特養 0.3%、老健 1.6%、「歯肉が赤く腫れている」は特養 4.4%、老健 4.2%、「口内炎がある」は特養 1.9%、老健 0.2%であった。問題に対するケアは「口腔ケア」が特養 72.3%、老健 78.9%、「歯科医師・歯科衛生士による介護職への指導」が特養 33.2%、老健 52.4%、「専門的口腔ケア」が特養 27.7%、老健 32.5%、「歯科受診」が特養 13.1%、老健 35.5%であった。

「口臭や口の中の問題」がある者の割合は、軽度の要介護者よりも重度の要介護者の方が高かったが、「歯科受診」の割合は、重度の要介護者の方が低かった（別表）。

表 10-1.

| | 特養 n=1021 | | 老健 n=625 | | 合計 n=1646 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 担当職種-口腔のアセスメントとケア計画 | | | | | | |
| 管理栄養士 | 652 | (63.9) | 400 | (64.0) | 1052 | (63.9) |
| 栄養士 | 2 | (0.2) | 52 | (8.3) | 54 | (3.3) |
| 医師 | 49 | (4.8) | 100 | (16.0) | 149 | (9.1) |
| 歯科医師 | 127 | (12.4) | 99 | (15.8) | 226 | (13.7) |
| 看護師 | 256 | (25.1) | 161 | (25.8) | 417 | (25.3) |
| 准看護師 | 183 | (17.9) | 190 | (30.4) | 373 | (22.7) |
| 介護福祉士 | 650 | (63.7) | 453 | (72.5) | 1103 | (67.0) |
| 介護士 | 319 | (31.2) | 273 | (43.7) | 592 | (36.0) |
| 作業療法士 | 51 | (5.0) | 98 | (15.7) | 149 | (9.1) |
| 理学療法士 | 1 | (0.1) | 98 | (15.7) | 99 | (6.0) |
| 言語聴覚士 | 1 | (0.1) | 107 | (17.1) | 108 | (6.6) |
| 歯科衛生士 | 356 | (34.9) | 210 | (33.6) | 566 | (34.4) |

表 10-2.

| | 特養 n=1021 | | 老健 n=625 | | 合計 n=1646 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 口腔のアセスメントとケア計画 | | | | | | |
| 1.口腔乾燥がある | 213 | (20.9) | 143 | (22.9) | 356 | (21.6) |
| 上記1.の問題内容(複数回答) | | | | | | |
| 2種類以上の薬を服用 | 125 | (12.2) | 136 | (21.8) | 261 | (15.9) |
| 口呼吸をしている | 46 | (4.5) | 3 | (0.5) | 49 | (3.0) |
| 口が開いている時間が長い | 55 | (5.4) | 11 | (1.8) | 66 | (4.0) |
| *1 上記1.の問題に対するケア(複数回答) | | | | | | |
| 専門的口腔ケア | 43 | (20.2) | 58 | (40.6) | 101 | (28.4) |
| 歯科医師・歯科衛生士による介護職への指導 | 38 | (17.8) | 60 | (42.0) | 98 | (27.5) |
| 口腔ケア | 126 | (59.2) | 94 | (65.7) | 220 | (61.8) |
| 保湿 | 32 | (15.0) | 8 | (5.6) | 40 | (11.2) |
| 2.開口に問題がある | 149 | (14.6) | 47 | (7.5) | 196 | (11.9) |
| 上記2.の問題内容(複数回答) | | | | | | |
| 口をあけることができない、拒否する | 45 | (4.4) | 31 | (5.0) | 76 | (4.6) |
| 口が開きにくい | 74 | (7.2) | 18 | (2.9) | 92 | (5.6) |
| 口から食べていない | 28 | (2.7) | 2 | (0.3) | 30 | (1.8) |
| 3.うがいに問題がある | 445 | (43.6) | 212 | (33.9) | 657 | (39.9) |
| 上記3.の問題内容(複数回答) | | | | | | |
| 日常的にうがいはしていない | 259 | (25.4) | 85 | (13.6) | 344 | (20.9) |
| がらがらうがいができない | 156 | (15.3) | 120 | (19.2) | 276 | (16.8) |
| ぶくぶくうがいができない | 72 | (7.1) | 22 | (3.5) | 94 | (5.7) |
| がらがらうがい時にむせることがある | 20 | (2.0) | 12 | (1.9) | 32 | (1.9) |
| ぶくぶくうがい時にむせることがある | 27 | (2.6) | 16 | (2.6) | 43 | (2.6) |
| *2 上記2,3.の問題に対するケア(複数回答) | | | | | | |
| 専門的口腔ケア | 65 | (14.2) | 45 | (21.0) | 110 | (16.4) |
| 歯科医師・歯科衛生士による介護職への指導 | 94 | (20.6) | 47 | (22.0) | 141 | (21.0) |
| 口腔ケア | 236 | (51.6) | 114 | (53.3) | 350 | (52.2) |
| 4.咀嚼力に問題がある | 196 | (19.2) | 63 | (10.1) | 259 | (15.7) |
| 上記4.の問題内容(複数回答) | | | | | | |
| 頬に触れることを拒否する | 41 | (4.0) | 14 | (2.2) | 55 | (3.3) |
| 咀嚼時に右の咬筋が硬くならない | 107 | (10.5) | 40 | (6.4) | 147 | (8.9) |
| 咀嚼時に左の咬筋が硬くならない | 109 | (10.7) | 40 | (6.4) | 149 | (9.1) |
| *3 上記4.の問題に対するケア(複数回答) | | | | | | |
| 専門的口腔ケア | 46 | (23.5) | 16 | (25.4) | 62 | (23.9) |
| 咀嚼機能訓練 | 8 | (4.1) | 4 | (6.3) | 12 | (4.6) |
| 歯科受診 | 34 | (17.3) | 12 | (19.0) | 46 | (17.8) |
| 5.口臭の問題がある | 343 | (33.6) | 166 | (26.6) | 509 | (30.9) |
| 上記5.の問題内容(複数回答) | | | | | | |
| 強い口臭がある | 55 | (5.4) | 60 | (9.6) | 115 | (7.0) |
| 口を開けることができない、拒否する | 47 | (4.6) | 33 | (5.3) | 80 | (4.9) |
| 口の中に汚れや食べかすがある | 226 | (22.1) | 99 | (15.8) | 325 | (19.7) |
| グラグラする歯や大きな虫歯がある | 53 | (5.2) | 44 | (7.0) | 97 | (5.9) |
| 義歯がはずれやすい | 38 | (3.7) | 27 | (4.3) | 65 | (3.9) |
| 義歯を取り外していない | 3 | (0.3) | 10 | (1.6) | 13 | (0.8) |
| 歯肉が赤く腫れている | 45 | (4.4) | 26 | (4.2) | 71 | (4.3) |
| 口内炎がある | 19 | (1.9) | 1 | (0.2) | 20 | (1.2) |
| *4 上記5.の問題に対するケア(複数回答) | | | | | | |
| 専門的口腔ケア | 95 | (27.7) | 54 | (32.5) | 149 | (29.3) |
| 歯科医師・歯科衛生士による介護職への指導 | 114 | (33.2) | 87 | (52.4) | 201 | (39.5) |
| 口腔ケア | 248 | (72.3) | 131 | (78.9) | 379 | (74.5) |
| 歯科受診 | 45 | (13.1) | 59 | (35.5) | 104 | (20.4) |

*1問題1に「有り」と回答したもの(特養n=213, 老健n=143, 全体n=356)を分母に割合を算出

*2問題2,3いずれかまたは両方に「有り」と回答したもの(特養n=457, 老健n=214, 全体n=671)を分母に割合を算出

*3問題4に「有り」と回答したもの(特養n=196, 老健n=63, 全体n=259)を分母に割合を算出

*4問題5に「有り」と回答したもの(特養n=343, 老健n=166, 全体n=509)を分母に割合を算出

### (5)食事中の姿勢・認知症関連の徴候・症状のアセスメントとケア計画

#### 1) 担当した専門職

「食事中の姿勢・認知症関連の徴候・症状徴候・症状とケア計画」のチェックを担当した職種は、特養では、「管理栄養士」84.1%、「介護福祉士」64.7%、「介護士」38.9%、「看護師」26.7%、「准看護師」21.6%、老健では「介護福祉士」77.6%、「管理栄養士」74.1%、「介護士」40.0%、「准看護師」30.1%、「看護師」25.0%、「理学療法士」22.2%、「作業療法士」16.0%、「言語聴覚士」15.8%、「医師」15.7%、「歯科医師」14.6%、「言語聴覚士」15.8%、「理学療法士」9.3%、「栄養士」8.0%、「歯科衛生士」3.2%であった（表 11-1)。

老健では、「介護福祉士」77.6%、「管理栄養士」74.1%、「介護士」40,0%、「准看護師」30.1%、「看護師」25.0%、「理学療法士」22.2%、「作業療法士」16.0%、「歯科衛生士」15.8%、「医師」15.7%、「歯科医師」14.6%、「言語聴覚士」9.3%、「栄養士」8.0%であった。

#### 2) 食べる姿勢のアセスメントとケア計画

「座位保持困難がある」は、特養 32.6%、老健 17.3%、「クッションや支えがあっても座位保持困難」は特養 20.1%、老健 7.2%、「いすやテーブルの高さがあっていない」は特養 14.8%、老健 5.8%、「食べるときに下顎がでる」は特養 11.2%、老健 4.6%であった(表 11-2)。

食べる姿勢の問題に対するケアは、「食事姿勢の調整」が特養 61.5%、老健 54.9%、「摂食動作・姿勢の評価」が特養 36.5%、老健 30.8%、「座席・テーブルの調整」が特養 29.5%、老健 39.1%であった。

表 11-1.

| | 特養 n=1021 | | 老健 n=625 | | 合計 n=1646 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 姿勢・認知症関連の徴候・症状 | | | | | | |
| 担当職種-姿勢・認知症関連の徴候・症状 | | | | | | |
| 管理栄養士 | 859 | (84.1) | 463 | (74.1) | 1322 | (80.3) |
| 栄養士 | 49 | (4.8) | 50 | (8.0) | 99 | (6.0) |
| 医師 | 46 | (4.5) | 98 | (15.7) | 144 | (8.7) |
| 歯科医師 | 0 | (0.0) | 91 | (14.6) | 91 | (5.5) |
| 看護師 | 273 | (26.7) | 156 | (25.0) | 429 | (26.1) |
| 准看護師 | 221 | (21.6) | 188 | (30.1) | 409 | (24.8) |
| 介護福祉士 | 661 | (64.7) | 485 | (77.6) | 1146 | (69.6) |
| 介護士 | 397 | (38.9) | 250 | (40.0) | 647 | (39.3) |
| 作業療法士 | 41 | (4.0) | 100 | (16.0) | 141 | (8.6) |
| 理学療法士 | 0 | (0.0) | 139 | (22.2) | 139 | (8.4) |
| 言語聴覚士 | 0 | (0.0) | 58 | (9.3) | 58 | (3.5) |
| 歯科衛生士 | 41 | (4.0) | 99 | (15.8) | 140 | (8.5) |

表 11-2.

| | 特養 n=1021 n | (%) | 老健 n=625 n | (%) | 合計 n=1646 n | (%) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 姿勢に関する食事中の徴候・症状 | | | | | | |
| 下記の問題がある | | | | | | |
| 座位保持困難 | 333 | (32.6) | 108 | (17.3) | 441 | (26.8) |
| クッションなどの支えがあっても座位保持困難 | 205 | (20.1) | 45 | (7.2) | 250 | (15.2) |
| いすやテーブルの高さがあっていない | 151 | (14.8) | 36 | (5.8) | 187 | (11.4) |
| 食べるときに下顎が出る | 114 | (11.2) | 29 | (4.6) | 143 | (8.7) |
| *姿勢の問題いずれか一つ以上あり* | *397* | *(38.9)* | *133* | *(21.3)* | *530* | *(32.2)* |
| *1 姿勢に問題に対応して実施したケア計画（複数回答） | | | | | | |
| 摂食動作・姿勢の評価 | 145 | (36.5) | 41 | (30.8) | 186 | (35.1) |
| 座席・テーブル調整 | 117 | (29.5) | 52 | (39.1) | 169 | (31.9) |
| 食事姿勢の調整 | 244 | (61.5) | 73 | (54.9) | 317 | (59.8) |

*1姿勢の問題のいずれか一つ以上に「有り」と回答したもの(特養n=397, 老健n=133, 全体n=530)を分母に割合を算出

### 3) 食事中の認知症関連の徴候・症状のアセスメントとケア計画

（文責　田中和美・高田健人）

「食事中の認知症関連の徴候･症状」が「１つ以上」ある者は特養 70.2%、老健 42.6%、「２つ以上ある者」は特養 45.3%、老健 23.8%であり、「４つ以上」ある者も特養 15.3%、老健 6.2%みられた（表 11-3）。

**傾眠**

「傾眠」があるものは、「週に 1~2 回」「週に 3~5 回」「1 日に 1~2 回」「毎食事」を合わせて特養 37.3%、老健 16.2%であった。この徴候・症状に対応したケアでは、「覚醒を促すため声掛け」が特養 85.6%、老健 83.2%、「覚醒を促すためボディータッチ」が特養 79.0%、老健 62.4%、「声掛けして覚醒状態を確認し、自力摂取を促す」が特養 47.8%、老健 27.7%、

表 11-3.

| | 特養 n=1021 | | 老健 n=625 | | 合計 n=1646 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 認知症関連の徴候・症状 | | | | | | |
| 1つ以上あり | 686 | (70.2) | 264 | (42.6) | 950 | (59.5) |
| 2つ以上あり | 444 | (45.3) | 147 | (23.8) | 591 | (37.2) |
| なし | 291 | (29.8) | 355 | (57.4) | 646 | (40.5) |
| 1つ | 242 | (24.8) | 117 | (18.9) | 359 | (22.5) |
| 2つ | 189 | (19.3) | 66 | (10.7) | 255 | (16.0) |
| 3つ | 105 | (10.7) | 42 | (6.8) | 147 | (9.2) |
| 4つ | 72 | (7.4) | 23 | (3.7) | 95 | (6.0) |
| 5つ | 32 | (3.3) | 9 | (1.5) | 41 | (2.6) |
| 6つ | 18 | (1.8) | 4 | (0.6) | 22 | (1.4) |
| 7つ | 15 | (1.5) | 2 | (0.3) | 17 | (1.1) |
| 8つ | 10 | (1.0) | 1 | (0.2) | 11 | (0.7) |
| 9つ | 2 | (0.2) | 0 | (0.0) | 2 | (0.1) |
| 10つ | 1 | (0.1) | 0 | (0.0) | 1 | (0.1) |
| 合計 | 977 | (100.0) | 619 | (100.0) | 1596 | (100.0) |

「覚醒状態を確認し、食事介助」が特養 54.1%、老健 48.5%、「食事時の姿勢を保持する」が特養 35.4%、老健 28.7%、「薬剤について確認し、副作用の可能性を報告する」が特養 3.4%、老健 6.9%、「食事の時間を覚醒時に変更する」が特養 17.6%、老健 3.0%であった（表 11-4-1）。

**食事の失認**

「食事の失認」があるものは「週に 1~2 回」「週に 3~5 回」「1 日に 1~2 回」「毎食事」を合わせて特養 27.2%、老健 15.4%であった。この徴候・症状に対応したケアでは、「「食事ですよ」と声掛けする」が特養 81.7%、老健 77.1%、「声掛けをしながら一皿ずつ順番に提供する」が特養 42.4%、老健 28.1%、「食事時間を知らせる」が特養 29.1%、老健 31.3%、「食器の色を変更する」が特養 7.6%、老健 4.2%、「スプーンや箸を直接手に持たせ、最初の一口を食べてもらう」が特養 40.6%、老健 35.4%であった。

**興奮・大声・暴言・暴力**

「興奮・大声・暴言・暴力」があるものは「週に 1~2 回」「週に 3~5 回」「1 日に 1~2 回」「毎食事」を合わせて特養 16.7%、老健 9.0%であった。この徴候・症状に対応したケアでは、「興奮状態をなだめるために声掛けする」が特養 67.6%、老健 64.3%、「傾聴する」が特養 54.7%、老健 48.2%、「落ち着いている時間に食事を提供する」が特養 18.8%、老健 14.3%、「静かな別室など落ち着く食事環境を提供する」が特養 7.6%、老健 16.1%であった。

**拒食**

「拒食」があるものは「週に 1~2 回」「週に 3~5 回」「1 日に 1~2 回」「毎食事」を合わせて特養 16.7%、老健 8.5%であった。この徴候・症状に対応したケアでは、「お気に入りのものを置いたり、本人の食器を用いたり、本人の落ち着く環境を提供する」が特養 24.7%、老健 18.9%、「好みのものを提供する」が特養 58.2%、老健 37.7%、「食事の匂いにより食欲を刺激する」が特養 17.1%、老健 7.5%であった（表 11-4-2）。

**偏食**

「偏食」があるものは「週に 1~2 回」「週に 3~5 回」「1 日に 1~2 回」「毎食事」を合わせて特養 13.8%、老健 6.4%であった。この徴候・症状に対応したケアでは、「食事を促すために声掛けする」が特養 77.3%、老健 90.0%であった。

**失行**

「失行」があるものは「週に 1~2 回」「週に 3~5 回」「1 日に 1~2 回」「毎食事」を合わせて特養 14.8%、老健 8.2%であった。この徴候・症状に対応したケアでは、「手づかみしないよう声掛けする」が特養 43.7%、老健 31.4%、「主食を食べやすい大きさのおにぎり等にする」が特養 7.9%、老健 7.8%、「こぼれないよう安定した食器を使用する」が特養 33.1%、老健 33.3%、「食器具の使い方を説明する」が特養 16.6%、老健 33.3%であった。

**妄想**

「妄想」があるものは「週に 1~2 回」「週に 3~5 回」「1 日に 1~2 回」「毎食事」を合わせて特養 6.0%、老健 2.6%であった。この徴候・症状に対応したケアでは、「食事が安全であることを伝える」が特養 42.6%、老健 18.8%、「食事や食器を取り換える」が特養 8.2%、

老健 12.5%、「好みのものを提供する」が特養 18.0%、老健 18.8%であった。

**早食い・詰め込み・丸のみ**

「早食い・詰め込み・丸のみ」があるものは「週に 1~2 回」「週に 3~5 回」「1 日に 1~2 回」「毎食事」を合わせて特養 17.6%、老健 13.4%であった。この徴候・症状に対応したケアでは、「ゆっくり食べるよう声掛けする」が特養 62.8%、老健 65.5%、「器を小分けにして提供する」が特養 20.0%、老健 14.3%、「一品ずつ提供する」が特養 23.3%、老健 15.5%、「スプーンを小さくするなど食具を変更する」が特養 33.9%、老健 32.1%、「食べやすい食形態に変更する」が特養 46.7%、老健 51.2%、「誤嚥や窒息の危険がある食品を除去する」が特養 20.6%、老健 34.5%であった（表 11-4-3）。

**徘徊・多動**

「徘徊・多動」があるものは「週に 1~2 回」「週に 3~5 回」「1 日に 1~2 回」「毎食事」を合わせて特養 5.7%、老健 4.6%であった。この徴候・症状に対応したケアでは、「席に着くよう声掛けする」が特養 96.2%、老健 72.4%であった。

**盗食**

「盗食」があるものは「週に 1~2 回」「週に 3~5 回」「1 日に 1~2 回」「毎食事」を合わせて特養 7.6%、老健 4.3%であった。この徴候・症状に対応したケアでは、「席の間隔をあける」が特養 57.7%、老健 51.9%、「盗食しないよう見守る」が特養 71.8%、老健 63.0%、「盗食しないよう声掛けする」が特養 44.9%、老健 18.5%、「個別の席で食事を提供する」が特養 10.3%、老健 25.9%であった。

**異食**

「異食」があるものは「週に 1~2 回」「週に 3~5 回」「1 日に 1~2 回」「毎食事」を合わせて特養 6.9%、老健 1.4%であった。この徴候・症状に対応したケアでは、「異食しないよう見守る」が特養 62.9%、老健 88.9%、「食べられない飾りなどを提供しない」が特養 57.1%、老健 66.7%、「みかんやバナナなどの果物の皮をむいて提供する」が特養 68.6%、老健 66.7%であった。

表 11-4-1.

| | | 特養 n=1021 | | 老健 n=625 | | 合計 n=1646 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 認知症関連の徴候・症状 | | | | | | | |
| 1-傾眠頻度 | | | | | | | |
| | 全くない | 607 | (59.5) | 521 | (83.4) | 1128 | (68.5) |
| | 週に1～2回 | 147 | (14.4) | 37 | (5.9) | 184 | (11.2) |
| | 週に3～5回 | 90 | (8.8) | 22 | (3.5) | 112 | (6.8) |
| | 1日に1～2回 | 90 | (8.8) | 29 | (4.6) | 119 | (7.2) |
| | 毎食事 | 54 | (5.3) | 13 | (2.1) | 67 | (4.1) |
| | (不明) | 33 | (3.2) | 3 | (0.5) | 36 | (2.2) |
| *1 | 1.傾眠に対応したケア計画(複数回答) | | | | | | |
| | 覚醒を促すため声掛け | 326 | (85.6) | 84 | (83.2) | 410 | (85.1) |
| | 覚醒を促すためボディータッチ | 301 | (79.0) | 63 | (62.4) | 364 | (75.5) |
| | 声掛けして覚醒状態を確認し、自力摂取を促す | 182 | (47.8) | 28 | (27.7) | 210 | (43.6) |
| | 覚醒状態を確認し、食事介助 | 206 | (54.1) | 49 | (48.5) | 255 | (52.9) |
| | 食事時の姿勢を保持する | 135 | (35.4) | 29 | (28.7) | 164 | (34.0) |
| | 薬剤について確認し、副作用の可能性を報告する | 13 | (3.4) | 7 | (6.9) | 20 | (4.1) |
| | 食事の時間を覚醒時に変更する | 67 | (17.6) | 3 | (3.0) | 70 | (14.5) |
| | 傾眠ケアその他 | 5 | (1.3) | 3 | (3.0) | 8 | (1.7) |
| 2-食事の失認頻度 | | | | | | | |
| | 全くない | 709 | (69.4) | 526 | (84.2) | 1235 | (75.0) |
| | 週に1～2回 | 82 | (8.0) | 13 | (2.1) | 95 | (5.8) |
| | 週に3～5回 | 33 | (3.2) | 8 | (1.3) | 41 | (2.5) |
| | 1日に1～2回 | 38 | (3.7) | 12 | (1.9) | 50 | (3.0) |
| | 毎食事 | 125 | (12.2) | 63 | (10.1) | 188 | (11.4) |
| | (不明) | 34 | (3.3) | 3 | (0.5) | 37 | (2.2) |
| *2 | 2.食事の失認に対応したケア計画(複数回答) | | | | | | |
| | 「食事ですよ」と声掛けする | 227 | (81.7) | 74 | (77.1) | 301 | (80.5) |
| | 声掛けをしながら一皿ずつ順番に提供する | 118 | (42.4) | 27 | (28.1) | 145 | (38.8) |
| | 食事時間を知らせる | 81 | (29.1) | 30 | (31.3) | 111 | (29.7) |
| | 食器の色を変更する | 21 | (7.6) | 4 | (4.2) | 25 | (6.7) |
| | スプーンや箸を直接手に持たせ、最初の一口を食べてもらう | 113 | (40.6) | 34 | (35.4) | 147 | (39.3) |
| | 失認ケアその他 | 27 | (9.7) | 9 | (9.4) | 36 | (9.6) |
| 3-興奮・大声・暴言・暴力頻度 | | | | | | | |
| | 全くない | 820 | (80.3) | 566 | (90.6) | 1386 | (84.2) |
| | 週に1～2回 | 91 | (8.9) | 27 | (4.3) | 118 | (7.2) |
| | 週に3～5回 | 32 | (3.1) | 7 | (1.1) | 39 | (2.4) |
| | 1日に1～2回 | 26 | (2.5) | 12 | (1.9) | 38 | (2.3) |
| | 毎食事 | 21 | (2.1) | 10 | (1.6) | 31 | (1.9) |
| | (不明) | 31 | (3.0) | 3 | (0.5) | 34 | (2.1) |
| *3 | 3.興奮・大声・暴言・暴力に対応したケア計画(複数回答) | | | | | | |
| | 興奮状態をなだめるために声掛けする | 115 | (67.6) | 36 | (64.3) | 151 | (66.8) |
| | 傾聴する | 93 | (54.7) | 27 | (48.2) | 120 | (53.1) |
| | 落ち着いている時間に食事を提供する | 32 | (18.8) | 8 | (14.3) | 40 | (17.7) |
| | 静かな別室など落ち着く食事環境を提供する | 13 | (7.6) | 9 | (16.1) | 22 | (9.7) |
| | 興奮ケアその他 | 6 | (3.5) | 3 | (5.4) | 9 | (4.0) |

*1傾眠頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したもの(特養n=381, 老健n=101, 全体n=482)を分母に割合を算出

*2食事の失認頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したもの(特養n=278, 老健n=96, 全体n=374)を分母に割合を算出

*3興奮・大声・暴言・暴力頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したもの(特養n=170, 老健n=56, 全体n=226)を分母に割合を算出

表 11-4-2.

| | | 特養 n=1021 | | 老健 n=625 | | 合計 n=1646 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 認知症関連の徴候・症状 | | | | | | | |
| | 4-拒食頻度 | | | | | | |
| | 全くない | 817 | (80.0) | 569 | (91.0) | 1386 | (84.2) |
| | 週に1～2回 | 87 | (8.5) | 21 | (3.4) | 108 | (6.6) |
| | 週に3～5回 | 33 | (3.2) | 9 | (1.4) | 42 | (2.6) |
| | 1日に1～2回 | 23 | (2.3) | 8 | (1.3) | 31 | (1.9) |
| | 毎食事 | 27 | (2.6) | 15 | (2.4) | 42 | (2.6) |
| | (不明) | 34 | (3.3) | 3 | (0.5) | 37 | (2.2) |
| *1 | 4.拒食に対応したケア計画(複数回答) | | | | | | |
| | お気に入りのものを置いたり、本人の食器を用いたり、本人の落ち着く環境を提供する | 42 | (24.7) | 10 | (18.9) | 52 | (23.3) |
| | 好みのものを提供する | 99 | (58.2) | 20 | (37.7) | 119 | (53.4) |
| | 食事の匂いにより食欲を刺激する | 29 | (17.1) | 4 | (7.5) | 33 | (14.8) |
| | 拒食ケアその他 | 47 | (27.6) | 17 | (32.1) | 64 | (28.7) |
| | 5-偏食頻度 | | | | | | |
| | 全くない | 846 | (82.9) | 581 | (93.0) | 1427 | (86.7) |
| | 週に1～2回 | 63 | (6.2) | 8 | (1.3) | 71 | (4.3) |
| | 週に3～5回 | 19 | (1.9) | 5 | (0.8) | 24 | (1.5) |
| | 1日に1～2回 | 21 | (2.1) | 13 | (2.1) | 34 | (2.1) |
| | 毎食事 | 38 | (3.7) | 14 | (2.2) | 52 | (3.2) |
| | (不明) | 34 | (3.3) | 4 | (0.6) | 38 | (2.3) |
| *2 | 5.偏食に対応したケア計画(複数回答) | | | | | | |
| | 食事を促すために声掛けする | 109 | (77.3) | 36 | (90.0) | 145 | (80.1) |
| | 偏食ケアその他 | 24 | (17.0) | 5 | (12.5) | 29 | (16.0) |
| | 6-失行頻度 | | | | | | |
| | 全くない | 837 | (82.0) | 571 | (91.4) | 1408 | (85.5) |
| | 週に1～2回 | 30 | (2.9) | 5 | (0.8) | 35 | (2.1) |
| | 週に3～5回 | 22 | (2.2) | 5 | (0.8) | 27 | (1.6) |
| | 1日に1～2回 | 18 | (1.8) | 6 | (1.0) | 24 | (1.5) |
| | 毎食事 | 81 | (7.9) | 35 | (5.6) | 116 | (7.0) |
| | (不明) | 33 | (3.2) | 3 | (0.5) | 36 | (2.2) |
| *3 | 6.失行に対応したケア計画(複数回答) | | | | | | |
| | 手づかみしないよう声掛けする | 66 | (43.7) | 16 | (31.4) | 82 | (40.6) |
| | 主食を食べやすい大きさのおにぎり等にする | 12 | (7.9) | 4 | (7.8) | 16 | (7.9) |
| | こぼれないよう安定した食器を使用する | 50 | (33.1) | 17 | (33.3) | 67 | (33.2) |
| | 食器具の使い方を説明する | 25 | (16.6) | 17 | (33.3) | 42 | (20.8) |
| | 失行ケアその他 | 40 | (26.5) | 14 | (27.5) | 54 | (26.7) |
| | 7-妄想頻度 | | | | | | |
| | 全くない | 928 | (90.9) | 606 | (97.0) | 1534 | (93.2) |
| | 週に1～2回 | 36 | (3.5) | 5 | (0.8) | 41 | (2.5) |
| | 週に3～5回 | 10 | (1.0) | 4 | (0.6) | 14 | (0.9) |
| | 1日に1～2回 | 5 | (0.5) | 5 | (0.8) | 10 | (0.6) |
| | 毎食事 | 10 | (1.0) | 2 | (0.3) | 12 | (0.7) |
| | (不明) | 32 | (3.1) | 3 | (0.5) | 35 | (2.1) |
| *4 | 7.妄想に対応したケア計画(複数回答) | | | | | | |
| | 食事が安全であることを伝える | 26 | (42.6) | 3 | (18.8) | 29 | (37.7) |
| | 食事や食器を取り換える | 5 | (8.2) | 2 | (12.5) | 7 | (9.1) |
| | 好みのものを提供する | 11 | (18.0) | 3 | (18.8) | 14 | (18.2) |
| | 妄想ケアその他 | 6 | (9.8) | 4 | (25.0) | 10 | (13.0) |

*1拒食頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したもの(特養n=170, 老健n=53, 全体n=223)を分母に割合を算出

*2偏食頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したもの(特養n=141, 老健n=40, 全体n=181)を分母に割合を算出

*3失行頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したもの(特養n=151, 老健n=51, 全体n=202)を分母に割合を算出

*4妄想頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したもの(特養n=61, 老健n=16, 全体n=77)を分母に割合を算出

表 11-4-3.

| | 特養 n=1021 | | 老健 n=625 | | 合計 n=1646 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 認知症関連の徴候・症状 | | | | | | |
| 8-早食い・詰め込み・丸のみ頻度 | | | | | | |
| 全くない | 805 | (78.8) | 537 | (85.9) | 1342 | (81.5) |
| 週に1～2回 | 39 | (3.8) | 8 | (1.3) | 47 | (2.9) |
| 週に3～5回 | 14 | (1.4) | 7 | (1.1) | 21 | (1.3) |
| 1日に1～2回 | 18 | (1.8) | 6 | (1.0) | 24 | (1.5) |
| 毎食事 | 109 | (10.7) | 63 | (10.1) | 172 | (10.4) |
| (不明) | 36 | (3.5) | 4 | (0.6) | 40 | (2.4) |
| 8.早食い・詰め込み・丸のみに対応したケア計画(複数回答) | | | | | | |
| ゆっくり食べるよう声掛けする | 113 | (62.8) | 55 | (65.5) | 168 | (63.6) |
| 器を小分けにして提供する | 36 | (20.0) | 12 | (14.3) | 48 | (18.2) |
| 一品ずつ提供する | 42 | (23.3) | 13 | (15.5) | 55 | (20.8) |
| スプーンを小さくするなど食具を変更する | 61 | (33.9) | 27 | (32.1) | 88 | (33.3) |
| 食べやすい食形態に変更する | 84 | (46.7) | 43 | (51.2) | 127 | (48.1) |
| 誤嚥や窒息の危険がある食品を除去する | 37 | (20.6) | 29 | (34.5) | 66 | (25.0) |
| 早食いケアその他 | 12 | (6.7) | 10 | (11.9) | 22 | (8.3) |
| 9-徘徊・多動頻度 | | | | | | |
| 全くない | 930 | (91.1) | 593 | (94.9) | 1523 | (92.5) |
| 週に1～2回 | 21 | (2.1) | 3 | (0.5) | 24 | (1.5) |
| 週に3～5回 | 10 | (1.0) | 6 | (1.0) | 16 | (1.0) |
| 1日に1～2回 | 12 | (1.2) | 6 | (1.0) | 18 | (1.1) |
| 毎食事 | 15 | (1.5) | 14 | (2.2) | 29 | (1.8) |
| (不明) | 33 | (3.2) | 3 | (0.5) | 36 | (2.2) |
| 9.徘徊・多動に対応したケア計画(複数回答) | | | | | | |
| 席に着くよう声掛けする | 51 | (96.2) | 21 | (72.4) | 72 | (82.8) |
| 徘徊ケアその他 | 8 | (15.1) | 2 | (6.9) | 10 | (11.5) |
| 10-盗食頻度 | | | | | | |
| 全くない | 909 | (89.0) | 594 | (95.0) | 1503 | (91.3) |
| 週に1～2回 | 33 | (3.2) | 14 | (2.2) | 47 | (2.9) |
| 週に3～5回 | 11 | (1.1) | 5 | (0.8) | 16 | (1.0) |
| 1日に1～2回 | 8 | (0.8) | 0 | (0.0) | 8 | (0.5) |
| 毎食事 | 26 | (2.5) | 8 | (1.3) | 34 | (2.1) |
| (不明) | 34 | (3.3) | 4 | (0.6) | 38 | (2.3) |
| 10.盗食に対応したケア計画(複数回答) | | | | | | |
| 席の間隔をあける | 45 | (57.7) | 14 | (51.9) | 59 | (56.2) |
| 盗食しないよう見守る | 56 | (71.8) | 17 | (63.0) | 73 | (69.5) |
| 盗食しないよう声掛けする | 35 | (44.9) | 5 | (18.5) | 40 | (38.1) |
| 個別の席で食事を提供する | 8 | (10.3) | 7 | (25.9) | 15 | (14.3) |
| 盗食ケアその他 | 3 | (3.8) | 0 | (0.0) | 3 | (2.9) |
| 11-異食頻度 | | | | | | |
| 全くない | 918 | (89.9) | 613 | (98.1) | 1531 | (93.0) |
| 週に1～2回 | 38 | (3.7) | 3 | (0.5) | 41 | (2.5) |
| 週に3～5回 | 3 | (0.3) | 0 | (0.0) | 3 | (0.2) |
| 1日に1～2回 | 6 | (0.6) | 2 | (0.3) | 8 | (0.5) |
| 毎食事 | 23 | (2.3) | 4 | (0.6) | 27 | (1.6) |
| (不明) | 33 | (3.2) | 3 | (0.5) | 36 | (2.2) |
| 11.異食に対応したケア計画(複数回答) | | | | | | |
| 異食しないよう見守る | 44 | (62.9) | 8 | (88.9) | 52 | (65.8) |
| 食べられない飾りなどを提供しない | 40 | (57.1) | 6 | (66.7) | 46 | (58.2) |
| みかんやバナナなどの果物の皮をむいて提供する | 48 | (68.6) | 6 | (66.7) | 54 | (68.4) |
| 異食ケアその他 | 2 | (2.9) | 0 | (0.0) | 2 | (2.5) |
| 食事中の徴候・症状その他頻度 | | | | | | |
| 全くない | 220 | (21.5) | 148 | (23.7) | 368 | (22.4) |
| 週に1～2回 | 0 | (0.0) | 3 | (0.5) | 3 | (0.2) |
| 週に3～5回 | 0 | (0.0) | 1 | (0.2) | 1 | (0.1) |
| 1日に1～2回 | 1 | (0.1) | 0 | (0.0) | 1 | (0.1) |
| 毎食事 | 10 | (1.0) | 5 | (0.8) | 15 | (0.9) |
| (不明) | 790 | (77.4) | 468 | (74.9) | 1258 | (76.4) |

*1早食い・詰め込み・丸のみ頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したもの(特養n=180, 老健n=84, 全体n=264)を分母に割合を算

*2徘徊・多動頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したもの(特養n=58, 老健n=29, 全体n=87)を分母に割合を算出

*3盗食頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したもの(特養n=78, 老健n=27, 全体n=105)を分母に割合を算出

*4異食頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したもの(特養n=70, 老健n=9, 全体n=79)を分母に割合を算出

### (6)脱水・溢（いっ）水状態のアセスメントとケア計画（文責　谷口英喜）

#### 1）担当職種

「脱水・溢水に関するアセスメントとケア計画」を担当していた職種は、特養では「管理栄養士」86.1%、「介護福祉士」45.2%、「看護師」43.8%、「准看護士」22.6%、「医師」9.9%、「栄養士」5.2%、「作業療法士」4.9%、老健では「管理栄養士」79.2%、「看護師」55.0%、「介護福祉士」36.3%、「准看護師」34.6%、「介護士」32.8%、「医師」24.6%、「作業療法士」16.8%、「理学療法士」16.3%、「歯科衛生士」15.5%、「歯科医師」14.1%、であった（表 12-1)。

#### 2）脱水のアセスメントとケア計画

「脱水」の疑いがある利用者は、全体で 6.3%、特養で 8.1%、老健で 3.2%であった（表 12-2a,b)。

「脱水」を疑う所見として、「3%以上の体重減少」3.2%、「手足の冷感」1.9%、「ツルゴール低下」1.6%、「舌の表面変化」0.2%、「爪先静脈環流の遅延」0.9%、「原因不明の微熱」0.4%、「100 回/分以上の頻脈」0.2%、「尿量減少」1.3%が認められた（複数回答可能)。

脱水を発見および予防するために実施されているケア計画の項目は、「食事摂取量の確認」29.0%、「水分補給量の確認」27.9%、「定期的な体重計測の実施」27.6%、「血圧・脈拍測定」22.4%、「適切な食事摂取計画の立案」17.4%、「適切な水分補給計画の立案」11.4%。「尿量の確認」8.1%、「必要水分補給量の算出」6.3%、「採血による血清ナトリウムイオン濃度の評価」5.0%であった。

全利用者のうち、脱水と判断され脱水対策として「飲水計画」が立てられた利用者は 8.0%であった。内訳は、特養では 10.0%、老健では 4.8%であった。要介護度別では、全体および特養、老健全てにおいて要介護度が高くなるに従い、脱水に対する「飲水計画」が立てられる利用者数は増えていく傾向が認められた。

表 12-1.

| | 特養 n=1021 | | 老健 n=625 | | 合計 n=1646 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 担当職種−脱水,溢水 | | | | | | |
| 管理栄養士 | 879 | (86.1) | 495 | (79.2) | 1374 | (83.5) |
| 栄養士 | 53 | (5.2) | 50 | (8.0) | 103 | (6.3) |
| 医師 | 101 | (9.9) | 154 | (24.6) | 255 | (15.5) |
| 歯科医師 | 1 | (0.1) | 88 | (14.1) | 89 | (5.4) |
| 看護師 | 447 | (43.8) | 344 | (55.0) | 791 | (48.1) |
| 准看護師 | 231 | (22.6) | 216 | (34.6) | 447 | (27.2) |
| 介護福祉士 | 461 | (45.2) | 227 | (36.3) | 688 | (41.8) |
| 介護士 | 328 | (32.1) | 205 | (32.8) | 533 | (32.4) |
| 作業療法士 | 50 | (4.9) | 105 | (16.8) | 155 | (9.4) |
| 理学療法士 | 0 | (0.0) | 102 | (16.3) | 102 | (6.2) |
| 言語聴覚士 | 0 | (0.0) | 5 | (0.8) | 5 | (0.3) |
| 歯科衛生士 | 46 | (4.5) | 97 | (15.5) | 143 | (8.7) |

「飲水計画」は、全体では、「一回当たりの提供飲水量」は 177.1±32.5mL、「一日当たりの提供回数」は 6.4±1.4 回。特養では、「一回当たりの提供飲水量」は 171.4±33.6mL、「一日当たりの提供回数」6.7±1.3 回。老健では、「一回当たりの提供飲水量は 196.7±18.3mL、「一日当たりの提供回数」5.1±0.7 回であった（表 12-2b)。要介護度別では、全体および特養、老健全てにおいて要介護度が高くなるに従い、「一回当たりの提供飲水量」が増えていく傾向が認められた。特養に比べ、老健における「一回当たりの提供飲水量」が多く、「一日当たりの提供回数」が少ない傾向がみられた。

「脱水」と判断され、「血清ナトリウムイオン濃度の計測」されたのは老健においてのみであった。78 名に実施され、140.5±3.6mEq/L で基準値内であった。

同様に、「輸液療法」が実施されたのは 55 名（全利用者の 3.3%、脱水を疑った利用者の 53.3%)、「経口補水療法」は 71 名（全利用者の 4.3%、脱水を疑った利用者の 68.9%）であった。「輸液療法」は、特養における脱水の疑いがあるものへの実施率は 60.2%（83 名中 50 名)、老健での実施率は 25%（20 名中 5 名）であった。「経口補水療法」は、特養における脱水の疑いのあるものへの実施率は 72.3%（83 名中 60 名)、老健での実施率は 55%（20 名中 11 名）であった。

**3）溢水のアセスメントとケア計画**（文責　谷口英喜）

「溢水」の疑いがある利用者は、全体で 5.2%、特養で 5.2%、老健で 5.1%であった。

溢水を疑う所見として、「浮腫の出現」4.6%、「3%以上の体重増加」1.7%、「意識の異常」0.2%、「尿量増加」0.2%（複数回答可能）が認められていた。「頸静脈の観察」は、行われていなかった。

「溢水」を発見するために実施されている項目は、「定期的な体重計測の実施」25.7%、「血圧・脈拍測定」21.3%、「胸部レントゲン撮影」6.5%、「採血による血清ナトリウムイオン濃度の評価」5.8%であった。

全利用者のうち、溢水対策として「飲水計画」が立てられた利用者は 7.7%であった。内訳は、特養利用者では 10.5%、老健では 3.0%であった。要介護度別では、全体および特養、老健全てにおいて要介護度が高くなるに従い、溢水に対する飲水計画が立てられる利用者数は増えていく傾向が認められた。

「飲水計画」は、全体では、「一回当たりの提供飲水量」175.6±31.6mL、「一日当たりの提供回数」6.5±1.3 回。特養では、「一回当たりの提供飲水量」171.3±32.5mL、「一日当たりの提供回数」6.7±1.3 回。老健では、「一回当たりの提供飲水量」200.0±0.0mL、「一日当たりの提供回数」5.1±0.3 回。要介護度別では、全体および特養、老健全てにおいて介護度が高くなるに従い、「一回当たりの提供飲水量」が増えていく傾向が認められた。特養に比べ、老健における「一回当たりの提供飲水量」が多く、「一日当たりの提供回数」が少ない傾向が見られた。

表 12-2a.

| | 特養 n=1021 | | 老健 n=625 | | 合計 n=1646 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 脱水状態である | 83 | (8.1) | 20 | (3.2) | 103 | (6.3) |
| 脱水の問題内容（複数回答） | | | | | | |
| 体重が3%以上低下 | 43 | (4.2) | 9 | (1.4) | 52 | (3.2) |
| 手足が以前に比べ冷たくなった | 27 | (2.6) | 4 | (0.6) | 31 | (1.9) |
| 手の甲をつまんだ跡が3秒以上残る | 24 | (2.4) | 3 | (0.5) | 27 | (1.6) |
| 舌が乾いていてでこぼこがある | 4 | (0.4) | 0 | (0.0) | 4 | (0.2) |
| 指の爪を押して白色からピンク色になるまでの時間が3秒以上 | 12 | (1.2) | 2 | (0.3) | 14 | (0.9) |
| 原因不明の微熱が続く | 6 | (0.6) | 1 | (0.2) | 7 | (0.4) |
| 脈拍が100/分以上ある | 2 | (0.2) | 2 | (0.3) | 4 | (0.2) |
| 尿量が減少した | 10 | (1.0) | 12 | (1.9) | 22 | (1.3) |
| 脱水に対応して実施しているケア計画（複数回答） | | | | | | |
| 尿量の確認 | 110 | (10.8) | 23 | (3.7) | 133 | (8.1) |
| 食事量の確認 | 302 | (29.6) | 176 | (28.2) | 478 | (29.0) |
| 水分補給量の確認 | 297 | (29.1) | 163 | (26.1) | 460 | (27.9) |
| 必要補給水分量の算出 | 72 | (7.1) | 32 | (5.1) | 104 | (6.3) |
| 適切な食事摂取計画の立案 | 176 | (17.2) | 110 | (17.6) | 286 | (17.4) |
| 適切な飲水補給計画の立案 | 109 | (10.7) | 79 | (12.6) | 188 | (11.4) |
| とろみ剤の使用 | 47 | (4.6) | 46 | (7.4) | 93 | (5.7) |
| *1 とろみ段階 | | | | | | |
| うすい | 7 | (14.9) | 10 | (21.7) | 17 | (18.3) |
| 中間 | 36 | (76.6) | 25 | (54.3) | 61 | (65.6) |
| 濃い | 1 | (2.1) | 11 | (23.9) | 12 | (12.9) |
| （不明） | 3 | (6.4) | 0 | (0.0) | 3 | (3.2) |
| 定期的な体重計測の実施 | 289 | (28.3) | 165 | (26.4) | 454 | (27.6) |
| 血圧・脈圧計測 | 201 | (19.7) | 167 | (26.7) | 368 | (22.4) |
| 採血によるNaイオン濃度測定 | 1 | (0.1) | 81 | (13.0) | 82 | (5.0) |
| 輸液療法を実施 | 50 | (4.9) | 5 | (0.8) | 55 | (3.3) |
| 経口補水療法を実施 | 60 | (5.9) | 11 | (1.8) | 71 | (4.3) |
| 脱水ケアその他 | 1 | (0.1) | 7 | (1.1) | 8 | (0.5) |
| 溢水状態（低ナトリウム血症）である | 53 | (5.2) | 32 | (5.1) | 85 | (5.2) |
| 溢水の問題内容（複数回答） | | | | | | |
| 立位、座位でも頸静脈が怒張 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 体重が3%以上増加 | 23 | (2.3) | 5 | (0.8) | 28 | (1.7) |
| 意識の異常が生じた | 1 | (0.1) | 2 | (0.3) | 3 | (0.2) |
| 浮腫がある | 41 | (4.0) | 34 | (5.4) | 75 | (4.6) |
| 尿量が増加 | 2 | (0.2) | 2 | (0.3) | 4 | (0.2) |
| 溢水に対応して実施しているケア計画（複数回答） | | | | | | |
| 尿量の確認 | 83 | (8.1) | 6 | (1.0) | 89 | (5.4) |
| 食事量の確認 | 272 | (26.6) | 164 | (26.2) | 436 | (26.5) |
| 水分補給量の確認 | 266 | (26.1) | 149 | (23.8) | 415 | (25.2) |
| 必要補給水分量の算出 | 59 | (5.8) | 28 | (4.5) | 87 | (5.3) |
| 適切な食事摂取計画の立案 | 163 | (16.0) | 101 | (16.2) | 264 | (16.0) |
| 適切な飲水補給計画の立案 | 111 | (10.9) | 68 | (10.9) | 179 | (10.9) |
| とろみ剤の使用 | 38 | (3.7) | 40 | (6.4) | 78 | (4.7) |
| *2 とろみ段階 | | | | | | |
| うすい | 7 | (18.4) | 8 | (20.0) | 15 | (19.2) |
| 中間 | 29 | (76.3) | 23 | (57.5) | 52 | (66.7) |
| 濃い | 1 | (2.6) | 9 | (22.5) | 10 | (12.8) |
| （不明） | 1 | (2.6) | 0 | (0.0) | 1 | (1.3) |
| 定期的な体重計測の実施 | 262 | (25.7) | 161 | (25.8) | 423 | (25.7) |
| 血圧・脈圧計測 | 197 | (19.3) | 153 | (24.5) | 350 | (21.3) |
| 採血によるNaイオン濃度測定 | 7 | (0.7) | 89 | (14.2) | 96 | (5.8) |
| 胸部レントゲン撮影 | 61 | (6.0) | 46 | (7.4) | 107 | (6.5) |
| 血清アルブミン値測定 | 91 | (8.9) | 109 | (17.4) | 200 | (12.2) |
| 溢水ケアその他 | 2 | (0.2) | 15 | (2.4) | 17 | (1.0) |

*1:とろみ剤使用（特養n=47,老健n=46,全体n=93)を分母に割合を算出

*2:とろみ剤使用（特養n=38,老健n=40,全体n=78)を分母に割合を算出

表 12-2b.

| | 特養 n=1021 | | | 老健 n=625 | | | 合計 n=1646 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | n | mean | (SD) | n | mean | (SD) | n | mean | (SD) |
| 脱水:飲水計画(ml/回) | 102 | 171.4 | (33.6) | 30 | 196.7 | (18.3) | 132 | 177.1 | (32.5) |
| 脱水:飲水計画(回) | 102 | 6.8 | (1.3) | 30 | 5.1 | (0.7) | 132 | 6.4 | (1.4) |
| 脱水:Naイオン濃度(mEq/l) | − | − | − | 78 | 140.5 | (3.6) | 78 | 140.5 | (3.6) |
| 溢水:飲水計画(ml/回) | 107 | 171.3 | (32.5) | 19 | 200.0 | (0.0) | 126 | 175.6 | (31.6) |
| 溢水:飲水計画(回) | 107 | 6.7 | (1.3) | 19 | 5.1 | (0.3) | 126 | 6.5 | (1.3) |
| 溢水:Naイオン濃度(mEq/l) | − | − | − | 88 | 139.5 | (4.4) | 88 | 139.5 | (4.4) |

「血清ナトリウムイオン濃度」に関しては、老健においてのみ検査が実施されていた。88 名に実施され、139.5±4.4mEq/L で基準値内であった。

## 考察

### 1. 施設特性について

施設の「入所者数」、入所者の「年齢」「要介護度」「管理栄養士の常勤配置数」、「経口移行」「経口維持Ⅰ」「経口維持Ⅱ」「看取り加算」「ターミナル加算」の取得率や取得数が少ないこと、また、これらの加算非請求の理由には、「VE、VF による嚥下評価が困難」「対象者がいない」「医師、歯科医師による指示が得られない」「人員不足」が従来の調査と同様にあげられるなどから、標準的な施設と考えられた。

施設に「歯科衛生士」「歯科医師」の常勤配置は殆どみられず、「管理栄養士による食事時の観察（ミールラウンド)」は、「週３回以上」は全施設で実施されているが、「毎日」実施されている特養では５％未満、老健では 2 割程度にすぎなかったことは、今後の高齢者の「食べること」の支援体制づくりにおいて再検討される必要があると考えられた。

### 2. アセスメント・モニタリング及びケア計画表の実用性

当該「アセスメント･モニタリング表および効果的な栄養ケア計画作成のための指針（対応するケア内容)」について記載が、「不明」の割合は、殆どの項目において２％前後であり、高い場合も１割未満であったことから実用可能であった。

### 3. 低栄養状態のリスクについて

低栄養状態のリスクは、栄養マネジメント加算取得における区分により、「中リスク」と「高リスク」を合わせて、特養 56.5%、老健 52.0%と半数以上に及び、「血清アルブミン値 3.5g/dl 以下」の者は特養 48.9%、老健 39.7%にも及んでいた。これは、特養、老健ともに「80 歳以上」の者が 8 割近くを占め、要介護度の重度化がすすみ、「認知症」の割合が 9 割程度であることによって引き起こされていると考えられる。そのため、今後の施設入所者の栄養ケア･マネジメントや口腔管理の体制やあり方を検討する場合には、アセスメント・モニタリング及びケア計画表による経口摂取を維持するための問題の把握とその解決

によって低栄養の改善･維持が見込まれる入所者の特性を明らかにしていくことが必要とされる。

また、「3%以上の体重減少のある者」や「食事摂取量が 75%未満者」の割合は比較的低いことから、栄養ケア・マネジメントが体重や食事量の維持をめざして取り組まれてきていることが推察された。

**4. 摂食・嚥下能力、摂食･嚥下障害リスクについて**（文責　鎌倉やよい）

「摂食･嚥下能力のグレード評価」によって、特養、老健ともに「正常」が３～4 割、「軽症」（Gr.9～７）及び「中等症」のうち Gr.5 を合わせて 6 割を占め、「重症」は殆どみられなかったことから、「重症者」に対して VE や VF による摂食嚥下評価を推進することを強化するよりも、特養や老健の大部分を占める摂食･嚥下障害の「軽症～中等症」の高齢者に対しては、鎌倉らによって作成された非侵襲的に簡易に「摂食・嚥下障害障害リスク」を把握する手法を用いて、食事中の観察を行うことによって、対応すべき問題を早期に把握し、各問題の解決に向けてのケア計画を作成していくことが望ましいと考えられた。なお、摂食･嚥下障害のリスクの点数化やその妥当性については、さらに、詳細な解析や追跡研究によって検証を行っていくことが求められる。

**5. 口腔について**（文責　大原里子）

「歯科医師の訪問回数」が「月 2 回以上」あった施設が約 70%であった。歯科医療の必要な施設入居者の割合が高いことや 1～2 週間間隔の複数回の歯科治療が多いことを考慮すると、「月 1 回以下」の施設では歯科医療の必要性の把握と提供が不足していると考えられる。

口腔のアセスメントによって「口腔乾燥」がみられた者は､要介護１～３では約 14～19%、あったが、要介護４では 23%、要介護５では 27%と重度者では割合が高かった。ケア計画での「保湿」の割合は 2.5%と低かった。口腔乾燥により味覚機能、咀嚼機能、嚥下機能が低下するので、保湿を積極的に実施することが望まれる。また、口腔乾燥により口腔清潔は低下するので、専門的口腔ケアや歯科医師・歯科衛生士による介護職への指導の必要性が高くなる。

「開口やうがい」に問題がある場合、介護職による日常的な口腔ケアを効果的に行うことが困難となる。嚥下性肺炎のリスクが高い咀嚼機能低下や嚥下機能低下がある要介護者は、専門的口腔ケア、歯科医師・歯科衛生士による介護職への指導、歯科受診の必要性が特に高い。

「咀嚼力」の低下は、口腔乾燥、味覚機能低下、嚥下機能低下の要因となり、低栄養のリスクを大きくする。また、咀嚼力が低下して軟らかいものを多く食べることにより、さらに咀嚼力は低下する。義歯を使用して咀嚼することにより、さらなる咀嚼機能低下を防ぐことが可能となる。義歯は咀嚼機能の改善だけでなく、嚥下時に舌を適切な位置に導き、

舌が食塊を口腔から咽頭に送りこむ動きのための空間を確保する働きを持ち、嚥下機能を改善することが期待できる。加齢により歯肉や顎の骨の減少が生じ、義歯は合わなくなってくる。合わない義歯では咀嚼力の改善が小さくなる。義歯をよくあった状態で長く使うには、自分の歯のケアと年2~4回の歯科受診が有用である。

「口臭や口の中の問題」がある者の割合は、軽度の要介護者よりも重度の要介護者の方が高かったが、「歯科受診」の割合は重度の要介護者の方が低かった。口腔の不具合を訴えることが困難な、重度の要介護者への歯科医療の提供が、特に不足していると考えられる。

### 6. 食事中の姿勢について

「食事中の姿勢」は食欲や摂食嚥下機能の低下への影響が大きいが、以下の認知症の徴候･症状と同様に特養では管理栄養士と介護福祉士、介護士が、老健では、管理栄養士よりも介護福祉士が中心になって 77.6%という高い割合で担当し、理学療法士や作業療法士の参加も比較的多くなっているのが特徴であった。

「食事の姿勢」の問題がいずれか「一つ以上」に有とした者の割合は特養では4割近く、老健では 2 割近くあり、当該アセスメントによって姿勢の問題は把握することができていると考えられた。問題のある者に対しては、「摂食動作、姿勢の評価」が3割以上で行われ、「座席･テーブル椅子の調整」は、リハビリテーションの専門職が配置された老健で4割近く、「食事姿勢の調整」が特養では6割以上、老健で5割以上に行われていることは、ケア計画とその実施に結び付けられていると評価してよいと考えられた。しかし、理学療法士や作業療法士が配置されていない特養においては、管理栄養士や社会福祉士に「姿勢」のアセスメントと座席･テーブルや食事姿勢に対する評価と調整技術の習得が求められると考えられた。

### 7. 食事中の姿勢や認知症の徴候･症状について（文責　田中和美、高田健人）

「食事中の認知症関連の徴候・症状」には、主に行動障害を伴うものと精神症状を伴うものがあり、その徴候・症状に応じた適切な食支援が求められている。そのためには、管理栄養士の積極的なミールラウンド、プラン作成時における介護福祉士等との徴候・症状の共有等、より詳細な情報共有を含めた多職種協働を推進していくことが重要であるとされている。

対象施設においては、食事中の認知症に関連する徴候・症状については、主に管理栄養士と介護福祉士を中心に把握・評価されていた。認知症患者では低体重や体重減少が高頻度でみられるとされており、徴候・症状と食事摂取状況や低栄養状態との関連について検討が進められている。

本調査では対象者の約9割のものが認知症、うち自立度Ⅲa以上の重度なものが半数以上いることから、認知症に伴う徴候・症状による食事摂取や栄養状態への影響を考慮し、チームによる適切な栄養・食事支援を必要とする。その中で管理栄養士は利用者と直接接す

る機会の多い介護福祉士らとともに認知症の徴候・症状を把握して食事摂取や低栄養状態への影響を評価し、徴候・症状に対応した具体的なケア計画を作成して関連職種に働きかけることが求められており、本対象者においては多くの場面で実践されていると考えられた。

本調査で評価した11の徴候･症状について欠損の無いもの(有効回答)は1,596名(97.0%)であり、そのうち少なくとも 1 つ以上の徴候・症状について「週に 1~2 回」以上（「週に 1~2 回」「週に 3~5 回」「1 日に 1~2 回」「毎食事」の合計）の頻度でみられたものは特養 70.2%、老健 42.6%、2 つ以上の徴候・症状について「週に 1~2 回」以上みられたものは特養 45.3%、老健 23.8%と重度な認知症患者の多い特養でその割合は高かった。

認知症関連の徴候・症状に対する栄養ケア計画の目的は主に食事摂取の促しと安全面への配慮であり、その内容は、「本人への直接的な働きかけ」と「食事をするための周辺環境への働きかけ」に大別される。前者は「声掛け」「見守り」「ボディータッチ」などで、後者は「姿勢の保持」「食事時間の変更」「食事場所の変更」「食器具の変更」「食形態の変更や代替食の提供」などである。「声掛け」は最も基本的な本人への働きかけであり、徴候・症状のタイプによってその意図や必要な内容は異なるが、介護者がその都度適切に行うことで、食事中の徴候・症状への対応が可能となる。傾眠や食事の失認によって自力で食事を進めることが困難な場合には覚醒を促したり食事への意識付けを行うために声をかけ、興奮状態であったり詰め込み食べや盗食がみられる場合は落ち着いて食事がとれるよう安全面に配慮した声掛けが行われている。また、傾眠や興奮・大声・暴言・暴力など主に精神面にみられる症状については使用している「薬剤の影響の確認」や本人の訴えの「傾聴」などその背景要因を探ることも重要である。

**8. 脱水・溢水について**（文責　谷口英喜）

本調査結果において、病的な「脱水」症と判断された対象者は 10%弱であり、先行研究と比べると少ない結果となった。一方、「溢水」に関しては、5%前後であったが、先行研究にはないので比較はできない。これらは、水分管理が上手く行われている結果でもあるが、アセスメントが不十分で軽度な脱水、溢水が抽出されていない可能性もあった。

高齢者における脱水症のアセスメントは難しく、今回のアセスメント項目も重症化して初めて明らかになる項目である。今回のアセスメント項目については、利用者に定期的に実施され、通常と比べての変化が大切である。溢水のアセスメントに有効な経静脈の怒張に関する評価は難しかったようであり、今後の課題である。

食事および飲水量、体重、血圧、脈拍に関しては多くの利用者で定期的な評価が実施されていた。しかし、「尿量の確認」や「必要水分補給量の算出」「血清ナトリウムイオン濃度の評価」が実施されることは少なかった。全ての利用者において定期的な水分出納の評価により脱水、溢水ともに予防可能であるので、今後は、ケア計画として実施されるべきであり、研修によって啓発していくことが求められる。

今後への提案として、定期的な食事および飲水量、体重、尿量の評価を実施し、リスクの高い利用者においては採血を実施することが求められる。管理栄養士、看護師、介護福祉士等がアセスメントスキル、特に軽度の脱水を評価する（アルゴリズムを作成し現在投稿中）アセスメント手法を研修によって習得していくことが求められる。

**9. 多職種による取り組みについて**

摂食・嚥下障害リスク、口腔、食事中の姿勢と認知症の兆候・症状、脱水・溢水リスクに関するアセスメントやケア計画を担当した職種は、特養では、管理栄養士が主体となり、介護福祉士、介護士、看護師、歯科衛生士、准看護士、栄養士、歯科医師、医師、作業療法士、言語聴覚士等が、老健では、管理栄養士が同様に主体となり介護福祉士、看護師、准看護士、医師、言語聴覚士、歯科衛生士、作業療法士、理学療法士、歯科医師、栄養士等の多職種が担当し、チームアプローチが推進されていた。

介護保険施設においては、平成 17 年 10 月に栄養管理体制加算（その後、基本料に包括）、栄養マネジメント加算が創設され、管理栄養士の常勤配置が推進されたが、予測されていたような常勤の管理栄養士の 2 人体制には至らなかった。当該調査の対象施設においても、施設当たりの常勤管理配置数は平均 1、2 名であった。また、口腔の専門家である歯科衛生士の施設配置もすすんでいない状況が提示された。一方では、中高リスクの施設入所者は半数を上回り、嚥下調整食の利用も半数を超え個別の栄養ケア計画・実施の必要性は高くなっていた。

しかし、管理栄養士によるミールウンドを毎日行っている割合は低く、アセスメント・モニタリング表による利用者の経口摂取を支援するための観察による問題把握やケア計画の作成には、管理栄養士が担当は一番大きい割合を占めてはいるものの、社会福祉士や介護士が担当している割合も大きかった。今後は、経口摂取の支援のためのアセスメント・モニタリング、ケア計画は、管理栄養士が、歯科医師や歯科衛生士、言語聴覚士などの専門職と協力しながら、チームのマネジメントやコンサルテーションの役割を担い、社会福祉士、介護士等が利用者の食事の様子を観察して、ケア計画作成の主要な役割を担っていくことが必要になると考えられた。

以上の結果から、介護保険施設において経口摂取を支援するための栄養ケア・マネジメ「摂食・嚥下障害障害リスク」ントのアセスメント・モニタリング表と栄養ケア計画指針試案の実用化は可能であると考えられる。今後、その有効性についても継続して検証していくことが求められる。　（文責　全体　杉山みち子）

## Ⅱ．　要介護高齢者のための摂食・嚥下機能評価簡易スクリーニング方法の開発


| | |
|---|---|
| 愛知県立大学　看護学部 | 教　授　鎌倉　やよい |
| 名古屋大学大学院医学系研究科発育・加齢医学講座 | 教　授　葛谷　雅文 |
| 名古屋大学　医学部　耳鼻いんこう科 | 講　師　藤本　保志 |
| 長寿医療センター歯科口腔先端診療開発部 | 部　長　角　保徳 |
| 愛知淑徳大学　健康医療科学部 | 准教授　榎　裕美 |
| 医療法人北辰会　蒲郡厚生館病院　栄養管理室 | 室　長　沢田　恵美 |


### 目　的

介護保険施設への平成17年10月の栄養ケア･マネジメントの導入に伴い、平成18年4月に摂食嚥下機能が低下した高齢者の「食べること」を支援するために経口移行加算及び経口維持加算が導入され、摂食・嚥下機能の低下を評価したうえでの栄養ケア･マネジメントにおける管理栄養士による栄養ケア計画の作成が期待されることになった。しかし、介護保険施設においては、嚥下造影検査（VF: videofluoroscopic examination of swallowing）や嚥下内視鏡検査（VE: videoendoscopic evaluation of swallowing）などの医療機関と連携した摂食・嚥下機能評価は困難状況にある施設が多く、経口移行加算や経口維持加算Ⅰの取得が、現在も依然として伸びていない。また、医療的な摂食嚥下評価を行わない経口維持Ⅱ加算の取得についても、簡便なスクリーニング機能を果たす摂食・嚥下機能の評価ツールが厚生労働省から通知されていないこともあり、推進されていない現状である。以上より、介護保険施設おいて、摂食・嚥下機能低下者を早期に把握するための簡便なスクリーニング法の導入と、摂食・嚥下障害の入所高齢者の個別の身体状況、栄養状態、嗜好、食環境等に見合って、経口摂取を支援することを目的とした栄養ケア･マネジメントを推進するために、アセスメント・モニタリング表の様式例の見直しや、栄養ケア計画作成上の指針が緊急に求められている。

本研究は、介護保険施設における要介護高齢者の経口摂取を支援するために、摂食・嚥下機能評価のための簡易スクリーニング、効果的な栄養ケア・マネジメントのためのアセスメント･モニタリング表および効果的な栄養ケア計画作成のための指針の試案を作成し、さらに介護保険施設において、これらの試案を用いて利用者の実態調査を行い、その実用化をはかり、介護保険施設における要介護高齢者の摂食・嚥下機能を評価することができる簡易スクリーニング法の開発を目的とする。

### 方法

（1）調査対象

医療法人北辰会老人保健施設みらいあ入所高齢者59名（平均年齢83.4±9.4歳）、及び同法人内のデイサービス･デイケアの通所型サービスを利用する高齢者172名（平均年齢82.3±8.4歳）を対象とした。

（2）調査方法

調査者は、医療法人北辰会みらいあグループに所属する管理栄養士であり、既存記録から基礎データを収集すると共に、食事場面を観察してデータを取得した。

登録時の基本調査として、利用者の基本属性、身長、体重、既往歴、常用薬、基本的ADL、食事の種類、とろみ剤の使用、食事時間などの調査を行った。基本的ADLは、食事、移乗、整容、

トイレ動作、入浴、歩行、更衣、階段使用の8項目から評価した(0-100)。摂食嚥下に影響をおよぼす常用薬については、「意識レベルや注意力を低下させる薬剤」、「唾液分泌低下を起こす薬剤」、「運動機能を障害する薬剤」、「粘膜障害を起こす薬剤」に分類した。また、摂食・嚥下障害の評価は、高齢者の嚥下障害に対する他者評価尺度（以下、他者評価尺度　表１）及び摂食・嚥下能力のグレード評価（嚥下グレード）（表2）を用いた。さらに、他者評価尺度には、口腔内への水の取り込みに関する３項目（うがい）を加えた。

**表１　高齢者の嚥下障害に対する他者評価尺度**

| 番号 | 食事中にあらわれる症状の質問 | ほとんどない | まれにある | 時々ある | いつもある | 点数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 噛むことが困難である | 0 | 1 | 2 | 3 | 準備・口腔期・**咽頭期** **点** |
| 2 | 硬い食べ物を避け、軟らかい食べ物ばかり食べる | 0 | 1 | 2 | 3 | |
| 3 | 口から食べ物がこぼれる | 0 | 1 | 2 | 3 | |
| 4 | ことばが明瞭でない | 0 | 1 | 2 | 3 | |
| 5 | 食べ物をいつまでも飲み込まずに噛んでいる | 0 | 1 | 2 | 3 | |
| 6 | 食事中や食後に濁った声に変わる | 0 | 1 | 2 | 3 | |
| 7 | 食べるのが遅くなる | 0 | 1 | 2 | 3 | |
| 8 | 水分や食べ物が口に入ったとたんにむせたり、せきこんだりする | 0 | 1 | 2 | 3 | 誤嚥 点 |
| 9 | 水分や食べ物を飲み込む時にむせたり、せきこんだりする | 0 | 1 | 2 | 3 | |
| 10 | 水分や食べ物を飲み込んだ後にむせたり、せきこんだりする | 0 | 1 | 2 | 3 | |
| 11 | 水分を飲み込むときにむせる | 0 | 1 | 2 | 3 | |
| 12 | ご飯を飲み込むときにむせる | 0 | 1 | 2 | 3 | |
| 合　計　点　数（３点以上の場合摂食・嚥下障害リスクありと判定する） | | | | | | 点 |

**表２　摂食・嚥下能力のグレード評価（嚥下グレード）（藤島）**

| | | | |
|---|---|---|---|
| Ⅰ重症 | 経口不可 | Gr.1 | 嚥下困難または不能 |
| | | Gr.2 | 基礎的嚥下訓練のみ可能 |
| | | Gr.3 | 厳密な条件下の摂食訓練が可能 |
| Ⅱ中等症 | 経口と補助栄養 | Gr.4 | 楽しみとしての摂食が可能 |
| | | Gr.5 | 一部（1～2 食）経口摂取 |
| | | Gr.6 | 3 食経口摂取プラス補助栄養 |
| Ⅲ軽症 | 経口のみ | Gr.7 | 嚥下食で，3 食とも経口摂取 |
| | | Gr.8 | 特別嚥下しにくい食品（パサつくもの，堅いもの、水など）を除き，3 食経口摂取 |
| | | Gr.9 | 常食の経口摂取可能、臨床的観察と指導が必要 |
| Ⅳ正常 | | Gr.10 | 正常の摂食・嚥下能力 |

（３）倫理的配慮

調査方法は、入所の記録からの情報収集、及び観察による情報収集をデータとする方法であり,身体的介入は実施しない調査であることから、施設内に研究実施に関する掲示を行った。掲示文には、

研究の目的、対象、方法、期間について明記し、さらにデータ使用を拒否することができる手続きを明記した。なお、老健施設については入所時に、「個人情報に配慮したうえでデータを使用することがあります。」等の記載がある入所同意書が高齢者から提出されている。今回の使用した他者評価尺度は、愛知県立大学鎌倉やよいが研究代表者の平成15・16年度科学研究費補助金基盤研究（C）による研究成果であり、他者評価尺度に関する論文筆頭者（愛知県立大学深田順子教授）に使用許可の了解を得る手続きをとった。摂食・嚥下能力のグレード評価（嚥下グレード）は藤島一郎氏（浜松リハビリテーション病院長）の提唱されたものであるが、普及して一般化されているので、特に了解を得る手続きは不要であった。なお、本研究は、愛知淑徳大学研究倫理審査委員会の承認を得て実施した。

（４）解析方法

統計解析は、登録時のデータを介護老人保健施設入所者とデイサービス、デイケアを利用する通所型サービスを利用する高齢者個々に解析を行った。他者評価尺度の２群間の比較には、$\chi$二乗検定または対応のないｔ検定を用いた。すべての統計解析には、SPSS20.0を用い、いずれも危険率5%未満を有意差ありとした。

## 結果

（１） 対象者の特性　介護老人保健施設（表３）

同意の得られた高齢者は、介護老人保健施設に入居する高齢者59名（男性15名、女性44名　平均年齢84.3歳）と同施設のデイケア、デイサービスを利用する通所高齢者172名（男性70名、女性102名　平均年齢82.3歳）である。

施設入所の高齢者では、要介護４および５の認定を受けているものが全体の約40%を占め、基本的ADLは、100点満点中41.1±32.1点であった。慢性疾患の罹患率は、高血圧が最も多く32.2%であった。摂食嚥下に影響をおよぼす常用薬の使用については「意識レベルや注意力を低下させる薬剤」は11.9%認められ、「唾液分泌低下を起こす薬剤」、「運動機能を障害する薬剤」、「粘膜障害を起こす薬剤」の使用についても使用されていた。摂食方法については、自助具を使用しない自力摂取が全体の67.8%と最も多く、全面介助のものは20%に認められた。他者評価尺度スコアは、平均で7.1±6.0点、また、他者評価尺度によるスクリーニング結果では、３点未満の問題がなかった高齢者は全体の25.4%で、残りの74.6%はリスクありと評価された。一方、嚥下グレードでは、重症と評価されたものは認められず、中等度が8.5%、軽症が59.3%であった。

（２） 対象者の特性　デイケア、デイサービス利用者（表３）

デイサービス、デイケアの通所型サービスを利用する高齢者では、要支援１、２、要介護１のものが全体の半数以上を占め、基本的ADLは73.8±24.2点であった。健康状態の自己評価では、「非常に健康だと思う」、「まあ健康だと思う」の割合は全体の73.2%であった。慢性疾患の罹患率は、高血圧の罹患者が52.3%、糖尿病が14.5%であった。摂食嚥下に影響をおよぼす常用薬については「意識レベルや注意力を低下させる薬剤」の使用は12.2%認められ、「唾液分泌低下を起こす薬剤」は11.0%、「運動機能を障害する薬剤」、「粘膜障害を起こす薬剤」の使用についてもわずかではあるが使用されていた。摂食方法については、自助具を使用しない自力摂取が全体の91.8%であり、ほとんどの高齢者が自立していた。摂食・嚥下障害リスク他者評価尺度スコアは、平均で2.0±3.5点、摂食・嚥下障害リスク他者評価尺度によるスクリーニング結果では、３点未満の問題がなかった高齢者は全体の

72.7%であった。一方、嚥下グレードでは、重症と評価されたものは認められず、中等度が1.8%、軽症が36.7%であり、正常は全体の61.5%であった。

表3 対象者の背景

| | | 介護老人保健施設 (n=59) | | デイサービス・デイケア (n=172) | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | mean±SD, n (%) | | mean±SD, n (%) | |
| 年齢 | (歳) | 84.3±9.4 | | 82.3±8.4 | |
| 性別 | 男/女 | 15(25.4)/44(74.6) | | 70(40.7)/102(59.3) | |
| 要介護認定 | 要支援1 | 0 | (0.0) | 5 | (2.9) |
| | 要支援2 | 0 | (0.0) | 29 | (16.9) |
| | 要介護1 | 9 | (15.3) | 62 | (36.0) |
| | 要介護2 | 16 | (27.1) | 31 | (18.0) |
| | 要介護3 | 10 | (16.9) | 21 | (12.2) |
| | 要介護4 | 17 | (28.8) | 19 | (11.0) |
| | 要介護5 | 7 | (11.9) | 5 | (2.9) |
| 基本的ADL | (100点満点) | 41.1±32.1 | | 73.8±24.2 | |
| Body Mass Index | (kg/m2) | 20.2±3.0 | | 22.0±3.8 | |
| 健康状態(1か月間) | 非常に健康だと思う | 15 | (25.4) | 36 | (20.9) |
| | まあ健康だと思う | 13 | (22.0) | 90 | (52.3) |
| | あまり健康ではない | 2 | (3.4) | 30 | (17.4) |
| | 全く健康ではない | 0 | (0.0) | 3 | (1.7) |
| | 不明 | 29 | (49.2) | 13 | (7.6) |
| 疾病の罹患 | 糖尿病 | 8 | (13.6) | 25 | (14.5) |
| | 高血圧 | 19 | (32.2) | 90 | (52.3) |
| | 心臓病 | 10 | (16.9) | 23 | (13.4) |
| | 慢性呼吸器疾患 | 0 | (0.0) | 2 | (1.2) |
| | 腎臓病 | 2 | (3.4) | 6 | (3.5) |
| 使用薬剤 | 意識レベルや注意力を低下させる薬剤 | 7 | (11.9) | 21 | (12.2) |
| | 唾液分泌低下を起こす薬剤 | 4 | (6.8) | 19 | (11.0) |
| | 運動機能を障害する薬剤 | 2 | (3.4) | 12 | (7.0) |
| | 粘膜障害を起こす薬剤 | 4 | (6.8) | 5 | (2.9) |
| 摂食方法 | 自力摂取(はし/スプーン) | 40 | (67.8) | 156 | (91.8) |
| | 自力摂取(自助具使用) | 5 | (8.5) | 8 | (4.7) |
| | 部分介助 | 2 | (3.4) | 1 | (10.6) |
| | 全面介助 | 12 | (20.3) | 5 | (2.9) |
| 食べる姿勢 | 座位 | 55 | (93.2) | 167 | (98.8) |
| | 60-90度挙上 | 2 | (3.4) | 2 | (1.2) |
| | 30-45度挙上 | 2 | (3.4) | 0 | (0.0) |
| 摂食・嚥下障害リスク他者評価スコア | (点) | 7.1±6.0 | | 2.0±3.5 | |
| 摂食・嚥下障害リスク他者評価 | 問題ない (<3) | 15 | (25.4) | 125 | (72.7) |
| | リスクあり (≧3) | 44 | (74.6) | 47 | (27.3) |
| うがい評価スコア | | 0.8±2.2 | | 0.1±0.4 | |
| うがい評価スコア評価＋摂食・嚥下障害リスク他者評価スコア | | 7.9±7.7 | | 2.1±3.6 | |
| 嚥下グレード | 重症 (Gr1～3) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| | 中等症 (Gr4～6) | 5 | (8.5) | 3 | (1.8) |
| | 軽症 (Gr7～9)) | 35 | (59.3) | 62 | (36.7) |
| | 正常 (Gr10) | 19 | (32.2) | 104 | (61.5) |

（3） 他者評価尺度による摂食嚥下リスクの有無と背景因子との関連について

介護老人保健施設とデイサービス、デイケア利用者を個々に、摂食嚥下リスクの有無による背景因子の比較を行った（表４）。

介護老人保健施設では、摂食嚥下リスクの有る群とない群の比較では、年齢、性別、慢性疾患の罹患率、肺炎の罹患率、食事の終わるまでの時間の因子においては有意な差は認められなかった。有意差が認められたのは、基本的ADL、BMI、食事の種類、とろみの使用であり、摂食嚥下に問題がなかった群は、基本的ADLのスコアが高く、食事はすべて常菜であり、とろみ剤は全く使用されていなかった。

一方、デイケア、デイサービスを利用する高齢者を対象とした２群間の比較では、有意な因子

として、基本的ADL、腎臓病の罹患率、食事の種類、とろみ剤の使用、食事が終わるまでの時間が抽出された。

表4　摂食・嚥下障害リスク他者評価尺度によるリスク者と非リスク者の背景因子の比較

| | | 介護老人保健施設　(n=59) | | | | p値 | デイサービス・デイケア (n=172) | | | | p値 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 問題ない(＜3) n=15 | | リスク有(≧3) n=44 | | | 問題ない(＜3) n=125 | | リスク有(≧3) n=47 | | |
| | | mean±SD, n (%) | | mean±SD, n (%) | | | mean±SD, n (%) | | mean±SD, n (%) | | |
| 年齢 | (歳) | 85.5±6.3 | | 83.8±10.3 | | n.s. | 82.2±8.5 | | 82.7±8.0 | | n.s. |
| 性別 | 男/女 | 2(13.3)/13(86.7) | | 13(29.5)/31(70.5) | | n.s. | 43(34.4)/82(65.6) | | 27(57.4)/20(42.6) | | p<0.01 |
| 基本的ADL | (100点満点) | 64.3±20.6 | | 33.2±31.6 | | p<0.01 | 79.1±20.3 | | 59.8±28.0 | | p<0.01 |
| Body Mass Index | (kg/m2) | 22.4±3.2 | | 19.4±2.6 | | p<0.01 | 22.3±3.7 | | 21.1±4.0 | | <0.1 |
| 疾病の罹患 | 糖尿病 | 3 | (20.0) | 5 | (11.4) | n.s. | 16 | (12.8) | 9 | (19.1) | n.s. |
| | 高血圧 | 4 | (26.7) | 15 | (34.1) | n.s. | 67 | (53.6) | 23 | (48.9) | n.s. |
| | 心臓病 | 5 | (33.3) | 5 | (11.4) | p<0.1 | 18 | (14.4) | 5 | (10.6) | n.s. |
| | 慢性呼吸器疾患 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | n.s. | 1 | (0.8) | 1 | (2.1) | n.s. |
| | 腎臓病 | 1 | (6.7) | 1 | (2.3) | n.s. | 1 | (0.8) | 5 | (10.6) | p<0.01 |
| 肺炎の罹患 | 肺炎と診断されていない | 15 | (100.0) | 44 | (100.0) | n.s. | 119 | (95.2) | 42 | (89.4) | n.s. |
| | 肺炎と診断された | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | | 2 | (1.6) | 0 | (0.0) | |
| | 不明 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | | 4 | (3.2) | 5 | (10.6) | |
| 食事の種類 | 常菜 | 15 | (100.0) | 9 | (21.4) | p<0.001 | 95 | (76.0) | 14 | (29.8) | p<0.001 |
| | 軟菜 | 0 | (0.0) | 16 | (38.1) | | 26 | (20.8) | 28 | (59.6) | |
| | きざみ | 0 | (0.0) | 11 | (26.2) | | 1 | (0.8) | 5 | (10.6) | |
| | ソフト | 0 | (0.0) | 5 | (11.9) | | 3 | (2.4) | 0 | (0.0) | |
| | その他 | 0 | (0.0) | 1 | (2.4) | | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | |
| とろみ剤の使用 | 使用 | 0 | (0.0) | 20 | (45.5) | p<0.001 | 4 | (3.3) | 13 | (27.7) | p<0.001 |
| | 未使用 | 15 | (100.0) | 24 | (54.5) | | 119 | (96.7) | 34 | (72.3) | |
| 食事が終わるまでの時間 | 15分程度 | 9 | (60.0) | 13 | (29.5) | n.s. | 47 | (39.2) | 10 | (21.3) | p<0.01 |
| | 30分程度 | 6 | (40.0) | 27 | (61.4) | | 67 | (55.8) | 27 | (57.4) | |
| | 45分程度 | 0 | (0.0) | 3 | (6.8) | | 6 | (5.0) | 8 | (17.0) | |
| | 1時間以上 | 0 | (0.0) | 1 | (2.3) | | 0 | (0.0) | 2 | (14.3) | |

年齢、基本点ADL、BMI：対応のないt検定、その他の因子：χ 二乗検定

## 考察

本研究は、介護保険施設における要介護高齢者の経口摂取を支援するために、摂食・嚥下機能評価のための簡易スクリーニング、効果的な栄養ケア・マネジメントのためのアセスメント･モニタリング表および効果的な栄養ケア計画作成のための指針の試案を作成し、さらに介護保険施設において、これらの試案を用いて利用者の実態調査を行い、その実用化をはかり、介護保険施設における要介護高齢者の摂食・嚥下機能を評価することができる簡易スクリーニング法の開発を目的とした。

本研究の対象は、施設入所の高齢者と地域在住で通所サービスを利用している２つの生活環境が違う集団で調査を実施したが、デイサービス、デイケアを利用している高齢者では、要介護度は軽度のものが多く、食事は自力摂取、食べる姿勢も座位がほとんどであった。しかしながら、このように一見ADLが保たれているように見えても、他者評価尺度スコア、嚥下グレードの評価において、約27～30％のリスク者または軽症以上のものが認められ、さらに慢性疾患の罹患率は入所している高齢者と差がないことからも、通所サービスを利用している段階からのスクリーニングは有効と考えられた。

一方、入所高齢者においては、他者評価尺度スコア、嚥下グレードの評価で、リスク者は約68～75％に認められ、今後、これらの個々の設問別の問題点とその解決策を、他者評価尺度の項目を用いながら検討していく必要がある。

他者評価尺度による評価で、摂食嚥下にリスクがある群と問題の無い群の比較を行った結果では、BMI、ADL、食事の種類、とろみ剤、食事の終わるまでの時間の因子と強い関連があることを示し、これらの因子の把握に有効なツールと考えられた。

この研究の制限としては、施設高齢者ではサンプルサイズが小さかったことと比較的、肺炎の発症率が少なく、よく栄養管理されている施設であることが関係すると思われる。また、今回は、点数化だけの解析にとどめたがが、うがいの評価については、他者評価尺度とともに合計点を使用するのが妥当か、また個別に問題把握のために実施するのかなど、前向きに実施しているイベント調査結果をふまえ今後検討していきたい。

## Ⅲ．介護保険施設における嚥下調整食分類の利用状況

### 目　的

各施設において摂食や嚥下に問題のある人向けの食形態に名称が統一されていないことが以前より指摘されていた。2013 年に日本摂食・嚥下リハビリテーション学会は本邦において、米国の National Dysphagia Diet のような統一した摂食嚥下食の分類がないために、急性期病院、回復期病院、施設、在宅への連携の際に摂食・嚥下障害者及び関係者の不利になるとして、統一基準や統一名称の作成をすすめたものである。この分類では、幅広い成人の中途障害による摂食嚥下障害症例に対応できるように最も重度の機能障害に対応するコード 0 にゼリー状（0J）ととろみ（0T）を設けている。一方、基本的には、食事として提供することを想定して「食」という名称を用いているものである。そこで、本検討では各介護保険施設において使用している嚥下調整食が「嚥下調整食学会分類 2013」（以下、学会分類）にどのように対応するかを検討することを目的とした。

### 方　法

Ⅰの実態調査と同時に下記の 3 種類の質問を実施した。

各施設で使用している嚥下調整食が学会分類のどの分類に該当するかを、学会分類速水表に、各施設での名称と例示・定義等の記載欄を設けて、記述を依頼した。学会分類の 1 つの名称に施設で使用している食形態が 2 種類以上ある場合は、すべて記載することとした。また、学会分類の分類に該当する食形態がない場合は「該当なし」、既存の分類にはないが個別対応している場合は、「個別対応」と記載することとした。

咀嚼や嚥下が困難な対象に、学会分類以外に刻みなどの対応をしているかを調査した。刻みなどの対応がある場合は、その名称、およその大きさ、常食よりも軟らかく煮るかどうか、ピューレやあんかけにするか、その食形態を嚥下困難者に使用するか、その食形態を咀嚼困難者にしようするかについて調査した。

それぞれの施設で、とろみについて段階わけの有無を問い、段階わけをしている場合には、学会分類のとろみの 3 段階のどれに対応するかを調査した。調査項目は、それぞれのとろみ段階に対して、各施設での名称及び施設におけるとろみの特性・定義である。

### 結果及び考察

摂食嚥下食の学会分類との対応

学会分類における摂食嚥下食には 5 コードに対し、コード 0 に J と T、コード 2 に 1 と 2 の 2 種があり、計 7 種類の食形態がある。回答が得られた 35 施設における食形態の種類は平均 4 種類であり、学会分類に対応する食形態の種類数は、1 種類（2 施設）、2 種類（4 施設）、3 種類（8 施設）、4 種類（10 施設）、5 種類（5 施設）、6 種類（2 施設）、7 種類（4 施設）であった。

表　　学会分類に対応する食形態の有無

| | 該当する食形態がある | 個別対応 | 他のコードと共通 | 該当する食形態無し |
|---|---|---|---|---|
| 0J | 13 | 4 | 0 | 18 |
| 0T | 10 | 3 | 4 | 18 |
| 1J | 26 | 0 | 5 | 4 |
| 2−1 | 29 | 0 | 4 | 2 |
| 2−2 | 9 | 0 | 8 | 18 |
| 3 | 26 | 0 | 3 | 6 |
| 4 | 26 | 0 | 3 | 6 |
| | | | | （施設） |

各施設において、学会分類の各食形態に対応する食形態の有無を表に示した。該当する食形態が最も多くあるのは、2-1 の 29 施設であり、1J、3、4 が 26 施設と多かった。一方で 2-2 は最も少なく 9 施設であった。嚥下訓練食であるコード 0 については、既存の食形態でなく個別対応している施設があった。また０J 以外では、他のコードに分類された食形態が共通して使用されていた。該当する食形態がないものは０J、０T、2-2 がそれぞれ 18 施設と多かった。各施設が受け入れている入居者の特性によっても、どれだけの種類を準備するかは異なると予測されるが、1，2 種類での対応や他の同じ食種を学会分類の他のコードと共通することの可否は今後の課題と考える。

表　嚥下訓練食品

| コード | 項目 | | 施設での説明 |
|---|---|---|---|
| 0J | 形態 | ○○状 | ・ムーズ状<br>・ゼリー状<br>・ゼリー状で離水が少なくスライス状にすくえる<br>・ゼリー状で保水性があり離水しにくい<br>・液状 |
| | | 固さ | ・丸のみ可能<br>・舌でつぶれる、口腔内で食塊を作りやすい、溶けやすい |
| | | 調理法・大きさ・食種 | ・スライス法で咽頭部をスムーズに通過 |
| | 目的・特色 | | ・市販食品使用<br>・ST評価用<br>・たんぱく質無しまたは少量<br>・高エネルギー |
| 0T | 形態 | ○○状 | ・ゼリー状<br>・液状<br>・ムース状、ミキサー状 |
| | | 固さ | |
| | | 調理法・大きさ・食種 | ・とろみ水、均質でゆっくりのどに送り込み可能<br>・とろみあり<br>・とろみ水で3種類（明らかなトロミでスプーンですくうと盛り上がる、あまりとろみがなく、持ったりとしている、しっかりトロミがありどろっとしている |
| | 目的・特色 | | ・たんぱく質無しまたは少量<br>・脱水時に使用、水分確保用<br>・食事開始用 |

表に嚥下訓練食に該当するとした各施設での食品の説明を示した。○○状あるいは固さでの説明が主であった。学会分類では、０J はゼリー状、０T はとろみ状としており、０T にゼリー状、０J に液状の説明があることは不適切であろう。それ以外の状態、固さはほぼ

定義にあうと思われる。また、「誤嚥を考慮してたんぱく質含有量が少ないもの」という説明が学会分類であることから、たんぱく質量の説明はあっているが、高エネルギーの必要はないと思われる。

表　嚥下調整食１J

| コード | 項目 | | 施設での説明 |
|---|---|---|---|
| 1J | 形態 | ○○状 | ・ゼリー状。表面が滑らかで変形しやすい<br>・ゼリー状市販食品<br>・ゼリー状、プリン状<br>・ゼリー状、固形補助剤使用<br>・ゆるめのゼリー状及び少し硬めのゼリー状<br>・軟らかいぜリー状<br>・ゼリー状、ムース状、付着・凝集性・固さに配慮<br>・プリン状、均質で滑らか、離水少ない<br>・ペースト状<br>・ムース状で粒がない、固形化補助剤使用<br>・ムース状、空気が混ざっている、ミキサー食＋ゲル化剤<br>・ムース状、ゼリー状<br>・均質で付着性、凝固性、硬さに配慮したゼリー状、プリン状、ムーズ状 |
| | | 固さ | ・咀嚼要さず、食塊形成しやすい<br>・均質で舌でつぶせる<br>・丸のみ可能<br>・スプーンで塊を簡単に崩せる<br>・舌で軽く押しつぶせる程度<br>・口腔内で香りを感じやすく、形がすぐ変わる<br>・舌や歯茎でつぶせる<br>・振っても表面がゆれない |
| | | 調理法・大きさ・食種 | ・とろみ水<br>・ミキサー食＋固形化補助剤（凝固剤）<br>・ペースト状＋固形化補助剤 |
| | 目的・特色 | | ・食事開始時のお試し食または食欲低下時に使用<br>・栄養量をおおむね計算可能 |
| | 主食の例 | | ・ミキサー粥<br>・付着性、凝集性、離水に配慮したミキサー粥<br>・ミキサー粥＋ゲル化剤 |

学会分類で、「咀嚼に関連する能力は不要、スプーンですくった時点で適切な食塊になる、均質でなめらか、離水が少ないゼリー、プリン、ムース状」としており、ほぼ説明に見合っていると思われる。１J に限らず、固形化補助剤が使用されているが、これらを使用した場合の固さ等は明確ではない。

表　嚥下調整食 2-1 及び 2-2

| コード | 項目 | | 施設での説明 |
|---|---|---|---|
| 2-1 | 形態 | ○○状 | ・ペースト状<br>・ペースト状、なめらか、均質<br>・ムース状<br>・ピューレ状でまとまりやすい<br>・濃いトロミ状からやや強い濃いトロミ状 |
| | | 固さ | ・粒がなく均質でなめらか、スプーンですくって食べる<br>・均質でまとまりやすい<br>・なめらかでスプーンで食べられる<br>・ゴマ粒上の舌ざわりで、つぶつぶあり<br>・均質、なめらか、べたつかず、まとまりやすい<br>・つぶつぶがない、付着性が低い<br>・咀嚼要さず、丸呑み可能。<br>・飲み込みやすい<br>・咀嚼力を促すことができ、滑りがよい<br>・舌で軽く押しつぶせる程度の軟らかさ、滑らかさ<br>・振ると表面が揺れる |
| | | 調理法・大きさ・食種 | ・とろみ調整剤使用<br>・濃厚流動市販食品<br>・ミキサー食＋とろみ剤（ゲル化剤、凝固補助剤、増粘剤） |
| | 目的・特色 | | ・たんぱく質含有量の多少は問わない |
| | 主食の例 | | ・ミキサー粥、付着性、硬さ、ゆるさに配慮<br>・ミキサー粥と全粥ミキサーの混合<br>・ミキサー粥＋増粘剤<br>・ペースト粥<br>・粥ムース |
| 2－2 | 形態 | ○○状 | ・ペースト状＋増粘剤<br>・ムース状、ミキサーとろみ状 |
| | | 固さ | ・かまなくても飲み込める<br>・押しつぶしが容易<br>・舌、歯茎で押しつぶせる<br>・咀嚼を要さず丸呑み可能 |
| | | 調理法・大きさ・食種 | ・つぶつぶあり、まとまりあり、離水なし、付着性低い<br>・凍結含浸調理法により繊維を軟化<br>・ミキサー食（肉、葉物）<br>・粗いミキサー食<br>・ゴマ粒～粥粒状のつぶつぶあり、離水なし<br>・ミキサー食＋増粘剤 |
| | 目的・特色 | | |
| | 主食の例 | | ・ミキサー粥、つぶつぶがある、若干の付着性あり<br>・全粥<br>・分粥 |

学会分類では、「スプーンですくって、口腔内の簡単な操作により適切な食塊にまとめられるもの」で「一般にはミキサー食、ピューレ食、ペースト食」と呼ばれるものが多い分類とされている。また、「なめらかで均一」なものを 2-1、「やわらかい粒などを含む不均一なもの」を 2-2 としている。2-2 は各施設で該当する食種が少なかった分類である。これは、ミキサーやペースト状にした場合に、均一か不均一かの分類が難しいためかもしれない。学会分類でも調整方法としては、「食品をミキサーにかけてなめらかにし、かつ、凝集性を付加したようなもの」とあるため、ミキサー＋とろみ剤などの使用の説明は適切と考えられる。2-1 では全体的に軟らかい状態を示す説明が多いが、まとまりの良さについての定義との組み合わせが大切であろう。また、主食については学会分類では、「とろみ調整食品でとろみづけしたおもゆ、付着性が高くならないように処理したミキサー粥」を代表としており、施設における 2-1 の分類は適切と思われるが、2-2 に全粥や分粥が記載されているのは、不適切かもしれない。また、粥については、そのままでは時間とともに付着性を増すことから、学会分類における Q&A では、でんぷん分解酵素剤を使用してミキサー後にゲル化剤を使用することを説明しているが、今回の調査では各施設での細かいつくり方まで調査していないので、どの程度の対応をしているかは不明である。また、調査時には学会

の早見表に各施設での分類を記載してもらったため、調査時点で原文を丁寧に読み込んでいない場合には、施設での食種の分類が不十分な可能性もある。

表　嚥下調整食３

| コード | 項目 | | 施設での説明 |
|---|---|---|---|
| 3 | 形態 | ○○状 | ・ゼリー状にあんかけ |
| | | 固さ | ・口腔内で容易に押しつぶすことができる<br>・口の中でばらけずに形を変えて咽頭に運べる<br>・舌でつぶせる、飲み込みやすい<br>・歯茎でつぶせる<br>・押しつぶしが容易、食塊形成・移送が容易<br>・スプーンの背で容易に押しつぶすことができる |
| | | 調理法・大きさ・食種 | ・形がある、肉魚はミンチまたはフードプロセッサーにかけて再形成。<br>・野菜類は1～3㎜角に刻み、固さ、ばらけやすさなくまとめる<br>・細かくあんかけ<br>・一口大<br>・きざみ、極きざみ、軟菜<br>・0.3～0.5cmの刻み食＋固形化補助剤<br>・5㎜の刻み食＋固形化補助剤<br>・ミキサー食＋固形化補助剤（ゲル化剤）<br>・極刻み食＋とろみ剤<br>・つぶつぶあり<br>・凍結含浸調理法により繊維を軟化<br>・形がある、多量の離水がない |
| | 目的・特色 | | |
| | 主食の例 | | ・全粥<br>・離水に配慮した全粥<br>・全粥＋固形化補助剤（ゲル化剤）<br>・粥ゼリー<br>・離水しないように配慮したミキサー粥<br>・ペースト粥（ゼリー状） |

コード３は、一般に「やわらか食」、「ソフト食」と呼ばれることが多い「形はあるが、歯や補修物がなくても押しつぶし可能、食塊形成が容易、多量の離水がない、一定の凝集性がある」といった説明になっている。各施設での説明では、○○状という表現はほとんどなく、比較的軟らかいことを示す固さの説明のほか、大きさや調理法の詳細の記述が多かった。コード 3 では、学会分類においても、ミキサーやすりつぶしを必要とせず、素材の選択や調理法の配慮が含まれることが記載されている。そのため、調理法の説明の刻んだうえで固形化剤、あんかけなどの説明が使用されているのは当然であろう。細かい説明がないために十分に状態を把握できないが、ミキサー食＋固形化補助剤はもう少し低いコードでもよいように思われる。また、刻み食に固形化補助剤を使用したものが、刻んだものを固形化補助剤を水に溶くようにして、まとめただけであれば、コード 3 に見合う軟らかさがあるかが明確ではない。主食については、分粥、全粥が学会での例にあがっているが、離水しないようにしたミキサー粥、ペースト粥はもう少し低いコードに該当するかもしれない。

表　嚥下調整食４

| コード | 項目 | | 施設での説明 |
|---|---|---|---|
| 4 | 形態 | ○○状 | |
| | | 固さ | ・舌でつぶせる<br>・歯、義歯で弱い力で咀嚼可能<br>・歯茎でかめる<br>・スプーンでつぶれる<br>・固い素材を避ける |
| | | 調理法・大きさ・食種 | ・形がある、ばらけなずに箸やスプーンの使用可能<br>・魚肉はミンチ、フードプロセッサー後に再形成<br>・野菜類は5㎜に刻み、固さ、ばらけやすさなくまとめる<br>・一口大<br>・きざみ、とろみ、軟らかい食材<br>・軟らかく細かくしたものに、とろみやあんかけ<br>・一口きざみ、軟菜<br>・1㎝大<br>・きざみ＋固形化補助剤<br>・凍結含浸調理法<br>・生野菜を加熱して軟らかくする<br>・軟らかく煮て、細かく切ったもの<br>・肉は二度挽き後に、つなぎで形成<br>・3～5㎜あるいは7㎜のみじん＋あんかけ<br>・きざみ<br>・食材につなぎを使用、軟らかく調理 |
| | 目的・特色 | | ・咀嚼しやすい<br>・歯がなくても食べられる<br>・歯がなくても押しつぶした時にばらける |
| | 主食の例 | | ・全粥<br>・全粥（水分少なめ）<br>・軟飯<br>・常食 |

コード４では○○状という説明はなく、固さや調理方法等の説明が多くなる。学会分類でも「固すぎず、ばらけにくく、ねばりつきにくいもので、箸やスプーンで切れる軟らかさ」、「上下の歯槽堤間での押しつぶし能力以上は必要」とされ、素材に配慮された煮込み料理など一般食が含まれる分類である。そのため、各施設での分類でも、軟らかく調理する工夫に関する説明が多いが、一口大や刻みなど軟らかさの配慮が不十分と思われる説明も見られる。主食は学会分類では全粥や軟飯としているが、複数の施設で常食という記述があったが、該当施設における常食がもともと一般的な飯より軟らかめかもしれないが、詳細は不明である。

刻み食について

咀嚼や嚥下が困難な人に嚥下調整食分類以外に刻みなどの対応をしている施設は、29 施設あった。記載されていた刻み食の種類は、1 種類が 11 施設、2 種類が 10 施設と多いが、最大で 7 種類の記載があり、計 60 種類となった。それらの刻み食を「嚥下が困難な方への使用」があるものと、「咀嚼が困難な方への使用」があるものについて詳細を検討した。「常食より軟らかく煮るか」及び「ピューレやあんかけにするか」の回答の組み合わせにより「軟らかく煮るのみ」、「ピューレ、あんかけのみ」、両方が「はい」の場合を「軟らかく煮る」＆「ピューレ、あんかけ」、両方「いいえ」の場合を「両方無し」とした。また、大きさは各施設が記載した大きさ（○cm 角）の範囲を示した。施設における記載が○～○cm という場合は中央値を求めた。

表　刻み食の使用

| | | 「軟らかく煮る」のみ | 「ピューレ、あんかけ」のみ | 「軟らかく煮る」&「ピューレ、あんかけ」 | 両方無し |
|---|---|---|---|---|---|
| 咀嚼が困難な人への使用 | 食種の数（食） | 15 | 4 | 15 | 18 |
| | 刻みの大きさ(cm) | 0.5～2 | 1cm またはそぼろ状 | 0.15～1 | 0.5～2 |
| 嚥下が困難な人への使用 | 食種の数（食） | 5 | 5 | 14 | 4 |
| | 刻みの大きさ(cm) | 0.5～2 | 1～2 | 0.15～0.75 | 0.5～1.5 |

大きさは、どの分類でもあまり差はないが、「ピューレ、あんかけ」のみの場合にやや大きめな傾向がみられた。咀嚼が困難な人への使用では、「軟らかく煮る」、「ピューレ、あんかけ」のいづれもしていないものが最も多く、これらの食事が咀嚼の困難な人に適した状態になっているかについて検討が必要である。嚥下が困難な人への使用では、「軟らかく煮る」＆「ピューレ、あんかけ」が最も多かったが、一方のみ、両方無しもそれぞれ 4～5 食あった。

とろみ

とろみについては、各施設で一定のコップ（150ml など）に対して、とろみ剤を小さじ○杯や重量の記載があった。各施設が使用しているとろみ剤の種類がばらばらのために、同じ程度のとろみであるかの比較は難しい。ここでは、「中間のとろみ」に対して、「薄いとろみ」、「濃いとろみ」がどの程度であるかを比較するために、「中間のとろみ」でのとろみ剤の使用量に対して、他のとろみでの使用量の割合を求めた。「薄いとろみ」での使用量は、「中間のとろみ」の 0.33～0.67 倍で平均では 0.52 倍であった。また「濃いとろみ」では 1.20～2.00 倍で平均 1.64 倍であった。学会分類でのとろみは、粘度と LST 値で示されている。粘度は各段階とも範囲で示されているため、その中央値をとり各段階を比較すると「中間のとろみ」に対し「薄いとろみ」で 0.4 倍、「濃いとろみ」で 1.8 倍となるので、比率的には、各施設での値はほぼ適正と思われる。今回の記述では、形状の説明は少なかったので、3 段階のとろみがあったとしても、それらが学会分類とあっているかについては、今後、使用しているとろみ剤の種類を考慮の上、検討が必要である。

## 結　論

今回の調査時点は、学会分類が公表されてからの時間が短く、また調査票に学会分類の全文を示していないことから、まだ理解が不十分な回答者が多くいるとは思われる。施設の食事の学会分類へのあてはめは、ある程度は適正にされていると考えられるが、一部、不適切な説明（施設での定義）がみられた。また、訓練食でなく、普段の食事では食材や調理法が多様なため、短い言葉での定義が困難であることも予測される。一方で、説明に使用されている用語が多様であり、今後はある程度は学会分類で使用されている用語を共通して使用していく工夫も必要と思われた。一方で、刻み食については、嚥下障害を有する患者での使用について危険性も指摘されており、「軟らかく煮る」、「ピューレ、あんかけ」

のない状態での使用については、適正な対象に提供されているかを検討する必要があると思われる。

# Ⅳ．地域健常高齢者における摂食嚥下障害ならびに栄養障害の実態調査からの簡易スクリーニング法の必要性

名古屋大学大学院医学系研究科地域在宅医療学老年科学　葛谷雅文

## 目　的

要介護認定を受けて施設入所している高齢者と元気に地域で生活している高齢者との比較を目的として、今回名古屋市高年大学鯱城学院に通学している健常高齢者を対象に摂食嚥下、さらには栄養状態に対する内容を検討する。

## 方　法

研究方法

名古屋市高年大学鯱城学園に通学する全対象者のうち、性別は問わず年齢60歳以上（1学年550人程度）で、研究に対して同意した対象者に対して以下の調査を実施した。

調査項目：

- 基本情報：性別、年齢、生活状況：家族構成、配偶者の有無など、経済状態、教育歴など
- 生活習慣調査：喫煙の有無、飲酒の有無
- 日常生活動作：bADL（Barthel Index)、IADL (Lawton)
- 栄養調査：Mini-nutritional assessment (MNA)：高齢者用の包括的栄養調査
- 食事調査票：FFQg (Food Frequency Questionnaires)（添付資料）
- 口腔内調査：自然歯数、義歯の有無、かみ合わせ、咀嚼力調査
- 身体計測：身長、体重、上腕周囲長、上腕皮下脂肪厚、 下腿周囲長、腹囲
- 筋肉量、脂肪量：BIA法（InBody)
- 筋力・身体機能指標：握力、通常歩行速度（5mの通常歩行速度を評価）
- 身体活動量：Baecke 日常身体活動度票
- 基本チェックリスト（現在市町村で使用されている高齢者二次予防対象者選別用のバッテリー)
- 抑うつ評価：Geriatric Depression Scale-15
- QOL：Visual Analogue Scale
- リビングウィルの有無
- 疾病調査
- 定期的通院の有無（歯科も含む)：通院診療科名（歯科を含む)
- 転倒・骨折歴：転倒（過去一年間)、骨折歴（65歳以上に受傷した骨折で、交通外傷

は含まない）骨折部位（大腿骨頸部骨折、脊椎、上腕など）

- 老年症候群の有無：視力障害、聴力障害、排尿関連（頻尿、失禁)、睡眠、排便（便秘の有無)、関節痛、ふらつき
- 過去一年の入院歴、入院理由

（倫理面への配慮）

名古屋大学医学部倫理委員会の承認を受け、文章による同意を得た対象者のみを調査した。なお、解析は集団として行い、個人情報の保護に努めた。

## 結　果

470 名（男性：186 名；女性：284 名)、平均年齢 68.7±4.7 歳（男性：69.2±4.5 歳、女性：68.5±4.8 歳）の同意を得て調査した。

なお、参加者すべてが基本的 ADL は自立しており、要介護認定も受けていない自立した高齢者であった。

表 1 に男女別の背景を示した。

平均年齢が男女とも 68～69 歳と比較的若い集団であった。男性の参加者では半数以上が大卒であり、また経済状態についても「一部の援助が必要」と回答したのはごく一部であり、経済的にも恵まれた集団であることが分かる。そうは言っても男性女性とも 7 割が定期的通院をしていると回答している。

表 2 に介護予防事業における二次予防対象者選定で使用される基本チェックリストに存在する、「半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか」、「お茶や汁物等でむせることがありますか」、「口の渇きが気になりますか」の設問に対する回答、ならびに高齢者用包括的簡易栄養評価（mini nutritional assessment-short form: MNA-SF）の点数ならびに分類を示す。

このように自立した健常と思われる高齢者ではあるが、「半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか」の問いに「はい」と回答した咀嚼機能障害が疑われる対象者は男性、女性とも 15～16%程度存在した。また、「お茶や汁物等でむせることがありますか」の問いに対して「はい」と回答した嚥下機能障害を疑う対象者はさらに多く、男性で 18.3%、女性で 17.0%存在した。これより、咀嚼、嚥下機能障害は ADL 障害より前に既に既に村愛している可能性がある。しかし、コレラは全て主観的な評価であり、今後客観的評価が必要である。

一方栄養状態に関しては MNA-SF で低栄養と評価されたのは、男性で 0%、女性で 0.4%と参加者のうち、女性でただ一人であった。これらの在宅で元気に生活している高齢者の栄養状態は良好であることが想像できる。

## 結論

470 名の健常高齢者の主観的咀嚼・嚥下機能ならびに MNA-SF を使用した栄養評価を時視した。栄養状態は総じて良好であったが、このような健常高齢者においても主観的な咀嚼・嚥下機能の低下が相当数観察された。今後、これらの高齢者が継時的にどのような変化を呈するのかを縦断的に観察したい。

また今回の結果から、介護保健施設入所者ばかりでなく、地域健常高齢者にも摂食嚥下障害や低栄養の簡易スクリーニングの必要性があることは明らかである。

表 1. 参加者の男女別背景

| | | 男性 | | 女性 | | 合計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **基本背景** | | | | | | | |
| 年齢 | n数 | 186 | | 284 | | 470 | |
| | 平均値 | 69.2 | | 68.5 | | 68.7 | |
| | 標準偏差 | 4.5 | | 4.8 | | 4.7 | |
| | 標準誤差 | 0.3 | | 0.3 | | 0.2 | |
| 同居人数 (n, %) | 0人（独居） | 8 | 4.4 | 87 | 31.5 | 95 | 20.8 |
| | 1人 | 90 | 50.0 | 115 | 41.7 | 205 | 45.0 |
| | 2人 | 46 | 25.6 | 43 | 15.6 | 89 | 19.5 |
| | 3人 | 20 | 11.1 | 14 | 5.1 | 34 | 7.5 |
| | 4人 | 16 | 8.9 | 17 | 6.2 | 33 | 7.2 |
| 経済状況 (n, %) | 余裕あり | 19 | 10.6 | 48 | 17.4 | 67 | 14.7 |
| | 生活には困らない | 160 | 88.9 | 216 | 78.3 | 376 | 14.7 |
| | 一部の援助が必要 | 1 | 0.6 | 12 | 4.3 | 13 | 14.7 |
| | 全面的な援助が必要 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 14.7 |
| 教育歴 (n, %) | 小学校卒業程度 | 1 | 0.6 | 1 | 0.4 | 2 | 0.4 |
| | 中学校卒業程度 | 12 | 6.7 | 21 | 7.6 | 33 | 7.2 |
| | 高校卒業程度 | 62 | 34.4 | 134 | 48.6 | 196 | 43.0 |
| | 短期大学、専門学校卒業程度 | 8 | 4.4 | 91 | 33.0 | 99 | 21.7 |
| | 大学卒業以上 | 97 | 53.9 | 29 | 10.5 | 126 | 27.6 |
| 定期的通院 (n, %) | あり | 136 | 75.6 | 182 | 65.9 | 318 | 69.7 |
| | なし | 44 | 24.6 | 94 | 34.1 | 138 | 30.3 |
| 歯科通院 (n, %) | あり | 108 | 60.0 | 165 | 59.8 | 273 | 59.9 |
| （過去3ヶ月） | なし | 72 | 40.0 | 111 | 40.2 | 183 | 40.1 |

表２．参加者の主観的咀嚼嚥下機能ならびに栄養状態

| | | 男性 | | 女性 | | 合計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **口腔機能 #1** | | | | | | | |
| 咀嚼機能低下 (n, %) | あり | 30 | 16.7 | 42 | 15.2 | 72 | 15.8 |
| | なし | 150 | 83.3 | 234 | 84.8 | 384 | 84.2 |
| 嚥下機能低下 (n, %) | あり | 33 | 18.3 | 47 | 17.0 | 80 | 17.5 |
| | なし | 147 | 81.7 | 229 | 83.0 | 376 | 82.5 |
| 口腔乾燥 (n, %) | あり | 48 | 26.7 | 79 | 28.6 | 127 | 27.9 |
| | なし | 132 | 73.3 | 197 | 71.4 | 329 | 72.1 |
| 口腔機能の低下 | あり | 27 | 14.5 | 37 | 13.0 | 64 | 13.6 |
| （上の2つ以上に該当 | なし | 159 | 85.5 | 247 | 87.0 | 406 | 86.4 |
| **栄養評価** | | | | | | | |
| MNA-SF(0-14点) | n数 | 186 | | 284 | | 470 | |
| | 平均値 | 12.5 | | 12.2 | | 12.3 | |
| | 標準偏差 | 1.4 | | 1.4 | | 1.4 | |
| | 標準誤差 | 0.1 | | 0.1 | | 0.1 | |
| MNA_SF判定 (n, %) | 低栄養(0-7点) | 0 | 0.0 | 1 | 0.4 | 1 | 0.2 |
| | 栄養不良の危険性あり(8-11点) | 48 | 25.8 | 79 | 27.8 | 127 | 27.0 |
| | 栄養状態良好(12-14点) | 138 | 74.2 | 204 | 71.8 | 342 | 72.8 |

# Ⅴ．介護保険施設における栄養ケア・マネジメント　口腔管理のあり方に関する提言

本調査結果から以下のような提言を行うことができる。（文責：小山秀夫）

1．介護保険制度創設により、平成 17 年 10 月に導入された介護保険施設の食事料の全額自己負担化に伴う、栄養ケア・マネジメント制度の導入は、介護保険分野における低栄養問題の存在（今回の調査結果からも 5 割以上が中程度以上の栄養問題を有している）を社会的に明らかにし、その対応として高齢者の個別栄養ケアが社会的重要性の認識醸成に著しく貢献したことは明らかであり、今後とも栄養ケア・マネジメント体制を強固に構築することが求められている。

2．介護保険施設の栄養ケア・マネジメント体制の確立には、管理栄養士の適切な配置が必要である。介護保険施設の管理栄養士は、栄養ケア・マネジメントにおけるモニタリング、アセスメント、プランニング、および評価といった一連のマネジメント業務を遂行し、ミールラウンドや適切な食形態の選択などに努力しているが、摂食嚥下機能が低下した高齢者への経口移行加算及び経口維持加算に至っていない現状が明らかであり、各種専門職によるチームによる体制の確立が求められている。

3．介護保険施設の栄養・咀嚼嚥下に関する問題の発見、改善計画の実施、評価に至る一連の業務において、介護福祉士をはじめと介護職員の技術能力や勤務意欲およびその他の職種とのチームワークが業務結果を左右していることは明らかであるとともに、介護職員をサポートする専門職集団の支援が必要である。この意味では、利用者の栄養状態の改善は職員全体の技術集積と施設全体のマネジメントの徹底が求められている。

4．介護保険施設入所者の摂食嚥下機能低下者の早期把握のための簡便なスクリーニング法の導入と、その個別の身体状況、栄養状態、嗜好、食環境等に見合って、経口摂取を支援することを目的とした栄養ケア･マネジメントを推進するために、アセスメント・モニタリング表の様式例の見直しや、栄養ケア計画作成上の新しい指針を、行政サイドから発信することが求められている。

5．本研究でも明らかなように、月 2 回以上の歯科医の施設訪問、常勤が無理であっても定期的な歯科衛生士の関与、定期的なアセスメントや食事中の姿勢の改善などには、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士の定期的関与が望ましい。これらの、何らかの専門職集団の利用者への科学的アセスメントや介護専門職種に対する支援体制の構築が必要である。

6．今回作成されたアセスメント･モニタリング表および効果的な栄養ケア計画作成のための指針（対応するケア内容）については、実用可能であると判断されたこともあり、介護現場の軽中度要介護者を主なターゲットして、今後とも実用試験を重ね改善を繰り返すことが必要である。

7．介護保険施設では、利用者 100 名当たり 2 名以上の管理栄養士の配置が不可欠である。これは、栄養ケア・マネジメントが介護報酬上算定できるようになった平成 17 年度 10 月改正で、管理栄養士の配置加算 12 単位、栄養マネジメント加算 12 単位と設定され、当時の民間施設の管理栄養士の 1 人当たり人件費が 420 万円程度であり、それを利用者 1 人日当たり 120 円と積算し、100 人 365 日で 438 万となることを前提としたものである。したがって、栄養マネジメント加算算定施設では 2 名以上の管理栄養士の配置が経営的に可能になるように配慮されているのである。平成 24 年度改正では、管理栄養士の配置加算が介護報酬に包括化され、栄養マネジメント加算は、14 単位に引き上げられた。この意味では、介護保険施設 100 名当たり 2 名以上の管理栄養士が配置されていなければ、栄養マネジメント業務の遂行は人員的に支障をきたすことになる。それにもかかわらず、管理栄養士 1 名配置の施設が多数であるという現状は、早急に是正を要する。

8．以上の事柄に関連して、栄養マネジメント加算の算定要件に人員配置（構造評価）と、マネジメントの実施過程（プロセス評価）、さらに咀嚼嚥下問題や低栄養状態の改善度合い（アウトカム評価）と 3 側面から算定の在り方を見直す必要がある。

9．さらに、嚥下造影検査（VF）や嚥下内視鏡検査（VE）などの医療機関と連携した摂食・嚥下機能評価は困難な状況にある施設が多く、経口移行加算や経口維持加算Ⅰの取得が、現在も依然として伸びず、また、医療的な摂食嚥下評価を行なわない経口維持加算Ⅱの取得も、簡便なスクリーニング機能をはたす摂食嚥下機能の評価票（様式例）が徹底されていないことから、経口維持加算の算定要件の見直しと、管理栄養士、歯科医師、歯科衛生士、言語聴覚士などによりチーム体制加算的な算定方式に改善することが望ましい。

10. 栄養状態のアセスメントやモニタリングには、医師の判断が重要であるとともに、ケアスタッフへの支持権限を実質的に有する介護保険施設に関与する医師に対しての栄養ケアや咀嚼嚥下に対する医療的な教育も必ずしも十分でない現状から、少なくとも老人保健施設の施設長である医師や特別養護老人ホームにおいて医師配置加算の対象となる医師には、何らかの方法で研修を義務づけるとともに、特別養護老人ホームの嘱託医等にも医師団体等の協力を得て研修機会を確保する必要があると考えられる。

# 資料編

# 研究Ⅰ別表

別表1-a

| 要介護度別集計（全体・特養・老健） | 全体 | | 要介護1 n=104 | | 要介護2 n=235 | | 要介護3 n=389 | | 要介護4 n=452 | | 要介護5 n=466 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 性別 | | | | | | | | | | | | |
| 男性 | 28 | (26.9) | 64 | (27.2) | 105 | (27.1) | 95 | (21.0) | 102 | (21.9) | | |
| 女性 | 76 | (73.1) | 171 | (72.8) | 284 | (73.0) | 357 | (79.0) | 364 | (78.1) | | |
| 年齢階級 | | | | | | | | | | | | |
| 65歳未満 | 4 | (3.8) | 6 | (2.6) | 8 | (2.1) | 10 | (2.2) | 7 | (1.5) | | |
| 65-74歳 | 11 | (10.6) | 25 | (10.6) | 40 | (10.3) | 31 | (6.9) | 36 | (7.7) | | |
| 75-79歳 | 17 | (16.3) | 20 | (8.5) | 37 | (9.5) | 45 | (10.0) | 43 | (9.2) | | |
| 80-84歳 | 19 | (18.3) | 46 | (19.6) | 63 | (16.2) | 77 | (17.0) | 100 | (21.5) | | |
| 85-89歳 | 24 | (23.1) | 59 | (25.1) | 105 | (27.0) | 103 | (22.8) | 122 | (26.2) | | |
| 90-94歳 | 22 | (21.2) | 53 | (22.6) | 79 | (20.3) | 110 | (24.3) | 93 | (20.0) | | |
| 95-99歳 | 7 | (6.7) | 22 | (9.4) | 46 | (11.8) | 56 | (12.4) | 54 | (11.6) | | |
| 100歳以上 | 0 | (0.0) | 4 | (1.7) | 11 | (2.8) | 20 | (4.4) | 11 | (2.4) | | |
| 施設種別 | | | | | | | | | | | | |
| 特養 | 36 | (34.6) | 94 | (40.0) | 219 | (56.3) | 319 | (70.6) | 353 | (75.8) | | |
| 老健 | 68 | (65.4) | 141 | (60.0) | 170 | (43.7) | 133 | (29.4) | 113 | (24.2) | | |
| 現在の加算取得状況 | | | | | | | | | | | | |
| 経口移行加算 | 1 | (1.0) | 0 | (0.0) | 2 | (0.5) | 0 | (0.0) | 1 | (0.2) | | |
| 経口維持加算Ⅰ | 1 | (1.0) | 1 | (0.4) | 1 | (0.3) | 4 | (0.9) | 14 | (3.0) | | |
| 経口維持加算Ⅱ | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 6 | (1.5) | 28 | (6.2) | 50 | (10.7) | | |
| 看取り加算 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 5 | (1.3) | 2 | (0.4) | 7 | (1.5) | | |
| ターミナル加算 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (0.7) | 0 | (0.0) | | |
| 療養食加算 | 29 | (27.9) | 87 | (37.3) | 133 | (34.5) | 128 | (29.0) | 119 | (25.9) | | |
| 糖尿病食 | 14 | (13.5) | 30 | (12.8) | 64 | (16.5) | 62 | (13.7) | 46 | (9.9) | | |
| 腎臓病食 | 6 | (5.8) | 21 | (9.0) | 32 | (8.2) | 33 | (7.3) | 31 | (6.7) | | |
| 肝臓病食 | 1 | (1.0) | 2 | (0.9) | 3 | (0.8) | 3 | (0.7) | 1 | (0.2) | | |
| 胃潰瘍食 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (0.4) | | |
| 貧血食 | 2 | (1.9) | 10 | (4.3) | 9 | (2.3) | 8 | (1.8) | 6 | (1.3) | | |
| 膵臓病食 | 1 | (1.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.3) | 1 | (0.2) | 0 | (0.0) | | |
| 脂質異常症食 | 5 | (4.8) | 19 | (8.1) | 18 | (4.6) | 16 | (3.5) | 21 | (4.5) | | |
| 痛風食 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | | |
| 検査食 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | | |
| 認知症であるもの | 81 | (77.9) | 206 | (87.7) | 356 | (91.8) | 433 | (95.8) | 446 | (95.7) | | |
| *1 認知症高齢者の日常生活自立度 | | | | | | | | | | | | |
| Ⅰ | 11 | (13.6) | 26 | (12.7) | 23 | (6.5) | 16 | (3.7) | 2 | (0.4) | | |
| Ⅱ | 12 | (14.8) | 6 | (2.9) | 8 | (2.2) | 9 | (2.1) | 1 | (0.2) | | |
| Ⅱa | 16 | (19.8) | 28 | (13.7) | 44 | (12.4) | 17 | (3.9) | 13 | (2.9) | | |
| Ⅱb | 18 | (22.2) | 58 | (28.2) | 76 | (21.3) | 66 | (15.2) | 26 | (5.8) | | |
| Ⅲ | 3 | (3.7) | 13 | (6.3) | 20 | (5.6) | 37 | (8.5) | 27 | (6.1) | | |
| Ⅲa | 16 | (19.8) | 60 | (29.3) | 120 | (33.7) | 150 | (34.6) | 120 | (26.9) | | |
| Ⅲb | 2 | (2.5) | 6 | (2.9) | 34 | (9.6) | 49 | (11.3) | 61 | (13.7) | | |
| Ⅳ | 1 | (1.2) | 4 | (2.0) | 18 | (5.1) | 63 | (14.5) | 137 | (30.7) | | |
| M | 1 | (1.2) | 3 | (1.5) | 6 | (1.7) | 19 | (4.4) | 55 | (12.3) | | |
| （不明） | 1 | (1.2) | 2 | (1.0) | 7 | (2.0) | 7 | (1.6) | 4 | (0.9) | | |
| 今年の1月からの状況 | | | | | | | | | | | | |
| 熱発（38度以上）あるもの | 11 | (10.6) | 30 | (12.8) | 86 | (22.1) | 138 | (30.5) | 162 | (34.8) | | |
| *2 熱発回数 | | | | | | | | | | | | |
| 1回 | 9 | (81.8) | 28 | (93.3) | 75 | (87.2) | 114 | (82.6) | 115 | (71.0) | | |
| 2回 | 2 | (18.2) | 0 | (0.0) | 4 | (4.7) | 13 | (9.4) | 22 | (13.6) | | |
| 3回 | 0 | (0.0) | 2 | (6.7) | 5 | (5.9) | 7 | (5.1) | 17 | (10.5) | | |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (2.4) | 4 | (2.9) | 8 | (4.9) | | |
| 肺炎既往あるもの | 3 | (2.9) | 8 | (3.4) | 22 | (5.7) | 36 | (8.0) | 75 | (16.1) | | |
| 入院したもの | 10 | (9.6) | 28 | (12.0) | 57 | (14.7) | 80 | (17.7) | 97 | (20.8) | | |
| *3 入院回数 | | | | | | | | | | | | |
| 1回 | 7 | (70.0) | 21 | (75.0) | 44 | (77.2) | 65 | (81.2) | 57 | (58.8) | | |
| 2回 | 2 | (20.0) | 3 | (10.7) | 8 | (14.0) | 11 | (13.8) | 28 | (28.9) | | |
| 3回 | 0 | (0.0) | 2 | (7.1) | 1 | (1.8) | 1 | (1.2) | 4 | (4.1) | | |
| 4回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (3.1) | | |
| 5回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (1.0) | | |
| （不明） | 1 | (10.0) | 2 | (7.1) | 4 | (7.0) | 3 | (3.8) | 4 | (4.1) | | |
| ここ1か月くらいの健康・平穏状態 | | | | | | | | | | | | |
| 非常に健康・平穏 | 42 | (40.4) | 76 | (32.5) | 123 | (31.7) | 79 | (17.5) | 38 | (8.2) | | |
| まあ健康・平穏 | 55 | (52.9) | 138 | (58.7) | 212 | (54.5) | 296 | (65.5) | 310 | (66.5) | | |
| あまり健康・平穏でない | 7 | (6.7) | 17 | (7.3) | 39 | (10.1) | 65 | (14.4) | 97 | (20.8) | | |
| 全く健康・平穏でない | 0 | (0.0) | 3 | (1.3) | 10 | (2.6) | 9 | (2.0) | 17 | (3.6) | | |
| （不明） | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 5 | (1.3) | 3 | (0.7) | 4 | (0.9) | | |

*1:「認知症であるもの」の人数を分母に割合を算出
*2:「熱発（38度以上）あるもの」の人数を分母に割合を算出
*3「入院したもの」の人数を分母に割合を算出

別表1-b

| 要介護度別集計（全体・特養・老健） | 特養 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=36 | | 要介護2 n=94 | | 要介護3 n=219 | | 要介護4 n=319 | | 要介護5 n=353 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 性別 | | | | | | | | | | |
| 男性 | 7 | (19.4) | 23 | (24.5) | 49 | (22.4) | 62 | (19.4) | 67 | (19.0) |
| 女性 | 29 | (80.6) | 71 | (75.6) | 170 | (77.6) | 257 | (80.6) | 286 | (81.0) |
| 年齢階級 | | | | | | | | | | |
| 65歳未満 | 1 | (2.8) | 1 | (1.1) | 0 | (0.0) | 5 | (1.6) | 7 | (2.0) |
| 65-74歳 | 3 | (8.3) | 6 | (6.4) | 17 | (7.8) | 21 | (6.6) | 28 | (7.9) |
| 75-79歳 | 5 | (13.9) | 9 | (9.6) | 21 | (9.6) | 31 | (9.7) | 26 | (7.4) |
| 80-84歳 | 6 | (16.7) | 12 | (12.8) | 31 | (14.2) | 48 | (15.0) | 75 | (21.2) |
| 85-89歳 | 6 | (16.7) | 29 | (30.9) | 65 | (29.7) | 74 | (23.2) | 94 | (26.6) |
| 90-94歳 | 10 | (27.8) | 25 | (26.6) | 50 | (22.8) | 86 | (27.0) | 72 | (20.4) |
| 95-99歳 | 5 | (13.9) | 11 | (11.7) | 28 | (12.8) | 42 | (13.2) | 40 | (11.3) |
| 100歳以上 | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 7 | (3.2) | 12 | (3.8) | 11 | (3.1) |
| 施設種別 | | | | | | | | | | |
| 特養 | 36 | (100.0) | 94 | (100.0) | 219 | (100.0) | 319 | (100.0) | 353 | (100.0) |
| 老健 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 現在の加算取得状況 | | | | | | | | | | |
| 経口移行加算 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.5) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 経口維持加算Ⅰ | 1 | (2.8) | 1 | (1.1) | 1 | (0.5) | 4 | (1.3) | 14 | (4.0) |
| 経口維持加算Ⅱ | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 4 | (1.8) | 18 | (5.6) | 33 | (9.3) |
| 看取り加算 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 5 | (2.3) | 2 | (0.6) | 7 | (2.0) |
| ターミナル加算 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 療養食加算 | 7 | (19.4) | 26 | (27.7) | 61 | (28.2) | 73 | (23.4) | 82 | (23.6) |
| 糖尿病食 | 5 | (13.9) | 10 | (10.6) | 33 | (15.1) | 38 | (11.9) | 31 | (8.8) |
| 腎臓病食 | 1 | (2.8) | 7 | (7.4) | 16 | (7.3) | 18 | (5.6) | 21 | (5.9) |
| 肝臓病食 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.3) | 1 | (0.3) |
| 胃潰瘍食 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.3) |
| 貧血食 | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 5 | (2.3) | 2 | (0.6) | 5 | (1.4) |
| 膵臓病食 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.3) | 0 | (0.0) |
| 脂質異常症食 | 1 | (2.8) | 7 | (7.4) | 7 | (3.2) | 10 | (3.1) | 16 | (4.5) |
| 痛風食 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 検査食 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 認知症であるもの | 32 | (88.9) | 84 | (89.4) | 210 | (96.3) | 305 | (95.6) | 338 | (95.8) |
| *1 認知症高齢者の日常生活自立度 | | | | | | | | | | |
| Ⅰ | 3 | (9.4) | 9 | (10.7) | 16 | (7.6) | 9 | (3.0) | 1 | (0.3) |
| Ⅱ | 4 | (12.5) | 1 | (1.2) | 4 | (1.9) | 5 | (1.6) | 0 | (0.0) |
| Ⅱa | 8 | (25.0) | 13 | (15.5) | 20 | (9.5) | 10 | (3.3) | 7 | (2.1) |
| Ⅱb | 8 | (25.0) | 24 | (28.6) | 51 | (24.3) | 50 | (16.4) | 18 | (5.3) |
| Ⅲ | 2 | (6.2) | 7 | (8.3) | 10 | (4.8) | 25 | (8.2) | 15 | (4.4) |
| Ⅲa | 6 | (18.8) | 27 | (32.1) | 67 | (31.9) | 98 | (32.1) | 86 | (25.4) |
| Ⅲb | 0 | (0.0) | 2 | (2.4) | 23 | (11.0) | 37 | (12.1) | 49 | (14.5) |
| Ⅳ | 1 | (3.1) | 0 | (0.0) | 12 | (5.7) | 55 | (18.0) | 115 | (34.0) |
| M | 0 | (0.0) | 1 | (1.2) | 3 | (1.4) | 10 | (3.3) | 45 | (13.3) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 4 | (1.9) | 6 | (2.0) | 2 | (0.6) |
| 今年の1月からの状況 | | | | | | | | | | |
| 熱発（38度以上）あるもの | 3 | (8.3) | 11 | (11.7) | 49 | (22.4) | 112 | (35.1) | 125 | (35.4) |
| *2 熱発回数 | | | | | | | | | | |
| 1回 | 3 | (100.0) | 11 | (100.0) | 45 | (91.8) | 94 | (83.9) | 89 | (71.2) |
| 2回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (6.1) | 8 | (7.1) | 19 | (15.2) |
| 3回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 6 | (5.4) | 11 | (8.8) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (2.0) | 4 | (3.6) | 6 | (4.8) |
| 肺炎既往あるもの | 0 | (0.0) | 2 | (2.1) | 7 | (3.2) | 28 | (8.8) | 54 | (15.3) |
| 入院したもの | 2 | (5.6) | 6 | (6.4) | 34 | (15.6) | 51 | (16.0) | 73 | (20.7) |
| *3 入院回数 | | | | | | | | | | |
| 1回 | 1 | (50.0) | 4 | (66.7) | 27 | (79.4) | 40 | (78.4) | 40 | (54.8) |
| 2回 | 0 | (0.0) | 1 | (16.7) | 3 | (8.8) | 8 | (15.7) | 23 | (31.5) |
| 3回 | 0 | (0.0) | 1 | (16.7) | 1 | (2.9) | 0 | (0.0) | 3 | (4.1) |
| 4回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (4.1) |
| 5回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| （不明） | 1 | (50.0) | 0 | (0.0) | 3 | (8.8) | 3 | (5.9) | 4 | (5.5) |
| ここ1か月くらいの健康・平穏状態 | | | | | | | | | | |
| 非常に健康・平穏 | 11 | (30.6) | 23 | (24.5) | 57 | (26.0) | 50 | (15.7) | 28 | (7.9) |
| まあ健康・平穏 | 23 | (63.9) | 61 | (64.9) | 122 | (55.7) | 204 | (63.9) | 229 | (64.9) |
| あまり健康・平穏でない | 2 | (5.6) | 8 | (8.5) | 27 | (12.3) | 54 | (16.9) | 76 | (21.5) |
| 全く健康・平穏でない | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 9 | (4.1) | 8 | (2.5) | 16 | (4.5) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 4 | (1.8) | 3 | (0.9) | 4 | (1.1) |

*1:「認知症であるもの」の人数を分母に割合を算出
*2:「熱発（38度以上）あるもの」の人数を分母に割合を算出
*3「入院したもの」の人数を分母に割合を算出

別表1-c

| 要介護度別集計（全体・特養・老健） | 老健 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=68 | | 要介護2 n=141 | | 要介護3 n=170 | | 要介護4 n=133 | | 要介護5 n=113 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 性別 | | | | | | | | | | |
| 男性 | 21 | (30.9) | 41 | (29.1) | 56 | (32.9) | 33 | (24.8) | 35 | (31.0) |
| 女性 | 47 | (69.1) | 100 | (70.9) | 114 | (67.1) | 100 | (75.2) | 78 | (69.0) |
| 年齢階級 | | | | | | | | | | |
| 65歳未満 | 3 | (4.4) | 5 | (3.5) | 8 | (4.7) | 5 | (3.8) | 0 | (0.0) |
| 65-74歳 | 8 | (11.8) | 19 | (13.5) | 23 | (13.5) | 10 | (7.5) | 8 | (7.1) |
| 75-79歳 | 12 | (17.6) | 11 | (7.8) | 16 | (9.4) | 14 | (10.5) | 17 | (15.0) |
| 80-84歳 | 13 | (19.1) | 34 | (24.1) | 32 | (18.8) | 29 | (21.8) | 25 | (22.1) |
| 85-89歳 | 18 | (26.5) | 30 | (21.3) | 40 | (23.5) | 29 | (21.8) | 28 | (24.8) |
| 90-94歳 | 12 | (17.6) | 28 | (19.9) | 29 | (17.1) | 24 | (18.0) | 21 | (18.6) |
| 95-99歳 | 2 | (2.9) | 11 | (7.8) | 18 | (10.6) | 14 | (10.5) | 14 | (12.4) |
| 100歳以上 | 0 | (0.0) | 3 | (2.1) | 4 | (2.4) | 8 | (6.0) | 0 | (0.0) |
| 施設種別 | | | | | | | | | | |
| 特養 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 老健 | 68 | (100.0) | 141 | (100.0) | 170 | (100.0) | 133 | (100.0) | 113 | (100.0) |
| 現在の加算取得状況 | | | | | | | | | | |
| 経口移行加算 | 1 | (1.5) | 0 | (0.0) | 1 | (0.6) | 0 | (0.0) | 1 | (0.9) |
| 経口維持加算Ⅰ | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 経口維持加算Ⅱ | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 2 | (1.2) | 10 | (7.5) | 17 | (15.0) |
| 看取り加算 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| ターミナル加算 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (2.3) | 0 | (0.0) |
| 療養食加算 | 22 | (32.4) | 61 | (43.9) | 72 | (42.4) | 55 | (42.3) | 37 | (33.0) |
| 糖尿病食 | 9 | (13.2) | 20 | (14.2) | 31 | (18.2) | 24 | (18.0) | 15 | (13.3) |
| 腎臓病食 | 5 | (7.4) | 14 | (10.0) | 16 | (9.4) | 15 | (11.3) | 10 | (8.8) |
| 肝臓病食 | 1 | (1.5) | 2 | (1.4) | 3 | (1.8) | 2 | (1.5) | 0 | (0.0) |
| 胃潰瘍食 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.9) |
| 貧血食 | 2 | (2.9) | 9 | (6.4) | 4 | (2.4) | 6 | (4.5) | 1 | (0.9) |
| 膵臓病食 | 1 | (1.5) | 0 | (0.0) | 1 | (0.6) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 脂質異常症食 | 4 | (5.9) | 12 | (8.6) | 11 | (6.5) | 6 | (4.5) | 5 | (4.4) |
| 痛風食 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 検査食 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 認知症であるもの | 49 | (72.1) | 122 | (86.5) | 146 | (85.9) | 128 | (96.2) | 108 | (95.6) |
| *1 認知症高齢者の日常生活自立度 | | | | | | | | | | |
| Ⅰ | 8 | (16.3) | 17 | (13.9) | 7 | (4.8) | 7 | (5.5) | 1 | (0.9) |
| Ⅱ | 8 | (16.3) | 5 | (4.1) | 4 | (2.7) | 4 | (3.1) | 1 | (0.9) |
| Ⅱa | 8 | (16.3) | 15 | (12.3) | 24 | (16.4) | 7 | (5.5) | 6 | (5.6) |
| Ⅱb | 10 | (20.4) | 34 | (27.9) | 25 | (17.1) | 16 | (12.5) | 8 | (7.4) |
| Ⅲ | 1 | (2.0) | 6 | (4.9) | 10 | (6.8) | 12 | (9.4) | 12 | (11.1) |
| Ⅲa | 10 | (20.4) | 33 | (27.0) | 53 | (36.3) | 52 | (40.6) | 34 | (31.5) |
| Ⅲb | 2 | (4.1) | 4 | (3.3) | 11 | (7.5) | 12 | (9.4) | 12 | (11.1) |
| Ⅳ | 0 | (0.0) | 4 | (3.3) | 6 | (4.1) | 8 | (6.2) | 22 | (20.4) |
| M | 1 | (2.0) | 2 | (1.6) | 3 | (2.1) | 9 | (7.0) | 10 | (9.3) |
| （不明） | 1 | (2.0) | 2 | (1.6) | 3 | (2.1) | 1 | (0.8) | 2 | (1.9) |
| 今年の1月からの状況 | | | | | | | | | | |
| 熱発（38度以上）あるもの | 8 | (11.8) | 19 | (13.6) | 37 | (21.8) | 26 | (19.5) | 37 | (32.7) |
| *2 熱発回数 | | | | | | | | | | |
| 1回 | 6 | (75.0) | 17 | (89.5) | 30 | (81.1) | 20 | (76.9) | 26 | (70.3) |
| 2回 | 2 | (25.0) | 0 | (0.0) | 1 | (2.7) | 5 | (19.2) | 3 | (8.1) |
| 3回 | 0 | (0.0) | 2 | (10.5) | 5 | (13.5) | 1 | (3.8) | 6 | (16.2) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (2.7) | 0 | (0.0) | 2 | (5.4) |
| 肺炎既往あるもの | 3 | (4.4) | 6 | (4.3) | 15 | (8.8) | 8 | (6.0) | 21 | (18.6) |
| 入院したもの | 8 | (11.8) | 22 | (15.7) | 23 | (13.5) | 29 | (21.8) | 24 | (21.2) |
| *3 入院回数 | | | | | | | | | | |
| 1回 | 6 | (75.0) | 17 | (77.3) | 17 | (73.9) | 25 | (86.2) | 17 | (70.8) |
| 2回 | 2 | (25.0) | 2 | (9.1) | 5 | (21.7) | 3 | (10.3) | 5 | (20.8) |
| 3回 | 0 | (0.0) | 1 | (4.5) | 0 | (0.0) | 1 | (3.4) | 1 | (4.2) |
| 4回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 5回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (4.2) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 2 | (9.1) | 1 | (4.3) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| ここ1か月くらいの健康・平穏状態 | | | | | | | | | | |
| 非常に健康・平穏 | 31 | (45.6) | 53 | (37.6) | 66 | (38.8) | 29 | (21.8) | 10 | (8.8) |
| まあ健康・平穏 | 32 | (47.1) | 77 | (54.6) | 90 | (52.9) | 92 | (69.2) | 81 | (71.7) |
| あまり健康・平穏でない | 5 | (7.4) | 9 | (6.4) | 12 | (7.1) | 11 | (8.3) | 21 | (18.6) |
| 全く健康・平穏でない | 0 | (0.0) | 2 | (1.4) | 1 | (0.6) | 1 | (0.8) | 1 | (0.9) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.6) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |

*1:「認知症であるもの」の人数を分母に割合を算出
*2:「熱発（38度以上）あるもの」の人数を分母に割合を算出
*3「入院したもの」の人数を分母に割合を算出

別表2-a

| 要介護度別集計（全体・特養・老健） | 全体 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=104 | | 要介護2 n=235 | | 要介護3 n=389 | | 要介護4 n=452 | | 要介護5 n=466 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 本人の食べることへの意欲 | | | | | | | | | | |
| よい | 68 | (65.4) | 122 | (52.1) | 178 | (45.9) | 140 | (31.0) | 101 | (21.7) |
| まあよい | 19 | (18.3) | 55 | (23.4) | 89 | (22.9) | 110 | (24.3) | 90 | (19.3) |
| ふつう | 9 | (8.7) | 37 | (15.8) | 74 | (19.1) | 109 | (24.1) | 126 | (27.0) |
| あまりよくない | 6 | (5.8) | 14 | (6.0) | 30 | (7.7) | 59 | (13.1) | 79 | (17.0) |
| よくない | 1 | (1.0) | 6 | (2.6) | 11 | (2.8) | 22 | (4.9) | 56 | (12.0) |
| （不明） | 1 | (1.0) | 1 | (0.4) | 7 | (1.8) | 12 | (2.7) | 14 | (3.0) |
| 摂食・嚥下能力のグレード評価 | | | | | | | | | | |
| 重症 Gr.1 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 10 | (2.2) | 32 | (6.9) |
| Gr.2 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.2) |
| Gr.3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.2) |
| 中等症 Gr.4 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.3) | 0 | (0.0) | 5 | (1.1) |
| Gr.5 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (0.8) | 3 | (0.7) | 11 | (2.4) |
| Gr.6 | 4 | (3.8) | 5 | (2.1) | 22 | (5.7) | 41 | (9.1) | 105 | (22.5) |
| 軽症 Gr.7 | 8 | (7.7) | 32 | (13.7) | 70 | (18.0) | 119 | (26.3) | 166 | (35.6) |
| Gr.8 | 4 | (3.8) | 20 | (8.5) | 51 | (13.1) | 70 | (15.5) | 53 | (11.4) |
| Gr.9 | 6 | (5.8) | 23 | (9.8) | 55 | (14.1) | 78 | (17.3) | 45 | (9.7) |
| 正常 Gr.10 | 82 | (78.8) | 153 | (65.4) | 184 | (47.3) | 129 | (28.5) | 42 | (9.0) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 3 | (0.8) | 2 | (0.4) | 5 | (1.1) |
| 自分の歯の状態 | | | | | | | | | | |
| 自分の歯がある | 60 | (57.7) | 141 | (60.0) | 189 | (48.7) | 235 | (52.0) | 257 | (55.2) |
| 自分の歯がない | 42 | (40.4) | 94 | (40.2) | 194 | (49.9) | 207 | (45.8) | 189 | (40.6) |
| 開口不能等のため不明 | 1 | (1.0) | 0 | (0.0) | 5 | (1.3) | 8 | (1.8) | 20 | (4.3) |
| （不明） | 1 | (1.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.3) | 2 | (0.4) | 0 | (0.0) |
| 歯の数 | | | | | | | | | | |
| 0本（歯がない） | 42 | (40.4) | 94 | (40.0) | 194 | (49.9) | 207 | (45.8) | 189 | (40.6) |
| 1~9本 | 22 | (21.2) | 59 | (25.1) | 83 | (21.3) | 111 | (24.6) | 128 | (27.5) |
| 10~19本 | 19 | (18.3) | 35 | (14.9) | 54 | (13.9) | 62 | (13.7) | 60 | (12.9) |
| 20本以上 | 15 | (14.4) | 43 | (18.3) | 49 | (12.6) | 51 | (11.3) | 52 | (11.2) |
| （不明） | 6 | (5.8) | 4 | (1.7) | 9 | (2.3) | 21 | (4.6) | 37 | (7.9) |
| 義歯について | | | | | | | | | | |
| 義歯をしている | 70 | (67.3) | 152 | (64.7) | 258 | (66.3) | 253 | (56.0) | 173 | (37.1) |
| 食事時間 | | | | | | | | | | |
| 15分程度 | 44 | (42.3) | 105 | (44.7) | 126 | (32.4) | 110 | (24.3) | 78 | (16.7) |
| 30分程度 | 54 | (51.9) | 117 | (49.8) | 208 | (53.5) | 227 | (50.2) | 236 | (50.6) |
| 45分程度 | 6 | (5.8) | 12 | (5.1) | 47 | (12.1) | 91 | (20.1) | 106 | (22.7) |
| 1時間以上 | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 6 | (1.5) | 16 | (3.5) | 28 | (6.0) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (0.5) | 8 | (1.8) | 18 | (3.9) |
| 摂食方法 | | | | | | | | | | |
| 自力摂取（はし/スプーン） | 101 | (97.1) | 221 | (94.0) | 320 | (82.3) | 279 | (61.7) | 95 | (20.4) |
| 自力摂取（自助具） | 1 | (1.0) | 6 | (2.6) | 25 | (6.4) | 37 | (8.2) | 22 | (4.7) |
| 部分介助・全面介助 | 1 | (1.0) | 7 | (3.0) | 40 | (10.3) | 124 | (27.4) | 325 | (69.7) |
| （不明） | 1 | (1.0) | 1 | (0.4) | 4 | (1.0) | 12 | (2.7) | 24 | (5.2) |
| 食べる姿勢 | | | | | | | | | | |
| 座位 | 102 | (98.1) | 231 | (98.3) | 375 | (96.4) | 410 | (90.7) | 331 | (71.0) |
| 60~90° 挙上 | 1 | (1.0) | 3 | (1.3) | 10 | (2.6) | 23 | (5.1) | 91 | (19.5) |
| 30~45° 挙上 | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 1 | (0.3) | 15 | (3.3) | 31 | (6.7) |
| 0~15° 挙上 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.2) |
| （不明） | 1 | (1.0) | 0 | (0.0) | 3 | (0.8) | 4 | (0.9) | 12 | (2.6) |
| 看取りのための計画作成 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 10 | (2.6) | 11 | (2.4) | 24 | (5.2) |

別表2-b

| 要介護度別集計（全体・特養・老健） | 特養 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=36 | | 要介護2 n=94 | | 要介護3 n=219 | | 要介護4 n=319 | | 要介護5 n=353 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 本人の食べることへの意欲 | | | | | | | | | | |
| よい | 23 | (63.9) | 42 | (44.7) | 101 | (46.1) | 99 | (31.0) | 83 | (23.5) |
| まあよい | 5 | (13.9) | 23 | (24.5) | 46 | (21.0) | 79 | (24.8) | 60 | (17.0) |
| ふつう | 5 | (13.9) | 18 | (19.1) | 41 | (18.7) | 71 | (22.3) | 87 | (24.6) |
| あまりよくない | 1 | (2.8) | 9 | (9.6) | 17 | (7.8) | 41 | (12.9) | 62 | (17.6) |
| よくない | 1 | (2.8) | 1 | (1.1) | 8 | (3.7) | 19 | (6.0) | 48 | (13.6) |
| （不明） | 1 | (2.8) | 1 | (1.1) | 6 | (2.7) | 10 | (3.1) | 13 | (3.7) |
| 摂食・嚥下能力のグレード評価 | | | | | | | | | | |
| 重症 Gr.1 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 10 | (3.1) | 29 | (8.2) |
| Gr.2 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.3) |
| Gr.3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.3) |
| 中等症 Gr.4 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.5) | 0 | (0.0) | 4 | (1.1) |
| Gr.5 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (1.4) | 3 | (0.9) | 10 | (2.8) |
| Gr.6 | 1 | (2.8) | 1 | (1.1) | 9 | (4.1) | 27 | (8.5) | 70 | (19.8) |
| 軽症 Gr.7 | 2 | (5.6) | 6 | (6.4) | 37 | (16.9) | 74 | (23.2) | 125 | (35.4) |
| Gr.8 | 0 | (0.0) | 6 | (6.4) | 26 | (11.9) | 51 | (16.0) | 41 | (11.6) |
| Gr.9 | 1 | (2.8) | 11 | (11.7) | 38 | (17.4) | 65 | (20.4) | 41 | (11.6) |
| 正常 Gr.10 | 32 | (88.9) | 70 | (74.5) | 105 | (47.9) | 87 | (27.3) | 26 | (7.4) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (0.6) | 5 | (1.4) |
| 自分の歯の状態 | | | | | | | | | | |
| 自分の歯がある | 21 | (58.3) | 51 | (54.3) | 95 | (43.4) | 158 | (49.5) | 187 | (53.0) |
| 自分の歯がない | 14 | (38.9) | 43 | (45.7) | 122 | (55.7) | 154 | (48.3) | 150 | (42.5) |
| 開口不能等のため不明 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.5) | 6 | (1.9) | 16 | (4.5) |
| （不明） | 1 | (2.8) | 0 | (0.0) | 1 | (0.5) | 1 | (0.3) | 0 | (0.0) |
| 歯の数 | | | | | | | | | | |
| 0本（歯がない） | 14 | (38.9) | 43 | (45.7) | 122 | (55.7) | 154 | (48.3) | 150 | (42.5) |
| 1~9本 | 9 | (25.0) | 19 | (20.2) | 47 | (21.5) | 79 | (24.8) | 89 | (25.2) |
| 10~19本 | 7 | (19.4) | 19 | (20.2) | 23 | (10.5) | 44 | (13.8) | 43 | (12.2) |
| 20本以上 | 3 | (8.3) | 11 | (11.7) | 22 | (10.0) | 24 | (7.5) | 40 | (11.3) |
| （不明） | 3 | (8.3) | 2 | (2.1) | 5 | (2.3) | 18 | (5.6) | 31 | (8.8) |
| 義歯について | | | | | | | | | | |
| 義歯をしている | 28 | (77.8) | 69 | (73.4) | 151 | (68.9) | 189 | (59.2) | 123 | (34.8) |
| 食事時間 | | | | | | | | | | |
| 15分程度 | 15 | (41.7) | 45 | (47.9) | 80 | (36.5) | 86 | (27.0) | 61 | (17.3) |
| 30分程度 | 19 | (52.8) | 41 | (43.6) | 101 | (46.1) | 148 | (46.4) | 177 | (50.1) |
| 45分程度 | 2 | (5.6) | 7 | (7.4) | 33 | (15.1) | 63 | (19.7) | 75 | (21.2) |
| 1時間以上 | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 5 | (2.3) | 15 | (4.7) | 26 | (7.4) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 7 | (2.2) | 14 | (4.0) |
| 摂食方法 | | | | | | | | | | |
| 自力摂取（はし/スプーン） | 35 | (97.2) | 90 | (95.7) | 181 | (82.6) | 196 | (61.4) | 57 | (16.1) |
| 自力摂取（自助具） | 0 | (0.0) | 2 | (2.1) | 15 | (6.8) | 25 | (7.8) | 18 | (5.1) |
| 部分介助・全面介助 | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 20 | (9.1) | 89 | (27.9) | 258 | (73.1) |
| （不明） | 1 | (2.8) | 1 | (1.1) | 3 | (1.4) | 9 | (2.8) | 20 | (5.7) |
| 食べる姿勢 | | | | | | | | | | |
| 座位 | 34 | (94.4) | 92 | (97.9) | 208 | (95.0) | 283 | (88.7) | 243 | (68.8) |
| 60~90° 挙上 | 1 | (2.8) | 2 | (2.1) | 10 | (4.6) | 20 | (6.3) | 69 | (19.5) |
| 30~45° 挙上 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.5) | 13 | (4.1) | 31 | (8.8) |
| 0~15° 挙上 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.3) |
| （不明） | 1 | (2.8) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (0.9) | 9 | (2.5) |
| 看取りのための計画作成 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 10 | (4.6) | 8 | (2.5) | 24 | (6.8) |

別表2-c

| 要介護度別集計（全体・特養・老健） | 老健 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=68 | | 要介護2 n=141 | | 要介護3 n=170 | | 要介護4 n=133 | | 要介護5 n=113 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 本人の食べることへの意欲 | | | | | | | | | | |
| よい | 45 | (66.2) | 80 | (56.7) | 77 | (45.3) | 41 | (30.8) | 18 | (15.9) |
| まあよい | 14 | (20.6) | 32 | (22.7) | 43 | (25.3) | 31 | (23.3) | 30 | (26.5) |
| ふつう | 4 | (5.9) | 19 | (13.5) | 33 | (19.4) | 38 | (28.6) | 39 | (34.5) |
| あまりよくない | 5 | (7.4) | 5 | (3.5) | 13 | (7.6) | 18 | (13.5) | 17 | (15.0) |
| よくない | 0 | (0.0) | 5 | (3.5) | 3 | (1.8) | 3 | (2.3) | 8 | (7.1) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.6) | 2 | (1.5) | 1 | (0.9) |
| 摂食・嚥下能力のグレード評価 | | | | | | | | | | |
| 重症 Gr.1 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (2.7) |
| Gr.2 | | (0.0) | | (0.0) | | (0.0) | | (0.0) | | (0.0) |
| Gr.3 | | (0.0) | | (0.0) | | (0.0) | | (0.0) | | (0.0) |
| 中等症 Gr.4 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.9) |
| Gr.5 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.9) |
| Gr.6 | 3 | (4.4) | 4 | (2.8) | 13 | (7.6) | 14 | (10.5) | 35 | (31.0) |
| 軽症 Gr.7 | 6 | (8.8) | 26 | (18.4) | 33 | (19.4) | 45 | (33.8) | 41 | (36.3) |
| Gr.8 | 4 | (5.9) | 14 | (9.9) | 25 | (14.7) | 19 | (14.3) | 12 | (10.6) |
| Gr.9 | 5 | (7.4) | 12 | (8.5) | 17 | (10.0) | 13 | (9.8) | 4 | (3.5) |
| 正常 Gr.10 | 50 | (73.5) | 84 | (59.6) | 79 | (46.5) | 42 | (31.6) | 16 | (14.2) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 3 | (1.8) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 自分の歯の状態 | | | | | | | | | | |
| 自分の歯がある | 39 | (57.4) | 90 | (63.8) | 94 | (55.3) | 77 | (57.9) | 70 | (61.9) |
| 自分の歯がない | 28 | (41.2) | 51 | (36.2) | 72 | (42.4) | 53 | (39.8) | 39 | (34.5) |
| 開口不能等のため不明 | 1 | (1.5) | 0 | (0.0) | 4 | (2.4) | 2 | (1.5) | 4 | (3.5) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.8) | 0 | (0.0) |
| 歯の数 | | | | | | | | | | |
| 0本（歯がない） | 28 | (41.2) | 51 | (36.2) | 72 | (42.4) | 53 | (39.8) | 39 | (34.5) |
| 1~9本 | 13 | (19.1) | 40 | (28.4) | 36 | (21.2) | 32 | (24.1) | 39 | (34.5) |
| 10~19本 | 12 | (17.6) | 16 | (11.3) | 31 | (18.2) | 18 | (13.5) | 17 | (15.0) |
| 20本以上 | 12 | (17.6) | 32 | (22.7) | 27 | (15.9) | 27 | (20.3) | 12 | (10.6) |
| （不明） | 3 | (4.4) | 2 | (1.4) | 4 | (2.4) | 3 | (2.3) | 6 | (5.3) |
| 義歯について | | | | | | | | | | |
| 義歯をしている | 42 | (61.8) | 83 | (58.9) | 107 | (62.9) | 64 | (48.1) | 50 | (44.2) |
| 食事時間 | | | | | | | | | | |
| 15分程度 | 29 | (42.6) | 60 | (42.6) | 46 | (27.1) | 24 | (18.0) | 17 | (15.0) |
| 30分程度 | 35 | (51.5) | 76 | (53.9) | 107 | (62.9) | 79 | (59.4) | 59 | (52.2) |
| 45分程度 | 4 | (5.9) | 5 | (3.5) | 14 | (8.2) | 28 | (21.1) | 31 | (27.4) |
| 1時間以上 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.6) | 1 | (0.8) | 2 | (1.8) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (1.2) | 1 | (0.8) | 4 | (3.5) |
| 摂食方法 | | | | | | | | | | |
| 自力摂取（はし/スプーン） | 66 | (97.1) | 131 | (92.9) | 139 | (81.8) | 83 | (62.4) | 38 | (33.6) |
| 自力摂取（自助具） | 1 | (1.5) | 4 | (2.8) | 10 | (5.9) | 12 | (9.0) | 4 | (3.5) |
| 部分介助・全面介助 | 1 | (1.5) | 6 | (4.3) | 20 | (11.8) | 35 | (26.3) | 67 | (59.3) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.6) | 3 | (2.3) | 4 | (3.5) |
| 食べる姿勢 | | | | | | | | | | |
| 座位 | 68 | (100.0) | 139 | (98.6) | 167 | (98.2) | 127 | (95.5) | 88 | (77.9) |
| 60~90° 挙上 | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 0 | (0.0) | 3 | (2.3) | 22 | (19.5) |
| 30~45° 挙上 | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 0 | (0.0) | 2 | (1.5) | 0 | (0.0) |
| 0~15° 挙上 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (1.8) | 1 | (0.8) | 3 | (2.7) |
| 看取りのための計画作成 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (2.3) | 0 | (0.0) |

別表3-a

| 要介護度別集計(全体・特養・老健) | 全体 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=104 | | 要介護2 n=235 | | 要介護3 n=389 | | 要介護4 n=452 | | 要介護5 n=466 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 基本的生活動作(Barthel Index: BI) | | | | | | | | | | |
| 食事 | | | | | | | | | | |
| 0点 | 1 | (1.0) | 2 | (0.9) | 15 | (3.9) | 65 | (14.4) | 282 | (60.8) |
| 5点 | 7 | (6.7) | 41 | (17.5) | 117 | (30.1) | 197 | (43.6) | 130 | (28.0) |
| 10点 | 96 | (92.3) | 191 | (81.6) | 257 | (66.1) | 190 | (42.0) | 52 | (11.2) |
| 車いすからベッドへの移動 | | | | | | | | | | |
| 0点 | 3 | (2.9) | 8 | (3.4) | 42 | (10.8) | 127 | (28.2) | 306 | (65.8) |
| 5点 | 6 | (5.8) | 14 | (6.0) | 53 | (13.7) | 141 | (31.3) | 114 | (24.5) |
| 10点 | 14 | (13.5) | 51 | (21.7) | 157 | (40.5) | 142 | (31.5) | 33 | (7.1) |
| 15点 | 81 | (77.9) | 162 | (68.9) | 136 | (35.1) | 41 | (9.1) | 12 | (2.6) |
| 整容 | | | | | | | | | | |
| 0点 | 23 | (22.1) | 63 | (27.2) | 233 | (60.1) | 375 | (83.0) | 447 | (95.9) |
| 5点 | 81 | (77.9) | 169 | (72.8) | 155 | (39.9) | 77 | (17.0) | 19 | (4.1) |
| トイレ動作 | | | | | | | | | | |
| 0点 | 5 | (4.8) | 14 | (6.0) | 72 | (18.5) | 204 | (45.1) | 374 | (80.3) |
| 5点 | 26 | (25.0) | 87 | (37.0) | 254 | (65.3) | 228 | (50.4) | 85 | (18.2) |
| 10点 | 73 | (70.2) | 134 | (57.0) | 63 | (16.2) | 20 | (4.4) | 7 | (1.5) |
| 入浴 | | | | | | | | | | |
| 0点 | 75 | (72.1) | 188 | (80.0) | 357 | (92.0) | 444 | (98.4) | 463 | (99.4) |
| 5点 | 29 | (27.9) | 47 | (20.0) | 31 | (8.0) | 7 | (1.6) | 3 | (0.6) |
| 歩行 | | | | | | | | | | |
| 0点 | 7 | (6.7) | 30 | (12.8) | 90 | (23.1) | 246 | (54.4) | 401 | (86.1) |
| 5点 | 25 | (24.0) | 66 | (28.2) | 150 | (38.6) | 129 | (28.5) | 35 | (7.5) |
| 10点 | 17 | (16.3) | 42 | (17.9) | 81 | (20.8) | 52 | (11.5) | 20 | (4.3) |
| 15点 | 55 | (52.9) | 96 | (41.0) | 68 | (17.5) | 25 | (5.5) | 10 | (2.1) |
| 階段昇降 | | | | | | | | | | |
| 0点 | 40 | (38.5) | 109 | (46.6) | 275 | (70.7) | 399 | (88.3) | 446 | (95.7) |
| 5点 | 41 | (39.4) | 77 | (32.9) | 99 | (25.4) | 43 | (9.5) | 14 | (3.0) |
| 10点 | 23 | (22.1) | 48 | (20.5) | 15 | (3.9) | 10 | (2.2) | 6 | (1.3) |
| 着替え | | | | | | | | | | |
| 0点 | 6 | (5.8) | 19 | (8.1) | 124 | (31.9) | 278 | (61.5) | 422 | (90.6) |
| 5点 | 35 | (33.7) | 99 | (42.3) | 193 | (49.6) | 158 | (35.0) | 36 | (7.7) |
| 10点 | 63 | (60.6) | 116 | (49.6) | 72 | (18.5) | 16 | (3.5) | 8 | (1.7) |
| 排便コントロール | | | | | | | | | | |
| 0点 | 5 | (4.8) | 27 | (11.5) | 87 | (22.4) | 193 | (42.7) | 347 | (74.5) |
| 5点 | 32 | (30.8) | 92 | (39.1) | 218 | (56.0) | 225 | (49.8) | 102 | (21.9) |
| 10点 | 67 | (64.4) | 116 | (49.4) | 84 | (21.6) | 34 | (7.5) | 17 | (3.6) |
| 排尿コントロール | | | | | | | | | | |
| 0点 | 5 | (4.8) | 28 | (11.9) | 99 | (25.4) | 217 | (48.0) | 365 | (78.3) |
| 5点 | 37 | (35.6) | 98 | (41.7) | 215 | (55.3) | 206 | (45.6) | 90 | (19.3) |
| 10点 | 62 | (59.6) | 109 | (46.4) | 75 | (19.3) | 29 | (6.4) | 11 | (2.4) |
| BI合計得点 | | | | | | | | | | |
| 20点以下(全介助) | 4 | (3.8) | 11 | (4.7) | 59 | (15.2) | 193 | (42.7) | 392 | (84.1) |
| 25～40点(かなり介助を要す | 3 | (2.9) | 18 | (7.7) | 99 | (25.4) | 138 | (30.5) | 43 | (9.2) |
| 45～55点 | 15 | (14.4) | 44 | (18.7) | 99 | (25.4) | 88 | (19.5) | 22 | (4.7) |
| 60～95点(介助が少ない) | 65 | (62.5) | 143 | (60.9) | 124 | (31.9) | 31 | (6.9) | 7 | (1.5) |
| 100点(病棟内自立) | 17 | (16.3) | 19 | (8.1) | 8 | (2.1) | 2 | (0.4) | 2 | (0.4) |

別表3-b

| 要介護度別集計（全体・特養・老健） | 特養 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=36 | | 要介護2 n=94 | | 要介護3 n=219 | | 要介護4 n=319 | | 要介護5 n=353 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 基本的生活動作(Barthel Index: BI) | | | | | | | | | | |
| 食事 | | | | | | | | | | |
| 0点 | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 6 | (2.7) | 45 | (14.1) | 221 | (62.8) |
| 5点 | 4 | (11.1) | 12 | (12.9) | 70 | (32.0) | 135 | (42.3) | 98 | (27.8) |
| 10点 | 32 | (88.9) | 80 | (86.0) | 143 | (65.3) | 139 | (43.6) | 33 | (9.4) |
| 車いすからベッドへの移動 | | | | | | | | | | |
| 0点 | 0 | (0.0) | 2 | (2.1) | 20 | (9.2) | 94 | (29.6) | 237 | (67.3) |
| 5点 | 2 | (5.6) | 6 | (6.4) | 29 | (13.3) | 101 | (31.8) | 88 | (25.0) |
| 10点 | 7 | (19.4) | 26 | (27.7) | 96 | (44.0) | 96 | (30.2) | 21 | (6.0) |
| 15点 | 27 | (75.0) | 60 | (63.8) | 73 | (33.5) | 27 | (8.5) | 6 | (1.7) |
| 整容 | | | | | | | | | | |
| 0点 | 6 | (16.7) | 29 | (30.9) | 133 | (61.0) | 270 | (84.6) | 344 | (97.5) |
| 5点 | 30 | (83.3) | 65 | (69.1) | 85 | (39.0) | 49 | (15.4) | 9 | (2.5) |
| トイレ動作 | | | | | | | | | | |
| 0点 | 1 | (2.8) | 6 | (6.4) | 31 | (14.2) | 144 | (45.1) | 291 | (82.4) |
| 5点 | 11 | (30.6) | 42 | (44.7) | 160 | (73.1) | 166 | (52.0) | 60 | (17.0) |
| 10点 | 24 | (66.7) | 46 | (48.9) | 28 | (12.8) | 9 | (2.8) | 2 | (0.6) |
| 入浴 | | | | | | | | | | |
| 0点 | 30 | (83.3) | 80 | (85.1) | 205 | (93.6) | 316 | (99.1) | 353 | (100.0) |
| 5点 | 6 | (16.7) | 14 | (14.9) | 14 | (6.4) | 3 | (0.9) | 0 | (0.0) |
| 歩行 | | | | | | | | | | |
| 0点 | 2 | (5.6) | 10 | (10.8) | 56 | (25.6) | 177 | (55.5) | 310 | (87.8) |
| 5点 | 13 | (36.1) | 37 | (39.8) | 93 | (42.5) | 96 | (30.1) | 26 | (7.4) |
| 10点 | 5 | (13.9) | 12 | (12.9) | 38 | (17.4) | 32 | (10.0) | 14 | (4.0) |
| 15点 | 16 | (44.4) | 34 | (36.6) | 32 | (14.6) | 14 | (4.4) | 3 | (0.8) |
| 階段昇降 | | | | | | | | | | |
| 0点 | 20 | (55.6) | 54 | (58.1) | 161 | (73.5) | 285 | (89.3) | 343 | (97.2) |
| 5点 | 9 | (25.0) | 26 | (28.0) | 51 | (23.3) | 30 | (9.4) | 8 | (2.3) |
| 10点 | 7 | (19.4) | 13 | (14.0) | 7 | (3.2) | 4 | (1.3) | 2 | (0.6) |
| 着替え | | | | | | | | | | |
| 0点 | 1 | (2.8) | 6 | (6.5) | 75 | (34.2) | 207 | (64.9) | 325 | (92.1) |
| 5点 | 13 | (36.1) | 42 | (45.2) | 113 | (51.6) | 104 | (32.6) | 25 | (7.1) |
| 10点 | 22 | (61.1) | 45 | (48.4) | 31 | (14.2) | 8 | (2.5) | 3 | (0.8) |
| 排便コントロール | | | | | | | | | | |
| 0点 | 0 | (0.0) | 10 | (10.6) | 43 | (19.6) | 129 | (40.4) | 268 | (75.9) |
| 5点 | 14 | (38.9) | 51 | (54.3) | 139 | (63.5) | 172 | (53.9) | 75 | (21.2) |
| 10点 | 22 | (61.1) | 33 | (35.1) | 37 | (16.9) | 18 | (5.6) | 10 | (2.8) |
| 排尿コントロール | | | | | | | | | | |
| 0点 | 0 | (0.0) | 11 | (11.7) | 52 | (23.7) | 147 | (46.1) | 282 | (79.9) |
| 5点 | 16 | (44.4) | 52 | (55.3) | 137 | (62.6) | 158 | (49.5) | 65 | (18.4) |
| 10点 | 20 | (55.6) | 31 | (33.0) | 30 | (13.7) | 14 | (4.4) | 6 | (1.7) |
| BI合計得点 | | | | | | | | | | |
| 20点以下（全介助） | 1 | (2.8) | 4 | (4.3) | 30 | (13.7) | 135 | (42.3) | 303 | (85.8) |
| 25～40点（かなり介助を要す | 0 | (0.0) | 9 | (9.6) | 64 | (29.2) | 104 | (32.6) | 32 | (9.1) |
| 45～55点 | 6 | (16.7) | 21 | (22.3) | 57 | (26.0) | 61 | (19.1) | 15 | (4.2) |
| 60～95点（介助が少ない） | 25 | (69.4) | 58 | (61.7) | 67 | (30.6) | 19 | (6.0) | 3 | (0.8) |
| 100点（病棟内自立） | 4 | (11.1) | 2 | (2.1) | 1 | (0.5) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |

別表3-c

| 要介護度別集計(全体・特養・老健) | 老健 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=68 | | 要介護2 n=141 | | 要介護3 n=170 | | 要介護4 n=133 | | 要介護5 n=113 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 基本的生活動作(Barthel Index: BI) | | | | | | | | | | |
| 食事 | | | | | | | | | | |
| 0点 | 1 | (1.5) | 1 | (0.7) | 9 | (5.3) | 20 | (15.0) | 61 | (54.5) |
| 5点 | 3 | (4.4) | 29 | (20.6) | 47 | (27.6) | 62 | (46.6) | 32 | (28.6) |
| 10点 | 64 | (94.1) | 111 | (78.7) | 114 | (67.1) | 51 | (38.3) | 19 | (17.0) |
| 車いすからベッドへの移動 | | | | | | | | | | |
| 0点 | 3 | (4.4) | 6 | (4.3) | 22 | (12.9) | 33 | (24.8) | 69 | (61.1) |
| 5点 | 4 | (5.9) | 8 | (5.7) | 24 | (14.1) | 40 | (30.1) | 26 | (23.0) |
| 10点 | 7 | (10.3) | 25 | (17.7) | 61 | (35.9) | 46 | (34.6) | 12 | (10.6) |
| 15点 | 54 | (79.4) | 102 | (72.3) | 63 | (37.1) | 14 | (10.5) | 6 | (5.3) |
| 整容 | | | | | | | | | | |
| 0点 | 17 | (25.0) | 34 | (24.6) | 100 | (58.8) | 105 | (78.9) | 103 | (91.2) |
| 5点 | 51 | (75.0) | 104 | (75.4) | 70 | (41.2) | 28 | (21.1) | 10 | (8.8) |
| トイレ動作 | | | | | | | | | | |
| 0点 | 4 | (5.9) | 8 | (5.7) | 41 | (24.1) | 60 | (45.1) | 83 | (73.5) |
| 5点 | 15 | (22.1) | 45 | (31.9) | 94 | (55.3) | 62 | (46.6) | 25 | (22.1) |
| 10点 | 49 | (72.1) | 88 | (62.4) | 35 | (20.6) | 11 | (8.3) | 5 | (4.4) |
| 入浴 | | | | | | | | | | |
| 0点 | 45 | (66.2) | 108 | (76.6) | 152 | (89.9) | 128 | (97.0) | 110 | (97.3) |
| 5点 | 23 | (33.8) | 33 | (23.4) | 17 | (10.1) | 4 | (3.0) | 3 | (2.7) |
| 歩行 | | | | | | | | | | |
| 0点 | 5 | (7.4) | 20 | (14.2) | 34 | (20.0) | 69 | (51.9) | 91 | (80.5) |
| 5点 | 12 | (17.6) | 29 | (20.6) | 57 | (33.5) | 33 | (24.8) | 9 | (8.0) |
| 10点 | 12 | (17.6) | 30 | (21.3) | 43 | (25.3) | 20 | (15.0) | 6 | (5.3) |
| 15点 | 39 | (57.4) | 62 | (44.0) | 36 | (21.2) | 11 | (8.3) | 7 | (6.2) |
| 階段昇降 | | | | | | | | | | |
| 0点 | 20 | (29.4) | 55 | (39.0) | 114 | (67.1) | 114 | (85.7) | 103 | (91.2) |
| 5点 | 32 | (47.1) | 51 | (36.2) | 48 | (28.2) | 13 | (9.8) | 6 | (5.3) |
| 10点 | 16 | (23.5) | 35 | (24.8) | 8 | (4.7) | 6 | (4.5) | 4 | (3.5) |
| 着替え | | | | | | | | | | |
| 0点 | 5 | (7.4) | 13 | (9.2) | 49 | (28.8) | 71 | (53.4) | 97 | (85.8) |
| 5点 | 22 | (32.4) | 57 | (40.4) | 80 | (47.1) | 54 | (40.6) | 11 | (9.7) |
| 10点 | 41 | (60.3) | 71 | (50.4) | 41 | (24.1) | 8 | (6.0) | 5 | (4.4) |
| 排便コントロール | | | | | | | | | | |
| 0点 | 5 | (7.4) | 17 | (12.1) | 44 | (25.9) | 64 | (48.1) | 79 | (69.9) |
| 5点 | 18 | (26.5) | 41 | (29.1) | 79 | (46.5) | 53 | (39.8) | 27 | (23.9) |
| 10点 | 45 | (66.2) | 83 | (58.9) | 47 | (27.6) | 16 | (12.0) | 7 | (6.2) |
| 排尿コントロール | | | | | | | | | | |
| 0点 | 5 | (7.4) | 17 | (12.1) | 47 | (27.6) | 70 | (52.6) | 83 | (73.5) |
| 5点 | 21 | (30.9) | 46 | (32.6) | 78 | (45.9) | 48 | (36.1) | 25 | (22.1) |
| 10点 | 42 | (61.8) | 78 | (55.3) | 45 | (26.5) | 15 | (11.3) | 5 | (4.4) |
| BI合計得点 | | | | | | | | | | |
| 20点以下(全介助) | 3 | (4.4) | 7 | (5.0) | 29 | (17.1) | 58 | (43.6) | 89 | (78.8) |
| 25～40点(かなり介助を要す | 3 | (4.4) | 9 | (6.4) | 35 | (20.6) | 34 | (25.6) | 11 | (9.7) |
| 45～55点 | 9 | (13.2) | 23 | (16.3) | 42 | (24.7) | 27 | (20.3) | 7 | (6.2) |
| 60～95点(介助が少ない) | 40 | (58.8) | 85 | (60.3) | 57 | (33.5) | 12 | (9.0) | 4 | (3.5) |
| 100点(病棟内自立) | 13 | (19.1) | 17 | (12.1) | 7 | (4.1) | 2 | (1.5) | 2 | (1.8) |

別表4-a

| 要介護度別集計（全体・特養・老健） | 全体 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=104 | | 要介護2 n=235 | | 要介護3 n=389 | | 要介護4 n=452 | | 要介護5 n=466 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 低栄養状態のリスクレベル | | | | | | | | | | |
| 低リスク | 61 | (58.7) | 140 | (59.6) | 207 | (53.2) | 178 | (39.4) | 141 | (30.3) |
| 中リスク | 38 | (36.5) | 80 | (34.0) | 155 | (39.8) | 212 | (46.9) | 244 | (52.4) |
| 高リスク | 5 | (4.8) | 14 | (6.0) | 21 | (5.4) | 55 | (12.2) | 78 | (16.7) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 6 | (1.5) | 7 | (1.5) | 3 | (0.6) |
| BMI18.5kg/m2未満 | 24 | (23.1) | 57 | (24.4) | 97 | (24.9) | 146 | (32.3) | 200 | (42.9) |
| 3%以上の体重減少 | 13 | (12.5) | 30 | (12.8) | 50 | (12.9) | 84 | (18.6) | 75 | (16.1) |
| 血清アルブミン測定値あり | 80 | (76.9) | 176 | (74.9) | 303 | (77.9) | 362 | (80.1) | 384 | (82.4) |
| *1 3.0g/dl以下 | 3 | (3.8) | 14 | (8.0) | 13 | (4.3) | 42 | (11.6) | 62 | (16.1) |
| 3.1~3.5g/dl | 18 | (22.5) | 44 | (25.0) | 106 | (35.0) | 142 | (39.2) | 151 | (39.3) |
| 3.6~3.9g/dl | 29 | (36.2) | 76 | (43.2) | 125 | (41.3) | 121 | (33.4) | 136 | (35.4) |
| 4.0g/dl以上 | 30 | (37.5) | 42 | (23.9) | 59 | (19.5) | 57 | (15.7) | 35 | (9.1) |
| 褥瘡あり | 1 | (1.0) | 2 | (0.9) | 9 | (2.3) | 16 | (3.5) | 33 | (7.1) |
| 経腸栄養法 | 15 | (14.4) | 39 | (16.7) | 58 | (14.9) | 73 | (16.2) | 111 | (23.8) |
| 静脈栄養法 | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.2) |
| 食事摂取量75%以下 | 12 | (11.5) | 28 | (12.0) | 38 | (9.8) | 58 | (13.0) | 64 | (14.7) |
| 食事形態-主食 | | | | | | | | | | |
| 常食 | 74 | (71.2) | 147 | (62.6) | 200 | (51.4) | 185 | (40.9) | 72 | (15.5) |
| 嚥下調整食 | 30 | (28.8) | 88 | (37.4) | 189 | (48.6) | 256 | (56.6) | 359 | (77.0) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 11 | (2.4) | 35 | (7.5) |
| *2 主食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| 0J 重度者向け | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (0.6) |
| 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (0.6) |
| 1J | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 6 | (3.2) | 24 | (9.4) | 78 | (21.7) |
| 2A | 0 | (0.0) | 3 | (3.4) | 5 | (2.6) | 14 | (5.5) | 60 | (16.7) |
| 2B | 0 | (0.0) | 3 | (3.4) | 3 | (1.6) | 8 | (3.1) | 7 | (1.9) |
| 3 | 1 | (3.3) | 5 | (5.7) | 20 | (10.6) | 27 | (10.5) | 39 | (10.9) |
| 4 | 29 | (96.7) | 76 | (86.4) | 154 | (81.5) | 178 | (69.5) | 165 | (46.0) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.5) | 5 | (2.0) | 6 | (1.7) |
| 食事形態-副食 | | | | | | | | | | |
| 常食 | 77 | (74.0) | 164 | (69.8) | 207 | (53.2) | 196 | (43.4) | 82 | (17.6) |
| 嚥下調整食 | 27 | (26.0) | 71 | (30.2) | 178 | (45.8) | 240 | (53.1) | 346 | (74.2) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 4 | (1.0) | 16 | (3.5) | 38 | (8.2) |
| *3 副食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| 0J 重度者向け | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.3) |
| 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (0.6) |
| 1J | 1 | (3.7) | 3 | (4.2) | 8 | (4.5) | 23 | (9.6) | 47 | (13.6) |
| 2A | 0 | (0.0) | 5 | (7.0) | 12 | (6.7) | 20 | (8.3) | 96 | (27.7) |
| 2B | 1 | (3.7) | 3 | (4.2) | 8 | (4.5) | 15 | (6.2) | 30 | (8.7) |
| 3 | 4 | (14.8) | 10 | (14.1) | 43 | (24.2) | 70 | (29.2) | 88 | (25.4) |
| 4 | 16 | (59.3) | 48 | (67.6) | 104 | (58.4) | 104 | (43.3) | 71 | (20.5) |
| （不明） | 5 | (18.5) | 2 | (2.8) | 3 | (1.7) | 8 | (3.3) | 11 | (3.2) |
| とろみ剤の使用 | 3 | (2.9) | 18 | (7.7) | 52 | (13.4) | 118 | (26.1) | 256 | (54.9) |
| *4 とろみ剤段階 | | | | | | | | | | |
| うすい | 1 | (33.3) | 8 | (44.4) | 19 | (36.5) | 45 | (38.1) | 50 | (19.5) |
| 中間 | 2 | (66.7) | 9 | (50.0) | 28 | (53.8) | 58 | (49.2) | 124 | (48.4) |
| 濃い | 0 | (0.0) | 1 | (5.6) | 3 | (5.8) | 12 | (10.2) | 78 | (30.5) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (3.8) | 3 | (2.5) | 4 | (1.6) |

*1:「血清アルブミン測定値あり」の人数を分母に割合を算出
*2:「食事形態-主食-嚥下調整食」の人数を分母に割合を算出
*3:「食事形態-副食-嚥下調整食」の人数を分母に割合を算出
*4:「とろみ剤の使用」の人数を分母に割合を算出

別表4-b

| 要介護度別集計（全体・特養・老健） | 特養 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=36 | | 要介護2 n=94 | | 要介護3 n=219 | | 要介護4 n=319 | | 要介護5 n=353 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 低栄養状態のリスクレベル | | | | | | | | | | |
| 低リスク | 22 | (61.1) | 61 | (64.9) | 121 | (55.3) | 124 | (38.9) | 101 | (28.6) |
| 中リスク | 13 | (36.1) | 29 | (30.9) | 83 | (37.9) | 148 | (46.4) | 186 | (52.7) |
| 高リスク | 1 | (2.8) | 3 | (3.2) | 10 | (4.6) | 41 | (12.9) | 63 | (17.8) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 5 | (2.3) | 6 | (1.9) | 3 | (0.8) |
| BMI18.5kg/m2未満 | 6 | (16.7) | 15 | (16.0) | 51 | (23.3) | 100 | (31.3) | 150 | (42.5) |
| 3%以上の体重減少 | 10 | (27.8) | 17 | (18.1) | 30 | (13.7) | 69 | (21.6) | 60 | (17.0) |
| 血清アルブミン測定値あり | 28 | (77.8) | 72 | (76.6) | 184 | (84.0) | 260 | (81.5) | 298 | (84.4) |
| *1 3.0g/dl以下 | 0 | (0.0) | 5 | (6.9) | 6 | (3.3) | 27 | (10.4) | 50 | (16.8) |
| 3.1~3.5g/dl | 6 | (21.4) | 17 | (23.6) | 66 | (35.9) | 111 | (42.7) | 123 | (41.3) |
| 3.6~3.9g/dl | 11 | (39.3) | 38 | (52.8) | 79 | (42.9) | 84 | (32.3) | 102 | (34.2) |
| 4.0g/dl以上 | 11 | (39.3) | 12 | (16.7) | 33 | (17.9) | 38 | (14.6) | 23 | (7.7) |
| 褥瘡あり | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 6 | (2.8) | 16 | (5.0) | 26 | (7.4) |
| 経腸栄養法 | 3 | (8.3) | 19 | (20.2) | 26 | (11.9) | 50 | (15.7) | 85 | (24.1) |
| 静脈栄養法 | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.3) |
| 食事摂取量75%以下 | 6 | (16.7) | 17 | (18.1) | 23 | (10.6) | 49 | (15.7) | 43 | (13.3) |
| 食事形態-主食 | | | | | | | | | | |
| 常食 | 31 | (86.1) | 73 | (77.7) | 116 | (53.0) | 137 | (42.9) | 54 | (15.3) |
| 嚥下調整食 | 5 | (13.9) | 21 | (22.3) | 103 | (47.0) | 171 | (53.6) | 268 | (75.9) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 11 | (3.4) | 31 | (8.8) |
| *2 主食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| 0J 重度者向け | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) |
| 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (0.7) |
| 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (1.9) | 13 | (7.6) | 59 | (22.0) |
| 2A | 0 | (0.0) | 1 | (4.8) | 1 | (1.0) | 11 | (6.4) | 46 | (17.2) |
| 2B | 0 | (0.0) | 2 | (9.5) | 3 | (2.9) | 8 | (4.7) | 6 | (2.2) |
| 3 | 0 | (0.0) | 2 | (9.5) | 16 | (15.5) | 19 | (11.1) | 32 | (11.9) |
| 4 | 5 | (100.0) | 16 | (76.2) | 80 | (77.7) | 115 | (67.3) | 116 | (43.3) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (1.0) | 5 | (2.9) | 6 | (2.2) |
| 食事形態-副食 | | | | | | | | | | |
| 常食 | 32 | (88.9) | 73 | (77.7) | 119 | (54.3) | 136 | (42.6) | 58 | (16.4) |
| 嚥下調整食 | 4 | (11.1) | 21 | (22.3) | 97 | (44.3) | 167 | (52.4) | 261 | (73.9) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (1.4) | 16 | (5.0) | 34 | (9.6) |
| *3 副食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| 0J 重度者向け | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) |
| 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (0.8) |
| 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (3.1) | 14 | (8.4) | 37 | (14.2) |
| 2A | 0 | (0.0) | 1 | (4.8) | 4 | (4.1) | 11 | (6.6) | 71 | (27.2) |
| 2B | 0 | (0.0) | 2 | (9.5) | 6 | (6.2) | 11 | (6.6) | 20 | (7.7) |
| 3 | 1 | (25.0) | 6 | (28.6) | 32 | (33.0) | 60 | (35.9) | 74 | (28.4) |
| 4 | 3 | (75.0) | 12 | (57.1) | 50 | (51.5) | 64 | (38.3) | 46 | (17.6) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (2.1) | 7 | (4.2) | 10 | (3.8) |
| とろみ剤の使用 | 1 | (2.8) | 7 | (7.4) | 20 | (9.2) | 78 | (24.5) | 187 | (53.0) |
| *4 とろみ剤段階 | | | | | | | | | | |
| うすい | 1 | (100.0) | 6 | (85.7) | 11 | (55.0) | 37 | (47.4) | 38 | (20.3) |
| 中間 | 0 | (0.0) | 1 | (14.3) | 5 | (25.0) | 30 | (38.5) | 83 | (44.4) |
| 濃い | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (15.0) | 8 | (10.3) | 62 | (33.2) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (5.0) | 3 | (3.8) | 4 | (2.1) |

*1:「血清アルブミン測定値あり」の人数を分母に割合を算出
*2:「食事形態-主食-嚥下調整食」の人数を分母に割合を算出
*3:「食事形態-副食-嚥下調整食」の人数を分母に割合を算出
*4:「とろみ剤の使用」の人数を分母に割合を算出

別表4-c

| 要介護度別集計（全体・特養・老健） | 老健 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=68 | | 要介護2 n=141 | | 要介護3 n=170 | | 要介護4 n=133 | | 要介護5 n=113 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 低栄養状態のリスクレベル | | | | | | | | | | |
| 低リスク | 39 | (57.4) | 79 | (56.0) | 86 | (50.6) | 54 | (40.6) | 40 | (35.4) |
| 中リスク | 25 | (36.8) | 51 | (36.2) | 72 | (42.4) | 64 | (48.1) | 58 | (51.3) |
| 高リスク | 4 | (5.9) | 11 | (7.8) | 11 | (6.5) | 14 | (10.5) | 15 | (13.3) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.6) | 1 | (0.8) | 0 | (0.0) |
| BMI18.5kg/m2未満 | 18 | (26.5) | 42 | (29.8) | 46 | (27.1) | 46 | (34.6) | 50 | (44.2) |
| 3%以上の体重減少 | 3 | (4.4) | 13 | (9.2) | 20 | (11.8) | 15 | (11.3) | 15 | (13.3) |
| 血清アルブミン測定値あり | 52 | (76.5) | 104 | (73.8) | 119 | (70.0) | 102 | (76.7) | 86 | (76.1) |
| *1 3.0g/dl以下 | 3 | (5.8) | 9 | (8.7) | 7 | (5.9) | 15 | (14.7) | 12 | (14.0) |
| 3.1~3.5g/dl | 12 | (23.1) | 27 | (26.0) | 40 | (33.6) | 31 | (30.4) | 28 | (32.6) |
| 3.6~3.9g/dl | 18 | (34.6) | 38 | (36.5) | 46 | (38.7) | 37 | (36.3) | 34 | (39.5) |
| 4.0g/dl以上 | 19 | (36.5) | 30 | (28.8) | 26 | (21.8) | 19 | (18.6) | 12 | (14.0) |
| 褥瘡あり | 1 | (1.5) | 1 | (0.7) | 3 | (1.8) | 0 | (0.0) | 7 | (6.2) |
| 経腸栄養法 | 12 | (17.6) | 20 | (14.3) | 32 | (18.8) | 23 | (17.3) | 26 | (23.0) |
| 静脈栄養法 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 食事摂取量75%以下 | 6 | (8.8) | 11 | (7.9) | 15 | (8.8) | 9 | (6.8) | 21 | (19.1) |
| 食事形態-主食 | | | | | | | | | | |
| 常食 | 43 | (63.2) | 74 | (52.5) | 84 | (49.4) | 48 | (36.1) | 18 | (15.9) |
| 嚥下調整食 | 25 | (36.8) | 67 | (47.5) | 86 | (50.6) | 85 | (63.9) | 91 | (80.5) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 4 | (3.5) |
| *2 主食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| 0J 重度者向け | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) |
| 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 1J | 0 | (0.0) | 1 | (1.5) | 4 | (4.7) | 11 | (12.9) | 19 | (20.9) |
| 2A | 0 | (0.0) | 2 | (3.0) | 4 | (4.7) | 3 | (3.5) | 14 | (15.4) |
| 2B | 0 | (0.0) | 1 | (1.5) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) |
| 3 | 1 | (4.0) | 3 | (4.5) | 4 | (4.7) | 8 | (9.4) | 7 | (7.7) |
| 4 | 24 | (96.0) | 60 | (89.6) | 74 | (86.0) | 63 | (74.1) | 49 | (53.8) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 食事形態-副食 | | | | | | | | | | |
| 常食 | 45 | (66.2) | 91 | (64.5) | 88 | (51.8) | 60 | (45.1) | 24 | (21.2) |
| 嚥下調整食 | 23 | (33.8) | 50 | (35.5) | 81 | (47.6) | 73 | (54.9) | 85 | (75.2) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.6) | 0 | (0.0) | 4 | (3.5) |
| *3 副食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| 0J 重度者向け | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 1J | 1 | (4.3) | 3 | (6.0) | 5 | (6.2) | 9 | (12.3) | 10 | (11.8) |
| 2A | 0 | (0.0) | 4 | (8.0) | 8 | (9.9) | 9 | (12.3) | 25 | (29.4) |
| 2B | 1 | (4.3) | 1 | (2.0) | 2 | (2.5) | 4 | (5.5) | 10 | (11.8) |
| 3 | 3 | (13.0) | 4 | (8.0) | 11 | (13.6) | 10 | (13.7) | 14 | (16.5) |
| 4 | 13 | (56.5) | 36 | (72.0) | 54 | (66.7) | 40 | (54.8) | 25 | (29.4) |
| （不明） | 5 | (21.7) | 2 | (4.0) | 1 | (1.2) | 1 | (1.4) | 1 | (1.2) |
| とろみ剤の使用 | 2 | (2.9) | 11 | (7.9) | 32 | (18.8) | 40 | (30.1) | 69 | (61.1) |
| *4 とろみ剤段階 | | | | | | | | | | |
| うすい | 0 | (0.0) | 2 | (18.2) | 8 | (25.0) | 8 | (20.0) | 12 | (17.4) |
| 中間 | 2 | (100.0) | 8 | (72.7) | 23 | (71.9) | 28 | (70.0) | 41 | (59.4) |
| 濃い | 0 | (0.0) | 1 | (9.1) | 0 | (0.0) | 4 | (10.0) | 16 | (23.2) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (3.1) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |

*1:「血清アルブミン測定値あり」の人数を分母に割合を算出
*2:「食事形態-主食-嚥下調整食」の人数を分母に割合を算出
*3:「食事形態-副食-嚥下調整食」の人数を分母に割合を算出
*4:「とろみ剤の使用」の人数を分母に割合を算出

別表5-a

| 要介護度別集計(全体・特養・老健) | | 全体 | | 要介護1 n=104 | | 要介護2 n=235 | | 要介護3 n=389 | | 要介護4 n=452 | | 要介護5 n=466 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 食事中にあらわれる諸症状(摂食・嚥下障害リスク) | | | | | | | | | | | | | |
| 1.噛むことが困難である | | | | | | | | | | | | | |
| | ほとんどない | 87 | (83.7) | 186 | (79.1) | 284 | (73.0) | 270 | (59.7) | 165 | (35.4) | | |
| | まれにある | 5 | (4.8) | 15 | (6.4) | 34 | (8.7) | 58 | (12.8) | 35 | (7.5) | | |
| | 時々ある | 5 | (4.8) | 17 | (7.2) | 33 | (8.5) | 44 | (9.7) | 59 | (12.7) | | |
| | いつもある | 7 | (6.7) | 17 | (7.2) | 38 | (9.8) | 71 | (15.7) | 177 | (38.0) | | |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 9 | (2.0) | 30 | (6.4) | | |
| 2.硬い食べ物を避け、軟らかい食べ物ばかり食べる | | | | | | | | | | | | | |
| | ほとんどない | 86 | (82.7) | 177 | (75.3) | 254 | (65.3) | 232 | (51.3) | 168 | (36.1) | | |
| | まれにある | 8 | (7.7) | 15 | (6.4) | 43 | (11.1) | 69 | (15.3) | 27 | (5.8) | | |
| | 時々ある | 4 | (3.8) | 26 | (11.1) | 40 | (10.3) | 44 | (9.7) | 44 | (9.4) | | |
| | いつもある | 6 | (5.8) | 17 | (7.2) | 51 | (13.1) | 96 | (21.2) | 195 | (41.8) | | |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.3) | 11 | (2.4) | 32 | (6.9) | | |
| *上記1,2の諸症状いずれかあり* | | *26* | *(25.0)* | *69* | *(29.4)* | *152* | *(39.1)* | *243* | *(53.8)* | *313* | *(67.2)* | | |
| 上記1,2の諸症状に対応して実施したケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | | | | |
| *1 | 1.2-口腔ケア | 7 | (26.9) | 25 | (36.2) | 78 | (51.3) | 143 | (58.8) | 196 | (62.6) | | |
| *1 | 1.2-歯科受診 | 5 | (19.2) | 19 | (27.5) | 38 | (25.0) | 50 | (20.6) | 64 | (20.4) | | |
| *1 | 1.2-義歯管理 | 5 | (19.2) | 19 | (27.5) | 55 | (36.2) | 61 | (25.1) | 67 | (21.4) | | |
| *1 | 1.2-食形態変更 | 10 | (38.5) | 34 | (49.3) | 81 | (53.3) | 132 | (54.3) | 181 | (57.8) | | |
| *1 | 1.2-主食 | | | | | | | | | | | | |
| | 常食 | 2 | (7.7) | 4 | (5.8) | 11 | (7.2) | 14 | (5.8) | 7 | (2.2) | | |
| | 嚥下調整食 | 8 | (30.8) | 32 | (46.4) | 66 | (43.4) | 115 | (47.3) | 165 | (52.7) | | |
| | (不明) | 16 | (61.5) | 33 | (47.8) | 75 | (49.3) | 114 | (46.9) | 141 | (45.0) | | |
| *2 | 1.2-主食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.6) | | |
| | 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.6) | | |
| | 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 5 | (7.6) | 11 | (9.6) | 29 | (17.6) | | |
| | 2A | 0 | (0.0) | 2 | (6.3) | 0 | (0.0) | 10 | (8.7) | 40 | (24.2) | | |
| | 2B | 0 | (0.0) | 1 | (3.1) | 2 | (3.0) | 2 | (1.7) | 5 | (3.0) | | |
| | 3 | 1 | (12.5) | 1 | (3.1) | 3 | (4.5) | 12 | (10.4) | 22 | (13.3) | | |
| | 4 | 7 | (87.5) | 28 | (87.5) | 54 | (81.8) | 75 | (65.2) | 62 | (37.6) | | |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (3.0) | 5 | (4.3) | 5 | (3.0) | | |
| *1 | 1.2-副食 | | | | | | | | | | | | |
| | 常食 | 4 | (15.4) | 9 | (13.0) | 11 | (7.2) | 14 | (5.8) | 7 | (3.3) | | |
| | 嚥下調整食 | 8 | (30.8) | 27 | (39.1) | 68 | (44.7) | 119 | (49.0) | 66 | (31.0) | | |
| | (不明) | 14 | (53.8) | 33 | (47.8) | 73 | (48.0) | 110 | (45.3) | 140 | (65.7) | | |
| *3 | 1.2-副食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | | |
| | 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (1.5) | | |
| | 1J | 1 | (12.5) | 3 | (11.1) | 5 | (7.4) | 14 | (11.8) | 18 | (27.3) | | |
| | 2A | 0 | (0.0) | 3 | (11.1) | 2 | (2.9) | 7 | (5.9) | 44 | (66.7) | | |
| | 2B | 0 | (0.0) | 1 | (3.7) | 4 | (5.9) | 5 | (4.2) | 13 | (19.7) | | |
| | 3 | 0 | (0.0) | 3 | (11.1) | 12 | (17.6) | 32 | (26.9) | 48 | (72.7) | | |
| | 4 | 7 | (87.5) | 16 | (59.3) | 41 | (60.3) | 51 | (42.9) | 27 | (40.9) | | |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 1 | (3.7) | 4 | (5.9) | 10 | (8.4) | 15 | (22.7) | | |
| *1 | 1.2-とろみ剤の使用 | 2 | (7.7) | 6 | (8.7) | 19 | (12.5) | 55 | (22.6) | 128 | (40.9) | | |
| *4 | 1.2-とろみ剤段階 | | | | | | | | | | | | |
| | うすい | 1 | (50.0) | 1 | (16.7) | 10 | (52.6) | 16 | (29.1) | 22 | (17.2) | | |
| | 中間 | 1 | (50.0) | 4 | (66.7) | 7 | (36.8) | 30 | (54.5) | 61 | (47.7) | | |
| | 濃い | 0 | (0.0) | 1 | (16.7) | 1 | (5.3) | 7 | (12.7) | 40 | (31.3) | | |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (5.3) | 2 | (3.6) | 5 | (3.9) | | |

*1:症状1,2いずれかまたは両方で「まれにある, 時々ある, いつもある」であった人数を分母に割合を算出

*2:主食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3:副食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*4:とろみ剤を使用と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表5-b

| 要介護度別集計(全体・特養・老健) | 特養 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=36 | | 要介護2 n=94 | | 要介護3 n=219 | | 要介護4 n=319 | | 要介護5 n=353 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 食事中にあらわれる諸症状(摂食・嚥下障害リスク) | | | | | | | | | | |
| 1.噛むことが困難である | | | | | | | | | | |
| ほとんどない | 30 | (83.3) | 78 | (83.0) | 152 | (69.4) | 185 | (58.0) | 114 | (32.3) |
| まれにある | 2 | (5.6) | 10 | (10.6) | 23 | (10.5) | 48 | (15.0) | 25 | (7.1) |
| 時々ある | 2 | (5.6) | 3 | (3.2) | 19 | (8.7) | 34 | (10.7) | 48 | (13.6) |
| いつもある | 2 | (5.6) | 3 | (3.2) | 25 | (11.4) | 43 | (13.5) | 138 | (39.1) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 9 | (2.8) | 28 | (7.9) |
| 2.硬い食べ物を避け、軟らかい食べ物ばかり食べる | | | | | | | | | | |
| ほとんどない | 26 | (72.2) | 74 | (78.7) | 127 | (58.0) | 155 | (48.6) | 114 | (32.3) |
| まれにある | 5 | (13.9) | 8 | (8.5) | 32 | (14.6) | 58 | (18.2) | 22 | (6.2) |
| 時々ある | 3 | (8.3) | 11 | (11.7) | 31 | (14.2) | 34 | (10.7) | 38 | (10.8) |
| いつもある | 2 | (5.6) | 1 | (1.1) | 28 | (12.8) | 61 | (19.1) | 149 | (42.2) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.5) | 11 | (3.4) | 30 | (8.5) |
| *上記1,2の諸症状いずれかあり* | *12* | *(33.3)* | *24* | *(25.5)* | *101* | *(46.1)* | *177* | *(55.5)* | *242* | *(68.6)* |
| 上記1,2の諸症状に対応して実施したケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | |
| *1 1.2-口腔ケア | 2 | (16.7) | 7 | (29.2) | 51 | (50.5) | 104 | (58.8) | 154 | (63.6) |
| *1 1.2-歯科受診 | 1 | (8.3) | 4 | (16.7) | 22 | (21.8) | 34 | (19.2) | 48 | (19.8) |
| *1 1.2-義歯管理 | 4 | (33.3) | 13 | (54.2) | 23 | (22.8) | 14 | (7.9) | 19 | (7.9) |
| *1 1.2-食形態変更 | 2 | (16.7) | 3 | (12.5) | 49 | (48.5) | 87 | (49.2) | 130 | (53.7) |
| *1 1.2-主食 | | | | | | | | | | |
| 常食 | 2 | (16.7) | 2 | (8.3) | 10 | (9.9) | 8 | (4.5) | 5 | (2.1) |
| 嚥下調整食 | 2 | (16.7) | 3 | (12.5) | 37 | (36.6) | 77 | (43.5) | 115 | (47.5) |
| (不明) | 8 | (66.7) | 19 | (79.2) | 54 | (53.5) | 92 | (52.0) | 122 | (50.4) |
| *2 1.2-主食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.9) |
| 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 5 | (6.5) | 17 | (14.8) |
| 2A | 0 | (0.0) | 1 | (33.3) | 0 | (0.0) | 7 | (9.1) | 30 | (26.1) |
| 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (5.4) | 2 | (2.6) | 3 | (2.6) |
| 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (5.4) | 9 | (11.7) | 20 | (17.4) |
| 4 | 2 | (100.0) | 2 | (66.7) | 31 | (83.8) | 49 | (63.6) | 40 | (34.8) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (5.4) | 5 | (6.5) | 4 | (3.5) |
| *1 1.2-副食 | | | | | | | | | | |
| 常食 | 2 | (16.7) | 3 | (12.5) | 7 | (6.9) | 11 | (6.2) | 3 | (1.2) |
| 嚥下調整食 | 2 | (16.7) | 3 | (12.5) | 39 | (38.6) | 78 | (44.1) | 116 | (47.9) |
| (不明) | 8 | (66.7) | 18 | (75.0) | 55 | (54.5) | 88 | (49.7) | 123 | (50.8) |
| *3 1.2-副食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.9) |
| 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 7 | (9.0) | 12 | (10.3) |
| 2A | 0 | (0.0) | 1 | (33.3) | 1 | (2.6) | 1 | (1.3) | 25 | (21.6) |
| 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 4 | (10.3) | 3 | (3.8) | 8 | (6.9) |
| 3 | 0 | (0.0) | 2 | (66.7) | 10 | (25.6) | 23 | (29.5) | 42 | (36.2) |
| 4 | 2 | (100.0) | 0 | (0.0) | 21 | (53.8) | 31 | (39.7) | 14 | (12.1) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (7.7) | 10 | (12.8) | 14 | (12.1) |
| *1 1.2-とろみ剤の使用 | 1 | (8.1) | 1 | (4.2) | 13 | (12.9) | 35 | (19.8) | 85 | (35.1) |
| *4 1.2-とろみ剤段階 | | | | | | | | | | |
| うすい | 1 | (100.0) | 0 | (0.0) | 9 | (69.2) | 13 | (37.1) | 17 | (20.0) |
| 中間 | 0 | (0.0) | 1 | (100.0) | 3 | (23.1) | 18 | (51.4) | 38 | (44.7) |
| 濃い | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (5.7) | 25 | (29.4) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (7.7) | 2 | (5.7) | 5 | (5.9) |

*1:症状1,2いずれかまたは両方で「まれにある, 時々ある, いつもある」であった人数を分母に割合を算出

*2:主食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3:副食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*4:とろみ剤を使用と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表5-c

| 要介護度別集計(全体・特養・老健) | | 老健 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 要介護1 n=68 | | 要介護2 n=141 | | 要介護3 n=170 | | 要介護4 n=133 | | 要介護5 n=113 | |
| | | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 食事中にあらわれる諸症状(摂食・嚥下障害リスク) | | | | | | | | | | | |
| 1.噛むことが困難である | | | | | | | | | | | |
| | ほとんどない | 57 | (83.8) | 108 | (76.6) | 132 | (77.6) | 85 | (63.9) | 51 | (45.1) |
| | まれにある | 3 | (4.4) | 5 | (3.5) | 11 | (6.5) | 10 | (7.5) | 10 | (8.8) |
| | 時々ある | 3 | (4.4) | 14 | (9.9) | 14 | (8.2) | 10 | (7.5) | 11 | (9.7) |
| | いつもある | 5 | (7.4) | 14 | (9.9) | 13 | (7.6) | 28 | (21.1) | 39 | (34.5) |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (1.8) |
| 2.硬い食べ物を避け、軟らかい食べ物ばかり食べる | | | | | | | | | | | |
| | ほとんどない | 60 | (88.2) | 103 | (73.0) | 127 | (74.7) | 77 | (57.9) | 54 | (47.8) |
| | まれにある | 3 | (4.4) | 7 | (5.0) | 11 | (6.5) | 11 | (8.3) | 5 | (4.4) |
| | 時々ある | 1 | (1.5) | 15 | (10.6) | 9 | (5.3) | 10 | (7.5) | 6 | (5.3) |
| | いつもある | 4 | (5.9) | 16 | (11.3) | 23 | (13.5) | 35 | (26.3) | 46 | (40.7) |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (1.8) |
| *上記1,2の諸症状いずれかあり* | | *14* | *(20.6)* | *45* | *(31.9)* | *51* | *(30.0)* | *66* | *(49.6)* | *71* | *(62.8)* |
| 上記1,2の諸症状に対応して実施したケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | | |
| *1 | 1.2-口腔ケア | 5 | (35.7) | 18 | (40.0) | 27 | (52.9) | 39 | (59.1) | 42 | (59.2) |
| *1 | 1.2-歯科受診 | 4 | (28.6) | 15 | (33.3) | 16 | (31.4) | 16 | (24.2) | 16 | (22.5) |
| *1 | 1.2-義歯管理 | 1 | (7.1) | 6 | (13.3) | 32 | (62.7) | 47 | (71.2) | 48 | (67.6) |
| *1 | 1.2-食形態変更 | 8 | (57.1) | 31 | (68.9) | 32 | (62.7) | 45 | (68.2) | 51 | (71.8) |
| *1 | 1.2-主食 | | | | | | | | | | |
| | 常食 | 0 | (0.0) | 2 | (4.4) | 1 | (2.0) | 6 | (9.1) | 2 | (2.8) |
| | 嚥下調整食 | 6 | (42.9) | 29 | (64.4) | 29 | (56.9) | 38 | (57.6) | 50 | (70.4) |
| | (不明) | 8 | (57.1) | 14 | (31.1) | 21 | (41.2) | 22 | (33.3) | 19 | (26.8) |
| *2 | 1.2-主食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (2.0) |
| | 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| | 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 5 | (17.2) | 6 | (15.8) | 12 | (24.0) |
| | 2A | 0 | (0.0) | 1 | (3.4) | 0 | (0.0) | 3 | (7.9) | 10 | (20.0) |
| | 2B | 0 | (0.0) | 1 | (3.4) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (4.0) |
| | 3 | 1 | (16.7) | 1 | (3.4) | 1 | (3.4) | 3 | (7.9) | 2 | (4.0) |
| | 4 | 5 | (83.3) | 26 | (89.7) | 23 | (79.3) | 26 | (68.4) | 22 | (44.0) |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (2.0) |
| *1 | 1.2-副食 | | | | | | | | | | |
| | 常食 | 2 | (14.3) | 6 | (13.3) | 4 | (7.8) | 3 | (4.5) | 4 | (5.6) |
| | 嚥下調整食 | 6 | (42.9) | 24 | (53.3) | 29 | (56.9) | 41 | (62.1) | 50 | (70.4) |
| | (不明) | 6 | (42.9) | 15 | (33.3) | 18 | (35.3) | 22 | (33.3) | 17 | (23.9) |
| *3 | 1.2-副食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| | 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| | 1J | 1 | (16.7) | 3 | (12.5) | 5 | (17.2) | 7 | (17.1) | 6 | (12.0) |
| | 2A | 0 | (0.0) | 2 | (8.3) | 1 | (3.4) | 6 | (14.6) | 19 | (38.0) |
| | 2B | 0 | (0.0) | 1 | (4.2) | 0 | (0.0) | 2 | (4.9) | 5 | (10.0) |
| | 3 | 0 | (0.0) | 1 | (4.2) | 2 | (6.9) | 6 | (14.6) | 6 | (12.0) |
| | 4 | 5 | (83.3) | 16 | (66.7) | 20 | (69.0) | 20 | (48.8) | 13 | (26.0) |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 1 | (4.2) | 1 | (3.4) | 0 | (0.0) | 1 | (2.0) |
| *1 | 1.2-とろみ剤の使用 | 1 | (7.1) | 5 | (11.1) | 6 | (11.8) | 20 | (30.3) | 43 | (60.6) |
| *4 | 1.2-とろみ剤段階 | | | | | | | | | | |
| | うすい | 0 | (0.0) | 1 | (20.0) | 1 | (16.7) | 3 | (15.0) | 5 | (11.6) |
| | 中間 | 1 | (100.0) | 3 | (60.0) | 4 | (66.7) | 12 | (60.0) | 23 | (53.5) |
| | 濃い | 0 | (0.0) | 1 | (20.0) | 1 | (16.7) | 5 | (25.0) | 15 | (34.9) |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |

*1:症状1,2いずれかまたは両方で「まれにある, 時々ある, いつもある」であった人数を分母に割合を算出

*2:主食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3:副食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*4:とろみ剤を使用と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表6-a

| 要介護度別集計(全体・特養・老健) | | 全体 | | 要介護1 n=104 | | 要介護2 n=235 | | 要介護3 n=389 | | 要介護4 n=452 | | 要介護5 n=466 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 食事中にあらわれる諸症状(摂食・嚥下障害リスク) | | | | | | | | | | | | | |
| 3.口から食べ物がこぼれる | | | | | | | | | | | | | |
| | ほとんどない | 99 | (95.2) | 223 | (94.9) | 324 | (83.3) | 310 | (68.6) | 210 | (45.1) | | |
| | まれにある | 4 | (3.8) | 6 | (2.6) | 27 | (6.9) | 40 | (8.8) | 49 | (10.5) | | |
| | 時々ある | 0 | (0.0) | 3 | (1.3) | 21 | (5.4) | 52 | (11.5) | 77 | (16.5) | | |
| | いつもある | 1 | (1.0) | 3 | (1.3) | 17 | (4.4) | 38 | (8.4) | 100 | (21.5) | | |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 12 | (2.7) | 30 | (6.4) | | |
| 4.ことばが明瞭でない | | | | | | | | | | | | | |
| | ほとんどない | 93 | (89.4) | 210 | (89.4) | 307 | (78.9) | 295 | (65.3) | 176 | (37.8) | | |
| | まれにある | 5 | (4.8) | 10 | (4.3) | 24 | (6.2) | 35 | (7.7) | 38 | (8.2) | | |
| | 時々ある | 5 | (4.8) | 6 | (2.6) | 25 | (6.4) | 35 | (7.7) | 40 | (8.6) | | |
| | いつもある | 1 | (1.0) | 9 | (3.8) | 33 | (8.5) | 77 | (17.0) | 183 | (39.3) | | |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 10 | (2.2) | 29 | (6.2) | | |
| *上記3,4の諸症状いずれかあり* | | *13* | *(12.5)* | *30* | *(12.8)* | *110* | *(28.3)* | *187* | *(41.4)* | *306* | *(65.7)* | | |
| 上記3,4の諸症状に対応して実施したケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | | | | |
| *1 | 3.4-食事前のアイスマッサージ | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (1.8) | 10 | (5.3) | 11 | (3.6) | | |
| *1 | 3.4-話す機会をつくる | 3 | (23.1) | 12 | (40.0) | 45 | (40.9) | 74 | (39.6) | 105 | (34.3) | | |
| *1 | 3.4-食形態変更 | 2 | (15.4) | 7 | (23.3) | 38 | (34.5) | 70 | (37.4) | 141 | (46.1) | | |
| *1 | 3.4-主食 | | | | | | | | | | | | |
| | 常食 | 3 | (23.1) | 2 | (6.7) | 14 | (12.7) | 12 | (6.4) | 7 | (2.3) | | |
| | 嚥下調整食 | 2 | (15.4) | 7 | (23.3) | 31 | (28.2) | 58 | (31.0) | 126 | (41.2) | | |
| | (不明) | 8 | (61.5) | 21 | (70.0) | 65 | (59.1) | 117 | (62.6) | 173 | (56.5) | | |
| *2 | 3.4-主食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.8) | | |
| | 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.8) | | |
| | 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (9.7) | 7 | (12.1) | 29 | (23.0) | | |
| | 2A | 0 | (0.0) | 1 | (14.3) | 0 | (0.0) | 8 | (13.8) | 32 | (25.4) | | |
| | 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (3.2) | 2 | (3.4) | 3 | (2.4) | | |
| | 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (3.2) | 5 | (8.6) | 19 | (15.1) | | |
| | 4 | 2 | (100.0) | 6 | (85.7) | 25 | (80.6) | 34 | (58.6) | 39 | (31.0) | | |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (3.2) | 2 | (3.4) | 2 | (1.6) | | |
| *1 | 3.4-副食 | | | | | | | | | | | | |
| | 常食 | 3 | (23.1) | 2 | (6.7) | 15 | (13.6) | 6 | (3.2) | 6 | (2.0) | | |
| | 嚥下調整食 | 2 | (15.4) | 7 | (23.3) | 30 | (27.3) | 63 | (33.7) | 127 | (41.5) | | |
| | (不明) | 8 | (61.5) | 21 | (70.0) | 65 | (59.1) | 118 | (63.1) | 173 | (56.5) | | |
| *3 | 3.4-副食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | | |
| | 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.8) | | |
| | 1J | 0 | (0.0) | 1 | (14.3) | 4 | (13.3) | 9 | (14.3) | 15 | (11.8) | | |
| | 2A | 0 | (0.0) | 2 | (28.6) | 3 | (10.0) | 6 | (9.5) | 38 | (29.9) | | |
| | 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (3.3) | 4 | (6.3) | 11 | (8.7) | | |
| | 3 | 1 | (50.0) | 1 | (14.3) | 7 | (23.3) | 14 | (22.2) | 26 | (20.5) | | |
| | 4 | 1 | (50.0) | 3 | (42.9) | 14 | (46.7) | 24 | (38.1) | 26 | (20.5) | | |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (3.3) | 6 | (9.5) | 10 | (7.9) | | |
| *1 | 3.4-とろみ剤の使用 | 0 | (0.0) | 3 | (10.0) | 18 | (16.4) | 44 | (23.5) | 114 | (37.3) | | |
| *4 | 3.4-とろみ剤段階 | | | | | | | | | | | | |
| | うすい | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 6 | (33.3) | 13 | (29.5) | 18 | (15.8) | | |
| | 中間 | 0 | (0.0) | 2 | (66.7) | 8 | (44.4) | 24 | (54.5) | 59 | (51.8) | | |
| | 濃い | 0 | (0.0) | 1 | (33.3) | 2 | (11.1) | 4 | (9.1) | 35 | (30.7) | | |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (11.1) | 3 | (6.8) | 2 | (1.8) | | |

*1:症状3,4いずれかまたは両方で「まれにある, 時々ある, いつもある」であった人数を分母に割合を算出

*2:主食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3:副食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*4:とろみ剤を使用と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表6-b

| 要介護度別集計(全体・特養・老健) | | 特養 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 要介護1 n=36 | | 要介護2 n=94 | | 要介護3 n=219 | | 要介護4 n=319 | | 要介護5 n=353 | |
| | | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 食事中にあらわれる諸症状(摂食・嚥下障害リスク) | | | | | | | | | | | |
| 3.口から食べ物がこぼれる | | | | | | | | | | | |
| | ほとんどない | 34 | (94.4) | 88 | (93.6) | 173 | (79.0) | 217 | (68.0) | 147 | (41.6) |
| | まれにある | 2 | (5.6) | 4 | (4.3) | 21 | (9.6) | 32 | (10.0) | 38 | (10.8) |
| | 時々ある | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 12 | (5.5) | 33 | (10.3) | 64 | (18.1) |
| | いつもある | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 13 | (5.9) | 26 | (8.2) | 76 | (21.5) |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 11 | (3.4) | 28 | (7.9) |
| 4.ことばが明瞭でない | | | | | | | | | | | |
| | ほとんどない | 30 | (83.3) | 79 | (84.0) | 162 | (74.0) | 212 | (66.5) | 126 | (35.7) |
| | まれにある | 4 | (11.1) | 6 | (6.4) | 21 | (9.6) | 25 | (7.8) | 30 | (8.5) |
| | 時々ある | 1 | (2.8) | 5 | (5.3) | 14 | (6.4) | 24 | (7.5) | 33 | (9.3) |
| | いつもある | 1 | (2.8) | 4 | (4.3) | 22 | (10.0) | 49 | (15.4) | 137 | (38.8) |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 9 | (2.8) | 27 | (7.6) |
| *上記3,4の諸症状いずれかあり* | | *7* | *(19.4)* | *17* | *(18.1)* | *78* | *(35.6)* | *131* | *(41.1)* | *234* | *(66.3)* |
| 上記3,4の諸症状に対応して実施したケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | | |
| *1 | 3.4-食事前のアイスマッサージ | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (1.3) | 10 | (7.6) | 10 | (4.3) |
| *1 | 3.4-話す機会をつくる | 2 | (28.6) | 9 | (52.9) | 29 | (37.2) | 57 | (43.5) | 88 | (37.6) |
| *1 | 3.4-食形態変更 | 0 | (0.0) | 2 | (11.8) | 19 | (24.4) | 38 | (29.0) | 88 | (37.6) |
| *1 | 3.4-主食 | | | | | | | | | | |
| | 常食 | 2 | (28.6) | 2 | (11.8) | 13 | (16.7) | 9 | (6.9) | 4 | (1.7) |
| | 嚥下調整食 | 0 | (0.0) | 2 | (11.8) | 13 | (16.7) | 29 | (22.1) | 76 | (32.5) |
| | (不明) | 5 | (71.4) | 13 | (76.5) | 52 | (66.7) | 93 | (71.0) | 154 | (65.8) |
| *2 | 3.4-主食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| | 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (1.3) |
| | 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (6.9) | 18 | (23.7) |
| | 2A | 0 | (0.0) | 1 | (50.0) | 0 | (0.0) | 5 | (17.2) | 24 | (31.6) |
| | 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (7.7) | 2 | (6.9) | 1 | (1.3) |
| | 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 5 | (17.2) | 15 | (19.7) |
| | 4 | 0 | (0.0) | 1 | (50.0) | 12 | (92.3) | 13 | (44.8) | 16 | (21.1) |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (6.9) | 1 | (1.3) |
| *1 | 3.4-副食 | | | | | | | | | | |
| | 常食 | 2 | (28.6) | 2 | (11.8) | 11 | (14.1) | 4 | (3.1) | 4 | (1.7) |
| | 嚥下調整食 | 0 | (0.0) | 2 | (11.8) | 15 | (19.2) | 34 | (26.0) | 77 | (32.9) |
| | (不明) | 5 | (71.4) | 13 | (76.5) | 52 | (66.7) | 93 | (71.0) | 153 | (65.4) |
| *3 | 3.4-副食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| | 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (1.3) |
| | 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (8.8) | 9 | (11.7) |
| | 2A | 0 | (0.0) | 1 | (50.0) | 1 | (6.7) | 1 | (2.9) | 23 | (29.9) |
| | 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (6.7) | 3 | (8.8) | 6 | (7.8) |
| | 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 6 | (40.0) | 8 | (23.5) | 18 | (23.4) |
| | 4 | 0 | (0.0) | 1 | (50.0) | 7 | (46.7) | 13 | (38.2) | 11 | (14.3) |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 6 | (17.6) | 9 | (11.7) |
| *1 | 3.4-とろみ剤の使用 | 0 | (0.0) | 1 | (5.9) | 10 | (12.8) | 26 | (19.8) | 69 | (29.5) |
| *4 | 3.4-とろみ剤段階 | | | | | | | | | | |
| | うすい | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 5 | (50.0) | 8 | (30.8) | 9 | (13.0) |
| | 中間 | 0 | (0.0) | 1 | (100.0) | 3 | (30.0) | 13 | (50.0) | 38 | (55.1) |
| | 濃い | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (10.0) | 2 | (7.7) | 20 | (29.0) |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (10.0) | 3 | (11.5) | 2 | (2.9) |

*1:症状3,4いずれかまたは両方で「まれにある, 時々ある, いつもある」であった人数を分母に割合を算出

*2:主食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3:副食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*4:とろみ剤を使用と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表6-c

| 要介護度別集計（全体・特養・老健） | | 老健 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 要介護1 n=68 | | 要介護2 n=141 | | 要介護3 n=170 | | 要介護4 n=133 | | 要介護5 n=113 | |
| | | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 食事中にあらわれる諸症状（摂食・嚥下障害リスク） | | | | | | | | | | | |
| 3.口から食べ物がこぼれる | | | | | | | | | | | |
| | ほとんどない | 65 | (95.6) | 135 | (95.7) | 151 | (88.8) | 93 | (69.9) | 63 | (55.8) |
| | まれにある | 2 | (2.9) | 2 | (1.4) | 6 | (3.5) | 8 | (6.0) | 11 | (9.7) |
| | 時々ある | 0 | (0.0) | 2 | (1.4) | 9 | (5.3) | 19 | (14.3) | 13 | (11.5) |
| | いつもある | 1 | (1.5) | 2 | (1.4) | 4 | (2.4) | 12 | (9.0) | 24 | (21.2) |
| | （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.8) | 2 | (1.8) |
| 4.ことばが明瞭でない | | | | | | | | | | | |
| | ほとんどない | 63 | (92.6) | 131 | (92.9) | 145 | (85.3) | 83 | (62.4) | 50 | (44.2) |
| | まれにある | 1 | (1.5) | 4 | (2.8) | 3 | (1.8) | 10 | (7.5) | 8 | (7.1) |
| | 時々ある | 4 | (5.9) | 1 | (0.7) | 11 | (6.5) | 11 | (8.3) | 7 | (6.2) |
| | いつもある | 0 | (0.0) | 5 | (3.5) | 11 | (6.5) | 28 | (21.1) | 46 | (40.7) |
| | （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.8) | 2 | (1.8) |
| *上記3,4の諸症状いずれかあり* | | *6* | *(8.8)* | *13* | *(9.2)* | *32* | *(18.8)* | *56* | *(42.1)* | *72* | *(63.7)* |
| 上記3,4の諸症状に対応して実施したケア計画（複数回答） | | | | | | | | | | | |
| *1 | 3.4-食事前のアイスマッサージ | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (3.1) | 0 | (0.0) | 1 | (1.4) |
| *1 | 3.4-話す機会をつくる | 1 | (16.7) | 3 | (23.1) | 16 | (50.0) | 17 | (30.4) | 17 | (23.6) |
| *1 | 3.4-食形態変更 | 2 | (33.3) | 5 | (38.5) | 19 | (59.4) | 32 | (57.1) | 53 | (73.6) |
| *1 | 3.4-主食 | | | | | | | | | | |
| | 常食 | 1 | (16.7) | 0 | (0.0) | 1 | (3.1) | 3 | (5.4) | 3 | (4.2) |
| | 嚥下調整食 | 2 | (33.3) | 5 | (38.5) | 18 | (56.3) | 29 | (51.8) | 50 | (69.4) |
| | （不明） | 3 | (50.0) | 8 | (61.5) | 13 | (40.6) | 24 | (42.9) | 19 | (26.4) |
| *2 | 3.4-主食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (2.0) |
| | 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| | 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (16.7) | 5 | (17.2) | 11 | (22.0) |
| | 2A | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (10.3) | 8 | (16.0) |
| | 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (4.0) |
| | 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (5.6) | 0 | (0.0) | 4 | (8.0) |
| | 4 | 2 | (100.0) | 5 | (100.0) | 13 | (72.2) | 21 | (72.4) | 23 | (46.0) |
| | （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (5.6) | 0 | (0.0) | 1 | (2.0) |
| *1 | 3.4-副食 | | | | | | | | | | |
| | 常食 | 1 | (16.7) | 0 | (0.0) | 4 | (12.5) | 2 | (3.6) | 2 | (2.8) |
| | 嚥下調整食 | 2 | (33.3) | 5 | (38.5) | 15 | (46.9) | 29 | (51.8) | 50 | (69.4) |
| | （不明） | 3 | (50.0) | 8 | (61.5) | 13 | (40.6) | 25 | (44.6) | 20 | (27.8) |
| *3 | 3.4-副食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| | 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| | 1J | 0 | (0.0) | 1 | (20.0) | 4 | (26.7) | 6 | (20.7) | 6 | (12.0) |
| | 2A | 0 | (0.0) | 1 | (20.0) | 2 | (13.3) | 5 | (17.2) | 15 | (30.0) |
| | 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (3.4) | 5 | (10.0) |
| | 3 | 1 | (50.0) | 1 | (20.0) | 1 | (6.7) | 6 | (20.7) | 8 | (16.0) |
| | 4 | 1 | (50.0) | 2 | (40.0) | 7 | (46.7) | 11 | (37.9) | 15 | (30.0) |
| | （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (6.7) | 0 | (0.0) | 1 | (2.0) |
| *1 | 3.4-とろみ剤の使用 | 0 | (0.0) | 2 | (15.4) | 8 | (25.0) | 18 | (32.1) | 45 | (62.5) |
| *4 | 3.4-とろみ剤段階 | | | | | | | | | | |
| | うすい | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (12.5) | 5 | (27.8) | 9 | (20.0) |
| | 中間 | 0 | (0.0) | 1 | (50.0) | 5 | (62.5) | 11 | (61.1) | 21 | (46.7) |
| | 濃い | 0 | (0.0) | 1 | (50.0) | 1 | (12.5) | 2 | (11.1) | 15 | (33.3) |
| | （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (12.5) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |

*1:症状3,4いずれかまたは両方で「まれにある，時々ある，いつもある」であった人数を分母に割合を算出

*2:主食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3:副食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*4:とろみ剤を使用と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表7-a

| 要介護度別集計(全体・特養・老健) | 全体 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=104 | | 要介護2 n=235 | | 要介護3 n=389 | | 要介護4 n=452 | | 要介護5 n=466 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 食事中にあらわれる諸症状(摂食・嚥下障害リスク) | | | | | | | | | | |
| 5.食べ物をいつまでも飲み込まずに噛んでいる | | | | | | | | | | |
| ほとんどない | 99 | (95.2) | 222 | (94.5) | 335 | (86.1) | 345 | (76.3) | 262 | (56.2) |
| まれにある | 2 | (1.9) | 6 | (2.6) | 23 | (5.9) | 33 | (7.3) | 53 | (11.4) |
| 時々ある | 2 | (1.9) | 3 | (1.3) | 16 | (4.1) | 40 | (8.8) | 72 | (15.5) |
| いつもある | 1 | (1.0) | 4 | (1.7) | 14 | (3.6) | 23 | (5.1) | 50 | (10.7) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.3) | 11 | (2.4) | 29 | (6.2) |
| 6.食事中や食後に濁った声に変わる | | | | | | | | | | |
| ほとんどない | 103 | (99.0) | 230 | (97.9) | 358 | (92.0) | 395 | (87.4) | 349 | (74.9) |
| まれにある | 1 | (1.0) | 2 | (0.9) | 19 | (4.9) | 30 | (6.6) | 31 | (6.7) |
| 時々ある | 0 | (0.0) | 3 | (1.3) | 9 | (2.3) | 11 | (2.4) | 37 | (7.9) |
| いつもある | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (0.8) | 5 | (1.1) | 19 | (4.1) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 11 | (2.4) | 30 | (6.4) |
| 7.食べるのが遅くなる | | | | | | | | | | |
| ほとんどない | 96 | (92.3) | 210 | (89.4) | 307 | (78.9) | 290 | (64.2) | 214 | (45.9) |
| まれにある | 1 | (1.0) | 10 | (4.3) | 26 | (6.7) | 35 | (7.7) | 33 | (7.1) |
| 時々ある | 6 | (5.8) | 4 | (1.7) | 22 | (5.7) | 59 | (13.1) | 90 | (19.3) |
| いつもある | 1 | (1.0) | 10 | (4.3) | 34 | (8.7) | 55 | (12.2) | 97 | (20.8) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 0 | (0.0) | 13 | (2.9) | 32 | (6.9) |
| *上記5,6,7の諸症状いずれかあり* | *11* | *(10.6)* | *31* | *(13.2)* | *104* | *(26.7)* | *183* | *(40.5)* | *260* | *(55.8)* |
| 上記5,6,7の諸症状に対応して実施したケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | |
| *1 5.6.7-顎を軽く引いて嚥下を促 | 0 | (0.0) | 1 | (3.2) | 12 | (11.5) | 22 | (12.0) | 56 | (21.5) |
| *1 5.6.7-空嚥下を行う | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 5 | (4.8) | 7 | (3.8) | 11 | (4.2) |
| *1 5.6.7-食形態変更 | 4 | (36.4) | 11 | (35.5) | 48 | (46.2) | 73 | (39.9) | 139 | (53.5) |
| *1 5.6.7-主食 | | | | | | | | | | |
| 常食 | 1 | (9.1) | 3 | (9.7) | 9 | (8.7) | 9 | (4.9) | 5 | (1.9) |
| 嚥下調整食 | 4 | (36.4) | 11 | (35.5) | 40 | (38.5) | 64 | (35.0) | 125 | (48.1) |
| (不明) | 6 | (54.5) | 17 | (54.8) | 55 | (52.9) | 110 | (60.1) | 130 | (50.0) |
| *2 5.6.7-主食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.8) |
| 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (7.5) | 7 | (10.9) | 22 | (17.6) |
| 2A | 0 | (0.0) | 1 | (9.1) | 3 | (7.5) | 7 | (10.9) | 33 | (26.4) |
| 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (2.5) | 1 | (1.6) | 2 | (1.6) |
| 3 | 0 | (0.0) | 1 | (9.1) | 1 | (2.5) | 5 | (7.8) | 20 | (16.0) |
| 4 | 4 | (100.0) | 9 | (81.8) | 32 | (80.0) | 41 | (64.1) | 43 | (34.4) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (4.7) | 4 | (3.2) |
| *1 5.6.7-副食 | | | | | | | | | | |
| 常食 | 1 | (9.1) | 4 | (12.9) | 8 | (7.7) | 8 | (4.4) | 3 | (1.2) |
| 嚥下調整食 | 4 | (36.4) | 8 | (25.8) | 41 | (39.4) | 65 | (35.5) | 128 | (49.2) |
| (不明) | 6 | (54.5) | 19 | (61.3) | 55 | (52.9) | 110 | (60.1) | 129 | (49.6) |
| *3 5.6.7-副食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 1J | 0 | (0.0) | 1 | (12.5) | 4 | (9.8) | 10 | (15.4) | 16 | (12.5) |
| 2A | 0 | (0.0) | 2 | (25.0) | 4 | (9.8) | 4 | (6.2) | 30 | (23.4) |
| 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (7.3) | 2 | (3.1) | 11 | (8.6) |
| 3 | 1 | (25.0) | 2 | (25.0) | 6 | (14.6) | 16 | (24.6) | 31 | (24.2) |
| 4 | 2 | (50.0) | 3 | (37.5) | 22 | (53.7) | 28 | (43.1) | 25 | (19.5) |
| (不明) | 1 | (25.0) | 0 | (0.0) | 2 | (4.9) | 5 | (7.7) | 15 | (11.7) |
| *1 5,6,7-とろみ剤の使用 | 0 | (0.0) | 6 | (19.4) | 22 | (21.2) | 36 | (19.7) | 98 | (37.7) |
| *4 5,6,7-とろみ剤段階 | | | | | | | | | | |
| うすい | 0 | (0.0) | 3 | (50.0) | 6 | (27.3) | 12 | (33.3) | 21 | (21.4) |
| 中間 | 0 | (0.0) | 2 | (33.3) | 14 | (63.6) | 19 | (52.8) | 48 | (49.0) |
| 濃い | 0 | (0.0) | 1 | (16.7) | 1 | (4.5) | 3 | (8.3) | 28 | (28.6) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (4.5) | 2 | (5.6) | 1 | (1.0) |

*1:症状5,6,7いずれかまたは両方で「まれにある, 時々ある, いつもある」であった人数を分母に割合を算出

*2:主食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3:副食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*4:とろみ剤を使用と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表7-b

| 要介護度別集計(全体・特養・老健) | 特養 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=36 | | 要介護2 n=94 | | 要介護3 n=219 | | 要介護4 n=319 | | 要介護5 n=353 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 食事中にあらわれる諸症状(摂食・嚥下障害リスク) | | | | | | | | | | |
| 5.食べ物をいつまでも飲み込まずに噛んでいる | | | | | | | | | | |
| ほとんどない | 32 | (88.9) | 88 | (93.6) | 183 | (83.6) | 231 | (72.4) | 192 | (54.4) |
| まれにある | 2 | (5.6) | 3 | (3.2) | 20 | (9.1) | 30 | (9.4) | 45 | (12.7) |
| 時々ある | 1 | (2.8) | 1 | (1.1) | 9 | (4.1) | 30 | (9.4) | 53 | (15.0) |
| いつもある | 1 | (2.8) | 2 | (2.1) | 7 | (3.2) | 17 | (5.3) | 36 | (10.2) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 11 | (3.4) | 27 | (7.6) |
| 6.食事中や食後に濁った声に変わる | | | | | | | | | | |
| ほとんどない | 35 | (97.2) | 92 | (97.9) | 203 | (92.7) | 275 | (86.2) | 262 | (74.2) |
| まれにある | 1 | (2.8) | 1 | (1.1) | 9 | (4.1) | 25 | (7.8) | 25 | (7.1) |
| 時々ある | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 6 | (2.7) | 6 | (1.9) | 26 | (7.4) |
| いつもある | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.5) | 2 | (0.6) | 13 | (3.7) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 11 | (3.4) | 27 | (7.6) |
| 7.食べるのが遅くなる | | | | | | | | | | |
| ほとんどない | 31 | (86.1) | 79 | (84.0) | 166 | (75.8) | 191 | (59.9) | 154 | (43.6) |
| まれにある | 1 | (2.8) | 9 | (9.6) | 20 | (9.1) | 32 | (10.0) | 28 | (7.9) |
| 時々ある | 3 | (8.3) | 3 | (3.2) | 14 | (6.4) | 45 | (14.1) | 72 | (20.4) |
| いつもある | 1 | (2.8) | 2 | (2.1) | 19 | (8.7) | 39 | (12.2) | 69 | (19.5) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 0 | (0.0) | 12 | (3.8) | 30 | (8.5) |
| *上記5,6,7の諸症状いずれかあり* | *8* | *(22.2)* | *17* | *(18.1)* | *67* | *(30.6)* | *139* | *(43.6)* | *199* | *(56.4)* |
| 上記5,6,7の諸症状に対応して実施したケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | |
| *1 5.6.7-顎を軽く引いて嚥下を促 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 4 | (6.0) | 13 | (9.4) | 46 | (23.1) |
| *1 5.6.7-空嚥下を行う | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (3.0) | 6 | (4.3) | 5 | (2.5) |
| *1 5.6.7-食形態変更 | 1 | (12.5) | 2 | (11.8) | 25 | (37.3) | 51 | (36.7) | 93 | (46.7) |
| *1 5.6.7-主食 | | | | | | | | | | |
| 常食 | 1 | (12.5) | 3 | (17.6) | 9 | (13.2) | 7 | (5.0) | 3 | (1.5) |
| 嚥下調整食 | 1 | (12.5) | 2 | (11.8) | 19 | (27.9) | 46 | (33.1) | 80 | (40.2) |
| (不明) | 6 | (75.0) | 12 | (70.6) | 40 | (58.8) | 86 | (61.9) | 116 | (58.3) |
| *2 5.6.7-主食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (6.5) | 14 | (17.5) |
| 2A | 0 | (0.0) | 1 | (50.0) | 1 | (5.3) | 5 | (10.9) | 26 | (32.5) |
| 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (5.3) | 1 | (2.2) | 1 | (1.3) |
| 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 5 | (10.9) | 16 | (20.0) |
| 4 | 1 | (100.0) | 1 | (50.0) | 17 | (89.5) | 29 | (63.0) | 20 | (25.0) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (6.5) | 3 | (3.8) |
| *1 5.6.7-副食 | | | | | | | | | | |
| 常食 | 1 | (12.5) | 3 | (17.6) | 5 | (7.5) | 6 | (4.3) | 2 | (1.0) |
| 嚥下調整食 | 1 | (12.5) | 2 | (11.8) | 23 | (34.3) | 47 | (33.8) | 82 | (41.2) |
| (不明) | 6 | (75.0) | 12 | (70.6) | 39 | (58.2) | 86 | (61.9) | 115 | (57.8) |
| *3 5.6.7-副食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 4 | (8.5) | 9 | (11.0) |
| 2A | 0 | (0.0) | 1 | (50.0) | 1 | (4.3) | 1 | (2.1) | 20 | (24.4) |
| 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (13.0) | 2 | (4.3) | 5 | (6.1) |
| 3 | 0 | (0.0) | 1 | (50.0) | 6 | (26.1) | 15 | (31.9) | 24 | (29.3) |
| 4 | 1 | (100.0) | 0 | (0.0) | 12 | (52.2) | 20 | (42.6) | 10 | (12.2) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (4.3) | 5 | (10.6) | 14 | (17.1) |
| *1 5,6,7-とろみ剤の使用 | 0 | (0.0) | 2 | (11.8) | 12 | (17.9) | 23 | (16.5) | 61 | (30.7) |
| *4 5,6,7-とろみ剤段階 | | | | | | | | | | |
| うすい | 0 | (0.0) | 1 | (50.0) | 5 | (41.7) | 10 | (43.5) | 12 | (19.7) |
| 中間 | 0 | (0.0) | 1 | (50.0) | 6 | (50.0) | 11 | (47.8) | 32 | (52.5) |
| 濃い | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 16 | (26.2) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (8.3) | 2 | (8.7) | 1 | (1.6) |

*1:症状5,6,7いずれかまたは両方で「まれにある, 時々ある, いつもある」であった人数を分母に割合を算出

*2:主食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3:副食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*4:とろみ剤を使用と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表7-c

| 要介護度別集計(全体・特養・老健) | 老健 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=68 | | 要介護2 n=141 | | 要介護3 n=170 | | 要介護4 n=133 | | 要介護5 n=113 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 食事中にあらわれる諸症状(摂食・嚥下障害リスク) | | | | | | | | | | |
| 5.食べ物をいつまでも飲み込まずに噛んでいる | | | | | | | | | | |
| ほとんどない | 67 | (98.5) | 134 | (95.0) | 152 | (89.4) | 114 | (85.7) | 70 | (61.9) |
| まれにある | 0 | (0.0) | 3 | (2.1) | 3 | (1.8) | 3 | (2.3) | 8 | (7.1) |
| 時々ある | 1 | (1.5) | 2 | (1.4) | 7 | (4.1) | 10 | (7.5) | 19 | (16.8) |
| いつもある | 0 | (0.0) | 2 | (1.4) | 7 | (4.1) | 6 | (4.5) | 14 | (12.4) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.6) | 0 | (0.0) | 2 | (1.8) |
| 6.食事中や食後に濁った声に変わる | | | | | | | | | | |
| ほとんどない | 68 | (100.0) | 138 | (97.9) | 155 | (91.2) | 120 | (90.2) | 87 | (77.0) |
| まれにある | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 10 | (5.9) | 5 | (3.8) | 6 | (5.3) |
| 時々ある | 0 | (0.0) | 2 | (1.4) | 3 | (1.8) | 5 | (3.8) | 11 | (9.7) |
| いつもある | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (1.2) | 3 | (2.3) | 6 | (5.3) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (2.7) |
| 7.食べるのが遅くなる | | | | | | | | | | |
| ほとんどない | 65 | (95.6) | 131 | (92.9) | 141 | (82.9) | 99 | (74.4) | 60 | (53.1) |
| まれにある | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 6 | (3.5) | 3 | (2.3) | 5 | (4.4) |
| 時々ある | 3 | (4.4) | 1 | (0.7) | 8 | (4.7) | 14 | (10.5) | 18 | (15.9) |
| いつもある | 0 | (0.0) | 8 | (5.7) | 15 | (8.8) | 16 | (12.0) | 28 | (24.8) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.8) | 2 | (1.8) |
| *上記5,6,7の諸症状いずれかあり* | *3* | *(4.4)* | *14* | *(9.9)* | *37* | *(21.8)* | *44* | *(33.1)* | *61* | *(54.0)* |
| 上記5,6,7の諸症状に対応して実施したケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | |
| *1 5.6.7-顎を軽く引いて嚥下を促 | 0 | (0.0) | 1 | (7.1) | 8 | (21.6) | 9 | (20.5) | 10 | (16.4) |
| *1 5.6.7-空嚥下を行う | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (8.1) | 1 | (2.3) | 6 | (9.8) |
| *1 5.6.7-食形態変更 | 3 | (100.0) | 9 | (64.3) | 23 | (62.2) | 22 | (50.0) | 46 | (75.4) |
| *1 5.6.7-主食 | | | | | | | | | | |
| 常食 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (2.7) | 2 | (4.5) | 2 | (3.3) |
| 嚥下調整食 | 3 | (100.0) | 9 | (64.3) | 21 | (56.8) | 18 | (40.9) | 45 | (73.8) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 5 | (35.7) | 15 | (40.5) | 24 | (54.5) | 14 | (23.0) |
| *2 5.6.7-主食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (2.2) |
| 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (14.3) | 4 | (22.2) | 8 | (17.8) |
| 2A | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (9.5) | 2 | (11.1) | 7 | (15.6) |
| 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (2.2) |
| 3 | 0 | (0.0) | 1 | (11.1) | 1 | (4.8) | 0 | (0.0) | 4 | (8.9) |
| 4 | 3 | (100.0) | 8 | (88.9) | 15 | (71.4) | 12 | (66.7) | 23 | (51.1) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (2.2) |
| *1 5.6.7-副食 | | | | | | | | | | |
| 常食 | 0 | (0.0) | 1 | (7.1) | 3 | (8.1) | 2 | (4.5) | 1 | (1.6) |
| 嚥下調整食 | 3 | (100.0) | 6 | (42.9) | 18 | (48.6) | 18 | (40.9) | 46 | (75.4) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 7 | (50.0) | 16 | (43.2) | 24 | (54.5) | 14 | (23.0) |
| *3 5.6.7-副食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 1J | 0 | (0.0) | 1 | (16.7) | 4 | (22.2) | 6 | (33.3) | 7 | (15.2) |
| 2A | 0 | (0.0) | 1 | (16.7) | 3 | (16.7) | 3 | (16.7) | 10 | (21.7) |
| 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 6 | (13.0) |
| 3 | 1 | (33.3) | 1 | (16.7) | 0 | (0.0) | 1 | (5.6) | 7 | (15.2) |
| 4 | 1 | (33.3) | 3 | (50.0) | 10 | (55.6) | 8 | (44.4) | 15 | (32.6) |
| (不明) | 1 | (33.3) | 0 | (0.0) | 1 | (5.6) | 0 | (0.0) | 1 | (2.2) |
| *1 5,6,7-とろみ剤の使用 | 0 | (0.0) | 4 | (28.6) | 10 | (27.0) | 13 | (29.5) | 37 | (60.7) |
| *4 5,6,7-とろみ剤段階 | | | | | | | | | | |
| うすい | 0 | (0.0) | 2 | (50.0) | 1 | (10.0) | 2 | (15.4) | 9 | (24.3) |
| 中間 | 0 | (0.0) | 1 | (25.0) | 8 | (80.0) | 8 | (61.5) | 16 | (43.2) |
| 濃い | 0 | (0.0) | 1 | (25.0) | 1 | (10.0) | 3 | (23.1) | 12 | (32.4) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |

*1:症状5,6,7いずれかまたは両方で「まれにある, 時々ある, いつもある」であった人数を分母に割合を算出

*2:主食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3:副食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*4:とろみ剤を使用と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表8-a

| 要介護度別集計(全体・特養・老健) | | 全体 | | 要介護1 n=104 | | 要介護2 n=235 | | 要介護3 n=389 | | 要介護4 n=452 | | 要介護5 n=466 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 食事中にあらわれる諸症状(摂食・嚥下障害リスク) | | | | | | | | | | | | | |
| 8.水分や食べ物が口に入った途端にむせたり、せきこんだりする | | | | | | | | | | | | | |
| | ほとんどない | 101 | (97.1) | 223 | (94.9) | 347 | (89.2) | 347 | (76.8) | 248 | (53.2) | | |
| | まれにある | 2 | (1.9) | 9 | (3.8) | 22 | (5.7) | 58 | (12.8) | 75 | (16.1) | | |
| | 時々ある | 1 | (1.0) | 2 | (0.9) | 16 | (4.1) | 27 | (6.0) | 89 | (19.1) | | |
| | いつもある | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 4 | (1.0) | 10 | (2.2) | 25 | (5.4) | | |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 10 | (2.2) | 29 | (6.2) | | |
| *上記8の諸症状あり* | | *3* | *(2.9)* | *12* | *(5.1)* | *42* | *(10.8)* | *95* | *(21.0)* | *189* | *(40.6)* | | |
| 上記8の諸症状に対応して実施したケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | | | | |
| *1 | 8-食事前のアイスマッサージ | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 7 | (7.4) | 9 | (4.8) | | |
| *1 | 8-頭位、体位の調整 | 0 | (0.0) | 4 | (33.3) | 11 | (26.2) | 33 | (34.7) | 96 | (50.8) | | |
| *1 | 8-増粘剤の使用 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 8 | (19.0) | 18 | (18.9) | 62 | (32.8) | | |
| *1 | 8-食形態変更 | 0 | (0.0) | 3 | (25.0) | 18 | (42.9) | 47 | (49.5) | 85 | (45.0) | | |
| *1 | 8-主食 | | | | | | | | | | | | |
| | 常食 | 2 | (66.7) | 1 | (8.3) | 3 | (7.1) | 5 | (5.3) | 5 | (2.6) | | |
| | 嚥下調整食 | 0 | (0.0) | 3 | (25.0) | 15 | (35.7) | 34 | (35.8) | 73 | (38.6) | | |
| | (不明) | 1 | (33.3) | 8 | (66.7) | 24 | (57.1) | 56 | (58.9) | 111 | (58.7) | | |
| *2 | 8-主食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (1.4) | | |
| | 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | | |
| | 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (6.7) | 3 | (8.8) | 16 | (21.9) | | |
| | 2A | 0 | (0.0) | 1 | (33.3) | 0 | (0.0) | 4 | (11.8) | 18 | (24.7) | | |
| | 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (6.7) | 0 | (0.0) | 1 | (1.4) | | |
| | 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (8.8) | 12 | (16.4) | | |
| | 4 | 0 | (0.0) | 2 | (66.7) | 13 | (86.7) | 21 | (61.8) | 25 | (34.2) | | |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (8.8) | 0 | (0.0) | | |
| *1 | 8-副食 | | | | | | | | | | | | |
| | 常食 | 2 | (66.7) | 1 | (8.3) | 2 | (4.8) | 0 | (0.0) | 4 | (2.1) | | |
| | 嚥下調整食 | 0 | (0.0) | 3 | (25.0) | 16 | (38.1) | 38 | (40.0) | 75 | (39.7) | | |
| | (不明) | 1 | (33.3) | 8 | (66.7) | 24 | (57.1) | 57 | (60.0) | 110 | (58.2) | | |
| *3 | 8-副食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | | |
| | 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | | |
| | 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (6.3) | 5 | (13.2) | 11 | (14.7) | | |
| | 2A | 0 | (0.0) | 2 | (66.7) | 0 | (0.0) | 1 | (2.6) | 20 | (26.7) | | |
| | 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (12.5) | 2 | (5.3) | 4 | (5.3) | | |
| | 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 4 | (25.0) | 9 | (23.7) | 20 | (26.7) | | |
| | 4 | 0 | (0.0) | 1 | (33.3) | 9 | (56.3) | 16 | (42.1) | 14 | (18.7) | | |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 5 | (13.2) | 6 | (8.0) | | |
| *1 | 8-とろみ剤の使用 | 0 | (0.0) | 2 | (16.7) | 12 | (28.6) | 32 | (33.7) | 76 | (40.2) | | |
| *4 | 8-とろみ剤段階 | | | | | | | | | | | | |
| | うすい | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 6 | (50.0) | 11 | (34.4) | 14 | (18.4) | | |
| | 中間 | 0 | (0.0) | 1 | (50.0) | 5 | (41.7) | 15 | (46.9) | 36 | (47.4) | | |
| | 濃い | 0 | (0.0) | 1 | (50.0) | 1 | (8.3) | 4 | (12.5) | 26 | (34.2) | | |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (6.3) | 0 | (0.0) | | |

*1:症状8で「まれにある, 時々ある, いつもある」であった人数を分母に割合を算出

*2:主食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3:副食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*4:とろみ剤を使用と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表8-b

| 要介護度別集計(全体・特養・老健) | 特養 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=36 | | 要介護2 n=94 | | 要介護3 n=219 | | 要介護4 n=319 | | 要介護5 n=353 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 食事中にあらわれる諸症状(摂食・嚥下障害リスク) | | | | | | | | | | |
| 8.水分や食べ物が口に入った途端にむせたり、せきこんだりする | | | | | | | | | | |
| ほとんどない | 34 | (94.4) | 87 | (92.6) | 189 | (86.3) | 233 | (73.0) | 175 | (49.6) |
| まれにある | 1 | (2.8) | 6 | (6.4) | 16 | (7.3) | 45 | (14.1) | 61 | (17.3) |
| 時々ある | 1 | (2.8) | 1 | (1.1) | 10 | (4.6) | 23 | (7.2) | 73 | (20.7) |
| いつもある | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 4 | (1.8) | 8 | (2.5) | 17 | (4.8) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 10 | (3.1) | 27 | (7.6) |
| *上記8の諸症状あり* | *2* | *(5.6)* | *7* | *(7.4)* | *30* | *(13.7)* | *76* | *(23.8)* | *151* | *(42.8)* |
| 上記8の諸症状に対応して実施したケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | |
| *1 8-食事前のアイスマッサージ | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 7 | (9.2) | 9 | (6.0) |
| *1 8-頭位、体位の調整 | 0 | (0.0) | 2 | (28.6) | 7 | (23.3) | 24 | (31.6) | 79 | (52.3) |
| *1 8-増粘剤の使用 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 7 | (23.3) | 16 | (21.1) | 50 | (33.1) |
| *1 8-食形態変更 | 0 | (0.0) | 1 | (14.3) | 11 | (36.7) | 37 | (48.7) | 60 | (39.7) |
| *1 8-主食 | | | | | | | | | | |
| 常食 | 2 | (100.0) | 0 | (0.0) | 3 | (10.0) | 3 | (3.9) | 2 | (1.3) |
| 嚥下調整食 | 0 | (0.0) | 1 | (14.3) | 9 | (30.0) | 26 | (34.2) | 49 | (32.5) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 6 | (85.7) | 18 | (60.0) | 47 | (61.8) | 100 | (66.2) |
| *2 8-主食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (7.7) | 13 | (26.5) |
| 2A | 0 | (0.0) | 1 | (100.0) | 0 | (0.0) | 2 | (7.7) | 11 | (22.4) |
| 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (11.1) | 0 | (0.0) | 1 | (2.0) |
| 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (11.5) | 11 | (22.4) |
| 4 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 8 | (88.9) | 16 | (61.5) | 13 | (26.5) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (11.5) | 0 | (0.0) |
| *1 8-副食 | | | | | | | | | | |
| 常食 | 2 | (100.0) | 0 | (0.0) | 2 | (6.7) | 0 | (0.0) | 2 | (1.3) |
| 嚥下調整食 | 0 | (0.0) | 1 | (14.3) | 10 | (33.3) | 28 | (36.8) | 50 | (33.1) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 6 | (85.7) | 18 | (60.0) | 48 | (63.2) | 99 | (65.6) |
| *3 8-副食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (7.1) | 7 | (14.0) |
| 2A | 0 | (0.0) | 1 | (100.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 12 | (24.0) |
| 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (20.0) | 2 | (7.1) | 2 | (4.0) |
| 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 4 | (40.0) | 8 | (28.6) | 18 | (36.0) |
| 4 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 4 | (40.0) | 11 | (39.3) | 5 | (10.0) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 5 | (17.9) | 6 | (12.0) |
| *1 8-とろみ剤の使用 | 0 | (0.0) | 1 | (14.3) | 10 | (33.3) | 25 | (32.9) | 53 | (35.1) |
| *4 8-とろみ剤段階 | | | | | | | | | | |
| うすい | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 6 | (60.0) | 10 | (40.0) | 10 | (18.9) |
| 中間 | 0 | (0.0) | 1 | (100.0) | 4 | (40.0) | 12 | (48.0) | 26 | (49.1) |
| 濃い | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (4.0) | 17 | (32.1) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (8.0) | 0 | (0.0) |

*1:症状8で「まれにある, 時々ある, いつもある」であった人数を分母に割合を算出

*2:主食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3:副食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*4:とろみ剤を使用と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表8-c

| 要介護度別集計(全体・特養・老健) | | 老健 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 要介護1 n=68 | | 要介護2 n=141 | | 要介護3 n=170 | | 要介護4 n=133 | | 要介護5 n=113 | |
| | | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 食事中にあらわれる諸症状(摂食・嚥下障害リスク) | | | | | | | | | | | |
| 8.水分や食べ物が口に入った途端にむせたり、せきこんだりする | | | | | | | | | | | |
| | ほとんどない | 67 | (98.5) | 136 | (96.5) | 158 | (92.9) | 114 | (85.7) | 73 | (64.6) |
| | まれにある | 1 | (1.5) | 3 | (2.1) | 6 | (3.5) | 13 | (9.8) | 14 | (12.4) |
| | 時々ある | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 6 | (3.5) | 4 | (3.0) | 16 | (14.2) |
| | いつもある | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 0 | (0.0) | 2 | (1.5) | 8 | (7.1) |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (1.8) |
| *上記8の諸症状あり* | | *1* | *(1.5)* | *5* | *(3.5)* | *12* | *(7.1)* | *19* | *(14.3)* | *38* | *(33.6)* |
| 上記8の諸症状に対応して実施したケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | | |
| *1 | 8-食事前のアイスマッサージ | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| *1 | 8-頭位、体位の調整 | 0 | (0.0) | 2 | (40.0) | 4 | (33.3) | 9 | (47.4) | 17 | (44.7) |
| *1 | 8-増粘剤の使用 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (8.3) | 2 | (10.5) | 12 | (31.6) |
| *1 | 8-食形態変更 | 0 | (0.0) | 2 | (40.0) | 7 | (58.3) | 10 | (52.6) | 25 | (65.8) |
| *1 | 8-主食 | | | | | | | | | | |
| | 常食 | 0 | (0.0) | 1 | (20.0) | 0 | (0.0) | 2 | (10.5) | 3 | (7.9) |
| | 嚥下調整食 | 0 | (0.0) | 2 | (40.0) | 6 | (50.0) | 8 | (42.1) | 24 | (63.2) |
| | (不明) | 1 | (100.0) | 2 | (40.0) | 6 | (50.0) | 9 | (47.4) | 11 | (28.9) |
| *2 | 8-主食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (4.2) |
| | 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| | 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (16.7) | 1 | (12.5) | 3 | (12.5) |
| | 2A | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (25.0) | 7 | (29.2) |
| | 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| | 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (4.2) |
| | 4 | 0 | (0.0) | 2 | (100.0) | 5 | (83.3) | 5 | (62.5) | 12 | (50.0) |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| *1 | 8-副食 | | | | | | | | | | |
| | 常食 | 0 | (0.0) | 1 | (20.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (5.3) |
| | 嚥下調整食 | 0 | (0.0) | 2 | (40.0) | 6 | (50.0) | 10 | (52.6) | 25 | (65.8) |
| | (不明) | 1 | (100.0) | 2 | (40.0) | 6 | (50.0) | 9 | (47.4) | 11 | (28.9) |
| *3 | 8-副食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| | 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| | 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (16.7) | 3 | (30.0) | 4 | (16.0) |
| | 2A | 0 | (0.0) | 1 | (50.0) | 0 | (0.0) | 1 | (10.0) | 8 | (32.0) |
| | 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (8.0) |
| | 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (10.0) | 2 | (8.0) |
| | 4 | 0 | (0.0) | 1 | (50.0) | 5 | (83.3) | 5 | (50.0) | 9 | (36.0) |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| *1 | 8-とろみ剤の使用 | 0 | (0.0) | 1 | (20.0) | 2 | (16.7) | 7 | (36.8) | 23 | (60.5) |
| *4 | 8-とろみ剤段階 | | | | | | | | | | |
| | うすい | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (14.3) | 4 | (17.4) |
| | 中間 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (50.0) | 3 | (42.9) | 10 | (43.5) |
| | 濃い | 0 | (0.0) | 1 | (100.0) | 1 | (50.0) | 3 | (42.9) | 9 | (39.1) |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |

*1:症状8で「まれにある, 時々ある, いつもある」であった人数を分母に割合を算出

*2:主食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3:副食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*4:とろみ剤を使用と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表9-a

| 要介護度別集計(全体・特養・老健) | | 全体 | | 要介護1 n=104 | | 要介護2 n=235 | | 要介護3 n=389 | | 要介護4 n=452 | | 要介護5 n=466 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 食事中にあらわれる諸症状(摂食・嚥下障害リスク) | | | | | | | | | | | | | |
| 9.水分や食べ物を飲み込むときにむせたり、せきこんだりする | | | | | | | | | | | | | |
| | ほとんどない | 100 | (96.2) | 216 | (91.9) | 325 | (83.5) | 304 | (67.3) | 180 | (38.6) | | |
| | まれにある | 2 | (1.9) | 11 | (4.7) | 32 | (8.2) | 74 | (16.4) | 93 | (20.0) | | |
| | 時々ある | 1 | (1.0) | 7 | (3.0) | 23 | (5.9) | 51 | (11.3) | 123 | (26.4) | | |
| | いつもある | 1 | (1.0) | 1 | (0.4) | 9 | (2.3) | 14 | (3.1) | 41 | (8.8) | | |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 9 | (2.0) | 29 | (6.2) | | |
| | *上記9の諸症状あり* | *4* | *(3.8)* | *19* | *(8.1)* | *64* | *(16.5)* | *139* | *(30.8)* | *257* | *(55.2)* | | |
| | 上記9の諸症状に対応して実施したケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | | | |
| *1 | 9-頭位、体位の調整 | 1 | (25.0) | 5 | (26.3) | 15 | (23.4) | 39 | (28.1) | 111 | (43.2) | | |
| *1 | 9-増粘剤の使用 | 0 | (0.0) | 2 | (10.5) | 13 | (20.3) | 26 | (18.7) | 83 | (32.3) | | |
| *1 | 9-食形態変更 | 1 | (25.0) | 5 | (26.3) | 32 | (50.0) | 68 | (48.9) | 130 | (50.6) | | |
| *1 | 9-主食 | | | | | | | | | | | | |
| | 常食 | 2 | (50.0) | 1 | (5.3) | 4 | (6.3) | 8 | (5.8) | 5 | (1.9) | | |
| | 嚥下調整食 | 1 | (25.0) | 5 | (26.3) | 29 | (45.3) | 52 | (37.4) | 112 | (43.6) | | |
| | (不明) | 1 | (25.0) | 13 | (68.4) | 31 | (48.4) | 79 | (56.8) | 140 | (54.5) | | |
| *2 | 9-主食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.9) | | |
| | 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.9) | | |
| | 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (10.3) | 5 | (9.6) | 26 | (23.2) | | |
| | 2A | 0 | (0.0) | 1 | (20.0) | 2 | (6.9) | 5 | (9.6) | 25 | (22.3) | | |
| | 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (3.4) | 0 | (0.0) | 1 | (0.9) | | |
| | 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (3.4) | 5 | (9.6) | 19 | (17.0) | | |
| | 4 | 1 | (100.0) | 4 | (80.0) | 21 | (72.4) | 33 | (63.5) | 39 | (34.8) | | |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (3.4) | 4 | (7.7) | 0 | (0.0) | | |
| *1 | 9-副食 | | | | | | | | | | | | |
| | 常食 | 2 | (50.0) | 1 | (5.3) | 5 | (7.8) | 4 | (2.9) | 5 | (1.9) | | |
| | 嚥下調整食 | 1 | (25.0) | 5 | (26.3) | 27 | (42.2) | 53 | (38.1) | 112 | (43.6) | | |
| | (不明) | 1 | (25.0) | 13 | (68.4) | 32 | (50.0) | 82 | (59.0) | 140 | (54.5) | | |
| *3 | 9-副食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | | |
| | 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.9) | | |
| | 1J | 0 | (0.0) | 1 | (20.0) | 3 | (11.1) | 7 | (13.2) | 16 | (14.3) | | |
| | 2A | 0 | (0.0) | 2 | (40.0) | 2 | (7.4) | 4 | (7.5) | 34 | (30.4) | | |
| | 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (7.4) | 2 | (3.8) | 7 | (6.3) | | |
| | 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 7 | (25.9) | 15 | (28.3) | 29 | (25.9) | | |
| | 4 | 1 | (100.0) | 2 | (40.0) | 12 | (44.4) | 18 | (34.0) | 18 | (16.1) | | |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (3.7) | 7 | (13.2) | 7 | (6.3) | | |
| *1 | 9-とろみ剤の使用 | 0 | (0.0) | 6 | (31.6) | 20 | (31.3) | 50 | (36.0) | 105 | (40.9) | | |
| *4 | 9-とろみ剤段階 | | | | | | | | | | | | |
| | うすい | 0 | (0.0) | 1 | (16.7) | 8 | (40.0) | 18 | (36.0) | 21 | (20.0) | | |
| | 中間 | 0 | (0.0) | 4 | (66.7) | 9 | (45.0) | 21 | (42.0) | 52 | (49.5) | | |
| | 濃い | 0 | (0.0) | 1 | (16.7) | 2 | (10.0) | 8 | (16.0) | 32 | (30.5) | | |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (5.0) | 3 | (6.0) | 0 | (0.0) | | |

*1:症状9で「まれにある, 時々ある, いつもある」であった人数を分母に割合を算出

*2:主食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3:副食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*4:とろみ剤を使用と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表9-b

| 要介護度別集計(全体・特養・老健) | 特養 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=36 | | 要介護2 n=94 | | 要介護3 n=219 | | 要介護4 n=319 | | 要介護5 n=353 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 食事中にあらわれる諸症状(摂食・嚥下障害リスク) | | | | | | | | | | |
| 9.水分や食べ物を飲み込むときにむせたり、せきこんだりする | | | | | | | | | | |
| ほとんどない | 34 | (94.4) | 87 | (92.6) | 174 | (79.5) | 204 | (63.9) | 126 | (35.7) |
| まれにある | 2 | (5.6) | 3 | (3.2) | 21 | (9.6) | 60 | (18.8) | 76 | (21.5) |
| 時々ある | 0 | (0.0) | 4 | (4.3) | 18 | (8.2) | 38 | (11.9) | 94 | (26.6) |
| いつもある | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 6 | (2.7) | 8 | (2.5) | 30 | (8.5) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 9 | (2.8) | 27 | (7.6) |
| *上記9の諸症状あり* | *2* | *(5.6)* | *7* | *(7.4)* | *45* | *(20.5)* | *106* | *(33.2)* | *200* | *(56.7)* |
| 上記9の諸症状に対応して実施したケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | |
| *1 9-頭位、体位の調整 | 0 | (0.0) | 1 | (14.3) | 8 | (17.8) | 27 | (25.5) | 92 | (46.0) |
| *1 9-増粘剤の使用 | 0 | (0.0) | 1 | (14.3) | 9 | (20.0) | 21 | (19.8) | 65 | (32.5) |
| *1 9-食形態変更 | 0 | (0.0) | 1 | (14.3) | 20 | (44.4) | 49 | (46.2) | 87 | (43.5) |
| *1 9-主食 | | | | | | | | | | |
| 常食 | 2 | (100.0) | 0 | (0.0) | 4 | (8.9) | 5 | (4.7) | 2 | (1.0) |
| 嚥下調整食 | 0 | (0.0) | 1 | (14.3) | 17 | (37.8) | 36 | (34.0) | 73 | (36.5) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 6 | (85.7) | 24 | (53.3) | 65 | (61.3) | 125 | (62.5) |
| *2 9-主食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (1.4) |
| 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (8.3) | 17 | (23.3) |
| 2A | 0 | (0.0) | 1 | (100.0) | 0 | (0.0) | 3 | (8.3) | 17 | (23.3) |
| 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (5.9) | 0 | (0.0) | 1 | (1.4) |
| 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (5.9) | 4 | (11.1) | 16 | (21.9) |
| 4 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 14 | (82.4) | 22 | (61.1) | 21 | (28.8) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (5.9) | 4 | (11.1) | 0 | (0.0) |
| *1 9-副食 | | | | | | | | | | |
| 常食 | 2 | (100.0) | 0 | (0.0) | 5 | (11.1) | 2 | (1.9) | 2 | (1.0) |
| 嚥下調整食 | 0 | (0.0) | 1 | (14.3) | 15 | (33.3) | 37 | (34.9) | 73 | (36.5) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 6 | (85.7) | 25 | (55.6) | 67 | (63.2) | 125 | (62.5) |
| *3 9-副食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (1.4) |
| 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (8.1) | 9 | (12.3) |
| 2A | 0 | (0.0) | 1 | (100.0) | 0 | (0.0) | 1 | (2.7) | 21 | (28.8) |
| 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (13.3) | 2 | (5.4) | 4 | (5.5) |
| 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 6 | (40.0) | 13 | (35.1) | 23 | (31.5) |
| 4 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 6 | (40.0) | 11 | (29.7) | 8 | (11.0) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (6.7) | 7 | (18.9) | 7 | (9.6) |
| *1 9-とろみ剤の使用 | 0 | (0.0) | 2 | (28.6) | 15 | (33.3) | 35 | (33.0) | 68 | (34.0) |
| *4 9-とろみ剤段階 | | | | | | | | | | |
| うすい | 0 | (0.0) | 1 | (50.0) | 8 | (53.3) | 14 | (40.0) | 14 | (20.6) |
| 中間 | 0 | (0.0) | 1 | (50.0) | 5 | (33.3) | 15 | (42.9) | 34 | (50.0) |
| 濃い | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (6.7) | 3 | (8.6) | 20 | (29.4) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (6.7) | 3 | (8.6) | 0 | (0.0) |

*1:症状9で「まれにある, 時々ある, いつもある」であった人数を分母に割合を算出

*2:主食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3:副食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*4:とろみ剤を使用と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表9-c

| 要介護度別集計(全体・特養・老健) | | 老健 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 要介護1 n=68 | | 要介護2 n=141 | | 要介護3 n=170 | | 要介護4 n=133 | | 要介護5 n=113 | |
| | | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 食事中にあらわれる諸症状(摂食・嚥下障害リスク) | | | | | | | | | | | |
| 9.水分や食べ物を飲み込むときにむせたり、せきこんだりする | | | | | | | | | | | |
| | ほとんどない | 66 | (97.1) | 129 | (91.5) | 151 | (88.8) | 100 | (75.2) | 54 | (47.8) |
| | まれにある | 0 | (0.0) | 8 | (5.7) | 11 | (6.5) | 14 | (10.5) | 17 | (15.0) |
| | 時々ある | 1 | (1.5) | 3 | (2.1) | 5 | (2.9) | 13 | (9.8) | 29 | (25.7) |
| | いつもある | 1 | (1.5) | 1 | (0.7) | 3 | (1.8) | 6 | (4.5) | 11 | (9.7) |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (1.8) |
| *上記9の諸症状あり* | | *2* | *(2.9)* | *12* | *(8.5)* | *19* | *(11.2)* | *33* | *(24.8)* | *57* | *(50.4)* |
| 上記9の諸症状に対応して実施したケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | | |
| *1 | 9-頭位、体位の調整 | 1 | (50.0) | 4 | (33.3) | 7 | (36.8) | 12 | (36.4) | 19 | (33.3) |
| *1 | 9-増粘剤の使用 | 0 | (0.0) | 1 | (8.3) | 4 | (21.1) | 5 | (15.2) | 18 | (31.6) |
| *1 | 9-食形態変更 | 1 | (50.0) | 4 | (33.3) | 12 | (63.2) | 19 | (57.6) | 43 | (75.4) |
| *1 | 9-主食 | | | | | | | | | | |
| | 常食 | 0 | (0.0) | 1 | (8.3) | 0 | (0.0) | 3 | (9.1) | 3 | (5.3) |
| | 嚥下調整食 | 1 | (50.0) | 4 | (33.3) | 12 | (63.2) | 16 | (48.5) | 39 | (68.4) |
| | (不明) | 1 | (50.0) | 7 | (58.3) | 7 | (36.8) | 14 | (42.4) | 15 | (26.3) |
| *2 | 9-主食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (2.6) |
| | 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| | 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (25.0) | 2 | (12.5) | 9 | (23.1) |
| | 2A | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (16.7) | 2 | (12.5) | 8 | (20.5) |
| | 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| | 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (6.3) | 3 | (7.7) |
| | 4 | 1 | (100.0) | 4 | (100.0) | 7 | (58.3) | 11 | (68.8) | 18 | (46.2) |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| *1 | 9-副食 | | | | | | | | | | |
| | 常食 | 0 | (0.0) | 1 | (8.3) | 0 | (0.0) | 2 | (6.1) | 3 | (5.3) |
| | 嚥下調整食 | 1 | (50.0) | 4 | (33.3) | 12 | (63.2) | 16 | (48.5) | 39 | (68.4) |
| | (不明) | 1 | (50.0) | 7 | (58.3) | 7 | (36.8) | 15 | (45.5) | 15 | (26.3) |
| *3 | 9-副食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| | 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| | 1J | 0 | (0.0) | 1 | (25.0) | 3 | (25.0) | 4 | (25.0) | 7 | (17.9) |
| | 2A | 0 | (0.0) | 1 | (25.0) | 2 | (16.7) | 3 | (18.8) | 13 | (33.3) |
| | 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (7.7) |
| | 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (8.3) | 2 | (12.5) | 6 | (15.4) |
| | 4 | 1 | (100.0) | 2 | (50.0) | 6 | (50.0) | 7 | (43.8) | 10 | (25.6) |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| *1 | 9-とろみ剤の使用 | 0 | (0.0) | 4 | (33.3) | 5 | (26.3) | 15 | (45.5) | 37 | (64.9) |
| *4 | 9-とろみ剤段階 | | | | | | | | | | |
| | うすい | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 4 | (26.7) | 7 | (18.9) |
| | 中間 | 0 | (0.0) | 3 | (75.0) | 4 | (80.0) | 6 | (40.0) | 18 | (48.6) |
| | 濃い | 0 | (0.0) | 1 | (25.0) | 1 | (20.0) | 5 | (33.3) | 12 | (32.4) |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |

*1:症状9で「まれにある, 時々ある, いつもある」であった人数を分母に割合を算出

*2:主食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3:副食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*4:とろみ剤を使用と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表10-a

| 要介護度別集計(全体・特養・老健) | | 全体 | | 要介護1 n=104 | | 要介護2 n=235 | | 要介護3 n=389 | | 要介護4 n=452 | | 要介護5 n=466 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 食事中にあらわれる諸症状(摂食・嚥下障害リスク) | | | | | | | | | | | | | |
| 10.水分や食べ物を飲み込んだ後にむせたり、せきこんだりする | | | | | | | | | | | | | |
| | ほとんどない | 97 | (93.3) | 218 | (92.8) | 310 | (79.7) | 296 | (65.5) | 164 | (35.2) | | |
| | まれにある | 5 | (4.8) | 11 | (4.7) | 39 | (10.0) | 79 | (17.5) | 105 | (22.5) | | |
| | 時々ある | 2 | (1.9) | 5 | (2.1) | 30 | (7.7) | 55 | (12.2) | 124 | (26.6) | | |
| | いつもある | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 10 | (2.6) | 13 | (2.9) | 44 | (9.4) | | |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 9 | (2.0) | 29 | (6.2) | | |
| | *上記10の諸症状あり* | *7* | *(6.7)* | *17* | *(7.2)* | *79* | *(20.3)* | *147* | *(32.5)* | *273* | *(58.6)* | | |
| 上記10の諸症状に対応して実施したケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | | | | |
| *1 | 10-食物と液体を交互に嚥下 | 0 | (0.0) | 2 | (11.8) | 13 | (16.5) | 25 | (17.0) | 88 | (32.2) | | |
| *1 | 10-Supraglottic Swallow | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | | |
| *1 | 10-食形態変更 | 1 | (14.3) | 5 | (29.4) | 42 | (53.2) | 76 | (51.7) | 142 | (52.0) | | |
| *1 | 10-主食 | | | | | | | | | | | | |
| | 常食 | 2 | (28.6) | 1 | (5.9) | 7 | (8.9) | 8 | (5.4) | 7 | (2.6) | | |
| | 嚥下調整食 | 1 | (14.3) | 5 | (29.4) | 38 | (48.1) | 62 | (42.2) | 122 | (44.7) | | |
| | (不明) | 4 | (57.1) | 11 | (64.7) | 34 | (43.0) | 77 | (52.4) | 144 | (52.7) | | |
| *2 | 10-主食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.8) | | |
| | 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.8) | | |
| | 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 4 | (10.5) | 7 | (11.3) | 29 | (23.8) | | |
| | 2A | 0 | (0.0) | 1 | (20.0) | 2 | (5.3) | 5 | (8.1) | 28 | (23.0) | | |
| | 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | | |
| | 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (7.9) | 4 | (6.5) | 20 | (16.4) | | |
| | 4 | 1 | (100.0) | 4 | (80.0) | 28 | (73.7) | 41 | (66.1) | 41 | (33.6) | | |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (2.6) | 5 | (8.1) | 2 | (1.6) | | |
| *1 | 10-副食 | | | | | | | | | | | | |
| | 常食 | 2 | (28.6) | 1 | (5.9) | 9 | (11.4) | 4 | (2.7) | 6 | (2.2) | | |
| | 嚥下調整食 | 1 | (14.3) | 5 | (29.4) | 36 | (45.6) | 65 | (44.2) | 122 | (44.7) | | |
| | (不明) | 4 | (57.1) | 11 | (64.7) | 34 | (43.0) | 78 | (53.1) | 145 | (53.1) | | |
| *3 | 10-副食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | | |
| | 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.8) | | |
| | 1J | 0 | (0.0) | 1 | (20.0) | 5 | (13.9) | 9 | (13.8) | 18 | (14.8) | | |
| | 2A | 0 | (0.0) | 2 | (40.0) | 4 | (11.1) | 4 | (6.2) | 35 | (28.7) | | |
| | 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (5.6) | 3 | (4.6) | 7 | (5.7) | | |
| | 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 9 | (25.0) | 19 | (29.2) | 29 | (23.8) | | |
| | 4 | 1 | (100.0) | 2 | (40.0) | 15 | (41.7) | 23 | (35.4) | 22 | (18.0) | | |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (2.8) | 7 | (10.8) | 10 | (8.2) | | |
| *1 | 10-とろみ剤の使用 | 0 | (0.0) | 4 | (23.5) | 27 | (34.2) | 55 | (37.4) | 122 | (44.7) | | |
| *4 | 10-とろみ剤段階 | | | | | | | | | | | | |
| | うすい | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 10 | (37.0) | 17 | (30.9) | 22 | (18.0) | | |
| | 中間 | 0 | (0.0) | 3 | (75.0) | 14 | (51.9) | 27 | (49.1) | 60 | (49.2) | | |
| | 濃い | 0 | (0.0) | 1 | (25.0) | 2 | (7.4) | 8 | (14.5) | 40 | (32.8) | | |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (3.7) | 3 | (5.5) | 0 | (0.0) | | |

*1:症状10で「まれにある, 時々ある, いつもある」であった人数を分母に割合を算出

*2:主食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3:副食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*4:とろみ剤を使用と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表10-b

| 要介護度別集計(全体・特養・老健) | 特養 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=36 | | 要介護2 n=94 | | 要介護3 n=219 | | 要介護4 n=319 | | 要介護5 n=353 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 食事中にあらわれる諸症状(摂食・嚥下障害リスク) | | | | | | | | | | |
| 10.水分や食べ物を飲み込んだ後にむせたり、せきこんだりする | | | | | | | | | | |
| ほとんどない | 33 | (91.7) | 84 | (89.4) | 166 | (75.8) | 202 | (63.3) | 112 | (31.7) |
| まれにある | 3 | (8.3) | 7 | (7.4) | 28 | (12.8) | 61 | (19.1) | 86 | (24.4) |
| 時々ある | 0 | (0.0) | 3 | (3.2) | 19 | (8.7) | 40 | (12.5) | 94 | (26.6) |
| いつもある | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 6 | (2.7) | 7 | (2.2) | 34 | (9.6) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 9 | (2.8) | 27 | (7.6) |
| *上記10の諸症状あり* | *3* | *(8.3)* | *10* | *(10.6)* | *53* | *(24.2)* | *108* | *(33.9)* | *214* | *(60.6)* |
| 上記10の諸症状に対応して実施したケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | |
| *1 10-食物と液体を交互に嚥下 | 0 | (0.0) | 2 | (20.0) | 7 | (13.2) | 17 | (15.7) | 73 | (34.1) |
| *1 10-Supraglottic Swallow | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| *1 10-食形態変更 | 0 | (0.0) | 1 | (10.0) | 23 | (43.4) | 49 | (45.4) | 92 | (43.0) |
| *1 10-主食 | | | | | | | | | | |
| 常食 | 1 | (33.3) | 0 | (0.0) | 7 | (13.2) | 5 | (4.6) | 2 | (0.9) |
| 嚥下調整食 | 0 | (0.0) | 1 | (10.0) | 19 | (35.8) | 38 | (35.2) | 77 | (36.0) |
| (不明) | 2 | (66.7) | 9 | (90.0) | 27 | (50.9) | 65 | (60.2) | 135 | (63.1) |
| *2 10-主食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (1.3) |
| 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 4 | (10.5) | 18 | (23.4) |
| 2A | 0 | (0.0) | 1 | (100.0) | 0 | (0.0) | 3 | (7.9) | 20 | (26.0) |
| 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (10.5) | 4 | (10.5) | 14 | (18.2) |
| 4 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 16 | (84.2) | 22 | (57.9) | 22 | (28.6) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (5.3) | 5 | (13.2) | 2 | (2.6) |
| *1 10-副食 | | | | | | | | | | |
| 常食 | 1 | (33.3) | 0 | (0.0) | 8 | (15.1) | 1 | (0.9) | 2 | (0.9) |
| 嚥下調整食 | 0 | (0.0) | 1 | (10.0) | 18 | (34.0) | 41 | (38.0) | 77 | (36.0) |
| (不明) | 2 | (66.7) | 9 | (90.0) | 27 | (50.9) | 66 | (61.1) | 135 | (63.1) |
| *3 10-副食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (1.3) |
| 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 4 | (9.8) | 11 | (14.3) |
| 2A | 0 | (0.0) | 1 | (100.0) | 0 | (0.0) | 1 | (2.4) | 20 | (26.0) |
| 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (11.1) | 2 | (4.9) | 4 | (5.2) |
| 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 8 | (44.4) | 14 | (34.1) | 22 | (28.6) |
| 4 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 7 | (38.9) | 13 | (31.7) | 9 | (11.7) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (5.6) | 7 | (17.1) | 10 | (13.0) |
| *1 10-とろみ剤の使用 | 0 | (0.0) | 1 | (10.0) | 16 | (30.2) | 34 | (31.5) | 75 | (35.0) |
| *4 10-とろみ剤段階 | | | | | | | | | | |
| うすい | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 9 | (56.3) | 13 | (38.2) | 13 | (17.3) |
| 中間 | 0 | (0.0) | 1 | (100.0) | 5 | (31.3) | 15 | (44.1) | 38 | (50.7) |
| 濃い | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (6.3) | 4 | (11.8) | 24 | (32.0) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (6.3) | 2 | (5.9) | 0 | (0.0) |

*1:症状10で「まれにある, 時々ある, いつもある」であった人数を分母に割合を算出

*2:主食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3:副食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*4:とろみ剤を使用と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表10-c

| 要介護度別集計(全体・特養・老健) | | 老健 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 要介護1 n=68 | | 要介護2 n=141 | | 要介護3 n=170 | | 要介護4 n=133 | | 要介護5 n=113 | |
| | | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 食事中にあらわれる諸症状(摂食・嚥下障害リスク) | | | | | | | | | | | |
| 10.水分や食べ物を飲み込んだ後にむせたり、せきこんだりする | | | | | | | | | | | |
| | ほとんどない | 64 | (94.1) | 134 | (95.0) | 144 | (84.7) | 94 | (70.7) | 52 | (46.0) |
| | まれにある | 2 | (2.9) | 4 | (2.8) | 11 | (6.5) | 18 | (13.5) | 19 | (16.8) |
| | 時々ある | 2 | (2.9) | 2 | (1.4) | 11 | (6.5) | 15 | (11.3) | 30 | (26.5) |
| | いつもある | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 4 | (2.4) | 6 | (4.5) | 10 | (8.8) |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (1.8) |
| *上記10の諸症状あり* | | *4* | *(5.9)* | *7* | *(5.0)* | *26* | *(15.3)* | *39* | *(29.3)* | *59* | *(52.2)* |
| 上記10の諸症状に対応して実施したケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | | |
| *1 | 10-食物と液体を交互に嚥下 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 6 | (23.1) | 8 | (20.5) | 15 | (25.4) |
| *1 | 10-Supraglottic Swallow | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| *1 | 10-食形態変更 | 1 | (25.0) | 4 | (57.1) | 19 | (73.1) | 27 | (69.2) | 50 | (84.7) |
| *1 | 10-主食 | | | | | | | | | | |
| | 常食 | 1 | (25.0) | 1 | (14.3) | 0 | (0.0) | 3 | (7.7) | 5 | (8.5) |
| | 嚥下調整食 | 1 | (25.0) | 4 | (57.1) | 19 | (73.1) | 24 | (61.5) | 45 | (76.3) |
| | (不明) | 2 | (50.0) | 2 | (28.6) | 7 | (26.9) | 12 | (30.8) | 9 | (15.3) |
| *2 | 10-主食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (2.2) |
| | 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| | 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 4 | (21.1) | 3 | (12.5) | 11 | (24.4) |
| | 2A | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (10.5) | 2 | (8.3) | 8 | (17.8) |
| | 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| | 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (5.3) | 0 | (0.0) | 6 | (13.3) |
| | 4 | 1 | (100.0) | 4 | (100.0) | 12 | (63.2) | 19 | (79.2) | 19 | (42.2) |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| *1 | 10-副食 | | | | | | | | | | |
| | 常食 | 1 | (25.0) | 1 | (14.3) | 1 | (3.8) | 3 | (7.7) | 4 | (6.8) |
| | 嚥下調整食 | 1 | (25.0) | 4 | (57.1) | 18 | (69.2) | 24 | (61.5) | 45 | (76.3) |
| | (不明) | 2 | (50.0) | 2 | (28.6) | 7 | (26.9) | 12 | (30.8) | 10 | (16.9) |
| *3 | 10-副食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| | 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| | 1J | 0 | (0.0) | 1 | (25.0) | 5 | (27.8) | 5 | (20.8) | 7 | (15.6) |
| | 2A | 0 | (0.0) | 1 | (25.0) | 4 | (22.2) | 3 | (12.5) | 15 | (33.3) |
| | 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (4.2) | 3 | (6.7) |
| | 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (5.6) | 5 | (20.8) | 7 | (15.6) |
| | 4 | 1 | (100.0) | 2 | (50.0) | 8 | (44.4) | 10 | (41.7) | 13 | (28.9) |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| *1 | 10-とろみ剤の使用 | 0 | (0.0) | 3 | (42.9) | 11 | (42.3) | 21 | (53.8) | 47 | (79.7) |
| *4 | 10-とろみ剤段階 | | | | | | | | | | |
| | うすい | | (0.0) | | (0.0) | | (0.0) | | (0.0) | | (0.0) |
| | 中間 | | (0.0) | | (0.0) | | (0.0) | | (0.0) | | (0.0) |
| | 濃い | | (0.0) | | (0.0) | | (0.0) | | (0.0) | | (0.0) |
| | (不明) | | (0.0) | | (0.0) | | (0.0) | | (0.0) | | (0.0) |

*1:症状10で「まれにある, 時々ある, いつもある」であった人数を分母に割合を算出

*2:主食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3:副食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*4:とろみ剤を使用と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表11-a

| 要介護度別集計(全体・特養・老健) | | 全体 | | 要介護1 n=104 | | 要介護2 n=235 | | 要介護3 n=389 | | 要介護4 n=452 | | 要介護5 n=466 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 食事中にあらわれる諸症状(摂食・嚥下障害リスク) | | | | | | | | | | | | | |
| 11.水分を飲み込むときにむせる | | | | | | | | | | | | | |
| | ほとんどない | 100 | (96.2) | 219 | (93.2) | 320 | (82.3) | 298 | (65.9) | 180 | (38.6) | | |
| | まれにある | 2 | (1.9) | 9 | (3.8) | 32 | (8.2) | 71 | (15.7) | 87 | (18.7) | | |
| | 時々ある | 2 | (1.9) | 6 | (2.6) | 28 | (7.2) | 49 | (10.8) | 117 | (25.1) | | |
| | いつもある | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 9 | (2.3) | 24 | (5.3) | 53 | (11.4) | | |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 10 | (2.2) | 29 | (6.2) | | |
| 12.ご飯を飲み込むときにむせる | | | | | | | | | | | | | |
| | ほとんどない | 103 | (99.0) | 225 | (95.7) | 341 | (87.7) | 345 | (76.3) | 233 | (50.0) | | |
| | まれにある | 1 | (1.0) | 5 | (2.1) | 24 | (6.2) | 60 | (13.3) | 88 | (18.9) | | |
| | 時々ある | 0 | (0.0) | 4 | (1.7) | 18 | (4.6) | 26 | (5.8) | 85 | (18.2) | | |
| | いつもある | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 5 | (1.3) | 10 | (2.2) | 28 | (6.0) | | |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.3) | 11 | (2.4) | 32 | (6.9) | | |
| *上記11,12の諸症状いずれかあり* | | *4* | *(3.8)* | *19* | *(8.1)* | *72* | *(18.5)* | *155* | *(34.3)* | *270* | *(57.9)* | | |
| 上記11,12の諸症状に対応して実施したケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | | | | |
| *1 | 11.12-頭位、体位の調整 | 0 | (0.0) | 3 | (15.8) | 20 | (27.8) | 41 | (26.5) | 124 | (45.9) | | |
| *1 | 11.12-増粘剤の使用 | 0 | (0.0) | 2 | (10.5) | 20 | (27.8) | 49 | (31.6) | 111 | (41.1) | | |
| *1 | 11.12-食形態変更 | 0 | (0.0) | 5 | (26.3) | 37 | (51.4) | 73 | (47.1) | 141 | (52.2) | | |
| *1 | 11.12-主食 | | | | | | | | | | | | |
| | 常食 | 1 | (25.0) | 1 | (5.3) | 6 | (8.3) | 5 | (3.3) | 8 | (3.0) | | |
| | 嚥下調整食 | 0 | (0.0) | 5 | (26.3) | 33 | (45.8) | 58 | (38.2) | 122 | (45.2) | | |
| | (不明) | 3 | (75.0) | 13 | (68.4) | 33 | (45.8) | 89 | (58.6) | 140 | (51.9) | | |
| *2 | 11.12-主食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.8) | | |
| | 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.8) | | |
| | 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (6.1) | 7 | (12.1) | 29 | (23.8) | | |
| | 2A | 0 | (0.0) | 1 | (20.0) | 2 | (6.1) | 7 | (12.1) | 26 | (21.3) | | |
| | 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (3.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.8) | | |
| | 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (3.0) | 4 | (6.9) | 20 | (16.4) | | |
| | 4 | 0 | (0.0) | 4 | (80.0) | 26 | (78.8) | 36 | (62.1) | 44 | (36.1) | | |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (3.0) | 4 | (6.9) | 0 | (0.0) | | |
| *1 | 11.12-副食 | | | | | | | | | | | | |
| | 常食 | 1 | (25.0) | 1 | (5.3) | 8 | (11.1) | 6 | (3.9) | 7 | (2.6) | | |
| | 嚥下調整食 | 0 | (0.0) | 5 | (26.3) | 31 | (43.1) | 60 | (38.7) | 122 | (45.2) | | |
| | (不明) | 3 | (75.0) | 13 | (68.4) | 33 | (45.8) | 89 | (57.4) | 141 | (52.2) | | |
| *3 | 11.12-副食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | | | |
| | 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | | |
| | 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.8) | | |
| | 1J | 0 | (0.0) | 1 | (20.0) | 3 | (9.7) | 8 | (13.3) | 18 | (14.8) | | |
| | 2A | 0 | (0.0) | 2 | (40.0) | 4 | (12.9) | 6 | (10.0) | 33 | (27.0) | | |
| | 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (6.5) | 2 | (3.3) | 8 | (6.6) | | |
| | 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 8 | (25.8) | 15 | (25.0) | 31 | (25.4) | | |
| | 4 | 0 | (0.0) | 2 | (40.0) | 13 | (41.9) | 21 | (35.0) | 22 | (18.0) | | |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (3.2) | 8 | (13.3) | 9 | (7.4) | | |
| *1 | 11.12-とろみ剤の使用 | 0 | (0.0) | 5 | (26.3) | 26 | (36.1) | 63 | (40.6) | 124 | (45.9) | | |
| *4 | 11.12-とろみ剤段階 | | | | | | | | | | | | |
| | うすい | 0 | (0.0) | 1 | (20.0) | 10 | (38.5) | 19 | (30.2) | 25 | (20.2) | | |
| | 中間 | 0 | (0.0) | 3 | (60.0) | 12 | (46.2) | 31 | (49.2) | 59 | (47.6) | | |
| | 濃い | 0 | (0.0) | 1 | (20.0) | 3 | (11.5) | 9 | (14.3) | 40 | (32.3) | | |
| | (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (3.8) | 4 | (6.3) | 0 | (0.0) | | |

*1:症状11,12いずれかまたは両方で「まれにある, 時々ある, いつもある」であった人数を分母に割合を算出

*2:主食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3:副食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*4:とろみ剤を使用と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表11-b

| 要介護度別集計(全体・特養・老健) | 特養 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=36 | | 要介護2 n=94 | | 要介護3 n=219 | | 要介護4 n=319 | | 要介護5 n=353 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 食事中にあらわれる諸症状(摂食・嚥下障害リスク) | | | | | | | | | | |
| 11.水分を飲み込むときにむせる | | | | | | | | | | |
| ほとんどない | 35 | (97.2) | 87 | (92.6) | 178 | (81.3) | 203 | (63.6) | 130 | (36.8) |
| まれにある | 1 | (2.8) | 4 | (4.3) | 20 | (9.1) | 57 | (17.9) | 71 | (20.1) |
| 時々ある | 0 | (0.0) | 3 | (3.2) | 15 | (6.8) | 37 | (11.6) | 91 | (25.8) |
| いつもある | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 6 | (2.7) | 12 | (3.8) | 34 | (9.6) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 10 | (3.1) | 27 | (7.6) |
| 12.ご飯を飲み込むときにむせる | | | | | | | | | | |
| ほとんどない | 35 | (97.2) | 89 | (94.7) | 186 | (84.9) | 230 | (72.1) | 170 | (48.2) |
| まれにある | 1 | (2.8) | 3 | (3.2) | 15 | (6.8) | 51 | (16.0) | 71 | (20.1) |
| 時々ある | 0 | (0.0) | 2 | (2.1) | 14 | (6.4) | 19 | (6.0) | 60 | (17.0) |
| いつもある | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (1.4) | 8 | (2.5) | 22 | (6.2) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.5) | 11 | (3.4) | 30 | (8.5) |
| *上記11,12の諸症状いずれかあり* | *1* | *(2.8)* | *9* | *(9.6)* | *43* | *(19.6)* | *116* | *(36.4)* | *208* | *(58.9)* |
| 上記11,12の諸症状に対応して実施したケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | |
| *1 11.12-頭位、体位の調整 | 0 | (0.0) | 1 | (11.1) | 9 | (20.9) | 26 | (22.4) | 96 | (46.2) |
| *1 11.12-増粘剤の使用 | 0 | (0.0) | 1 | (11.1) | 10 | (23.3) | 31 | (26.7) | 82 | (39.4) |
| *1 11.12-食形態変更 | 0 | (0.0) | 1 | (11.1) | 18 | (41.9) | 45 | (38.8) | 87 | (41.8) |
| *1 11.12-主食 | | | | | | | | | | |
| 常食 | 1 | (100.0) | 1 | (11.1) | 5 | (11.6) | 4 | (3.4) | 4 | (1.9) |
| 嚥下調整食 | 0 | (0.0) | 1 | (11.1) | 15 | (34.9) | 34 | (29.3) | 73 | (35.1) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 7 | (77.8) | 23 | (53.5) | 78 | (67.2) | 131 | (63.0) |
| *2 11.12-主食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (1.4) |
| 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (8.8) | 19 | (26.0) |
| 2A | 0 | (0.0) | 1 | (100.0) | 0 | (0.0) | 5 | (14.7) | 18 | (24.7) |
| 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (6.7) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 4 | (11.8) | 15 | (20.5) |
| 4 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 13 | (86.7) | 18 | (52.9) | 20 | (27.4) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (6.7) | 4 | (11.8) | 0 | (0.0) |
| *1 11.12-副食 | | | | | | | | | | |
| 常食 | 1 | (100.0) | 1 | (11.1) | 6 | (14.0) | 1 | (0.9) | 3 | (1.4) |
| 嚥下調整食 | 0 | (0.0) | 1 | (11.1) | 14 | (32.6) | 37 | (31.9) | 73 | (35.1) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 7 | (77.8) | 23 | (53.5) | 78 | (67.2) | 132 | (63.5) |
| *3 11.12-副食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (1.4) |
| 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 4 | (10.8) | 12 | (16.4) |
| 2A | 0 | (0.0) | 1 | (100.0) | 0 | (0.0) | 1 | (2.7) | 18 | (24.7) |
| 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (14.3) | 2 | (5.4) | 3 | (4.1) |
| 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 6 | (42.9) | 11 | (29.7) | 21 | (28.8) |
| 4 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 5 | (35.7) | 11 | (29.7) | 9 | (12.3) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (7.1) | 8 | (21.6) | 9 | (12.3) |
| *1 11.12-とろみ剤の使用 | 0 | (0.0) | 2 | (22.2) | 15 | (34.9) | 39 | (33.6) | 77 | (37.0) |
| *4 11.12-とろみ剤段階 | | | | | | | | | | |
| うすい | 0 | (0.0) | 1 | (50.0) | 8 | (53.3) | 14 | (35.9) | 15 | (19.5) |
| 中間 | 0 | (0.0) | 1 | (50.0) | 4 | (26.7) | 18 | (46.2) | 38 | (49.4) |
| 濃い | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (13.3) | 4 | (10.3) | 24 | (31.2) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (6.7) | 3 | (7.7) | 0 | (0.0) |

*1:症状11,12いずれかまたは両方で「まれにある, 時々ある, いつもある」であった人数を分母に割合を算出

*2:主食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3:副食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*4:とろみ剤を使用と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表11-c

| 要介護度別集計(全体・特養・老健) | 老健 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=68 | | 要介護2 n=141 | | 要介護3 n=170 | | 要介護4 n=133 | | 要介護5 n=113 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 食事中にあらわれる諸症状(摂食・嚥下障害リスク) | | | | | | | | | | |
| 11.水分を飲み込むときにむせる | | | | | | | | | | |
| ほとんどない | 65 | (95.6) | 132 | (93.6) | 142 | (83.5) | 95 | (71.4) | 50 | (44.2) |
| まれにある | 1 | (1.5) | 5 | (3.5) | 12 | (7.1) | 14 | (10.5) | 16 | (14.2) |
| 時々ある | 2 | (2.9) | 3 | (2.1) | 13 | (7.6) | 12 | (9.0) | 26 | (23.0) |
| いつもある | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 3 | (1.8) | 12 | (9.0) | 19 | (16.8) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (1.8) |
| 12.ご飯を飲み込むときにむせる | | | | | | | | | | |
| ほとんどない | 68 | (100.0) | 136 | (96.5) | 155 | (91.2) | 115 | (86.5) | 63 | (55.8) |
| まれにある | 0 | (0.0) | 2 | (1.4) | 9 | (5.3) | 9 | (6.8) | 17 | (15.0) |
| 時々ある | 0 | (0.0) | 2 | (1.4) | 4 | (2.4) | 7 | (5.3) | 25 | (22.1) |
| いつもある | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 2 | (1.2) | 2 | (1.5) | 6 | (5.3) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (1.8) |
| *上記11,12の諸症状いずれかあり* | *3* | *(4.4)* | *10* | *(7.1)* | *29* | *(17.1)* | *39* | *(29.3)* | *62* | *(54.9)* |
| 上記11,12の諸症状に対応して実施したケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | |
| *1 11.12-頭位、体位の調整 | 0 | (0.0) | 2 | (20.0) | 11 | (37.9) | 15 | (38.5) | 28 | (45.2) |
| *1 11.12-増粘剤の使用 | 0 | (0.0) | 1 | (10.0) | 10 | (34.5) | 18 | (46.2) | 29 | (46.8) |
| *1 11.12-食形態変更 | 0 | (0.0) | 4 | (40.0) | 19 | (65.5) | 28 | (71.8) | 54 | (87.1) |
| *1 11.12-主食 | | | | | | | | | | |
| 常食 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (3.4) | 4 | (10.3) | 4 | (6.5) |
| 嚥下調整食 | 0 | (0.0) | 4 | (40.0) | 18 | (62.1) | 24 | (61.5) | 49 | (79.0) |
| (不明) | 3 | (100.0) | 6 | (60.0) | 10 | (34.5) | 11 | (28.2) | 9 | (14.5) |
| *2 11.12-主食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (2.0) |
| 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (11.1) | 4 | (16.7) | 10 | (20.4) |
| 2A | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (11.1) | 2 | (8.3) | 8 | (16.3) |
| 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (2.0) |
| 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (5.6) | 0 | (0.0) | 5 | (10.2) |
| 4 | 0 | (0.0) | 4 | (100.0) | 13 | (72.2) | 18 | (75.0) | 24 | (49.0) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| *1 11.12-副食 | | | | | | | | | | |
| 常食 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (6.9) | 5 | (12.8) | 4 | (6.5) |
| 嚥下調整食 | 0 | (0.0) | 4 | (40.0) | 17 | (58.6) | 23 | (59.0) | 49 | (79.0) |
| (不明) | 3 | (100.0) | 6 | (60.0) | 10 | (34.5) | 11 | (28.2) | 9 | (14.5) |
| *3 11.12-副食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 1J | 0 | (0.0) | 1 | (25.0) | 3 | (17.6) | 4 | (17.4) | 6 | (12.2) |
| 2A | 0 | (0.0) | 1 | (25.0) | 4 | (23.5) | 5 | (21.7) | 15 | (30.6) |
| 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 5 | (10.2) |
| 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (11.8) | 4 | (17.4) | 10 | (20.4) |
| 4 | 0 | (0.0) | 2 | (50.0) | 8 | (47.1) | 10 | (43.5) | 13 | (26.5) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| *1 11.12-とろみ剤の使用 | 0 | (0.0) | 3 | (30.0) | 11 | (37.9) | 24 | (61.5) | 47 | (75.8) |
| *4 11.12-とろみ剤段階 | | | | | | | | | | |
| うすい | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (18.2) | 5 | (20.8) | 10 | (21.3) |
| 中間 | 0 | (0.0) | 2 | (66.7) | 8 | (72.7) | 13 | (54.2) | 21 | (44.7) |
| 濃い | 0 | (0.0) | 1 | (33.3) | 1 | (9.1) | 5 | (20.8) | 16 | (34.0) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (4.2) | 0 | (0.0) |

*1:症状11,12いずれかまたは両方で「まれにある, 時々ある, いつもある」であった人数を分母に割合を算出

*2:主食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3:副食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*4:とろみ剤を使用と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表12-a

| 要介護度別集計(全体・特養・老健) | 全体 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=104 | | 要介護2 n=235 | | 要介護3 n=389 | | 要介護4 n=452 | | 要介護5 n=466 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 食事中にあらわれる諸症状(摂食・嚥下障害リスク) | | | | | | | | | | |
| 13.口に水をふくむことができない | | | | | | | | | | |
| ほとんどない | 102 | (98.1) | 233 | (99.1) | 377 | (96.9) | 385 | (85.2) | 275 | (59.0) |
| まれにある | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 7 | (1.8) | 15 | (3.3) | 22 | (4.7) |
| 時々ある | 1 | (1.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.3) | 8 | (1.8) | 21 | (4.5) |
| いつもある | 1 | (1.0) | 2 | (0.9) | 4 | (1.0) | 37 | (8.2) | 125 | (26.8) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 7 | (1.5) | 23 | (4.9) |
| 14.口に水をふくむことはできるが口からこぼれる | | | | | | | | | | |
| ほとんどない | 102 | (98.1) | 231 | (98.3) | 359 | (92.3) | 348 | (77.0) | 219 | (47.0) |
| まれにある | 1 | (1.0) | 0 | (0.0) | 16 | (4.1) | 39 | (8.6) | 43 | (9.2) |
| 時々ある | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 4 | (1.0) | 16 | (3.5) | 46 | (9.9) |
| いつもある | 1 | (1.0) | 3 | (1.3) | 10 | (2.6) | 41 | (9.1) | 127 | (27.3) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 8 | (1.8) | 31 | (6.7) |
| 15.口に水をふくむことはできるが口内にためておけない | | | | | | | | | | |
| ほとんどない | 102 | (98.1) | 231 | (98.3) | 363 | (93.3) | 351 | (77.7) | 241 | (51.7) |
| まれにある | 1 | (1.0) | 0 | (0.0) | 9 | (2.3) | 28 | (6.2) | 27 | (5.8) |
| 時々ある | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 8 | (2.1) | 18 | (4.0) | 25 | (5.4) |
| いつもある | 1 | (1.0) | 3 | (1.3) | 9 | (2.3) | 47 | (10.4) | 142 | (30.5) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 8 | (1.8) | 31 | (6.7) |
| *上記13,14,15の諸症状いずれかあり* | *2* | *(1.9)* | *5* | *(2.1)* | *40* | *(10.3)* | *116* | *(25.7)* | *257* | *(55.2)* |
| 上記13,14,15の諸症状に対応して実施したケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | |
| *1 13.14.15-体位の調整 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 8 | (20.0) | 32 | (27.6) | 113 | (44.0) |
| *1 13.14.15-増粘剤の使用 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 11 | (27.5) | 39 | (33.6) | 115 | (44.7) |
| *1 13.14.15-食形態変更 | 0 | (0.0) | 3 | (60.0) | 15 | (37.5) | 43 | (37.1) | 126 | (49.0) |
| *1 13.14.15-主食 | | | | | | | | | | |
| 常食 | 1 | (50.0) | 1 | (20.0) | 3 | (7.5) | 9 | (7.8) | 6 | (2.3) |
| 嚥下調整食 | 0 | (0.0) | 2 | (40.0) | 14 | (35.0) | 36 | (31.0) | 110 | (42.8) |
| (不明) | 1 | (50.0) | 2 | (40.0) | 23 | (57.5) | 71 | (61.2) | 141 | (54.9) |
| *2 13.14.15-主食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (1.8) |
| 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.9) |
| 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (14.3) | 5 | (13.9) | 20 | (18.2) |
| 2A | 0 | (0.0) | 1 | (50.0) | 0 | (0.0) | 5 | (13.9) | 29 | (26.4) |
| 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (7.1) | 0 | (0.0) | 1 | (0.9) |
| 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (7.1) | 2 | (5.6) | 16 | (14.5) |
| 4 | 0 | (0.0) | 1 | (50.0) | 10 | (71.4) | 20 | (55.6) | 37 | (33.6) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 4 | (11.1) | 4 | (3.6) |
| *1 13.14.15-副食 | | | | | | | | | | |
| 常食 | 1 | (50.0) | 1 | (20.0) | 4 | (10.0) | 5 | (4.3) | 4 | (1.6) |
| 嚥下調整食 | 0 | (0.0) | 2 | (40.0) | 13 | (32.5) | 40 | (34.5) | 113 | (44.0) |
| (不明) | 1 | (50.0) | 2 | (40.0) | 23 | (57.5) | 71 | (61.2) | 140 | (54.5) |
| *3 13.14.15-副食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.9) |
| 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.9) |
| 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (15.4) | 8 | (20.0) | 11 | (9.7) |
| 2A | 0 | (0.0) | 2 | (100.0) | 2 | (15.4) | 3 | (7.5) | 32 | (28.3) |
| 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (7.7) | 1 | (2.5) | 10 | (8.8) |
| 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (23.1) | 7 | (17.5) | 22 | (19.5) |
| 4 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 5 | (38.5) | 15 | (37.5) | 26 | (23.0) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 6 | (15.0) | 10 | (8.8) |
| *1 13.14.15-とろみ剤の使用 | 0 | (0.0) | 2 | (40.0) | 14 | (35.0) | 49 | (42.2) | 122 | (47.5) |
| *4 13.14.15-とろみ剤段階 | | | | | | | | | | |
| うすい | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (21.4) | 17 | (34.7) | 26 | (21.3) |
| 中間 | 0 | (0.0) | 1 | (50.0) | 9 | (64.3) | 25 | (51.0) | 55 | (45.1) |
| 濃い | 0 | (0.0) | 1 | (50.0) | 2 | (14.3) | 6 | (12.2) | 39 | (32.0) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (2.0) | 2 | (1.6) |

*1:症状13,14,15いずれかまたは両方で「まれにある, 時々ある, いつもある」であった人数を分母に割合を算出

*2:主食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3:副食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*4:とろみ剤を使用と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表12-b

| 要介護度別集計(全体・特養・老健) | 特養 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=36 | | 要介護2 n=94 | | 要介護3 n=219 | | 要介護4 n=319 | | 要介護5 n=353 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 食事中にあらわれる諸症状(摂食・嚥下障害リスク) | | | | | | | | | | |
| 13.口に水をふくむことができない | | | | | | | | | | |
| ほとんどない | 35 | (97.2) | 93 | (98.9) | 210 | (95.9) | 271 | (85.0) | 203 | (57.5) |
| まれにある | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 6 | (2.7) | 13 | (4.1) | 16 | (4.5) |
| 時々ある | 1 | (2.8) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 6 | (1.9) | 18 | (5.1) |
| いつもある | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 3 | (1.4) | 22 | (6.9) | 95 | (26.9) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 7 | (2.2) | 21 | (5.9) |
| 14.口に水をふくむことはできるが口からこぼれる | | | | | | | | | | |
| ほとんどない | 35 | (97.2) | 91 | (96.8) | 199 | (90.9) | 243 | (76.2) | 160 | (45.3) |
| まれにある | 1 | (2.8) | 0 | (0.0) | 10 | (4.6) | 30 | (9.4) | 37 | (10.5) |
| 時々ある | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 2 | (0.9) | 13 | (4.1) | 33 | (9.3) |
| いつもある | 0 | (0.0) | 2 | (2.1) | 8 | (3.7) | 25 | (7.8) | 95 | (26.9) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 8 | (2.5) | 28 | (7.9) |
| 15.口に水をふくむことはできるが口内にためておけない | | | | | | | | | | |
| ほとんどない | 35 | (97.2) | 91 | (96.8) | 204 | (93.2) | 247 | (77.4) | 181 | (51.3) |
| まれにある | 1 | (2.8) | 0 | (0.0) | 6 | (2.7) | 24 | (7.5) | 23 | (6.5) |
| 時々ある | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 2 | (0.9) | 11 | (3.4) | 19 | (5.4) |
| いつもある | 0 | (0.0) | 2 | (2.1) | 7 | (3.2) | 29 | (9.1) | 102 | (28.9) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 8 | (2.5) | 28 | (7.9) |
| *上記13,14,15の諸症状いずれかあり* | *1* | *(2.8)* | *4* | *(4.3)* | *25* | *(11.4)* | *80* | *(25.1)* | *197* | *(55.8)* |
| 上記13,14,15の諸症状に対応して実施したケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | |
| *1 13.14.15-体位の調整 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (8.0) | 19 | (23.8) | 78 | (39.6) |
| *1 13.14.15-増粘剤の使用 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (12.0) | 28 | (35.0) | 87 | (44.2) |
| *1 13.14.15-食形態変更 | 0 | (0.0) | 2 | (50.0) | 6 | (24.0) | 22 | (27.5) | 84 | (42.6) |
| *1 13.14.15-主食 | | | | | | | | | | |
| 常食 | 1 | (100.0) | 1 | (25.0) | 2 | (8.0) | 5 | (6.3) | 4 | (4.7) |
| 嚥下調整食 | 0 | (0.0) | 1 | (25.0) | 5 | (20.0) | 19 | (23.8) | 70 | (81.4) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 2 | (50.0) | 18 | (72.0) | 56 | (70.0) | 12 | (14.0) |
| *2 13.14.15-主食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (1.4) |
| 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (1.4) |
| 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 4 | (21.1) | 14 | (20.0) |
| 2A | 0 | (0.0) | 1 | (100.0) | 0 | (0.0) | 4 | (21.1) | 21 | (30.0) |
| 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (20.0) | 0 | (0.0) | 1 | (1.4) |
| 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (10.5) | 14 | (20.0) |
| 4 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 4 | (80.0) | 5 | (26.3) | 14 | (20.0) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 4 | (21.1) | 4 | (5.7) |
| *1 13.14.15-副食 | | | | | | | | | | |
| 常食 | 1 | (100.0) | 1 | (25.0) | 2 | (8.0) | 3 | (3.8) | 2 | (1.0) |
| 嚥下調整食 | 0 | (0.0) | 1 | (25.0) | 5 | (20.0) | 21 | (26.3) | 73 | (37.1) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 2 | (50.0) | 18 | (72.0) | 56 | (70.0) | 122 | (61.9) |
| *3 13.14.15-副食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (1.4) |
| 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (1.4) |
| 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 5 | (23.8) | 6 | (8.2) |
| 2A | 0 | (0.0) | 1 | (100.0) | 0 | (0.0) | 1 | (4.8) | 21 | (28.8) |
| 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (20.0) | 1 | (4.8) | 7 | (9.6) |
| 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (40.0) | 2 | (9.5) | 16 | (21.9) |
| 4 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (40.0) | 6 | (28.6) | 11 | (15.1) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 6 | (28.6) | 10 | (13.7) |
| *1 13.14.15-とろみ剤の使用 | 0 | (0.0) | 1 | (25.0) | 6 | (24.0) | 34 | (42.5) | 80 | (40.6) |
| *4 13.14.15-とろみ剤段階 | | | | | | | | | | |
| うすい | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (33.3) | 15 | (44.1) | 17 | (21.3) |
| 中間 | 0 | (0.0) | 1 | (100.0) | 3 | (50.0) | 15 | (44.1) | 35 | (43.8) |
| 濃い | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (16.7) | 3 | (8.8) | 3 | (3.8) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (2.9) | 1 | (1.3) |

*1:症状13,14,15いずれかまたは両方で「まれにある, 時々ある, いつもある」であった人数を分母に割合を算出

*2:主食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3:副食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*4:とろみ剤を使用と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表12-c

| 要介護度別集計(全体・特養・老健) | 老健 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=68 | | 要介護2 n=141 | | 要介護3 n=170 | | 要介護4 n=133 | | 要介護5 n=113 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 食事中にあらわれる諸症状(摂食・嚥下障害リスク) | | | | | | | | | | |
| 13.口に水をふくむことができない | | | | | | | | | | |
| ほとんどない | 67 | (98.5) | 140 | (99.3) | 167 | (98.2) | 114 | (85.7) | 72 | (63.7) |
| まれにある | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.6) | 2 | (1.5) | 6 | (5.3) |
| 時々ある | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.6) | 2 | (1.5) | 3 | (2.7) |
| いつもある | 1 | (1.5) | 1 | (0.7) | 1 | (0.6) | 15 | (11.3) | 30 | (26.5) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (1.8) |
| 14.口に水をふくむことはできるが口からこぼれる | | | | | | | | | | |
| ほとんどない | 67 | (98.5) | 140 | (99.3) | 160 | (94.1) | 105 | (78.9) | 59 | (52.2) |
| まれにある | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 6 | (3.5) | 9 | (6.8) | 6 | (5.3) |
| 時々ある | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (1.2) | 3 | (2.3) | 13 | (11.5) |
| いつもある | 1 | (1.5) | 1 | (0.7) | 2 | (1.2) | 16 | (12.0) | 32 | (28.3) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (2.7) |
| 15.口に水をふくむことはできるが口内にためておけない | | | | | | | | | | |
| ほとんどない | 67 | (98.5) | 140 | (99.3) | 159 | (93.5) | 104 | (78.2) | 60 | (53.1) |
| まれにある | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (1.8) | 4 | (3.0) | 4 | (3.5) |
| 時々ある | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 6 | (3.5) | 7 | (5.3) | 6 | (5.3) |
| いつもある | 1 | (1.5) | 1 | (0.7) | 2 | (1.2) | 18 | (13.5) | 40 | (35.4) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (2.7) |
| *上記13,14,15の諸症状いずれかあり* | *1* | *(1.5)* | *1* | *(0.7)* | *15* | *(8.8)* | *36* | *(27.1)* | *60* | *(53.1)* |
| 上記13,14,15の諸症状に対応して実施したケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | |
| *1 13.14.15-体位の調整 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 6 | (40.0) | 13 | (36.1) | 35 | (58.3) |
| *1 13.14.15-増粘剤の使用 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 8 | (53.3) | 11 | (30.6) | 28 | (46.7) |
| *1 13.14.15-食形態変更 | 0 | (0.0) | 1 | (100.0) | 9 | (60.0) | 21 | (58.3) | 42 | (70.0) |
| *1 13.14.15-主食 | | | | | | | | | | |
| 常食 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (6.7) | 4 | (11.1) | 2 | (3.3) |
| 嚥下調整食 | 0 | (0.0) | 1 | (100.0) | 9 | (60.0) | 17 | (47.2) | 40 | (66.7) |
| (不明) | 1 | (100.0) | 0 | (0.0) | 5 | (33.3) | 15 | (41.7) | 18 | (30.0) |
| *2 13.14.15-主食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (2.5) |
| 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (22.2) | 1 | (5.9) | 6 | (15.0) |
| 2A | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (5.9) | 8 | (20.0) |
| 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (11.1) | 0 | (0.0) | 2 | (5.0) |
| 4 | 0 | (0.0) | 1 | (100.0) | 6 | (66.7) | 15 | (88.2) | 23 | (57.5) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| *1 13.14.15-副食 | | | | | | | | | | |
| 常食 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (13.3) | 2 | (5.6) | 2 | (3.3) |
| 嚥下調整食 | 0 | (0.0) | 1 | (100.0) | 8 | (53.3) | 19 | (52.8) | 40 | (66.7) |
| (不明) | 1 | (100.0) | 0 | (0.0) | 5 | (33.3) | 15 | (41.7) | 18 | (30.0) |
| *3 13.14.15-副食-嚥下調整食 | | | | | | | | | | |
| 0J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 0T | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 1J | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (25.0) | 3 | (15.8) | 5 | (12.5) |
| 2A | 0 | (0.0) | 1 | (100.0) | 2 | (25.0) | 2 | (10.5) | 11 | (27.5) |
| 2B | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (7.5) |
| 3 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (12.5) | 5 | (26.3) | 6 | (15.0) |
| 4 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (37.5) | 9 | (47.4) | 15 | (37.5) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| *1 13.14.15-とろみ剤の使用 | 0 | (0.0) | 1 | (100.0) | 8 | (53.3) | 15 | (41.7) | 42 | (70.0) |
| *4 13.14.15-とろみ剤段階 | | | | | | | | | | |
| うすい | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (12.5) | 2 | (13.3) | 9 | (21.4) |
| 中間 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 6 | (75.0) | 10 | (66.7) | 20 | (47.6) |
| 濃い | 0 | (0.0) | 1 | (100.0) | 1 | (12.5) | 3 | (20.0) | 13 | (31.0) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |

*1:症状13,14,15いずれかまたは両方で「まれにある, 時々ある, いつもある」であった人数を分母に割合を算出

*2:主食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3:副食-嚥下調整食と回答したものの人数を分母に割合を算出

*4:とろみ剤を使用と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表13-a

| 要介護度別集計(全体・特養・老健) | 全体 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=104 | | 要介護2 n=235 | | 要介護3 n=389 | | 要介護4 n=452 | | 要介護5 n=466 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 担当職種-摂食・嚥下リスクとケア計画 | | | | | | | | | | |
| 管理栄養士 | 84 | (80.8) | 175 | (74.5) | 309 | (79.4) | 355 | (78.5) | 365 | (78.3) |
| 栄養士 | 14 | (13.5) | 25 | (10.7) | 41 | (10.6) | 58 | (12.8) | 39 | (8.4) |
| 医師 | 27 | (26.0) | 56 | (23.9) | 66 | (17.0) | 75 | (16.6) | 57 | (12.2) |
| 歯科医師 | 19 | (18.3) | 32 | (13.7) | 44 | (11.3) | 56 | (12.4) | 55 | (11.8) |
| 看護師 | 32 | (30.8) | 59 | (25.2) | 108 | (27.8) | 132 | (29.2) | 135 | (29.0) |
| 准看護師 | 27 | (26.0) | 58 | (24.8) | 84 | (21.6) | 110 | (24.3) | 116 | (24.9) |
| 介護福祉士 | 55 | (52.9) | 136 | (57.9) | 236 | (60.7) | 276 | (61.1) | 276 | (59.2) |
| 介護士 | 36 | (34.6) | 73 | (31.2) | 124 | (32.0) | 164 | (36.3) | 172 | (36.9) |
| 作業療法士 | 22 | (21.2) | 33 | (14.1) | 43 | (11.1) | 41 | (9.1) | 45 | (9.7) |
| 理学療法士 | 17 | (16.3) | 19 | (8.1) | 24 | (6.2) | 22 | (4.9) | 19 | (4.1) |
| 言語聴覚士 | 16 | (15.4) | 32 | (13.7) | 42 | (10.8) | 35 | (7.7) | 38 | (8.2) |
| 歯科衛生士 | 27 | (26.0) | 52 | (22.2) | 68 | (17.5) | 101 | (22.3) | 108 | (23.2) |

別表13-b

| 要介護度別集計（全体・特養・老健） | 特養 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=36 | | 要介護2 n=94 | | 要介護3 n=219 | | 要介護4 n=319 | | 要介護5 n=353 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 担当職種-摂食・嚥下リスクとケア計画 | | | | | | | | | | |
| 管理栄養士 | 26 | (72.2) | 71 | (75.5) | 178 | (81.3) | 249 | (78.1) | 273 | (77.3) |
| 栄養士 | 6 | (16.7) | 19 | (20.2) | 28 | (12.8) | 44 | (13.8) | 28 | (7.9) |
| 医師 | 2 | (5.6) | 13 | (13.8) | 27 | (12.4) | 30 | (9.4) | 20 | (5.7) |
| 歯科医師 | 2 | (5.6) | 14 | (14.9) | 24 | (11.0) | 34 | (10.7) | 37 | (10.5) |
| 看護師 | 6 | (16.7) | 25 | (26.6) | 61 | (28.0) | 83 | (26.0) | 86 | (24.4) |
| 准看護師 | 6 | (16.7) | 23 | (24.5) | 40 | (18.3) | 58 | (18.2) | 71 | (20.1) |
| 介護福祉士 | 19 | (52.8) | 61 | (64.9) | 139 | (63.5) | 190 | (59.6) | 210 | (59.5) |
| 介護士 | 13 | (36.1) | 38 | (40.4) | 80 | (36.7) | 111 | (34.8) | 127 | (36.0) |
| 作業療法士 | 0 | (0.0) | 2 | (2.1) | 11 | (5.0) | 10 | (3.1) | 17 | (4.8) |
| 理学療法士 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 言語聴覚士 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.3) |
| 歯科衛生士 | 5 | (13.9) | 23 | (24.5) | 34 | (15.6) | 63 | (19.7) | 77 | (21.8) |

別表13-c

| 要介護度別集計（全体・特養・老健） | 老健 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=68 | | 要介護2 n=141 | | 要介護3 n=170 | | 要介護4 n=133 | | 要介護5 n=113 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 担当職種-摂食・嚥下リスクとケア計画 | | | | | | | | | | |
| 管理栄養士 | 58 | (85.3) | 104 | (74.3) | 131 | (77.1) | 106 | (79.7) | 92 | (81.4) |
| 栄養士 | 8 | (11.8) | 6 | (4.3) | 13 | (7.6) | 14 | (10.5) | 11 | (9.7) |
| 医師 | 25 | (36.8) | 43 | (30.7) | 39 | (22.9) | 45 | (33.8) | 37 | (32.7) |
| 歯科医師 | 17 | (25.0) | 18 | (12.9) | 20 | (11.8) | 22 | (16.5) | 18 | (15.9) |
| 看護師 | 26 | (38.2) | 34 | (24.3) | 47 | (27.6) | 49 | (36.8) | 49 | (43.4) |
| 准看護師 | 21 | (30.9) | 35 | (25.0) | 44 | (25.9) | 52 | (39.1) | 45 | (39.8) |
| 介護福祉士 | 36 | (52.9) | 75 | (53.2) | 97 | (57.1) | 86 | (64.7) | 66 | (58.4) |
| 介護士 | 23 | (33.8) | 35 | (25.0) | 44 | (25.9) | 53 | (39.8) | 45 | (39.8) |
| 作業療法士 | 22 | (32.4) | 31 | (22.1) | 32 | (18.8) | 31 | (23.3) | 28 | (24.8) |
| 理学療法士 | 17 | (25.0) | 19 | (13.6) | 24 | (14.1) | 22 | (16.5) | 19 | (16.8) |
| 言語聴覚士 | 16 | (23.5) | 32 | (22.9) | 42 | (24.7) | 35 | (26.3) | 37 | (32.7) |
| 歯科衛生士 | 22 | (32.4) | 29 | (20.7) | 34 | (20.0) | 38 | (28.6) | 31 | (27.4) |

別表14-a

| 要介護度別集計（全体・特養・老健） | 全体 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=104 | | 要介護2 n=235 | | 要介護3 n=389 | | 要介護4 n=452 | | 要介護5 n=466 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 口腔のアセスメントとケア計画 | | | | | | | | | | |
| 1.口腔乾燥がある | 15 | (14.4) | 44 | (18.7) | 66 | (17.0) | 105 | (23.2) | 126 | (27.0) |
| 上記1.の問題内容（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 2種類以上の薬を服用 | 14 | (13.5) | 32 | (13.6) | 49 | (12.6) | 85 | (18.8) | 81 | (17.4) |
| 口呼吸をしている | 0 | (0.0) | 2 | (0.9) | 5 | (1.3) | 12 | (2.7) | 30 | (6.4) |
| 口が開いている時間が長い | 0 | (0.0) | 2 | (0.9) | 7 | (1.8) | 9 | (2.0) | 48 | (10.3) |
| *1 上記1.の問題に対するケア（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 専門的口腔ケア | 9 | (60.0) | 14 | (31.8) | 23 | (34.8) | 25 | (23.8) | 28 | (22.2) |
| 歯科医師・歯科衛生士 | 10 | (66.7) | 24 | (54.5) | 36 | (54.5) | 67 | (63.8) | 84 | (66.7) |
| 口腔ケア | 1 | (6.7) | 4 | (9.1) | 6 | (9.1) | 8 | (7.6) | 21 | (16.7) |
| 保湿 | 7 | (6.7) | 25 | (10.6) | 92 | (23.7) | 187 | (41.4) | 360 | (77.3) |
| 2.開口に問題がある | 1 | (1.0) | 0 | (0.0) | 8 | (2.1) | 47 | (10.4) | 140 | (30.0) |
| 上記2.の問題内容（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 口をあけることができない、 | 1 | (1.0) | 0 | (0.0) | 5 | (1.3) | 22 | (4.9) | 48 | (10.3) |
| 口が開きにくい | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (0.5) | 14 | (3.1) | 76 | (16.3) |
| 口から食べていない | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 8 | (1.8) | 22 | (4.7) |
| 3.うがいに問題がある | 7 | (6.7) | 25 | (10.6) | 90 | (23.1) | 179 | (39.6) | 356 | (76.4) |
| 上記3.の問題内容（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 日常的にうがいはしていない | 2 | (1.9) | 4 | (1.7) | 17 | (4.4) | 64 | (14.2) | 257 | (55.2) |
| がらがらうがいができない | 5 | (4.8) | 19 | (8.1) | 61 | (15.7) | 103 | (22.8) | 88 | (18.9) |
| ぶくぶくうがいができない | 1 | (1.0) | 2 | (0.9) | 8 | (2.1) | 29 | (6.4) | 54 | (11.6) |
| がらがらうがい時に むせることがある | 0 | (0.0) | 2 | (0.9) | 7 | (1.8) | 13 | (2.9) | 10 | (2.1) |
| ぶくぶくうがい時に むせることがある | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 6 | (1.5) | 19 | (4.2) | 17 | (3.6) |
| *2 上記2,3.の問題に対するケア（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 専門的口腔ケア | 1 | (14.3) | 2 | (8.0) | 14 | (15.2) | 30 | (16.0) | 63 | (17.5) |
| 歯科医師・歯科衛生士 | 1 | (14.3) | 3 | (12.0) | 22 | (23.9) | 39 | (20.9) | 76 | (21.1) |
| 口腔ケア | 2 | (28.6) | 7 | (28.0) | 51 | (55.4) | 100 | (53.5) | 190 | (52.8) |
| 4.咀嚼力に問題がある | 5 | (4.8) | 8 | (3.4) | 30 | (7.7) | 63 | (13.9) | 153 | (32.8) |
| 上記4.の問題内容（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 頬に触れることを拒否する | 2 | (1.9) | 2 | (0.9) | 11 | (2.8) | 15 | (3.3) | 25 | (5.4) |
| 咀嚼時に 右の咬筋が硬くならない | 3 | (2.9) | 6 | (2.6) | 13 | (3.3) | 40 | (8.8) | 85 | (18.2) |
| 咀嚼時に 左の咬筋が硬くならない | 3 | (2.9) | 6 | (2.6) | 11 | (2.8) | 39 | (8.6) | 90 | (19.3) |
| *3 上記4.の問題に対するケア（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 専門的口腔ケア | 1 | (20.0) | 3 | (37.5) | 10 | (33.3) | 15 | (23.8) | 33 | (21.6) |
| 咀嚼機能訓練 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (6.7) | 3 | (4.8) | 7 | (4.6) |
| 歯科受診 | 2 | (40.0) | 1 | (12.5) | 7 | (23.3) | 13 | (20.6) | 23 | (15.0) |
| 5.口臭の問題がある | 20 | (19.2) | 48 | (20.4) | 108 | (27.8) | 135 | (29.9) | 198 | (42.5) |
| 上記5.の問題内容（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 強い口臭がある | 6 | (5.8) | 15 | (6.4) | 33 | (8.5) | 24 | (5.3) | 37 | (7.9) |
| 口を開けることができない、 | 2 | (1.9) | 0 | (0.0) | 5 | (1.3) | 18 | (4.0) | 55 | (11.8) |
| 口の中に汚れや 食べかすがある | 11 | (10.6) | 30 | (12.8) | 75 | (19.3) | 84 | (18.6) | 125 | (26.8) |
| グラグラする歯や 大きな虫歯がある | 3 | (2.9) | 13 | (5.5) | 17 | (4.4) | 27 | (6.0) | 37 | (7.9) |
| 義歯がはずれやすい | 4 | (3.8) | 8 | (3.4) | 20 | (5.1) | 16 | (3.5) | 17 | (3.6) |
| 義歯を取り外していない | 1 | (1.0) | 3 | (1.3) | 5 | (1.3) | 3 | (0.7) | 1 | (0.2) |
| 歯肉が赤く腫れている | 4 | (3.8) | 7 | (3.0) | 10 | (2.6) | 19 | (4.2) | 31 | (6.7) |
| 口内炎がある | 0 | (0.0) | 2 | (0.9) | 1 | (0.3) | 4 | (0.9) | 13 | (2.8) |
| *4 上記5.の問題に対するケア（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 専門的口腔ケア | 5 | (25.0) | 17 | (35.4) | 23 | (21.3) | 43 | (31.9) | 61 | (30.8) |
| 歯科医師・歯科衛生士 | 9 | (45.0) | 19 | (39.6) | 43 | (39.8) | 54 | (40.0) | 76 | (38.4) |
| 口腔ケア | 13 | (65.0) | 35 | (72.9) | 74 | (68.5) | 107 | (79.3) | 150 | (75.8) |
| 歯科受診 | 5 | (25.0) | 15 | (31.3) | 21 | (19.4) | 30 | (22.2) | 33 | (16.7) |

*1問題1に「有り」と回答したものの人数を分母に割合を算出

*2問題2,3いずれかまたは両方に「有り」と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3問題4に「有り」と回答したものの人数を分母に割合を算出

*4問題5に「有り」と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表14-b

| 要介護度別集計（全体・特養・老健） | 特養 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=36 | | 要介護2 n=94 | | 要介護3 n=219 | | 要介護4 n=319 | | 要介護5 n=353 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 口腔のアセスメントとケア計画 | | | | | | | | | | |
| 1.口腔乾燥がある | 4 | (11.1) | 20 | (21.3) | 33 | (15.1) | 64 | (20.1) | 92 | (26.1) |
| 上記1.の問題内容（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 2種類以上の薬を服用 | 3 | (8.3) | 10 | (10.6) | 18 | (8.2) | 45 | (14.1) | 49 | (13.9) |
| 口呼吸をしている | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 4 | (1.8) | 12 | (3.8) | 29 | (8.2) |
| 口が開いている時間が長い | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 5 | (2.3) | 7 | (2.2) | 42 | (11.9) |
| *1 上記1.の問題に対するケア（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 専門的口腔ケア | 0 | (0.0) | 4 | (20.0) | 8 | (24.2) | 9 | (14.1) | 18 | (19.6) |
| 歯科医師・歯科衛生士 | 1 | (25.0) | 8 | (40.0) | 18 | (54.5) | 39 | (60.9) | 61 | (66.3) |
| 口腔ケア | 0 | (0.0) | 1 | (5.0) | 5 | (15.2) | 5 | (7.8) | 21 | (22.8) |
| 保湿 | 2 | (5.6) | 7 | (7.4) | 45 | (20.5) | 126 | (39.5) | 277 | (78.5) |
| 2.開口に問題がある | 1 | (2.8) | 0 | (0.0) | 7 | (3.2) | 35 | (11.0) | 106 | (30.0) |
| 上記2.の問題内容（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 口をあけることができない、 | 1 | (2.8) | 0 | (0.0) | 4 | (1.8) | 12 | (3.8) | 28 | (7.9) |
| 口が開きにくい | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (0.9) | 12 | (3.8) | 60 | (17.0) |
| 口から食べていない | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 8 | (2.5) | 20 | (5.7) |
| 3.うがいに問題がある | 2 | (5.6) | 7 | (7.4) | 43 | (19.6) | 119 | (37.3) | 274 | (77.6) |
| 上記3.の問題内容（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 日常的にうがいはしていない | 1 | (2.8) | 2 | (2.1) | 9 | (4.1) | 47 | (14.7) | 200 | (56.7) |
| がらがらうがいができない | 1 | (2.8) | 4 | (4.3) | 26 | (11.9) | 64 | (20.1) | 61 | (17.3) |
| ぶくぶくうがいができない | 1 | (2.8) | 2 | (2.1) | 5 | (2.3) | 23 | (7.2) | 41 | (11.6) |
| がらがらうがい時に むせることがある | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 3 | (1.4) | 8 | (2.5) | 8 | (2.3) |
| ぶくぶくうがい時に むせることがある | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (1.4) | 12 | (3.8) | 12 | (3.4) |
| *2 上記2,3.の問題に対するケア（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 専門的口腔ケア | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 7 | (15.6) | 17 | (13.5) | 41 | (14.8) |
| 歯科医師・歯科衛生士 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 11 | (24.4) | 24 | (19.0) | 59 | (21.3) |
| 口腔ケア | 0 | (0.0) | 1 | (14.3) | 30 | (66.7) | 65 | (51.6) | 140 | (50.5) |
| 4.咀嚼力に問題がある | 1 | (2.8) | 1 | (1.1) | 24 | (11.0) | 44 | (13.8) | 126 | (35.7) |
| 上記4.の問題内容（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 頬に触れることを拒否する | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 8 | (3.7) | 12 | (3.8) | 20 | (5.7) |
| 咀嚼時に 右の咬筋が硬くならない | 1 | (2.8) | 0 | (0.0) | 10 | (4.6) | 27 | (8.5) | 69 | (19.5) |
| 咀嚼時に 左の咬筋が硬くならない | 1 | (2.8) | 0 | (0.0) | 9 | (4.1) | 26 | (8.2) | 73 | (20.7) |
| *3 上記4.の問題に対するケア（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 専門的口腔ケア | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 8 | (33.3) | 12 | (27.3) | 26 | (20.6) |
| 咀嚼機能訓練 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (8.3) | 1 | (2.3) | 5 | (4.0) |
| 歯科受診 | 1 | (100.0) | 0 | (0.0) | 5 | (20.8) | 9 | (20.5) | 19 | (15.1) |
| 5.口臭の問題がある | 8 | (22.2) | 21 | (22.3) | 69 | (31.5) | 91 | (28.5) | 154 | (43.6) |
| 上記5.の問題内容（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 強い口臭がある | 1 | (2.8) | 2 | (2.1) | 13 | (5.9) | 11 | (3.4) | 28 | (7.9) |
| 口を開けることができない、 | 1 | (2.8) | 0 | (0.0) | 2 | (0.9) | 10 | (3.1) | 34 | (9.6) |
| 口の中に汚れや 食べかすがある | 5 | (13.9) | 14 | (14.9) | 45 | (20.5) | 61 | (19.1) | 101 | (28.6) |
| グラグラする歯や 大きな虫歯がある | 0 | (0.0) | 5 | (5.3) | 9 | (4.1) | 13 | (4.1) | 26 | (7.4) |
| 義歯がはずれやすい | 2 | (5.6) | 3 | (3.2) | 13 | (5.9) | 11 | (3.4) | 9 | (2.5) |
| 義歯を取り外していない | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 2 | (0.9) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 歯肉が赤く腫れている | 1 | (2.8) | 1 | (1.1) | 7 | (3.2) | 10 | (3.1) | 26 | (7.4) |
| 口内炎がある | 0 | (0.0) | 2 | (2.1) | 1 | (0.5) | 3 | (0.9) | 13 | (3.7) |
| *4 上記5.の問題に対するケア（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 専門的口腔ケア | 2 | (25.0) | 11 | (52.4) | 14 | (20.3) | 25 | (27.5) | 43 | (27.9) |
| 歯科医師・歯科衛生士 | 3 | (37.5) | 4 | (19.0) | 21 | (30.4) | 31 | (34.1) | 55 | (35.7) |
| 口腔ケア | 5 | (62.5) | 11 | (52.4) | 45 | (65.2) | 71 | (78.0) | 116 | (75.3) |
| 歯科受診 | 0 | (0.0) | 5 | (23.8) | 8 | (11.6) | 15 | (16.5) | 17 | (11.0) |

*1問題1に「有り」と回答したものの人数を分母に割合を算出

*2問題2,3いずれかまたは両方に「有り」と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3問題4に「有り」と回答したものの人数を分母に割合を算出

*4問題5に「有り」と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表14-c

| 要介護度別集計（全体・特養・老健） | 老健 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=68 | | 要介護2 n=141 | | 要介護3 n=170 | | 要介護4 n=133 | | 要介護5 n=113 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 口腔のアセスメントとケア計画 | | | | | | | | | | |
| 1.口腔乾燥がある | 11 | (16.2) | 24 | (17.0) | 33 | (19.4) | 41 | (30.8) | 34 | (30.1) |
| 上記1.の問題内容（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 2種類以上の薬を服用 | 11 | (16.2) | 22 | (15.6) | 31 | (18.2) | 40 | (30.1) | 32 | (28.3) |
| 口呼吸をしている | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 1 | (0.6) | 0 | (0.0) | 1 | (0.9) |
| 口が開いている時間が長い | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 2 | (1.2) | 2 | (1.5) | 6 | (5.3) |
| *1 上記1.の問題に対するケア（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 専門的口腔ケア | 9 | (81.8) | 10 | (41.7) | 15 | (45.5) | 16 | (39.0) | 10 | (29.4) |
| 歯科医師・歯科衛生士 | 9 | (81.8) | 16 | (66.7) | 18 | (54.5) | 28 | (68.3) | 23 | (67.6) |
| 口腔ケア | 1 | (9.1) | 3 | (12.5) | 1 | (3.0) | 3 | (7.3) | 0 | (0.0) |
| 保湿 | 5 | (7.4) | 18 | (12.8) | 47 | (27.6) | 61 | (45.9) | 83 | (73.5) |
| 2.開口に問題がある | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.6) | 12 | (9.0) | 34 | (30.1) |
| 上記2.の問題内容（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 口をあけることができない、 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.6) | 10 | (7.5) | 20 | (17.7) |
| 口が開きにくい | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (1.5) | 16 | (14.2) |
| 口から食べていない | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (1.8) |
| 3.うがいに問題がある | 5 | (7.4) | 18 | (12.8) | 47 | (27.6) | 60 | (45.1) | 82 | (72.6) |
| 上記3.の問題内容（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 日常的にうがいはしていない | 1 | (1.5) | 2 | (1.4) | 8 | (4.7) | 17 | (12.8) | 57 | (50.4) |
| がらがらうがいができない | 4 | (5.9) | 15 | (10.6) | 35 | (20.6) | 39 | (29.3) | 27 | (23.9) |
| ぶくぶくうがいができない | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (1.8) | 6 | (4.5) | 13 | (11.5) |
| がらがらうがい時に むせることがある | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 4 | (2.4) | 5 | (3.8) | 2 | (1.8) |
| ぶくぶくうがい時に むせることがある | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 3 | (1.8) | 7 | (5.3) | 5 | (4.4) |
| *2 上記2,3.の問題に対するケア（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 専門的口腔ケア | 1 | (20.0) | 2 | (11.1) | 7 | (14.9) | 13 | (21.3) | 22 | (26.5) |
| 歯科医師・歯科衛生士 | 1 | (20.0) | 3 | (16.7) | 11 | (23.4) | 15 | (24.6) | 17 | (20.5) |
| 口腔ケア | 2 | (40.0) | 6 | (33.3) | 21 | (44.7) | 35 | (57.4) | 50 | (60.2) |
| 4.咀嚼力に問題がある | 4 | (5.9) | 7 | (5.0) | 6 | (3.5) | 19 | (14.3) | 27 | (23.9) |
| 上記4.の問題内容（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 頬に触れることを拒否する | 2 | (2.9) | 1 | (0.7) | 3 | (1.8) | 3 | (2.3) | 5 | (4.4) |
| 咀嚼時に 右の咬筋が硬くならない | 2 | (2.9) | 6 | (4.3) | 3 | (1.8) | 13 | (9.8) | 16 | (14.2) |
| 咀嚼時に 左の咬筋が硬くならない | 2 | (2.9) | 6 | (4.3) | 2 | (1.2) | 13 | (9.8) | 17 | (15.0) |
| *3 上記4.の問題に対するケア（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 専門的口腔ケア | 1 | (25.0) | 3 | (42.9) | 2 | (33.3) | 3 | (15.8) | 7 | (25.9) |
| 咀嚼機能訓練 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (10.5) | 2 | (7.4) |
| 歯科受診 | 1 | (25.0) | 1 | (14.3) | 2 | (33.3) | 4 | (21.1) | 4 | (14.8) |
| 5.口臭の問題がある | 12 | (17.6) | 27 | (19.1) | 39 | (22.9) | 44 | (33.1) | 44 | (38.9) |
| 上記5.の問題内容（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 強い口臭がある | 5 | (7.4) | 13 | (9.2) | 20 | (11.8) | 13 | (9.8) | 9 | (8.0) |
| 口を開けることができない、 | 1 | (1.5) | 0 | (0.0) | 3 | (1.8) | 8 | (6.0) | 21 | (18.6) |
| 口の中に汚れや 食べかすがある | 6 | (8.8) | 16 | (11.3) | 30 | (17.6) | 23 | (17.3) | 24 | (21.2) |
| グラグラする歯や 大きな虫歯がある | 3 | (4.4) | 8 | (5.7) | 8 | (4.7) | 14 | (10.5) | 11 | (9.7) |
| 義歯がはずれやすい | 2 | (2.9) | 5 | (3.5) | 7 | (4.1) | 5 | (3.8) | 8 | (7.1) |
| 義歯を取り外していない | 1 | (1.5) | 2 | (1.4) | 3 | (1.8) | 3 | (2.3) | 1 | (0.9) |
| 歯肉が赤く腫れている | 3 | (4.4) | 6 | (4.3) | 3 | (1.8) | 9 | (6.8) | 5 | (4.4) |
| 口内炎がある | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.8) | 0 | (0.0) |
| *4 上記5.の問題に対するケア（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 専門的口腔ケア | 3 | (25.0) | 6 | (22.2) | 9 | (23.1) | 18 | (40.9) | 18 | (40.9) |
| 歯科医師・歯科衛生士 | 6 | (50.0) | 15 | (55.6) | 22 | (56.4) | 23 | (52.3) | 21 | (47.7) |
| 口腔ケア | 8 | (66.7) | 24 | (88.9) | 29 | (74.4) | 36 | (81.8) | 34 | (77.3) |
| 歯科受診 | 5 | (41.7) | 10 | (37.0) | 13 | (33.3) | 15 | (34.1) | 16 | (36.4) |

*1問題1に「有り」と回答したものの人数を分母に割合を算出

*2問題2,3いずれかまたは両方に「有り」と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3問題4に「有り」と回答したものの人数を分母に割合を算出

*4問題5に「有り」と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表15-a

| 要介護度別集計（全体・特養・老健） | 全体 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=104 | | 要介護2 n=235 | | 要介護3 n=389 | | 要介護4 n=452 | | 要介護5 n=466 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 口腔のアセスメントとケア計画 | | | | | | | | | | |
| 担当職種-口腔のアセスメントとケア計画 | | | | | | | | | | |
| 管理栄養士 | 62 | (59.6) | 137 | (58.3) | 250 | (64.3) | 281 | (62.2) | 322 | (69.1) |
| 栄養士 | 9 | (8.7) | 7 | (3.0) | 12 | (3.1) | 14 | (3.1) | 12 | (2.6) |
| 医師 | 17 | (16.3) | 23 | (9.8) | 42 | (10.8) | 43 | (9.5) | 24 | (5.2) |
| 歯科医師 | 19 | (18.3) | 30 | (12.8) | 45 | (11.6) | 59 | (13.1) | 73 | (15.7) |
| 看護師 | 22 | (21.2) | 46 | (19.6) | 92 | (23.7) | 125 | (27.7) | 132 | (28.3) |
| 准看護師 | 27 | (26.0) | 46 | (19.6) | 81 | (20.8) | 111 | (24.6) | 108 | (23.2) |
| 介護福祉士 | 75 | (72.1) | 163 | (69.4) | 260 | (66.8) | 290 | (64.2) | 315 | (67.6) |
| 介護士 | 38 | (36.5) | 93 | (39.6) | 151 | (38.8) | 158 | (35.0) | 152 | (32.6) |
| 作業療法士 | 18 | (17.3) | 21 | (8.9) | 34 | (8.7) | 32 | (7.1) | 44 | (9.4) |
| 理学療法士 | 18 | (17.3) | 19 | (8.1) | 23 | (5.9) | 22 | (4.9) | 17 | (3.6) |
| 言語聴覚士 | 8 | (7.7) | 24 | (10.2) | 30 | (7.7) | 23 | (5.1) | 23 | (4.9) |
| 歯科衛生士 | 38 | (36.5) | 82 | (34.9) | 125 | (32.1) | 158 | (35.0) | 163 | (35.0) |
| 姿勢に関する食事中の徴候・症状 | | | | | | | | | | |
| 下記の問題がある | | | | | | | | | | |
| 座位保持困難 | 7 | (6.7) | 15 | (6.4) | 50 | (12.9) | 112 | (24.8) | 257 | (55.2) |
| クッションなどの支えがあっても座位保持困難 | 6 | (5.8) | 8 | (3.4) | 33 | (8.5) | 54 | (11.9) | 149 | (32.0) |
| いすやテーブルの高さがあっていない | 5 | (4.8) | 13 | (5.5) | 39 | (10.0) | 60 | (13.3) | 70 | (15.0) |
| 食べるときに下顎が出る | 4 | (3.8) | 7 | (3.0) | 33 | (8.5) | 34 | (7.5) | 65 | (13.9) |
| *1　姿勢に問題に対応して実施したケア計画（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 摂食動作・姿勢の評価 | 1 | (1.0) | 5 | (2.1) | 21 | (5.4) | 54 | (11.9) | 120 | (25.8) |
| 座席・テーブル調整 | 4 | (3.8) | 9 | (3.8) | 30 | (7.7) | 49 | (10.8) | 102 | (21.9) |
| 食事姿勢の調整 | 2 | (1.9) | 10 | (4.3) | 32 | (8.2) | 93 | (20.6) | 211 | (45.3) |

*1姿勢の問題のいずれか一つ以上に「有り」と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表15-b

| 要介護度別集計（全体・特養・老健） | 特養 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=36 | | 要介護2 n=94 | | 要介護3 n=219 | | 要介護4 n=319 | | 要介護5 n=353 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 口腔のアセスメントとケア計画 | | | | | | | | | | |
| 担当職種-口腔のアセスメントとケア計画 | | | | | | | | | | |
| 管理栄養士 | 20 | (55.6) | 52 | (55.3) | 150 | (68.5) | 187 | (58.6) | 243 | (68.8) |
| 栄養士 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.3) | 1 | (0.3) |
| 医師 | 0 | (0.0) | 3 | (3.2) | 19 | (8.7) | 21 | (6.6) | 6 | (1.7) |
| 歯科医師 | 0 | (0.0) | 11 | (11.7) | 23 | (10.5) | 38 | (11.9) | 55 | (15.6) |
| 看護師 | 4 | (11.1) | 19 | (20.2) | 54 | (24.7) | 86 | (27.0) | 93 | (26.3) |
| 准看護師 | 5 | (13.9) | 12 | (12.8) | 38 | (17.4) | 62 | (19.4) | 66 | (18.7) |
| 介護福祉士 | 23 | (63.9) | 62 | (66.0) | 139 | (63.5) | 192 | (60.2) | 234 | (66.3) |
| 介護士 | 7 | (19.4) | 34 | (36.2) | 78 | (35.6) | 100 | (31.3) | 100 | (28.3) |
| 作業療法士 | 0 | (0.0) | 2 | (2.1) | 11 | (5.0) | 11 | (3.4) | 27 | (7.6) |
| 理学療法士 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.3) | 0 | (0.0) |
| 言語聴覚士 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.3) | 0 | (0.0) |
| 歯科衛生士 | 10 | (27.8) | 38 | (40.4) | 74 | (33.8) | 111 | (34.8) | 123 | (34.8) |
| 姿勢に関する食事中の徴候・症状 | | | | | | | | | | |
| 下記の問題がある | | | | | | | | | | |
| 座位保持困難 | 6 | (16.7) | 6 | (6.4) | 35 | (16.1) | 83 | (26.0) | 203 | (57.5) |
| クッションなどの支えがあっても座位保持困難 | 6 | (16.7) | 4 | (4.3) | 24 | (11.0) | 48 | (15.0) | 123 | (34.8) |
| いすやテーブルの高さがあっていない | 4 | (11.1) | 7 | (7.4) | 29 | (13.2) | 48 | (15.0) | 63 | (17.8) |
| 食べるときに下顎が出る | 4 | (11.1) | 3 | (3.2) | 22 | (10.1) | 29 | (9.1) | 56 | (15.9) |
| *1　姿勢に問題に対応して実施したケア計画（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 摂食動作・姿勢の評価 | 1 | (2.8) | 3 | (3.2) | 14 | (6.4) | 35 | (11.0) | 96 | (27.2) |
| 座席・テーブル調整 | 2 | (5.6) | 4 | (4.3) | 19 | (8.7) | 33 | (10.3) | 70 | (19.8) |
| 食事姿勢の調整 | 1 | (2.8) | 5 | (5.3) | 22 | (10.1) | 72 | (22.6) | 164 | (46.5) |

*1姿勢の問題のいずれか一つ以上に「有り」と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表15-c

| 要介護度別集計（全体・特養・老健） | 老健 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=68 | | 要介護2 n=141 | | 要介護3 n=170 | | 要介護4 n=133 | | 要介護5 n=113 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 口腔のアセスメントとケア計画 | | | | | | | | | | |
| 担当職種-口腔のアセスメントとケア計画 | | | | | | | | | | |
| 管理栄養士 | 42 | (61.8) | 85 | (60.3) | 100 | (58.8) | 94 | (70.7) | 79 | (69.9) |
| 栄養士 | 9 | (13.2) | 7 | (5.0) | 12 | (7.1) | 13 | (9.8) | 11 | (9.7) |
| 医師 | 17 | (25.0) | 20 | (14.2) | 23 | (13.5) | 22 | (16.5) | 18 | (15.9) |
| 歯科医師 | 19 | (27.9) | 19 | (13.5) | 22 | (12.9) | 21 | (15.8) | 18 | (15.9) |
| 看護師 | 18 | (26.5) | 27 | (19.1) | 38 | (22.4) | 39 | (29.3) | 39 | (34.5) |
| 准看護師 | 22 | (32.4) | 34 | (24.1) | 43 | (25.3) | 49 | (36.8) | 42 | (37.2) |
| 介護福祉士 | 52 | (76.5) | 101 | (71.6) | 121 | (71.2) | 98 | (73.7) | 81 | (71.7) |
| 介護士 | 31 | (45.6) | 59 | (41.8) | 73 | (42.9) | 58 | (43.6) | 52 | (46.0) |
| 作業療法士 | 18 | (26.5) | 19 | (13.5) | 23 | (13.5) | 21 | (15.8) | 17 | (15.0) |
| 理学療法士 | 18 | (26.5) | 19 | (13.5) | 23 | (13.5) | 21 | (15.8) | 17 | (15.0) |
| 言語聴覚士 | 8 | (11.8) | 24 | (17.0) | 30 | (17.6) | 22 | (16.5) | 23 | (20.4) |
| 歯科衛生士 | 28 | (41.2) | 44 | (31.2) | 51 | (30.0) | 47 | (35.3) | 40 | (35.4) |
| 姿勢に関する食事中の徴候・症状 | | | | | | | | | | |
| 下記の問題がある | | | | | | | | | | |
| 座位保持困難 | 1 | (1.5) | 9 | (6.4) | 15 | (8.8) | 29 | (21.8) | 54 | (47.8) |
| クッションなどの支えがあっても座位保持困難 | 0 | (0.0) | 4 | (2.9) | 9 | (5.3) | 6 | (4.5) | 26 | (23.0) |
| いすやテーブルの高さがあっていない | 1 | (1.5) | 6 | (4.3) | 10 | (5.9) | 12 | (9.0) | 7 | (6.2) |
| 食べるときに下顎が出る | 0 | (0.0) | 4 | (2.9) | 11 | (6.5) | 5 | (3.8) | 9 | (8.0) |
| *1　姿勢に問題に対応して実施したケア計画（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 摂食動作・姿勢の評価 | 0 | (0.0) | 2 | (1.4) | 7 | (4.1) | 19 | (14.3) | 24 | (21.2) |
| 座席・テーブル調整 | 2 | (2.9) | 5 | (3.6) | 11 | (6.5) | 16 | (12.0) | 32 | (28.3) |
| 食事姿勢の調整 | 1 | (1.5) | 5 | (3.6) | 10 | (5.9) | 21 | (15.8) | 47 | (41.6) |

*1姿勢の問題のいずれか一つ以上に「有り」と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表16-a

| 要介護度別集計（全体・特養・老健） | 全体 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=104 | | 要介護2 n=235 | | 要介護3 n=389 | | 要介護4 n=452 | | 要介護5 n=466 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 認知症関連の徴候・症状 | | | | | | | | | | |
| 1-傾眠頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 99 | (95.2) | 223 | (94.9) | 326 | (83.8) | 300 | (66.4) | 180 | (38.6) |
| 週に1～2回 | 5 | (4.8) | 5 | (2.1) | 34 | (8.7) | 50 | (11.1) | 90 | (19.3) |
| 週に3～5回 | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 12 | (3.1) | 34 | (7.5) | 65 | (13.9) |
| 1日に1～2回 | 0 | (0.0) | 2 | (0.9) | 14 | (3.6) | 41 | (9.1) | 62 | (13.3) |
| 毎食事 | 0 | (0.0) | 3 | (1.3) | 3 | (0.8) | 19 | (4.2) | 42 | (9.0) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 0 | (0.0) | 8 | (1.8) | 27 | (5.8) |
| *1 1.傾眠に対応したケア計画（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 覚醒を促すため声掛け | 4 | (80.0) | 11 | (100.0) | 56 | (88.9) | 132 | (91.7) | 207 | (79.9) |
| 覚醒を促すためボディータッチ | 2 | (40.0) | 7 | (63.6) | 45 | (71.4) | 109 | (75.7) | 201 | (77.6) |
| 声掛けして覚醒状態を確認し、自力摂取を促す | 1 | (20.0) | 6 | (54.5) | 40 | (63.5) | 88 | (61.1) | 75 | (29.0) |
| 覚醒状態を確認し、食事介助 | 1 | (20.0) | 2 | (18.2) | 15 | (23.8) | 70 | (48.6) | 167 | (64.5) |
| 食事時の姿勢を保持する | 1 | (20.0) | 0 | (0.0) | 15 | (23.8) | 41 | (28.5) | 107 | (41.3) |
| 薬剤について確認し、 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 4 | (6.3) | 6 | (4.2) | 10 | (3.9) |
| 食事の時間を覚醒時に変更す | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 7 | (11.1) | 20 | (13.9) | 43 | (16.6) |
| 傾眠ケアその他 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 7 | (2.7) |
| 2-食事の失認頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 97 | (93.3) | 221 | (94.0) | 338 | (86.9) | 346 | (76.5) | 233 | (50.0) |
| 週に1～2回 | 1 | (1.0) | 8 | (3.4) | 18 | (4.6) | 31 | (6.9) | 37 | (7.9) |
| 週に3～5回 | 1 | (1.0) | 2 | (0.9) | 6 | (1.5) | 16 | (3.5) | 16 | (3.4) |
| 1日に1～2回 | 1 | (1.0) | 2 | (0.9) | 7 | (1.8) | 15 | (3.3) | 25 | (5.4) |
| 毎食事 | 4 | (3.8) | 1 | (0.4) | 19 | (4.9) | 36 | (8.0) | 128 | (27.5) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 1 | (0.3) | 8 | (1.8) | 27 | (5.8) |
| *2 2.食事の失認に対応したケア計画（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 「食事ですよ」と声掛けする | 6 | (85.7) | 7 | (53.8) | 43 | (86.0) | 80 | (81.6) | 165 | (80.1) |
| 声掛けをしながら | 2 | (28.6) | 1 | (7.7) | 19 | (38.0) | 40 | (40.8) | 83 | (40.3) |
| 食事時間を知らせる | 4 | (57.1) | 4 | (30.8) | 18 | (36.0) | 33 | (33.7) | 52 | (25.2) |
| 食器の色を変更する | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 7 | (14.0) | 8 | (8.2) | 10 | (4.9) |
| スプーンや箸を直接手に持た | 1 | (14.3) | 0 | (0.0) | 29 | (58.0) | 45 | (45.9) | 72 | (35.0) |
| 失認ケアその他 | 1 | (14.3) | 0 | (0.0) | 1 | (2.0) | 4 | (4.1) | 30 | (14.6) |
| 3-興奮・大声・暴言・暴力頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 100 | (96.2) | 223 | (94.9) | 342 | (87.9) | 364 | (80.5) | 357 | (76.6) |
| 週に1～2回 | 3 | (2.9) | 9 | (3.8) | 21 | (5.4) | 49 | (10.8) | 36 | (7.7) |
| 週に3～5回 | 0 | (0.0) | 2 | (0.9) | 8 | (2.1) | 10 | (2.2) | 19 | (4.1) |
| 1日に1～2回 | 1 | (1.0) | 0 | (0.0) | 9 | (2.3) | 14 | (3.1) | 14 | (3.0) |
| 毎食事 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 9 | (2.3) | 7 | (1.5) | 15 | (3.2) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 0 | (0.0) | 8 | (1.8) | 25 | (5.4) |
| *3 3.興奮・大声・暴言・暴力に対応したケア計画（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 興奮状態をなだめるために声掛けする | 3 | (75.0) | 7 | (63.6) | 39 | (83.0) | 48 | (60.0) | 54 | (64.3) |
| 傾聴する | 2 | (50.0) | 7 | (63.6) | 30 | (63.8) | 47 | (58.8) | 34 | (40.5) |
| 落ち着いている時間に食事を提供する | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 5 | (10.6) | 15 | (18.8) | 20 | (23.8) |
| 静かな別室など落ち着く食事環境を提供する | 0 | (0.0) | 1 | (9.1) | 5 | (10.6) | 6 | (7.5) | 10 | (11.9) |
| 興奮ケアその他 | 0 | (0.0) | 2 | (18.2) | 3 | (6.4) | 1 | (1.3) | 3 | (3.6) |
| *4 4-拒食頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 101 | (97.1) | 222 | (94.5) | 352 | (90.5) | 361 | (79.9) | 350 | (75.1) |
| 週に1～2回 | 1 | (1.0) | 5 | (2.1) | 17 | (4.4) | 47 | (10.4) | 38 | (8.2) |
| 週に3～5回 | 1 | (1.0) | 2 | (0.9) | 6 | (1.5) | 14 | (3.1) | 19 | (4.1) |
| 1日に1～2回 | 1 | (1.0) | 2 | (0.9) | 6 | (1.5) | 4 | (0.9) | 18 | (3.9) |
| 毎食事 | 0 | (0.0) | 3 | (1.3) | 8 | (2.1) | 17 | (3.8) | 14 | (3.0) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 0 | (0.0) | 9 | (2.0) | 27 | (5.8) |
| 4.拒食に対応したケア計画（複数回答） | | | | | | | | | | |
| お気に入りのものを置いたり、本人の食器を用いたり、本人の落ち着く環境を提供する | 1 | (33.3) | 2 | (16.7) | 11 | (29.7) | 21 | (25.6) | 17 | (19.1) |
| 好みのものを提供する | 1 | (33.3) | 5 | (41.7) | 17 | (45.9) | 50 | (61.0) | 46 | (51.7) |
| 食事の匂いにより食欲を刺激す | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 8 | (21.6) | 11 | (13.4) | 14 | (15.7) |
| 拒食ケアその他 | 1 | (33.3) | 4 | (33.3) | 10 | (27.0) | 28 | (34.1) | 21 | (23.6) |

*1傾眠頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したものの人数を分母に割合を算出

*2食事の失認頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3興奮・大声・暴言・暴力頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したものの人数を分母に割合を算出

*4拒食頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表16-b

| 要介護度別集計（全体・特養・老健） | 特養 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=36 | | 要介護2 n=94 | | 要介護3 n=219 | | 要介護4 n=319 | | 要介護5 n=353 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 認知症関連の徴候・症状 | | | | | | | | | | |
| 1-傾眠頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 34 | (94.4) | 87 | (92.6) | 171 | (78.1) | 203 | (63.6) | 112 | (31.7) |
| 週に1～2回 | 2 | (5.6) | 4 | (4.3) | 27 | (12.3) | 40 | (12.5) | 74 | (21.0) |
| 週に3～5回 | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 9 | (4.1) | 23 | (7.2) | 57 | (16.1) |
| 1日に1～2回 | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 9 | (4.1) | 31 | (9.7) | 49 | (13.9) |
| 毎食事 | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 3 | (1.4) | 14 | (4.4) | 36 | (10.2) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 8 | (2.5) | 25 | (7.1) |
| *1 1.傾眠に対応したケア計画（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 覚醒を促すため声掛け | 2 | (100.0) | 7 | (100.0) | 46 | (95.8) | 101 | (93.5) | 170 | (78.7) |
| 覚醒を促すためボディータッチ | 1 | (50.0) | 4 | (57.1) | 36 | (75.0) | 87 | (80.6) | 173 | (80.1) |
| 声掛けして覚醒状態を確認し、自力摂取を促す | 1 | (50.0) | 4 | (57.1) | 38 | (79.2) | 73 | (67.6) | 66 | (30.6) |
| 覚醒状態を確認し、食事介助 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 12 | (25.0) | 53 | (49.1) | 141 | (65.3) |
| 食事時の姿勢を保持する | 1 | (50.0) | 0 | (0.0) | 13 | (27.1) | 29 | (26.9) | 92 | (42.6) |
| 薬剤について確認し、 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (4.2) | 3 | (2.8) | 8 | (3.7) |
| 食事の時間を覚醒時に変更す | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 7 | (14.6) | 18 | (16.7) | 42 | (19.4) |
| 傾眠ケアその他 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 5 | (2.3) |
| 2-食事の失認頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 33 | (91.7) | 89 | (94.7) | 182 | (83.1) | 239 | (74.9) | 166 | (47.0) |
| 週に1～2回 | 1 | (2.8) | 3 | (3.2) | 16 | (7.3) | 28 | (8.8) | 34 | (9.6) |
| 週に3～5回 | 1 | (2.8) | 1 | (1.1) | 5 | (2.3) | 14 | (4.4) | 12 | (3.4) |
| 1日に1～2回 | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 6 | (2.7) | 11 | (3.4) | 20 | (5.7) |
| 毎食事 | 1 | (2.8) | 0 | (0.0) | 9 | (4.1) | 19 | (6.0) | 96 | (27.2) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.5) | 8 | (2.5) | 25 | (7.1) |
| *2 2.食事の失認に対応したケア計画（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 「食事ですよ」と声掛けする | 3 | (100.0) | 2 | (40.0) | 33 | (91.7) | 59 | (81.9) | 130 | (80.2) |
| 声掛けをしながら | 1 | (33.3) | 0 | (0.0) | 13 | (36.1) | 32 | (44.4) | 72 | (44.4) |
| 食事時間を知らせる | 1 | (33.3) | 2 | (40.0) | 14 | (38.9) | 23 | (31.9) | 41 | (25.3) |
| 食器の色を変更する | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 6 | (16.7) | 7 | (9.7) | 8 | (4.9) |
| スプーンや箸を直接手に持た | 1 | (33.3) | 0 | (0.0) | 21 | (58.3) | 36 | (50.0) | 55 | (34.0) |
| 失認ケアその他 | 1 | (33.3) | 0 | (0.0) | 1 | (2.8) | 2 | (2.8) | 23 | (14.2) |
| 3-興奮・大声・暴言・暴力頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 33 | (91.7) | 89 | (94.7) | 187 | (85.4) | 249 | (78.1) | 262 | (74.2) |
| 週に1～2回 | 2 | (5.6) | 4 | (4.3) | 14 | (6.4) | 39 | (12.2) | 32 | (9.1) |
| 週に3～5回 | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 6 | (2.7) | 6 | (1.9) | 19 | (5.4) |
| 1日に1～2回 | 1 | (2.8) | 0 | (0.0) | 6 | (2.7) | 11 | (3.4) | 8 | (2.3) |
| 毎食事 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 6 | (2.7) | 6 | (1.9) | 9 | (2.5) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 8 | (2.5) | 23 | (6.5) |
| *3 3.興奮・大声・暴言・暴力に対応したケア計画（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 興奮状態をなだめるために声掛けする | 2 | (66.7) | 4 | (80.0) | 26 | (81.3) | 38 | (61.3) | 45 | (66.2) |
| 傾聴する | 2 | (66.7) | 3 | (60.0) | 20 | (62.5) | 38 | (61.3) | 30 | (44.1) |
| 落ち着いている時間に食事を提供する | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 4 | (12.5) | 13 | (21.0) | 15 | (22.1) |
| 静かな別室など落ち着く食事環境を提供する | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (9.4) | 4 | (6.5) | 6 | (8.8) |
| 興奮ケアその他 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (9.4) | 1 | (1.6) | 2 | (2.9) |
| *4 4-拒食頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 35 | (97.2) | 86 | (91.5) | 194 | (88.6) | 242 | (75.9) | 260 | (73.7) |
| 週に1～2回 | 1 | (2.8) | 5 | (5.3) | 11 | (5.0) | 42 | (13.2) | 28 | (7.9) |
| 週に3～5回 | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 5 | (2.3) | 10 | (3.1) | 17 | (4.8) |
| 1日に1～2回 | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 4 | (1.8) | 4 | (1.3) | 14 | (4.0) |
| 毎食事 | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 5 | (2.3) | 12 | (3.8) | 9 | (2.5) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 9 | (2.8) | 25 | (7.1) |
| 4.拒食に対応したケア計画（複数回答） | | | | | | | | | | |
| お気に入りのものを置いたり、本人の食器を用いたり、本人の落ち着く環境を提供する | 1 | (100.0) | 2 | (25.0) | 7 | (28.0) | 19 | (27.9) | 13 | (19.1) |
| 好みのものを提供する | 0 | (0.0) | 3 | (37.5) | 13 | (52.0) | 46 | (67.6) | 37 | (54.4) |
| 食事の匂いにより食欲を刺激す | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 8 | (32.0) | 9 | (13.2) | 12 | (17.6) |
| 拒食ケアその他 | 0 | (0.0) | 3 | (37.5) | 8 | (32.0) | 23 | (33.8) | 13 | (19.1) |

*1傾眠頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したものの人数を分母に割合を算出

*2食事の失認頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3興奮・大声・暴言・暴力頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したものの人数を分母に割合を算出

*4拒食頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表16-c

| 要介護度別集計（全体・特養・老健） | 老健 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=68 | | 要介護2 n=141 | | 要介護3 n=170 | | 要介護4 n=133 | | 要介護5 n=113 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 認知症関連の徴候・症状 | | | | | | | | | | |
| 1-傾眠頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 65 | (95.6) | 136 | (96.5) | 155 | (91.2) | 97 | (72.9) | 68 | (60.2) |
| 週に1～2回 | 3 | (4.4) | 1 | (0.7) | 7 | (4.1) | 10 | (7.5) | 16 | (14.2) |
| 週に3～5回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (1.8) | 11 | (8.3) | 8 | (7.1) |
| 1日に1～2回 | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 5 | (2.9) | 10 | (7.5) | 13 | (11.5) |
| 毎食事 | 0 | (0.0) | 2 | (1.4) | 0 | (0.0) | 5 | (3.8) | 6 | (5.3) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (1.8) |
| *1 1.傾眠に対応したケア計画（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 覚醒を促すため声掛け | 2 | (66.7) | 4 | (100.0) | 10 | (66.7) | 31 | (86.1) | 37 | (86.0) |
| 覚醒を促すためボディータッチ | 1 | (33.3) | 3 | (75.0) | 9 | (60.0) | 22 | (61.1) | 28 | (65.1) |
| 声掛けして覚醒状態を確認し、自力摂取を促す | 0 | (0.0) | 2 | (50.0) | 2 | (13.3) | 15 | (41.7) | 9 | (20.9) |
| 覚醒状態を確認し、食事介助 | 1 | (33.3) | 2 | (50.0) | 3 | (20.0) | 17 | (47.2) | 26 | (60.5) |
| 食事時の姿勢を保持する | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (13.3) | 12 | (33.3) | 15 | (34.9) |
| 薬剤について確認し、 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (13.3) | 3 | (8.3) | 2 | (4.7) |
| 食事の時間を覚醒時に変更す | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (5.6) | 1 | (2.3) |
| 傾眠ケアその他 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (2.8) | 2 | (4.7) |
| 2-食事の失認頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 64 | (94.1) | 132 | (93.6) | 156 | (91.8) | 107 | (80.5) | 67 | (59.3) |
| 週に1～2回 | 0 | (0.0) | 5 | (3.5) | 2 | (1.2) | 3 | (2.3) | 3 | (2.7) |
| 週に3～5回 | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 1 | (0.6) | 2 | (1.5) | 4 | (3.5) |
| 1日に1～2回 | 1 | (1.5) | 1 | (0.7) | 1 | (0.6) | 4 | (3.0) | 5 | (4.4) |
| 毎食事 | 3 | (4.4) | 1 | (0.7) | 10 | (5.9) | 17 | (12.8) | 32 | (28.3) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (1.8) |
| *2 2.食事の失認に対応したケア計画（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 「食事ですよ」と声掛けする | 3 | (75.0) | 5 | (62.5) | 10 | (71.4) | 21 | (80.8) | 35 | (79.5) |
| 声掛けをしながら | 1 | (25.0) | 1 | (12.5) | 6 | (42.9) | 8 | (30.8) | 11 | (25.0) |
| 食事時間を知らせる | 3 | (75.0) | 2 | (25.0) | 4 | (28.6) | 10 | (38.5) | 11 | (25.0) |
| 食器の色を変更する | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (7.1) | 1 | (3.8) | 2 | (4.5) |
| スプーンや箸を直接手に持た | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 8 | (57.1) | 9 | (34.6) | 17 | (38.6) |
| 失認ケアその他 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (7.7) | 7 | (15.9) |
| 3-興奮・大声・暴言・暴力頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 67 | (98.5) | 133 | (95.0) | 155 | (91.2) | 115 | (86.5) | 95 | (84.1) |
| 週に1～2回 | 1 | (1.5) | 5 | (3.6) | 7 | (4.1) | 10 | (7.5) | 4 | (3.5) |
| 週に3～5回 | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 2 | (1.2) | 4 | (3.0) | 0 | (0.0) |
| 1日に1～2回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (1.8) | 3 | (2.3) | 6 | (5.3) |
| 毎食事 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (1.8) | 1 | (0.8) | 6 | (5.3) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (1.8) |
| *3 3.興奮・大声・暴言・暴力に対応したケア計画（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 興奮状態をなだめるために声掛けする | 1 | (100.0) | 3 | (50.0) | 13 | (86.7) | 10 | (55.6) | 9 | (56.3) |
| 傾聴する | 0 | (0.0) | 4 | (66.7) | 10 | (66.7) | 9 | (50.0) | 4 | (25.0) |
| 落ち着いている時間に食事を提供する | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (6.7) | 2 | (11.1) | 5 | (31.3) |
| 静かな別室など落ち着く食事環境を提供する | 0 | (0.0) | 1 | (16.7) | 2 | (13.3) | 2 | (11.1) | 4 | (25.0) |
| 興奮ケアその他 | 0 | (0.0) | 2 | (33.3) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (6.3) |
| *4 4-拒食頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 66 | (97.1) | 136 | (96.5) | 158 | (92.9) | 119 | (89.5) | 90 | (79.6) |
| 週に1～2回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 6 | (3.5) | 5 | (3.8) | 10 | (8.8) |
| 週に3～5回 | 1 | (1.5) | 1 | (0.7) | 1 | (0.6) | 4 | (3.0) | 2 | (1.8) |
| 1日に1～2回 | 1 | (1.5) | 1 | (0.7) | 2 | (1.2) | 0 | (0.0) | 4 | (3.5) |
| 毎食事 | 0 | (0.0) | 2 | (1.4) | 3 | (1.8) | 5 | (3.8) | 5 | (4.4) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (1.8) |
| 4.拒食に対応したケア計画（複数回答） | | | | | | | | | | |
| お気に入りのものを置いたり、本人の食器を用いたり、本人の落ち着く環境を提供する | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 4 | (33.3) | 2 | (14.3) | 4 | (19.0) |
| 好みのものを提供する | 1 | (50.0) | 2 | (50.0) | 4 | (33.3) | 4 | (28.6) | 9 | (42.9) |
| 食事の匂いにより食欲を刺激す | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (14.3) | 2 | (9.5) |
| 拒食ケアその他 | 1 | (50.0) | 1 | (25.0) | 2 | (16.7) | 5 | (35.7) | 8 | (38.1) |

*1傾眠頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したものの人数を分母に割合を算出

*2食事の失認頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3興奮・大声・暴言・暴力頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したものの人数を分母に割合を算出

*4拒食頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表17-a

| 要介護度別集計(全体・特養・老健) | 全体 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=104 | | 要介護2 n=235 | | 要介護3 n=389 | | 要介護4 n=452 | | 要介護5 n=466 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 認知症関連の徴候・症状 | | | | | | | | | | |
| 5-偏食頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 93 | (89.4) | 211 | (89.8) | 348 | (89.5) | 376 | (83.2) | 399 | (85.6) |
| 週に1～2回 | 6 | (5.8) | 8 | (3.4) | 14 | (3.6) | 31 | (6.9) | 12 | (2.6) |
| 週に3～5回 | 1 | (1.0) | 3 | (1.3) | 6 | (1.5) | 8 | (1.8) | 6 | (1.3) |
| 1日に1～2回 | 2 | (1.9) | 5 | (2.1) | 11 | (2.8) | 4 | (0.9) | 12 | (2.6) |
| 毎食事 | 2 | (1.9) | 7 | (3.0) | 10 | (2.6) | 23 | (5.1) | 10 | (2.1) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 0 | (0.0) | 10 | (2.2) | 27 | (5.8) |
| *1 5.偏食に対応したケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | |
| 食事を促すために声掛けする | 7 | (63.6) | 20 | (87.0) | 36 | (87.8) | 55 | (83.3) | 27 | (67.5) |
| 偏食ケアその他 | 3 | (27.3) | 4 | (17.4) | 3 | (7.3) | 13 | (19.7) | 6 | (15.0) |
| 6-失行頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 102 | (98.1) | 231 | (98.3) | 349 | (89.7) | 384 | (85.0) | 342 | (73.4) |
| 週に1～2回 | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 8 | (2.1) | 14 | (3.1) | 12 | (2.6) |
| 週に3～5回 | 1 | (1.0) | 0 | (0.0) | 6 | (1.5) | 10 | (2.2) | 10 | (2.1) |
| 1日に1～2回 | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 5 | (1.3) | 7 | (1.5) | 11 | (2.4) |
| 毎食事 | 1 | (1.0) | 1 | (0.4) | 21 | (5.4) | 29 | (6.4) | 64 | (13.7) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 0 | (0.0) | 8 | (1.8) | 27 | (5.8) |
| *2 6.失行に対応したケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | |
| 手づかみしないよう声掛けする | 1 | (50.0) | 1 | (33.3) | 22 | (55.0) | 26 | (43.3) | 32 | (33.0) |
| 主食を食べやすい大きさのおにぎり等にする | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 5 | (12.5) | 3 | (5.0) | 8 | (8.2) |
| こぼれないよう | 0 | (0.0) | 1 | (33.3) | 14 | (35.0) | 21 | (35.0) | 31 | (32.0) |
| 食器具の使い方を説明する | 1 | (50.0) | 1 | (33.3) | 11 | (27.5) | 14 | (23.3) | 15 | (15.5) |
| 失行ケアその他 | 1 | (50.0) | 0 | (0.0) | 9 | (22.5) | 11 | (18.3) | 33 | (34.0) |
| 7-妄想頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 101 | (97.1) | 231 | (98.3) | 372 | (95.6) | 420 | (92.9) | 410 | (88.0) |
| 週に1～2回 | 1 | (1.0) | 1 | (0.4) | 8 | (2.1) | 14 | (3.1) | 17 | (3.6) |
| 週に3～5回 | 2 | (1.9) | 0 | (0.0) | 4 | (1.0) | 1 | (0.2) | 7 | (1.5) |
| 1日に1～2回 | 0 | (0.0) | 2 | (0.9) | 3 | (0.8) | 3 | (0.7) | 2 | (0.4) |
| 毎食事 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (0.5) | 6 | (1.3) | 4 | (0.9) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 0 | (0.0) | 8 | (1.8) | 26 | (5.6) |
| *3 7.妄想に対応したケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | |
| 食事が安全であることを伝える | 1 | (33.3) | 1 | (33.3) | 7 | (41.2) | 9 | (37.5) | 11 | (36.7) |
| 食事や食器を取り換える | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (5.9) | 3 | (12.5) | 3 | (10.0) |
| 好みのものを提供する | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (17.6) | 3 | (12.5) | 8 | (26.7) |
| 妄想ケアその他 | 1 | (33.3) | 2 | (66.7) | 1 | (5.9) | 4 | (16.7) | 2 | (6.7) |
| 8-早食い・詰め込み・丸のみ頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 98 | (94.2) | 215 | (91.5) | 330 | (84.8) | 368 | (81.4) | 331 | (71.0) |
| 週に1～2回 | 2 | (1.9) | 4 | (1.7) | 9 | (2.3) | 14 | (3.1) | 18 | (3.9) |
| 週に3～5回 | 1 | (1.0) | 0 | (0.0) | 6 | (1.5) | 4 | (0.9) | 10 | (2.1) |
| 1日に1～2回 | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 2 | (0.5) | 8 | (1.8) | 13 | (2.8) |
| 毎食事 | 3 | (2.9) | 14 | (6.0) | 42 | (10.8) | 48 | (10.6) | 65 | (13.9) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 0 | (0.0) | 10 | (2.2) | 29 | (6.2) |
| *4 8.早食い・詰め込み・丸のみに対応したケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | |
| ゆっくり食べるよう声掛けする | 5 | (83.3) | 16 | (84.2) | 46 | (78.0) | 53 | (71.6) | 48 | (45.3) |
| 器を小分けにして提供する | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 6 | (10.2) | 13 | (17.6) | 29 | (27.4) |
| 一品ずつ提供する | 1 | (16.7) | 0 | (0.0) | 4 | (6.8) | 17 | (23.0) | 33 | (31.1) |
| スプーンを小さくするなど食具を変更する | 1 | (16.7) | 5 | (26.3) | 19 | (32.2) | 24 | (32.4) | 39 | (36.8) |
| 食べやすい食形態に変更する | 1 | (16.7) | 3 | (15.8) | 26 | (44.1) | 43 | (58.1) | 54 | (50.9) |
| 誤嚥や窒息の危険がある | 1 | (16.7) | 1 | (5.3) | 10 | (16.9) | 23 | (31.1) | 31 | (29.2) |
| 早食いケアその他 | 1 | (16.7) | 4 | (21.1) | 4 | (6.8) | 3 | (4.1) | 10 | (9.4) |

*1偏食頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したものの人数を分母に割合を算出

*2失行頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3妄想頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したものの人数を分母に割合を算出

*4早食い・詰め込み・丸のみ頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表17-b

| 要介護度別集計（全体・特養・老健） | 特養 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=36 | | 要介護2 n=94 | | 要介護3 n=219 | | 要介護4 n=319 | | 要介護5 n=353 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 認知症関連の徴候・症状 | | | | | | | | | | |
| 5-偏食頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 29 | (80.6) | 75 | (79.8) | 194 | (88.6) | 253 | (79.3) | 295 | (83.6) |
| 週に1～2回 | 6 | (16.7) | 8 | (8.5) | 10 | (4.6) | 29 | (9.1) | 10 | (2.8) |
| 週に3～5回 | 0 | (0.0) | 2 | (2.1) | 5 | (2.3) | 6 | (1.9) | 6 | (1.7) |
| 1日に1～2回 | 0 | (0.0) | 4 | (4.3) | 6 | (2.7) | 2 | (0.6) | 9 | (2.5) |
| 毎食事 | 1 | (2.8) | 5 | (5.3) | 4 | (1.8) | 20 | (6.3) | 8 | (2.3) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 9 | (2.8) | 25 | (7.1) |
| *1 5.偏食に対応したケア計画（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 食事を促すために声掛けする | 4 | (57.1) | 16 | (84.2) | 20 | (80.0) | 48 | (84.2) | 21 | (63.6) |
| 偏食ケアその他 | 2 | (28.6) | 4 | (21.1) | 2 | (8.0) | 12 | (21.1) | 4 | (12.1) |
| 6-失行頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 35 | (97.2) | 92 | (97.9) | 191 | (87.2) | 267 | (83.7) | 252 | (71.4) |
| 週に1～2回 | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 8 | (3.7) | 12 | (3.8) | 9 | (2.5) |
| 週に3～5回 | 1 | (2.8) | 0 | (0.0) | 5 | (2.3) | 9 | (2.8) | 7 | (2.0) |
| 1日に1～2回 | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 3 | (1.4) | 5 | (1.6) | 9 | (2.5) |
| 毎食事 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 12 | (5.5) | 18 | (5.6) | 51 | (14.4) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 8 | (2.5) | 25 | (7.1) |
| *2 6.失行に対応したケア計画（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 手づかみしないよう声掛けする | 1 | (100.0) | 1 | (50.0) | 17 | (60.7) | 20 | (45.5) | 27 | (35.5) |
| 主食を食べやすい大きさのおにぎり等にする | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 4 | (14.3) | 2 | (4.5) | 6 | (7.9) |
| こぼれないよう | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 10 | (35.7) | 17 | (38.6) | 23 | (30.3) |
| 食器具の使い方を説明する | 1 | (100.0) | 0 | (0.0) | 5 | (17.9) | 10 | (22.7) | 9 | (11.8) |
| 失行ケアその他 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 5 | (17.9) | 7 | (15.9) | 28 | (36.8) |
| 7-妄想頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 35 | (97.2) | 93 | (98.9) | 207 | (94.5) | 292 | (91.5) | 301 | (85.3) |
| 週に1～2回 | 1 | (2.8) | 0 | (0.0) | 6 | (2.7) | 12 | (3.8) | 17 | (4.8) |
| 週に3～5回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (1.4) | 1 | (0.3) | 6 | (1.7) |
| 1日に1～2回 | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 2 | (0.9) | 1 | (0.3) | 1 | (0.3) |
| 毎食事 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.5) | 5 | (1.6) | 4 | (1.1) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 8 | (2.5) | 24 | (6.8) |
| *3 7.妄想に対応したケア計画（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 食事が安全であることを伝える | 1 | (100.0) | 0 | (0.0) | 5 | (41.7) | 9 | (47.4) | 11 | (39.3) |
| 食事や食器を取り換える | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (8.3) | 1 | (5.3) | 3 | (10.7) |
| 好みのものを提供する | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (16.7) | 2 | (10.5) | 7 | (25.0) |
| 妄想ケアその他 | 0 | (0.0) | 1 | (100.0) | 0 | (0.0) | 4 | (21.1) | 1 | (3.6) |
| 8-早食い・詰め込み・丸のみ頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 34 | (94.4) | 86 | (91.5) | 178 | (81.3) | 256 | (80.3) | 251 | (71.1) |
| 週に1～2回 | 2 | (5.6) | 2 | (2.1) | 7 | (3.2) | 12 | (3.8) | 16 | (4.5) |
| 週に3～5回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 6 | (2.7) | 2 | (0.6) | 6 | (1.7) |
| 1日に1～2回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 7 | (2.2) | 11 | (3.1) |
| 毎食事 | 0 | (0.0) | 6 | (6.4) | 28 | (12.8) | 32 | (10.0) | 43 | (12.2) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 10 | (3.1) | 26 | (7.4) |
| *4 8.早食い・詰め込み・丸のみに対応したケア計画（複数回答） | | | | | | | | | | |
| ゆっくり食べるよう声掛けする | 2 | (100.0) | 5 | (62.5) | 33 | (80.5) | 38 | (71.7) | 35 | (46.1) |
| 器を小分けにして提供する | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (7.3) | 9 | (17.0) | 24 | (31.6) |
| 一品ずつ提供する | 1 | (50.0) | 0 | (0.0) | 3 | (7.3) | 13 | (24.5) | 25 | (32.9) |
| スプーンを小さくするなど食具を変更する | 0 | (0.0) | 2 | (25.0) | 11 | (26.8) | 20 | (37.7) | 28 | (36.8) |
| 食べやすい食形態に変更する | 0 | (0.0) | 1 | (12.5) | 20 | (48.8) | 29 | (54.7) | 34 | (44.7) |
| 誤嚥や窒息の危険がある | 0 | (0.0) | 1 | (12.5) | 5 | (12.2) | 15 | (28.3) | 16 | (21.1) |
| 早食いケアその他 | 0 | (0.0) | 3 | (37.5) | 2 | (4.9) | 1 | (1.9) | 6 | (7.9) |

*1偏食頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したものの人数を分母に割合を算出

*2失行頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3妄想頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したものの人数を分母に割合を算出

*4早食い・詰め込み・丸のみ頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表17-c

| 要介護度別集計(全体・特養・老健) | 老健 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=68 | | 要介護2 n=141 | | 要介護3 n=170 | | 要介護4 n=133 | | 要介護5 n=113 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 認知症関連の徴候・症状 | | | | | | | | | | |
| 5-偏食頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 64 | (94.1) | 136 | (96.5) | 154 | (90.6) | 123 | (92.5) | 104 | (92.0) |
| 週に1～2回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 4 | (2.4) | 2 | (1.5) | 2 | (1.8) |
| 週に3～5回 | 1 | (1.5) | 1 | (0.7) | 1 | (0.6) | 2 | (1.5) | 0 | (0.0) |
| 1日に1～2回 | 2 | (2.9) | 1 | (0.7) | 5 | (2.9) | 2 | (1.5) | 3 | (2.7) |
| 毎食事 | 1 | (1.5) | 2 | (1.4) | 6 | (3.5) | 3 | (2.3) | 2 | (1.8) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 0 | (0.0) | 1 | (0.8) | 2 | (1.8) |
| *1 5.偏食に対応したケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | |
| 食事を促すために声掛けする | 3 | (75.0) | 4 | (100.0) | 16 | (100.0) | 7 | (77.8) | 6 | (85.7) |
| 偏食ケアその他 | 1 | (25.0) | 0 | (0.0) | 1 | (6.3) | 1 | (11.1) | 2 | (28.6) |
| 6-失行頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 67 | (98.5) | 139 | (98.6) | 158 | (92.9) | 117 | (88.0) | 90 | (79.6) |
| 週に1～2回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (1.5) | 3 | (2.7) |
| 週に3～5回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.6) | 1 | (0.8) | 3 | (2.7) |
| 1日に1～2回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (1.2) | 2 | (1.5) | 2 | (1.8) |
| 毎食事 | 1 | (1.5) | 1 | (0.7) | 9 | (5.3) | 11 | (8.3) | 13 | (11.5) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (1.8) |
| *2 6.失行に対応したケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | |
| 手づかみしないよう声掛けする | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 5 | (41.7) | 6 | (37.5) | 5 | (23.8) |
| 主食を食べやすい大きさのおにぎり等にする | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (8.3) | 1 | (6.3) | 2 | (9.5) |
| こぼれないよう | 0 | (0.0) | 1 | (100.0) | 4 | (33.3) | 4 | (25.0) | 8 | (38.1) |
| 食器具の使い方を説明する | 0 | (0.0) | 1 | (100.0) | 6 | (50.0) | 4 | (25.0) | 6 | (28.6) |
| 失行ケアその他 | 1 | (100.0) | 0 | (0.0) | 4 | (33.3) | 4 | (25.0) | 5 | (23.8) |
| 7-妄想頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 66 | (97.1) | 138 | (97.9) | 165 | (97.1) | 128 | (96.2) | 109 | (96.5) |
| 週に1～2回 | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 2 | (1.2) | 2 | (1.5) | 0 | (0.0) |
| 週に3～5回 | 2 | (2.9) | 0 | (0.0) | 1 | (0.6) | 0 | (0.0) | 1 | (0.9) |
| 1日に1～2回 | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 1 | (0.6) | 2 | (1.5) | 1 | (0.9) |
| 毎食事 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.6) | 1 | (0.8) | 0 | (0.0) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (1.8) |
| *3 7.妄想に対応したケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | |
| 食事が安全であることを伝える | 0 | (0.0) | 1 | (50.0) | 2 | (40.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 食事や食器を取り換える | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (40.0) | 0 | (0.0) |
| 好みのものを提供する | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (20.0) | 1 | (20.0) | 1 | (50.0) |
| 妄想ケアその他 | 1 | (50.0) | 1 | (50.0) | 1 | (20.0) | 0 | (0.0) | 1 | (50.0) |
| 8-早食い・詰め込み・丸のみ頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 64 | (94.1) | 129 | (91.5) | 152 | (89.4) | 112 | (84.2) | 80 | (70.8) |
| 週に1～2回 | 0 | (0.0) | 2 | (1.4) | 2 | (1.2) | 2 | (1.5) | 2 | (1.8) |
| 週に3～5回 | 1 | (1.5) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (1.5) | 4 | (3.5) |
| 1日に1～2回 | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 2 | (1.2) | 1 | (0.8) | 2 | (1.8) |
| 毎食事 | 3 | (4.4) | 8 | (5.7) | 14 | (8.2) | 16 | (12.0) | 22 | (19.5) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (2.7) |
| *4 8.早食い・詰め込み・丸のみに対応したケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | |
| ゆっくり食べるよう声掛けする | 3 | (75.0) | 11 | (100.0) | 13 | (72.2) | 15 | (71.4) | 13 | (43.3) |
| 器を小分けにして提供する | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (16.7) | 4 | (19.0) | 5 | (16.7) |
| 一品ずつ提供する | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (5.6) | 4 | (19.0) | 8 | (26.7) |
| スプーンを小さくするなど食具を変更する | 1 | (25.0) | 3 | (27.3) | 8 | (44.4) | 4 | (19.0) | 11 | (36.7) |
| 食べやすい食形態に変更する | 1 | (25.0) | 2 | (18.2) | 6 | (33.3) | 14 | (66.7) | 20 | (66.7) |
| 誤嚥や窒息の危険がある | 1 | (25.0) | 0 | (0.0) | 5 | (27.8) | 8 | (38.1) | 15 | (50.0) |
| 早食いケアその他 | 1 | (25.0) | 1 | (9.1) | 2 | (11.1) | 2 | (9.5) | 4 | (13.3) |

*1偏食頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したものの人数を分母に割合を算出

*2失行頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3妄想頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したものの人数を分母に割合を算出

*4早食い・詰め込み・丸のみ頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表18-a

| 要介護度別集計(全体・特養・老健) | 全体 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=104 | | 要介護2 n=235 | | 要介護3 n=389 | | 要介護4 n=452 | | 要介護5 n=466 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 認知症関連の徴候・症状 | | | | | | | | | | |
| 9-徘徊・多動頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 99 | (95.2) | 225 | (95.7) | 360 | (92.5) | 417 | (92.3) | 422 | (90.6) |
| 週に1～2回 | 1 | (1.0) | 3 | (1.3) | 5 | (1.3) | 9 | (2.0) | 6 | (1.3) |
| 週に3～5回 | 1 | (1.0) | 2 | (0.9) | 5 | (1.3) | 5 | (1.1) | 3 | (0.6) |
| 1日に1～2回 | 1 | (1.0) | 2 | (0.9) | 4 | (1.0) | 7 | (1.5) | 4 | (0.9) |
| 毎食事 | 2 | (1.9) | 2 | (0.9) | 14 | (3.6) | 6 | (1.3) | 5 | (1.1) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 1 | (0.3) | 8 | (1.8) | 26 | (5.6) |
| *1 9.徘徊・多動に対応したケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | |
| 席に着くよう声掛けする | 4 | (80.0) | 6 | (66.7) | 24 | (85.7) | 24 | (88.9) | 14 | (77.8) |
| 徘徊ケアその他 | 0 | (0.0) | 1 | (11.1) | 3 | (10.7) | 2 | (7.4) | 4 | (22.2) |
| 10-盗食頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 99 | (95.2) | 224 | (95.3) | 357 | (91.8) | 421 | (93.1) | 402 | (86.3) |
| 週に1～2回 | 2 | (1.9) | 5 | (2.1) | 15 | (3.9) | 8 | (1.8) | 17 | (3.6) |
| 週に3～5回 | 1 | (1.0) | 3 | (1.3) | 5 | (1.3) | 3 | (0.7) | 4 | (0.9) |
| 1日に1～2回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (0.5) | 1 | (0.2) | 5 | (1.1) |
| 毎食事 | 2 | (1.9) | 0 | (0.0) | 10 | (2.6) | 11 | (2.4) | 11 | (2.4) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 3 | (1.3) | 0 | (0.0) | 8 | (1.8) | 27 | (5.8) |
| *2 10.盗食に対応したケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | |
| 席の間隔をあける | 2 | (40.0) | 4 | (50.0) | 17 | (53.1) | 15 | (65.2) | 21 | (56.8) |
| 盗食しないよう見守る | 3 | (60.0) | 5 | (62.5) | 24 | (75.0) | 14 | (60.9) | 27 | (73.0) |
| 盗食しないよう声掛けする | 1 | (20.0) | 3 | (37.5) | 15 | (46.9) | 9 | (39.1) | 12 | (32.4) |
| 個別の席で食事を提供する | 1 | (20.0) | 0 | (0.0) | 2 | (6.3) | 5 | (21.7) | 7 | (18.9) |
| 盗食ケアその他 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (6.3) | 0 | (0.0) | 1 | (2.7) |
| 11-異食頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 102 | (98.1) | 233 | (99.1) | 372 | (95.6) | 422 | (93.4) | 402 | (86.3) |
| 週に1～2回 | 1 | (1.0) | 1 | (0.4) | 7 | (1.8) | 14 | (3.1) | 18 | (3.9) |
| 週に3～5回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.3) | 0 | (0.0) | 2 | (0.4) |
| 1日に1～2回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.3) | 2 | (0.4) | 5 | (1.1) |
| 毎食事 | 1 | (1.0) | 0 | (0.0) | 8 | (2.1) | 6 | (1.3) | 12 | (2.6) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 0 | (0.0) | 8 | (1.8) | 27 | (5.8) |
| *3 11.異食に対応したケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | |
| 異食しないよう見守る | 2 | (100.0) | 0 | (0.0) | 11 | (64.7) | 11 | (50.0) | 28 | (75.7) |
| 食べられない飾りなどを提供した | 2 | (100.0) | 1 | (100.0) | 6 | (35.3) | 14 | (63.6) | 23 | (62.2) |
| みかんやバナナなどの果物の皮 | 2 | (100.0) | 1 | (100.0) | 8 | (47.1) | 17 | (77.3) | 26 | (70.3) |
| 異食ケアその他 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (5.9) | 1 | (4.5) | 0 | (0.0) |
| 食事中の徴候・症状その他頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 27 | (26.0) | 69 | (29.4) | 82 | (21.1) | 101 | (22.3) | 89 | (19.1) |
| 週に1～2回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.3) | 2 | (0.4) | 0 | (0.0) |
| 週に3～5回 | 1 | (1.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 1日に1～2回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.3) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 毎食事 | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 5 | (1.3) | 6 | (1.3) | 3 | (0.6) |
| (不明) | 76 | (73.1) | 165 | (70.2) | 300 | (77.1) | 343 | (75.9) | 374 | (80.3) |
| 担当職種-認知症関連の徴候・症状 | | | | | | | | | | |
| 管理栄養士 | 79 | (76.0) | 172 | (73.5) | 305 | (78.6) | 371 | (82.1) | 395 | (84.8) |
| 栄養士 | 11 | (10.6) | 11 | (4.7) | 24 | (6.2) | 32 | (7.1) | 21 | (4.5) |
| 医師 | 16 | (15.4) | 22 | (9.4) | 40 | (10.3) | 41 | (9.1) | 25 | (5.4) |
| 歯科医師 | 15 | (14.4) | 18 | (7.7) | 21 | (5.4) | 22 | (4.9) | 15 | (3.2) |
| 看護師 | 23 | (22.1) | 51 | (21.8) | 99 | (25.5) | 128 | (28.3) | 128 | (27.5) |
| 准看護師 | 25 | (24.0) | 57 | (24.4) | 92 | (23.7) | 113 | (25.0) | 122 | (26.2) |
| 介護福祉士 | 72 | (69.2) | 178 | (75.7) | 274 | (70.4) | 307 | (67.9) | 315 | (67.6) |
| 介護士 | 35 | (33.7) | 88 | (37.6) | 151 | (38.9) | 183 | (40.5) | 190 | (40.8) |
| 作業療法士 | 16 | (15.4) | 21 | (9.0) | 34 | (8.8) | 34 | (7.5) | 36 | (7.7) |
| 理学療法士 | 20 | (19.2) | 29 | (12.4) | 38 | (9.8) | 30 | (6.6) | 22 | (4.7) |
| 言語聴覚士 | 4 | (3.8) | 10 | (4.3) | 14 | (3.6) | 14 | (3.1) | 16 | (3.4) |
| 歯科衛生士 | 15 | (14.4) | 19 | (8.1) | 31 | (8.0) | 37 | (8.2) | 38 | (8.2) |

*1徘徊・多動頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したものの人数を分母に割合を算出

*2盗食頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3異食頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表18-b

| 要介護度別集計（全体・特養・老健） | 特養 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=36 | | 要介護2 n=94 | | 要介護3 n=219 | | 要介護4 n=319 | | 要介護5 n=353 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 認知症関連の徴候・症状 | | | | | | | | | | |
| 9-徘徊・多動頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 34 | (94.4) | 90 | (95.7) | 200 | (91.3) | 292 | (91.5) | 314 | (89.0) |
| 週に1～2回 | 1 | (2.8) | 2 | (2.1) | 4 | (1.8) | 8 | (2.5) | 6 | (1.7) |
| 週に3～5回 | 1 | (2.8) | 0 | (0.0) | 4 | (1.8) | 4 | (1.3) | 1 | (0.3) |
| 1日に1～2回 | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 3 | (1.4) | 4 | (1.3) | 4 | (1.1) |
| 毎食事 | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 7 | (3.2) | 3 | (0.9) | 4 | (1.1) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.5) | 8 | (2.5) | 24 | (6.8) |
| *1 9.徘徊・多動に対応したケア計画（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 席に着くよう声掛けする | 2 | (100.0) | 2 | (50.0) | 16 | (88.9) | 18 | (94.7) | 13 | (86.7) |
| 徘徊ケアその他 | 0 | (0.0) | 1 | (25.0) | 2 | (11.1) | 2 | (10.5) | 3 | (20.0) |
| 10-盗食頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 34 | (94.4) | 90 | (95.7) | 193 | (88.1) | 294 | (92.2) | 298 | (84.4) |
| 週に1～2回 | 1 | (2.8) | 2 | (2.1) | 12 | (5.5) | 3 | (0.9) | 15 | (4.2) |
| 週に3～5回 | 1 | (2.8) | 1 | (1.1) | 5 | (2.3) | 2 | (0.6) | 2 | (0.6) |
| 1日に1～2回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (0.9) | 1 | (0.3) | 5 | (1.4) |
| 毎食事 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 7 | (3.2) | 11 | (3.4) | 8 | (2.3) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 0 | (0.0) | 8 | (2.5) | 25 | (7.1) |
| *2 10.盗食に対応したケア計画（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 席の間隔をあける | 1 | (50.0) | 0 | (0.0) | 14 | (53.8) | 12 | (70.6) | 18 | (60.0) |
| 盗食しないよう見守る | 2 | (100.0) | 2 | (66.7) | 18 | (69.2) | 10 | (58.8) | 24 | (80.0) |
| 盗食しないよう声掛けする | 1 | (50.0) | 1 | (33.3) | 13 | (50.0) | 9 | (52.9) | 11 | (36.7) |
| 個別の席で食事を提供する | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (7.7) | 3 | (17.6) | 3 | (10.0) |
| 盗食ケアその他 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (7.7) | 0 | (0.0) | 1 | (3.3) |
| 11-異食頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 35 | (97.2) | 93 | (98.9) | 205 | (93.6) | 289 | (90.6) | 296 | (83.9) |
| 週に1～2回 | 1 | (2.8) | 1 | (1.1) | 6 | (2.7) | 14 | (4.4) | 16 | (4.5) |
| 週に3～5回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.5) | 0 | (0.0) | 2 | (0.6) |
| 1日に1～2回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.5) | 2 | (0.6) | 3 | (0.8) |
| 毎食事 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 6 | (2.7) | 6 | (1.9) | 11 | (3.1) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 8 | (2.5) | 25 | (7.1) |
| *3 11.異食に対応したケア計画（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 異食しないよう見守る | 1 | (100.0) | 0 | (0.0) | 9 | (64.3) | 11 | (50.0) | 23 | (71.9) |
| 食べられない飾りなどを提供した | 1 | (100.0) | 1 | (100.0) | 4 | (28.6) | 14 | (63.6) | 20 | (62.5) |
| みかんやバナナなどの果物の皮 | 1 | (100.0) | 1 | (100.0) | 6 | (42.9) | 17 | (77.3) | 23 | (71.9) |
| 異食ケアその他 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (7.1) | 1 | (4.5) | 0 | (0.0) |
| 食事中の徴候・症状その他頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 8 | (22.2) | 25 | (26.6) | 41 | (18.7) | 73 | (22.9) | 73 | (20.7) |
| 週に1～2回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 週に3～5回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 5 | (1.6) | 2 | (0.6) |
| 1日に1～2回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.5) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 毎食事 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 3 | (1.4) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| （不明） | 28 | (77.8) | 69 | (73.4) | 174 | (79.5) | 241 | (75.5) | 278 | (78.8) |
| 担当職種-認知症関連の徴候・症状 | | | | | | | | | | |
| 管理栄養士 | 28 | (77.8) | 76 | (80.9) | 183 | (83.9) | 266 | (83.4) | 306 | (86.7) |
| 栄養士 | 3 | (8.3) | 5 | (5.3) | 12 | (5.5) | 19 | (6.0) | 10 | (2.8) |
| 医師 | 0 | (0.0) | 4 | (4.3) | 17 | (7.8) | 19 | (6.0) | 6 | (1.7) |
| 歯科医師 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 看護師 | 7 | (19.4) | 25 | (26.6) | 63 | (28.9) | 89 | (27.9) | 89 | (25.2) |
| 准看護師 | 6 | (16.7) | 24 | (25.5) | 49 | (22.5) | 61 | (19.1) | 81 | (22.9) |
| 介護福祉士 | 23 | (63.9) | 66 | (70.2) | 144 | (66.1) | 199 | (62.4) | 229 | (64.9) |
| 介護士 | 12 | (33.3) | 39 | (41.5) | 82 | (37.6) | 122 | (38.2) | 142 | (40.2) |
| 作業療法士 | 0 | (0.0) | 2 | (2.1) | 11 | (5.0) | 11 | (3.4) | 17 | (4.8) |
| 理学療法士 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 言語聴覚士 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 歯科衛生士 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 7 | (3.2) | 14 | (4.4) | 20 | (5.7) |

*1徘徊・多動頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したものの人数を分母に割合を算出

*2盗食頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3異食頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表18-c

| 要介護度別集計（全体・特養・老健） | 老健 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=68 | | 要介護2 n=141 | | 要介護3 n=170 | | 要介護4 n=133 | | 要介護5 n=113 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 認知症関連の徴候・症状 | | | | | | | | | | |
| 9-徘徊・多動頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 65 | (95.6) | 135 | (95.7) | 160 | (94.1) | 125 | (94.0) | 108 | (95.6) |
| 週に1～2回 | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 1 | (0.6) | 1 | (0.8) | 0 | (0.0) |
| 週に3～5回 | 0 | (0.0) | 2 | (1.4) | 1 | (0.6) | 1 | (0.8) | 2 | (1.8) |
| 1日に1～2回 | 1 | (1.5) | 1 | (0.7) | 1 | (0.6) | 3 | (2.3) | 0 | (0.0) |
| 毎食事 | 2 | (2.9) | 1 | (0.7) | 7 | (4.1) | 3 | (2.3) | 1 | (0.9) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (1.8) |
| *1 9.徘徊・多動に対応したケア計画（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 席に着くよう声掛けする | 2 | (66.7) | 4 | (80.0) | 8 | (80.0) | 6 | (75.0) | 1 | (33.3) |
| 徘徊ケアその他 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (10.0) | 0 | (0.0) | 1 | (33.3) |
| 10-盗食頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 65 | (95.6) | 134 | (95.0) | 164 | (96.5) | 127 | (95.5) | 104 | (92.0) |
| 週に1～2回 | 1 | (1.5) | 3 | (2.1) | 3 | (1.8) | 5 | (3.8) | 2 | (1.8) |
| 週に3～5回 | 0 | (0.0) | 2 | (1.4) | 0 | (0.0) | 1 | (0.8) | 2 | (1.8) |
| 1日に1～2回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 毎食事 | 2 | (2.9) | 0 | (0.0) | 3 | (1.8) | 0 | (0.0) | 3 | (2.7) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 2 | (1.4) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (1.8) |
| *2 10.盗食に対応したケア計画（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 席の間隔をあける | 1 | (33.3) | 4 | (80.0) | 3 | (50.0) | 3 | (50.0) | 3 | (42.9) |
| 盗食しないよう見守る | 1 | (33.3) | 3 | (60.0) | 6 | (100.0) | 4 | (66.7) | 3 | (42.9) |
| 盗食しないよう声掛けする | 0 | (0.0) | 2 | (40.0) | 2 | (33.3) | 0 | (0.0) | 1 | (14.3) |
| 個別の席で食事を提供する | 1 | (33.3) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (33.3) | 4 | (57.1) |
| 盗食ケアその他 | 3 | (100.0) | 5 | (100.0) | 6 | (100.0) | 6 | (100.0) | 7 | (100.0) |
| 11-異食頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 67 | (98.5) | 140 | (99.3) | 167 | (98.2) | 133 | (100.0) | 106 | (93.8) |
| 週に1～2回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.6) | 0 | (0.0) | 2 | (1.8) |
| 週に3～5回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 1日に1～2回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (1.8) |
| 毎食事 | 1 | (1.5) | 0 | (0.0) | 2 | (1.2) | 0 | (0.0) | 1 | (0.9) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (1.8) |
| *3 11.異食に対応したケア計画（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 異食しないよう見守る | 1 | (100.0) | 0 | (0.0) | 2 | (66.7) | 0 | (0.0) | 5 | (100.0) |
| 食べられない飾りなどを提供した | 1 | (100.0) | 0 | (0.0) | 2 | (66.7) | 0 | (0.0) | 3 | (60.0) |
| みかんやバナナなどの果物の皮 | 1 | (100.0) | 0 | (0.0) | 2 | (66.7) | 0 | (0.0) | 3 | (60.0) |
| 異食ケアその他 | 1 | (100.0) | 0 | (0.0) | 3 | (100.0) | 0 | (0.0) | 5 | (100.0) |
| 食事中の徴候・症状その他頻度 | | | | | | | | | | |
| 全くない | 19 | (27.9) | 44 | (31.2) | 41 | (24.1) | 28 | (21.1) | 16 | (14.2) |
| 週に1～2回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.6) | 2 | (1.5) | 0 | (0.0) |
| 週に3～5回 | 1 | (1.5) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 1日に1～2回 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 毎食事 | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 2 | (1.2) | 1 | (0.8) | 1 | (0.9) |
| （不明） | 48 | (70.6) | 96 | (68.1) | 126 | (74.1) | 102 | (76.7) | 96 | (85.0) |
| 担当職種-認知症関連の徴候・症状 | | | | | | | | | | |
| 管理栄養士 | 51 | (75.0) | 96 | (68.6) | 122 | (71.8) | 105 | (78.9) | 89 | (78.8) |
| 栄養士 | 8 | (11.8) | 6 | (4.3) | 12 | (7.1) | 13 | (9.8) | 11 | (9.7) |
| 医師 | 16 | (23.5) | 18 | (12.9) | 23 | (13.5) | 22 | (16.5) | 19 | (16.8) |
| 歯科医師 | 15 | (22.1) | 18 | (12.9) | 21 | (12.4) | 22 | (16.5) | 15 | (13.3) |
| 看護師 | 16 | (23.5) | 26 | (18.6) | 36 | (21.2) | 39 | (29.3) | 39 | (34.5) |
| 准看護師 | 19 | (27.9) | 33 | (23.6) | 43 | (25.3) | 52 | (39.1) | 41 | (36.3) |
| 介護福祉士 | 49 | (72.1) | 112 | (79.4) | 130 | (76.5) | 108 | (81.2) | 86 | (76.1) |
| 介護士 | 23 | (33.8) | 49 | (35.0) | 69 | (40.6) | 61 | (45.9) | 48 | (42.5) |
| 作業療法士 | 16 | (23.5) | 19 | (13.6) | 23 | (13.5) | 23 | (17.3) | 19 | (16.8) |
| 理学療法士 | 20 | (29.4) | 29 | (20.7) | 38 | (22.4) | 30 | (22.6) | 22 | (19.5) |
| 言語聴覚士 | 4 | (5.9) | 10 | (7.1) | 14 | (8.2) | 14 | (10.5) | 16 | (14.2) |
| 歯科衛生士 | 15 | (22.1) | 19 | (13.6) | 24 | (14.1) | 23 | (17.3) | 18 | (15.9) |

*1徘徊・多動頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したものの人数を分母に割合を算出

*2盗食頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したものの人数を分母に割合を算出

*3異食頻度で「週に1～2回, 週に3～5回, 1日に1～2回, 毎食事」と回答したものの人数を分母に割合を算出

別表19-a

| 要介護度別集計(全体・特養・老健) | 全体 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=104 | | 要介護2 n=235 | | 要介護3 n=389 | | 要介護4 n=452 | | 要介護5 n=466 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 脱水状態である | 4 | (3.8) | 4 | (1.7) | 19 | (4.9) | 35 | (7.7) | 41 | (8.8) |
| 脱水の問題内容(複数回答) | | | | | | | | | | |
| 体重が3%以上低下 | 2 | (1.9) | 1 | (0.4) | 11 | (2.8) | 21 | (4.6) | 17 | (3.6) |
| 手足が以前に比べ冷たくなった | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 4 | (1.0) | 17 | (3.8) | 9 | (1.9) |
| 手の甲をつまんだ跡が | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 4 | (1.0) | 10 | (2.2) | 12 | (2.6) |
| 舌が乾いていてでこぼこがある | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.3) | 1 | (0.2) | 2 | (0.4) |
| 指の爪を押して白色から | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (0.5) | 9 | (2.0) | 3 | (0.6) |
| 原因不明の微熱が続く | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 0 | (0.0) | 2 | (0.4) | 4 | (0.9) |
| 脈拍が100/分以上ある | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 2 | (0.5) | 0 | (0.0) | 1 | (0.2) |
| 尿量が減少した | 2 | (1.9) | 1 | (0.4) | 2 | (0.5) | 10 | (2.2) | 7 | (1.5) |
| 脱水に対応して実施しているケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | |
| 尿量の確認 | 5 | (4.8) | 10 | (4.3) | 23 | (5.9) | 46 | (10.2) | 49 | (10.5) |
| 食事量の確認 | 32 | (30.8) | 64 | (27.2) | 110 | (28.3) | 137 | (30.3) | 135 | (29.0) |
| 水分補給量の確認 | 30 | (28.8) | 57 | (24.3) | 102 | (26.2) | 134 | (29.6) | 137 | (29.4) |
| 必要補給水分量の算出 | 9 | (8.7) | 13 | (5.6) | 22 | (5.7) | 34 | (7.5) | 26 | (5.6) |
| 適切な食事摂取計画の立案 | 23 | (22.1) | 38 | (16.2) | 62 | (16.0) | 79 | (17.5) | 84 | (18.0) |
| 適切な飲水補給計画の立案 | 10 | (9.6) | 15 | (6.4) | 39 | (10.1) | 56 | (12.4) | 68 | (14.6) |
| とろみ剤の有無 | 0 | (0.0) | 8 | (3.4) | 14 | (3.6) | 31 | (6.9) | 40 | (8.6) |
| *1 とろみ段階 | | | | | | | | | | |
| うすい | 0 | (0.0) | 1 | (12.5) | 3 | (21.4) | 7 | (22.6) | 6 | (15.0) |
| 中間 | 0 | (0.0) | 5 | (62.5) | 11 | (78.6) | 19 | (61.3) | 26 | (65.0) |
| 濃い | 0 | (0.0) | 1 | (12.5) | 0 | (0.0) | 3 | (9.7) | 8 | (20.0) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 1 | (12.5) | 0 | (0.0) | 2 | (6.5) | 0 | (0.0) |
| 定期的な体重計測の実施 | 25 | (24.0) | 61 | (26.0) | 107 | (27.6) | 129 | (28.5) | 132 | (28.3) |
| 血圧・脈圧計測 | 28 | (26.9) | 56 | (23.8) | 87 | (22.4) | 103 | (22.8) | 94 | (20.2) |
| 採血によるNaイオン濃度測定 | 16 | (15.4) | 11 | (4.7) | 19 | (4.9) | 17 | (3.8) | 19 | (4.1) |
| 輸液療法を実施 | 3 | (2.9) | 10 | (4.3) | 12 | (3.1) | 12 | (2.7) | 18 | (3.9) |
| 経口補水療法を実施 | 4 | (3.8) | 15 | (6.4) | 14 | (3.6) | 19 | (4.2) | 19 | (4.1) |
| 脱水ケアその他 | 0 | (0.0) | 2 | (0.9) | 1 | (0.3) | 4 | (0.9) | 1 | (0.2) |
| 溢水状態(低ナトリウム血症)である | 2 | (1.9) | 7 | (3.0) | 25 | (6.4) | 26 | (5.8) | 25 | (5.4) |
| 溢水の問題内容(複数回答) | | | | | | | | | | |
| 立位、座位でも頸静脈が怒張 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 体重が3%以上増加 | 0 | (0.0) | 5 | (2.1) | 9 | (2.3) | 5 | (1.1) | 9 | (1.9) |
| 意識の異常が生じた | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.3) | 2 | (0.4) | 0 | (0.0) |
| 浮腫がある | 2 | (1.9) | 7 | (3.0) | 23 | (5.9) | 27 | (6.0) | 16 | (3.4) |
| 尿量が増加 | 0 | (0.0) | 1 | (0.4) | 0 | (0.0) | 1 | (0.2) | 2 | (0.4) |
| 尿量の確認 | 2 | (1.9) | 8 | (3.4) | 15 | (3.9) | 28 | (6.2) | 36 | (7.7) |
| 食事量の確認 | 26 | (25.0) | 61 | (26.1) | 101 | (26.0) | 120 | (26.5) | 128 | (27.5) |
| 水分補給量の確認 | 24 | (23.1) | 53 | (22.6) | 93 | (24.0) | 117 | (25.9) | 128 | (27.5) |
| 必要補給水分量の算出 | 9 | (8.7) | 11 | (4.7) | 15 | (3.9) | 25 | (5.5) | 27 | (5.8) |
| 適切な食事摂取計画の立案 | 21 | (20.2) | 35 | (15.0) | 57 | (14.7) | 71 | (15.7) | 80 | (17.2) |
| 適切な飲水補給計画の立案 | 10 | (9.6) | 14 | (6.0) | 34 | (8.8) | 54 | (11.9) | 67 | (14.4) |
| とろみ剤の有無 | 0 | (0.0) | 7 | (3.0) | 14 | (3.6) | 21 | (4.6) | 36 | (7.7) |
| *1 とろみ段階 | | | | | | | | | | |
| うすい | 0 | (0.0) | 1 | (14.3) | 4 | (28.6) | 6 | (28.6) | 4 | (11.1) |
| 中間 | 0 | (0.0) | 5 | (71.4) | 10 | (71.4) | 12 | (57.1) | 25 | (69.4) |
| 濃い | 0 | (0.0) | 1 | (14.3) | 0 | (0.0) | 2 | (9.5) | 7 | (19.4) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (4.8) | 0 | (0.0) |
| 溢水に対応して実施しているケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | |
| 定期的な体重計測の実施 | 23 | (22.1) | 63 | (26.9) | 104 | (26.8) | 115 | (25.4) | 118 | (25.3) |
| 血圧・脈圧計測 | 24 | (23.1) | 56 | (23.9) | 84 | (21.6) | 96 | (21.2) | 90 | (19.3) |
| 採血によるNaイオン濃度測定 | 17 | (16.3) | 14 | (6.0) | 19 | (4.9) | 26 | (5.8) | 20 | (4.3) |
| 胸部レントゲン撮影 | 10 | (9.6) | 12 | (5.1) | 30 | (7.7) | 24 | (5.3) | 31 | (6.7) |
| 血清アルブミン値測定 | 20 | (19.2) | 33 | (14.1) | 57 | (14.7) | 46 | (10.2) | 44 | (9.4) |
| 溢水ケアその他 | 0 | (0.0) | 2 | (0.9) | 9 | (2.3) | 4 | (0.9) | 2 | (0.4) |
| 担当職種-脱水,溢水 | | | | | | | | | | |
| 管理栄養士 | 86 | (82.7) | 188 | (80.0) | 313 | (80.5) | 384 | (85.0) | 403 | (86.5) |
| 栄養士 | 11 | (10.6) | 11 | (4.7) | 26 | (6.7) | 33 | (7.3) | 22 | (4.7) |
| 医師 | 26 | (25.0) | 43 | (18.4) | 60 | (15.5) | 71 | (15.7) | 55 | (11.8) |
| 歯科医師 | 16 | (15.4) | 17 | (7.3) | 18 | (4.6) | 21 | (4.6) | 17 | (3.6) |
| 看護師 | 49 | (47.1) | 110 | (47.0) | 188 | (48.5) | 215 | (47.6) | 229 | (49.1) |
| 准看護師 | 31 | (29.8) | 71 | (30.3) | 100 | (25.8) | 116 | (25.7) | 129 | (27.7) |
| 介護福祉士 | 44 | (42.3) | 90 | (38.5) | 156 | (40.2) | 188 | (41.6) | 210 | (45.1) |
| 介護士 | 37 | (35.6) | 75 | (32.1) | 118 | (30.4) | 156 | (34.5) | 147 | (31.5) |
| 作業療法士 | 20 | (19.2) | 23 | (9.8) | 32 | (8.2) | 35 | (7.7) | 45 | (9.7) |
| 理学療法士 | 19 | (18.3) | 20 | (8.5) | 20 | (5.2) | 25 | (5.5) | 18 | (3.9) |
| 言語聴覚士 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.3) | 1 | (0.2) | 3 | (0.6) |
| 歯科衛生士 | 16 | (15.4) | 18 | (7.7) | 27 | (7.0) | 39 | (8.6) | 43 | (9.2) |

*1:とろみ剤使用の人数を分母に割合を算出

別表19-b

| 要介護度別集計(全体・特養・老健) | 特養 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 要介護1 n=36 | | 要介護2 n=94 | | 要介護3 n=219 | | 要介護4 n=319 | | 要介護5 n=353 | |
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 脱水状態である | 2 | (5.6) | 2 | (2.1) | 14 | (6.4) | 30 | (9.4) | 35 | (9.9) |
| 脱水の問題内容(複数回答) | | | | | | | | | | |
| 体重が3%以上低下 | 2 | (5.6) | 1 | (1.1) | 9 | (4.1) | 17 | (5.3) | 14 | (4.0) |
| 手足が以前に比べ冷たくなった | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 4 | (1.8) | 15 | (4.7) | 8 | (2.3) |
| 手の甲をつまんだ跡が | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 4 | (1.8) | 9 | (2.8) | 11 | (3.1) |
| 舌が乾いていてでこぼこがある | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.5) | 1 | (0.3) | 2 | (0.6) |
| 指の爪を押して白色から | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (0.9) | 7 | (2.2) | 3 | (0.8) |
| 原因不明の微熱が続く | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 0 | (0.0) | 2 | (0.6) | 3 | (0.8) |
| 脈拍が100/分以上ある | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.3) |
| 尿量が減少した | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 7 | (2.2) | 3 | (0.8) |
| 脱水に対応して実施しているケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | |
| 尿量の確認 | 2 | (5.6) | 6 | (6.4) | 18 | (8.3) | 40 | (12.5) | 44 | (12.5) |
| 食事量の確認 | 12 | (33.3) | 34 | (36.2) | 69 | (31.7) | 91 | (28.5) | 96 | (27.2) |
| 水分補給量の確認 | 10 | (27.8) | 33 | (35.1) | 64 | (29.4) | 90 | (28.2) | 100 | (28.3) |
| 必要補給水分量の算出 | 2 | (5.6) | 6 | (6.4) | 17 | (7.8) | 26 | (8.2) | 21 | (5.9) |
| 適切な食事摂取計画の立案 | 4 | (11.1) | 17 | (18.1) | 35 | (16.1) | 56 | (17.6) | 64 | (18.1) |
| 適切な飲水補給計画の立案 | 2 | (5.6) | 6 | (6.4) | 21 | (9.6) | 34 | (10.7) | 46 | (13.0) |
| とろみ剤の有無 | 0 | (0.0) | 6 | (6.4) | 6 | (2.8) | 18 | (5.6) | 17 | (4.8) |
| *1 とろみ段階 | | | | | | | | | | |
| うすい | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (16.7) | 4 | (22.2) | 2 | (11.8) |
| 中間 | 0 | (0.0) | 5 | (83.3) | 5 | (83.3) | 12 | (66.7) | 14 | (82.4) |
| 濃い | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (5.9) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 1 | (16.7) | 0 | (0.0) | 2 | (11.1) | 0 | (0.0) |
| 定期的な体重計測の実施 | 10 | (27.8) | 33 | (35.1) | 67 | (30.7) | 84 | (26.3) | 95 | (26.9) |
| 血圧・脈圧計測 | 8 | (22.2) | 27 | (28.7) | 49 | (22.5) | 59 | (18.5) | 58 | (16.4) |
| 採血によるNaイオン濃度測定 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.3) |
| 輸液療法を実施 | 2 | (5.6) | 10 | (10.6) | 10 | (4.6) | 12 | (3.8) | 16 | (4.5) |
| 経口補水療法を実施 | 2 | (5.6) | 13 | (13.8) | 11 | (5.0) | 18 | (5.6) | 16 | (4.5) |
| 脱水ケアその他 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.3) | 0 | (0.0) |
| 溢水状態(低ナトリウム血症)である | 1 | (2.8) | 2 | (2.1) | 13 | (6.0) | 18 | (5.6) | 19 | (5.4) |
| 溢水の問題内容(複数回答) | | | | | | | | | | |
| 立位、座位でも頸静脈が怒張 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 体重が3%以上増加 | 0 | (0.0) | 3 | (3.2) | 7 | (3.2) | 4 | (1.3) | 9 | (2.5) |
| 意識の異常が生じた | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.5) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 浮腫がある | 1 | (2.8) | 2 | (2.1) | 11 | (5.0) | 16 | (5.0) | 11 | (3.1) |
| 尿量が増加 | 0 | (0.0) | 1 | (1.1) | 0 | (0.0) | 1 | (0.3) | 0 | (0.0) |
| 尿量の確認 | 2 | (5.6) | 6 | (6.4) | 15 | (6.9) | 26 | (8.2) | 34 | (9.6) |
| 食事量の確認 | 10 | (27.8) | 33 | (35.1) | 63 | (28.9) | 77 | (24.1) | 89 | (25.2) |
| 水分補給量の確認 | 8 | (22.2) | 32 | (34.0) | 59 | (27.1) | 76 | (23.8) | 91 | (25.8) |
| 必要補給水分量の算出 | 2 | (5.6) | 6 | (6.4) | 10 | (4.6) | 19 | (6.0) | 22 | (6.2) |
| 適切な食事摂取計画の立案 | 5 | (13.9) | 17 | (18.1) | 30 | (13.8) | 49 | (15.4) | 62 | (17.6) |
| 適切な飲水補給計画の立案 | 2 | (5.6) | 6 | (6.4) | 20 | (9.2) | 35 | (11.0) | 48 | (13.6) |
| とろみ剤の有無 | 0 | (0.0) | 5 | (5.3) | 7 | (3.2) | 10 | (3.1) | 16 | (4.5) |
| *1 とろみ段階 | | | | | | | | | | |
| うすい | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (28.6) | 4 | (40.0) | 1 | (6.3) |
| 中間 | 0 | (0.0) | 5 | (100.0) | 5 | (71.4) | 5 | (50.0) | 14 | (87.5) |
| 濃い | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (6.3) |
| (不明) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (10.0) | 0 | (0.0) |
| 溢水に対応して実施しているケア計画(複数回答) | | | | | | | | | | |
| 定期的な体重計測の実施 | 10 | (27.8) | 33 | (35.1) | 61 | (28.0) | 74 | (23.2) | 84 | (23.8) |
| 血圧・脈圧計測 | 8 | (22.2) | 29 | (30.9) | 49 | (22.5) | 55 | (17.2) | 56 | (15.9) |
| 採血によるNaイオン濃度測定 | 1 | (2.8) | 1 | (1.1) | 1 | (0.5) | 4 | (1.3) | 0 | (0.0) |
| 胸部レントゲン撮影 | 4 | (11.1) | 6 | (6.4) | 19 | (8.7) | 12 | (3.8) | 20 | (5.7) |
| 血清アルブミン値測定 | 4 | (11.1) | 12 | (12.8) | 31 | (14.2) | 21 | (6.6) | 23 | (6.5) |
| 溢水ケアその他 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.5) | 1 | (0.3) | 0 | (0.0) |
| 担当職種-脱水,溢水 | | | | | | | | | | |
| 管理栄養士 | 32 | (88.9) | 78 | (83.0) | 189 | (86.7) | 272 | (85.3) | 308 | (87.3) |
| 栄養士 | 3 | (8.3) | 5 | (5.3) | 14 | (6.4) | 20 | (6.3) | 11 | (3.1) |
| 医師 | 2 | (5.6) | 13 | (13.8) | 28 | (12.8) | 34 | (10.7) | 24 | (6.8) |
| 歯科医師 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.3) |
| 看護師 | 10 | (27.8) | 41 | (43.6) | 104 | (47.7) | 136 | (42.6) | 156 | (44.2) |
| 准看護師 | 7 | (19.4) | 25 | (26.6) | 51 | (23.4) | 64 | (20.1) | 84 | (23.8) |
| 介護福祉士 | 16 | (44.4) | 44 | (46.8) | 101 | (46.3) | 134 | (42.0) | 166 | (47.0) |
| 介護士 | 12 | (33.3) | 37 | (39.4) | 75 | (34.4) | 103 | (32.3) | 101 | (28.6) |
| 作業療法士 | 0 | (0.0) | 2 | (2.1) | 11 | (5.0) | 10 | (3.1) | 27 | (7.6) |
| 理学療法士 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 言語聴覚士 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 歯科衛生士 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 8 | (3.7) | 15 | (4.7) | 23 | (6.5) |

*1:とろみ剤使用の人数を分母に割合を算出

別表19-c

| 要介護度別集計（全体・特養・老健） | 老健 要介護1 n=68 | | 要介護2 n=141 | | 要介護3 n=170 | | 要介護4 n=133 | | 要介護5 n=113 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) | n | (%) |
| 脱水状態である | 2 | (2.9) | 2 | (1.4) | 5 | (2.9) | 5 | (3.8) | 6 | (5.3) |
| 脱水の問題内容（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 体重が3%以上低下 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (1.2) | 4 | (3.0) | 3 | (2.7) |
| 手足が以前に比べ冷たくなった | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 0 | (0.0) | 2 | (1.5) | 1 | (0.9) |
| 手の甲をつまんだ跡が | 0 | (0.0) | 1 | (0.7) | 0 | (0.0) | 1 | (0.8) | 1 | (0.9) |
| 舌が乾いていてでこぼこがある | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 指の爪を押して白色から | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (1.5) | 0 | (0.0) |
| 原因不明の微熱が続く | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.9) |
| 脈拍が100/分以上ある | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (1.2) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 尿量が減少した | 2 | (2.9) | 1 | (0.7) | 2 | (1.2) | 3 | (2.3) | 4 | (3.5) |
| 脱水に対応して実施しているケア計画（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 尿量の確認 | 3 | (4.4) | 4 | (2.9) | 5 | (2.9) | 6 | (4.5) | 5 | (4.4) |
| 食事量の確認 | 20 | (29.4) | 30 | (21.3) | 41 | (24.1) | 46 | (34.6) | 39 | (34.5) |
| 水分補給量の確認 | 20 | (29.4) | 24 | (17.0) | 38 | (22.4) | 44 | (33.1) | 37 | (32.7) |
| 必要補給水分量の算出 | 7 | (10.3) | 7 | (5.0) | 5 | (2.9) | 8 | (6.0) | 5 | (4.4) |
| 適切な食事摂取計画の立案 | 19 | (27.9) | 21 | (15.0) | 27 | (15.9) | 23 | (17.3) | 20 | (17.7) |
| 適切な飲水補給計画の立案 | 8 | (11.8) | 9 | (6.4) | 18 | (10.6) | 22 | (16.5) | 22 | (19.5) |
| とろみ剤の有無 | 0 | (0.0) | 2 | (1.4) | 8 | (4.7) | 13 | (9.8) | 23 | (20.4) |
| *1 とろみ段階 | | | | | | | | | | |
| うすい | 0 | (0.0) | 1 | (50.0) | 2 | (25.0) | 3 | (23.1) | 4 | (17.4) |
| 中間 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 6 | (75.0) | 7 | (53.8) | 12 | (52.2) |
| 濃い | 0 | (0.0) | 1 | (50.0) | 0 | (0.0) | 3 | (23.1) | 7 | (30.4) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 定期的な体重計測の実施 | 15 | (22.1) | 28 | (19.9) | 40 | (23.5) | 45 | (33.8) | 37 | (32.7) |
| 血圧・脈圧計測 | 20 | (29.4) | 29 | (20.6) | 38 | (22.4) | 44 | (33.1) | 36 | (31.9) |
| 採血によるNaイオン濃度測定 | 16 | (23.5) | 11 | (7.9) | 19 | (11.2) | 17 | (12.8) | 18 | (15.9) |
| 輸液療法を実施 | 1 | (1.5) | 0 | (0.0) | 2 | (1.2) | 0 | (0.0) | 2 | (1.8) |
| 経口補水療法を実施 | 2 | (2.9) | 2 | (1.4) | 3 | (1.8) | 1 | (0.8) | 3 | (2.7) |
| 脱水ケアその他 | 0 | (0.0) | 2 | (1.4) | 1 | (0.6) | 3 | (2.3) | 1 | (0.9) |
| 溢水状態（低ナトリウム血症）である | 1 | (1.5) | 5 | (3.6) | 12 | (7.1) | 8 | (6.0) | 6 | (5.3) |
| 溢水の問題内容（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 立位、座位でも頸静脈が怒張 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 体重が3%以上増加 | 0 | (0.0) | 2 | (1.4) | 2 | (1.2) | 1 | (0.8) | 0 | (0.0) |
| 意識の異常が生じた | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (1.5) | 0 | (0.0) |
| 浮腫がある | 1 | (1.5) | 5 | (3.6) | 12 | (7.1) | 11 | (8.3) | 5 | (4.4) |
| 尿量が増加 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 2 | (1.8) |
| 尿量の確認 | 0 | (0.0) | 2 | (1.4) | 0 | (0.0) | 2 | (1.5) | 2 | (1.8) |
| 食事量の確認 | 16 | (23.5) | 28 | (20.0) | 38 | (22.4) | 43 | (32.3) | 39 | (34.5) |
| 水分補給量の確認 | 16 | (23.5) | 21 | (15.0) | 34 | (20.0) | 41 | (30.8) | 37 | (32.7) |
| 必要補給水分量の算出 | 7 | (10.3) | 5 | (3.6) | 5 | (2.9) | 6 | (4.5) | 5 | (4.4) |
| 適切な食事摂取計画の立案 | 16 | (23.5) | 18 | (12.9) | 27 | (15.9) | 22 | (16.5) | 18 | (15.9) |
| 適切な飲水補給計画の立案 | 8 | (11.8) | 8 | (5.7) | 14 | (8.2) | 19 | (14.3) | 19 | (16.8) |
| とろみ剤の有無 | 0 | (0.0) | 2 | (1.4) | 7 | (4.1) | 11 | (8.3) | 20 | (17.7) |
| *1 とろみ段階 | | | | | | | | | | |
| うすい | 0 | (0.0) | 1 | (50.0) | 2 | (28.6) | 2 | (18.2) | 3 | (15.0) |
| 中間 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 5 | (71.4) | 7 | (63.6) | 11 | (55.0) |
| 濃い | 0 | (0.0) | 1 | (50.0) | 0 | (0.0) | 2 | (18.2) | 6 | (30.0) |
| （不明） | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) |
| 溢水に対応して実施しているケア計画（複数回答） | | | | | | | | | | |
| 定期的な体重計測の実施 | 13 | (19.1) | 30 | (21.4) | 43 | (25.3) | 41 | (30.8) | 34 | (30.1) |
| 血圧・脈圧計測 | 16 | (23.5) | 27 | (19.3) | 35 | (20.6) | 41 | (30.8) | 34 | (30.1) |
| 採血によるNaイオン濃度測定 | 16 | (23.5) | 13 | (9.3) | 18 | (10.6) | 22 | (16.5) | 20 | (17.7) |
| 胸部レントゲン撮影 | 6 | (8.8) | 6 | (4.3) | 11 | (6.5) | 12 | (9.0) | 11 | (9.7) |
| 血清アルブミン値測定 | 16 | (23.5) | 21 | (15.0) | 26 | (15.3) | 25 | (18.8) | 21 | (18.6) |
| 溢水ケアその他 | 0 | (0.0) | 2 | (1.4) | 8 | (4.7) | 3 | (2.3) | 2 | (1.8) |
| 担当職種-脱水,溢水 | | | | | | | | | | |
| 管理栄養士 | 54 | (79.4) | 110 | (78.0) | 124 | (72.9) | 112 | (84.2) | 95 | (84.1) |
| 栄養士 | 8 | (11.8) | 6 | (4.3) | 12 | (7.1) | 13 | (9.8) | 11 | (9.7) |
| 医師 | 24 | (35.3) | 30 | (21.4) | 32 | (18.8) | 37 | (27.8) | 31 | (27.4) |
| 歯科医師 | 16 | (23.5) | 17 | (12.1) | 18 | (10.6) | 21 | (15.8) | 16 | (14.2) |
| 看護師 | 39 | (57.4) | 69 | (49.3) | 84 | (49.4) | 79 | (59.4) | 73 | (64.6) |
| 准看護師 | 24 | (35.3) | 46 | (32.9) | 49 | (28.8) | 52 | (39.1) | 45 | (39.8) |
| 介護福祉士 | 28 | (41.2) | 46 | (32.9) | 55 | (32.4) | 54 | (40.6) | 44 | (38.9) |
| 介護士 | 25 | (36.8) | 38 | (27.1) | 43 | (25.3) | 53 | (39.8) | 46 | (40.7) |
| 作業療法士 | 20 | (29.4) | 21 | (14.9) | 21 | (12.4) | 25 | (18.8) | 18 | (15.9) |
| 理学療法士 | 19 | (27.9) | 20 | (14.3) | 20 | (11.8) | 25 | (18.8) | 18 | (15.9) |
| 言語聴覚士 | 0 | (0.0) | 0 | (0.0) | 1 | (0.6) | 1 | (0.8) | 3 | (2.7) |
| 歯科衛生士 | 16 | (23.5) | 18 | (12.9) | 19 | (11.2) | 24 | (18.0) | 20 | (17.7) |

*1:とろみ剤使用の人数を分母に割合を算出

平成 25 年度老人保健事業推進等補助金(老人保健健康増進等事業分)
―介護保険施設における要介護高齢者の摂食嚥下評価のための簡易スクリーニング、
栄養ケア・マネジメントのためのアセスメント･モニタリング表および栄養ケア計画試案による実態調査―

# 施設調査票

記入日　平成25年　　月　　日

施設ID　　記入者の職名(どちらかに○印)　管理栄養士･その他(　　)

1. 調査日の前月の施設概要についてご記入下さい。

(1)施設の種類で該当するものの番号に○印をつけ、定員数をご記入下さい。

① 介護老人福祉施設 (定員数＿＿＿床)　② 介護老人保健施設 (定員数＿＿＿床)
③ 短期生活介護 (定員数＿＿＿床)

(2)調査日の前月の入所者の人数と要介護度別人数の内訳をご記入下さい。0 の場合は0とご記入ください。

**①現在の入所人数**
**(　　人)**

| | |
|---|---|
| a.要介護1 | 人 |
| b.要介護2 | 人 |
| c.要介護3 | 人 |
| d.要介護4 | 人 |
| e.要介護5 | 人 |
| f. その他 | 人 |
| 理由(　　) | |

(3)調査日の前月 1 か月間の下記の人数を記載して下さい。0 の場合は0とご記入ください。

①新入所者 (　　)人　②入院中の者(　　)人　③入院した者(　　)人
④自宅への退所者(　　)人　⑤死亡者(　　)人
⑥施設において看取った者(　　)人　⑦⑥のうち経口摂取を最後まで維持して看取った者(　　)人
⑧経管栄養の者(　　)人 (内容:経鼻(　　)人･ 胃瘻･腸瘻(PEG)(　　)人･静脈(　　)人

2. 調査日の前月の職種の人員構成をご記入下さい。非常勤は、常勤換算人数でご記入下さい。0 の場合は0とご記入ください。

| 職種 | a.常勤 | b.非常勤 | | a.常勤 | b.非常勤 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1)管理栄養士 | 人 | 人 | 7)介護福祉士 | 人 | 人 |
| 2)栄養士 | 人 | 人 | 8)介護士 | 人 | 人 |
| 3)医　師 | 人 | 人 | 9)理学療法士 | 人 | 人 |
| 4)歯科医師 | 人 | 人 | 10)作業療法士 | 人 | 人 |
| 5)看護師 | 人 | 人 | 11)言語聴覚士 | 人 | 人 |
| 6)准看護師 | 人 | 人 | 12)歯科衛生士 | 人 | 人 |

3. 調査日の前月の加算請求の有無について回答し、有りの場合には調査月の請求件数をご記入下さい。0 件の場合は 0 とご記入下さい。

| | | |
|---|---|---|
| ①栄養マネジメント (　　)件 | | |
| ②経口移行　無･有(　　)件 | ③経口維持Ⅰ　無･有 (　　)件 | ④経口維持Ⅱ　無･有 (　　)件 |
| ⑤看取り　無･有(　　)件 | ⑥ターミナル　無･有(　　)件 | |
| ⑦加算請求をしていない看取りの件数(　　)件 | | |

4. 貴施設に歯科医師が訪問歯科診療するおおよその頻度について該当する番号に1つに○印を付けて下さい。

①月 2 回以上　②月 1 回　③2～3 か月に 1 回　④4～6 か月に 1 回　⑤年 1 回　⑥ほとんどない

5. 経口移行や経口維持加算を請求していない施設の方のみご回答ください。経口移行及び経口維持加算を請求していない理由について該当する番号に○印を付けて下さい。(複数回答可)

| | |
|---|---|
| 1)経口移行について | ① 必要性を感じていない　② 対象者がいない　③VE・VFによる嚥下の評価が困難<br>④ ③以外の嚥下の評価が困難　⑤ 個別の食事対応が出来ない<br>⑥ 医師・歯科医師の指示が得られにくい<br>⑦ 人員不足（具体的に　　）<br>⑧ その他（具体的に　　） |
| 2)経口維持Ⅰについて | ① 必要性を感じていない　② 対象者がいない　③VE・VFによる嚥下の評価が困難<br>④ ③以外の嚥下の評価が困難　⑤ 個別の食事対応が出来ない<br>⑥ 医師・歯科医師の指示が得られにくい<br>⑦ 人員不足（具体的に　　）<br>⑧ その他（具体的に　　） |
| 3)経口維持Ⅱについて | ① 必要性を感じていない　② 対象者がいない　③嚥下の評価が困難<br>④ 個別の食事対応が出来ない　⑤ 医師・歯科医師の指示が得られにくい<br>⑥ 人員不足（具体的に　　）<br>⑧⑦ その他（具体的に　　） |

6. 調査日の前月の療養食加算の請求件数(1 か月間の総数)についてご記入下さい。0 件の場合は 0 とご記入下さい。

| | | | |
|---|---|---|---|
| ①糖尿病食 | 件 | ⑥膵臓病食 | 件 |
| ②腎臓病食(心臓疾患を含む) | 件 | ⑦脂質異常症食 | 件 |
| ③肝臓病食 | 件 | ⑧痛風食 | 件 |
| ④胃潰瘍食(流動食は除く) | 件 | ⑨検査食 | 件 |
| ⑤貧血食 | 件 | | |

7. 通所サービスについてご記入下さい。

(1)調査月の前月の併設の通所サービスの種類について該当する番号に○印を付けて下さい。

① 通所リハビリテーション　② 介護予防通所リハビリテーション　③ 通所介護　④ 介護予防通所介護
⑤ ①～④は併設していない

(2)併設している通所サービスの栄養改善加算について、該当する項目に○印を付けて、調査日の前月の加算請求件数をご記入下さい(請求件数が 0 件の場合は 0 と記入)。また、栄養改善を担当している管理栄養士の所属について該当する項目に○印を付けてください。

1)登録　無・有　　2)加算請求　無・　有　⇒　a.請求件数　　件
b.担当管理栄養士の所属(該当するものに○)
①　専任(常勤)　②専任(非常勤)　③兼任(常勤)　④兼任(非常勤)

8．調査月の前月 1 か月間の管理栄養士の食事時の観察（ミールラウンド）について該当する番号に○印をつけてください。できている場合には、週当たりの頻度を 1 つ選んで○印をつけてください。

1．全くできなかった　2．できている⇒
(週の頻度　①週に 1～2 回　②週に 3～4 回　③週に 5～6 回、④毎日)

９．貴施設で飲料にとろみをつける場合について回答してください。
(1)　段階わけはありますか。以下のどちらかに〇印をつけてください。

１．基本的に、とろみ剤に記述されている量を使用する　　２．段階わけをしている

(2)　２．段階わけをしていると回答した場合は、下記に示す日本摂食・嚥下リハビリテーション学会の嚥下調整食における分類に貴施設での名称がどう対応するかを記載してください。

| | | 性状の説明（飲んだとき） | 性状の説明（見たとき） | 貴施設での名称 | 貴施設での特性、定義等 |
|---|---|---|---|---|---|
| （例） | | | | ヨーグルト状 | お茶100mlに一包（3g）を使用 |
| 段階1 | 薄いとろみ | 「drink」するという表現が適切なとろみの程度。口に入れると口腔内に広がる。液体の種類・味や温度によっては，とろみがついていることがあまり気にならない場合もある。飲み込む際に大きな力を要しない。ストローで容易に吸うことができる。 | スプーンを傾けるとすっと流れおちる。フォークの歯の間から素早く流れ落ちる。カップを傾け、流れ出た後には、うっすらと跡が残る程度の付着 | | |
| 段階2 | 中間のとろみ | 明らかにとろみがある感じがありかつ、「drink」するという表現が適切なとろみの程度。口腔内での動態はゆっくりですぐには広がらない。舌の上でまとめやすい。ストローで吸うのは抵抗がある。 | スプーンを傾けるととろとろと流れる。フォークの歯の間からゆっくりと流れ落ちる。カップを傾け，流れ出た後には，全体にコーテイングしたように付着 | | |
| 段階3 | 濃いとろみ | 明らかにとろみがついている。まとまりが良い。送り込むのに力が必要。スプーンで「eat」するという表現が適切なとろみの程度。ストローで吸うことは困難。 | スプーンを傾けても，形状がある程度保たれ，流れにくい。フォークの歯の間から流れでない。カップを傾けても流れ出ない（ゆっくりと塊となって落ちる） | | |

10．については、協力の同意を頂いた施設には、同協力責任者の管理栄養士各位に７，８の記載用のエクセルファイルを事務局からメールの添付ファイルでお送りさせていただきます。
**対象者の栄養スクリーニング・アセスメント・モニタリング・栄養ケア計画調査票には，『日本摂食・嚥下リハビリテーション学会の嚥下調整食』の９のとろみ剤の段階と 10 の嚥下調整食分類のコードを用いて回答をお願いいたします。**
**回答が終わりましたら、見直しをしてください。対象者の栄養スクリーニング・アセスメント・モニタリング・栄養ケア計画調査票等と一緒に事務局へご返送ください。**

## 10.

日本摂食・嚥下リハビリテーション学会による嚥下調整食基準を下記に示しています。
貴施設での食形態がどこに対応するか、施設で使用している名称とその特徴、例、定義等を例に従って記載してください。
嚥下調整食基準の1つの名称に施設で使用している名称が2種類該当する場合は、2種類記載して結構です。
貴病院の分類で、該当するものがない場合は、「該当なし」、この食種が必要な場合、既存の分類はなく個別対応となるのであれば「個別対応」と記載してください。
嚥下調整食基準のいずれにも該当しない食形態については、下の方の「その他」の欄にご記入ください。

| コード | 名称 | 形態 | 目的・特色 | 主食の例 | 必要な咀嚼能力 | 他の分類との対応 | 貴施設での名称 | 例示、定義等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| （例） | | | | | | | 移行食 | 舌で押しつぶせる固さでつぶした時に職階が砕けてバラける形状 |
| 0J | 嚥下訓練食品j | 均質で，付着性・凝集性・硬さに配慮したゼリー、離水が少なく、スライス状にすくうことが可能なもの | 重度の症例に評価も含め訓練する段階。少量をすくってそのまま丸のみ可能。残留した場合にも吸引が容易。たんぱく質含有量が少ない。 | | （若干の送り込み能力） | 嚥下食ピラミッドL0、嚥下困難者用食品許可基準Ⅰ | | |
| 0T | 嚥下訓練食品t | 均質で，付着性・凝集性・硬さに配慮したとろみ水。（原則的には，中間のとろみあるいは濃いとろみのどちらかが適している | 重症の症例に対する評価・訓練用。少量ずつ飲むことを想定。ゼリー丸呑みで誤嚥したりゼリーが口中で溶けてしまう場合。たんぱく質含有量が少ない。 | | （若干の送り込み能力） | 嚥下食ピラミッドL3の一部。（とろみ水） | | |
| 1J | 嚥下調整食1j | 均質で，付着性，凝集性，硬さ、離水に配慮したゼリー・プリン・ムース状のもの | 口腔外で既に適切な食塊状となっている。（少量をすくってそのまま丸のみ可能）送り込む際に多少意識して口蓋に舌を押しつける必要がある | おもゆゼリー、ミキサー粥のゼリーなど | （若干の食塊保持と送り込み能力） | 嚥下食ピラミッドL1・L2、嚥下困難者用食品許可基準Ⅱ（UDF区分4（ゼリー状）） | | |
| 2A | 嚥下調整食2 | ピューレ・ペースト・ミキサー食など，均質でなめらかで、べたつかず，まとまりやすいもの。スプーンですくって食べることが可能なもの | 口腔内の簡単な操作で食塊状となるもの（咽頭では残留，誤嚥をしにくいように配慮したもの） | 粒がなく、付着性の低いペースト状のおもゆや粥 | （下顎と下の運動による食塊形成能力及び食塊保持能力） | 嚥下食ピラミッドL3、嚥下困難者用食品許可基準Ⅱ・Ⅲ、UDF区分4 | | |
| 2B | 嚥下調整食2 | ピューレ・ペースト・ミキサー食などで，べたつかず，まとまりやすいもので、不均質なものも含む。スプーンですくって食べることが可能なもの | | やや不均質（粒がある）でもやわらかく、離水もなく付着性も低い粥類 | （下顎と下の運動による食塊形成能力及び食塊保持能力） | | | |
| 3 | 嚥下調整食3 | 形があり、押しつぶしが容易、食塊形成や移送が容易，咽頭でばらけず嚥下しやすさに配慮されたもの、多量の離水がない | 舌と口蓋間で押しつぶしが可能なもの。押しつぶしや送り込みの口腔操作を要し（あるいそれらの機能を賦活し），かつ誤嚥のリスク軽減に配慮がなされているもの。 | 離水に配慮した粥など | 舌と口蓋間の押しつぶし能力以上 | 嚥下食ピラミッドL4、高齢者ソフト食、UDF区分3 | | |
| 4 | 嚥下調整食4 | 硬さ・ばらけやすさ・貼りつきやすさなどがなく箸やスプーンで切れるやわらかさ | 誤嚥と窒息のリスクを配慮して素材と調理方法を選んだもの。歯がなくても対応可能だが，上下の歯槽提間で押しつぶすあるいはすりつぶすことが必要で舌と口蓋間で押しつぶすことは困難。 | 軟飯・全粥など | 上下の歯槽提間の押しつぶし能力以上 | 嚥下食ピラミッドL4、高齢者ソフト食、UDF区分1・2 | | |

UDF:ユニバーサルデザインフード

嚥下や咀嚼が困難な方に、上記で記入いただいた嚥下調整食の分類以外に、刻みなどの対応をしていますか
はい　　いいえ
「はい」の場合は、貴施設での名称、どのようなものか、嚥下・咀嚼のどちらが困難な方に使用しているかについてご記入ください。

| 貴施設での名称 | おおよその大きさ | 常食より柔らかく煮るか | ピューレやあんかけにするか | 嚥下が困難な方への使用 | 咀嚼が困難な方への使用 |
|---|---|---|---|---|---|
| （例）あら刻み | 1～2cm角 | （はい）・いいえ | （はい）・いいえ | （あり）・なし | （あり）・なし |
| | | はい・いいえ | はい・いいえ | あり・なし | あり・なし |
| | | はい・いいえ | はい・いいえ | あり・なし | あり・なし |
| | | はい・いいえ | はい・いいえ | あり・なし | あり・なし |
| | | はい・いいえ | はい・いいえ | あり・なし | あり・なし |
| | | はい・いいえ | はい・いいえ | あり・なし | あり・なし |
| | | はい・いいえ | はい・いいえ | あり・なし | あり・なし |

# 栄養スクリーニング・アセスメント・モニタリング・栄養ケア計画調査票

**Ⅰ.基本的事項について**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 施設 ID | | □男 □女 | 歳 要介護度 □1 □2 □3 □4 □5 | |
| 利用者 ID | | 現在の加算取得 | □経□移行 □経□維持Ⅰ □経□維持Ⅱ<br>□看取り □ターミナル | 作成： 年 月 日 |
| 療養食加算 | □無 □有（□糖尿病食 □腎臓病食 □肝臓病食 □胃潰瘍食 □貧血食 □膵臓病食 □高脂血症食<br>□痛風食 □特別な場合の検査食） | | | |
| 疾患名(複数回答) | | | | |
| 認知症 | □無 □有（認知症の日常生活活動度：□Ⅰ □Ⅱ □Ⅱa □Ⅱb □Ⅲ □Ⅲa □Ⅲb □Ⅳ □M ） □不明 | | | |
| 常用医薬品名(複数回答) | | | | |
| 今年の 1 月からの熱発(38 度以上) | □無 □有（□1-3 回 □4-5 回 □7 回以上）回 □不明 | | | |
| 今年の 1 月からの肺炎既往 | □無 □有（平成 25 年 月 ） | | | |
| 今年の 1 月からの入院 | □無 □有（ ）回（理由 ） | | | |
| ここ1ヶ月くらいの健康・平穏状態は？ | □ 非常に健康・平穏だと思う □ まあ健康・平穏だと思う □ あまり健康・平穏ではない<br>□ 全く健康・平穏ではない □ 不明 | | | |
| 本人の食べることへの意欲 | □ よい □ まあよい □ ふつう □ あまりよくない □ よくない | | | |
| 摂食・嚥下能力のグレード評価 | ■ 該当するグレードにチェックして下さい | | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| Ⅰ 重症 | 経口不可 | □ Gr.1 | 嚥下困難または不能 |
| | | □ Gr.2 | 基礎的嚥下訓練のみ可能 |
| | | □ Gr.3 | 厳密な条件下の摂食訓練が可能 |
| Ⅱ 中等症 | 経口と補助栄養 | □ Gr.4 | 楽しみとしての摂食が可能 |
| | | □ Gr.5 | 一部（1～2 食）経口摂取 |
| | | □ Gr.6 | 3 食経口摂取プラス補助栄養 |
| Ⅲ 軽症 | 経口のみ | □ Gr.7 | 嚥下調整食で，3 食とも経口摂取 |
| | | □ Gr.8 | 特別嚥下しにくい食品（パサつくもの，堅いもの、水など）を除き，3 食経口摂取 |
| | | □ Gr.9 | 普通食の経口摂取可能<br>ただし、臨床的観察（ムセなど）と指導（姿勢など）が必要 |
| Ⅳ 正常 | | □ Gr.10 | 正常の摂食・嚥下能力 |

| | |
|---|---|
| 自分の歯の状態(義歯を外した状態で自分の歯を数える。) | □開口不能等のため不明 □自分の歯がある＿＿＿本 □自分の歯がない |
| 義歯の状態 | □義歯をしている □義歯をしていない |
| 食事が終わるまでの時間 | □15 分程度 □30 分程度 □45 分程度 □1 時間以上 |
| 摂食方法 | □自力摂取（はし／スプーン） □自力摂取（自助具使用） □部分介助・全面介助 |
| 食べる姿勢 | □座位 □60～90° 挙上 □30～45° 挙上 □0～15° 挙上 |
| 看取りための計画作成 | □無 □有（開始された時期： 月 日頃） |

| | |
|---|---|
| 基本的生活動作（Barthel Index） | ■該当する点数に○をつけて下さい。10 項目の合計得点が Barthel Index の得点です。 |

| 設問 | 点数 | 質・内容 | 得点 |
|---|---|---|---|
| 1食事 | 10 | 自立、自助具などの装着可、標準的時間内に食べ終える | |
| | 5 | 部分介助（たとえば、おかずを切って細かくしてもらう） | |
| | 0 | 全介助 | |
| 2車椅子からベッドへの移動 | 15 | 自立、ブレーキ、フットレストの操作も含む（非行自立も含む） | |
| | 10 | 軽度の部分介助または監視を要する | |
| | 5 | 座ることは可能であるがほぼ全介助 | |
| | 0 | 全介助または不可能 | |
| 3整容 | 5 | 自立（洗面、整髪、歯磨き、ひげ剃り） | |
| | 0 | 部分介助または不可能 | |
| 4トイレ動作 | 10 | 自・、衣服の操作、後始末を含む、ポータブル便器などを使用している場合はその洗浄も含む | |
| | 5 | 部分介助、体を支える、衣服、後始末に介助を要する | |
| | 0 | 全介助または不可能 | |
| 5入浴 | 5 | 自立 | |
| | 0 | 部分介助または不可能 | |
| 6歩行 | 15 | 45m以上の歩行、補装具(車椅子、歩行器は除く)の使用の有無は問わない | |
| | 10 | 45m以上の介助歩行、歩行器の使用を含む | |
| | 5 | 歩行不能の場合、車椅子にて45M以上の操作可能 | |
| | 0 | 上記以外 | |
| 7階段昇降 | 10 | 自立、手すりなどの使用の有無は問わない | |
| | 5 | 介助または監視を要する | |
| | 0 | 不能 | |
| 8着替え | 10 | 自立、靴、ファスナー、装具の着脱を含む | |
| | 5 | 部分介助、標準的な・間内、半分以上は自分で行える | |
| | 0 | 上記以外 | |
| 9排便コントロール | 10 | 失禁なし、浣腸、坐薬の取り扱いも可能 | |
| | 5 | ときに失禁あり、浣腸、坐薬の取り扱いに介助を要する者も含む | |
| | 0 | 上記以外 | |
| 10排尿コントロール | 10 | 失禁なし、収尿器の取り扱いも可能 | |
| | 5 | ときに失禁あり、収尿器の取り扱いに介助を要する者も含む | |
| | 0 | 上記以外 | |
| | | 合計点（記入しなくてもよい） | |

## Ⅱ.低栄養状態のリスクレベルとその状況・食事について

| | | | |
|---|---|---|---|
| 低栄養状態のリスクレベル　□低　□中　□高 | 身長　(cm) | 体重　（kg） | BMI　kg／m$^2$ |
| 3%以上の体重減少　□無 □有（　kg/　ヶ月） | 血清アルブミン値（g/dl）　□無 □有（　(g/dl)） | | |
| 褥瘡　□無　□有 | 栄養補給法　□経腸栄養法 □静脈栄養法 | | |
| 食事摂取量　（　）(%)<br>・主食の摂取量　（　）(%)<br>・主菜の摂取量　（　）(%)<br>・副菜の摂取量　（　）(%)<br>・その他（補助食品など）<br>（　） | 食事形態（摂食嚥下リハビリテション学会 2013 食事早見表を用いて記載のこと）<br><br>主食：□常食　□嚥下調整食（□0J　□0T　□1J　□2A　□2B　□3　□4）<br>副食：□常食　□嚥下調整食（□0J　□0T　□1J　□2A　□2B　□3　□4）<br><br>とろみ剤：□無　□有（段階　□うすい　□中間　□濃い） | | |

**Ⅲ.摂食・嚥下障害リスクとケア計画について　（ここ３か月の間、食事中に次の症状がどの程度あらわれましたか？　また、対応して実施するケア計画は何ですか？**

| 食事中にあらわれる諸症状 | ほとんどない | まれにある | 時々ある | いつもある | 点数 | 対応して実施した（する）ケア計画（複数回答） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1．噛むことが困難である | 0 | 1 | 2 | 3 | | □ 口腔ケア<br>□ 歯科受診<br>□ 義歯の管理（清潔に、装着し、乾燥させない）<br>□ 食形態の変更<br>主食　□常食　□嚥下調整食（□0J　□OT　□1J　□2A　□2B　□3　□4）<br>副食　□常食　□嚥下調整食（□0J　□OT　□1J　□2A　□2B　□3　□4）<br>とろみ剤　□無　□有（段階　□うすい　□中間　□濃い） |
| 2．硬い食べ物を避け、軟らかい食べ物ばかり食べる | 0 | 1 | 2 | 3 | | |
| 3．口から食べ物がこぼれる | 0 | 1 | 2 | 3 | | □ 食事前のアイスマッサージ<br>□ 話す機会を作る<br>□ 食形態の変更<br>主食　□常食　□嚥下調整食（□0J　□OT　□1J　□2A　□2B　□3　□4）<br>副食　□常食　□嚥下調整食（□0J　□OT　□1J　□2A　□2B　□3　□4）<br>とろみ剤　□無　□有（段階　□うすい　□中間　□濃い） |
| 4.ことばが明瞭でない | 0 | 1 | 2 | 3 | | |
| 5.食べ物をいつまでも飲み込まずに噛んでいる | 0 | 1 | 2 | 3 | | □ 顎を軽く引いて嚥下を促す<br>□ 空嚥下を行う<br>□ 食形態の変更<br>主食　□常食　□嚥下調整食（□0J　□OT　□1J　□2A　□2B　□3　□4）<br>副食　□常食　□嚥下調整食（□0J　□OT　□1J　□2A　□2B　□3　□4）<br>とろみ剤　□無　□有（段階　□うすい　□中間　□濃い） |
| 6.食事中や食後に濁った声に変わる | 0 | 1 | 2 | 3 | | |
| 7.食べるのが遅くなる | 0 | 1 | 2 | 3 | | |
| 8.水分や食べ物が口に入ったとたんにむせたり、せきこんだりする | 0 | 1 | 2 | 3 | | □ 食事前のアイスマッサージ<br>□ 頭位、体位の調整<br>□ 食塊の進行を遅らすために、増粘剤を使用する<br>□ 食形態の変更<br>主食　□常食　□嚥下調整食（□0J　□OT　□1J　□2A　□2B　□3　□4）<br>副食　□常食　□嚥下調整食（□0J　□OT　□1J　□2A　□2B　□3　□4）<br>とろみ剤　□無　□有（段階　□うすい　□中間　□濃い） |
| 9.水分や食べ物を飲み込む時にむせたり、せきこんだりする | 0 | 1 | 2 | 3 | | □ 頭位、体位の調整<br>□ 食塊の進行を遅らすために、増粘剤を使用する。<br>□ 食形態の変更<br>主食　□常食　□嚥下調整食（□0J　□OT　□1J　□2A　□2B　□3　□4）<br>副食　□常食　□嚥下調整食（□0J　□OT　□1J　□2A　□2B　□3　□4）<br>とろみ剤　□無　□有（段階　□うすい　□中間　□濃い） |
| 10.水分や食べ物を飲み込んだ後にむせたり、せきこんだりする | 0 | 1 | 2 | 3 | | □ 食物と液体を交互に嚥下する。<br>□ 息をこらえて嚥下し、嚥下後すぐに息を吐く方法（Supraglottic Swallow）を行う。<br>□ 食形態の変更<br>主食　□常食　□嚥下調整食（□0J　□OT　□1J　□2A　□2B　□3　□4）<br>副食　□常食　□嚥下調整食（□0J　□OT　□1J　□2A　□2B　□3　□4）<br>とろみ剤　□無　□有（段階　□うすい　□中間　□濃い） |
| 11.水分を飲み込むときにむせる | 0 | 1 | 2 | 3 | | □ 頭位、体位の調整<br>□ 増粘剤の使用<br>□ 食形態の変更<br>主食　□常食　□嚥下調整食（□0J　□OT　□1J　□2A　□2B　□3　□4）<br>副食　□常食　□嚥下調整食（□0J　□OT　□1J　□2A　□2B　□3　□4）<br>とろみ剤　□無　□有（段階　□うすい　□中間　□濃い） |
| 12.ご飯を飲み込むときにむせる | 0 | 1 | 2 | 3 | | |
| 13.口に水をふくむことができない | 0 | 1 | 2 | 3 | | □ 体位の調整<br>□ 増粘剤の使用<br>□ 食形態の変更<br>主食　□常食　□嚥下調整食（□0J　□OT　□1J　□2A　□2B　□3　□4）<br>副食　□常食　□嚥下調整食（□0J　□OT　□1J　□2A　□2B　□3　□4）<br>とろみ剤　□無　□有（段階　□うすい　□中間　□濃い） |
| 14.口に水をふくむことはできるが、口からこぼれる | 0 | 1 | 2 | 3 | | |
| 15.口に水をふくむことはできるが、口内にためておけない | 0 | 1 | 2 | 3 | | |
| 合計点数 | | | | | | |

担当職種：　□管理栄養士　□栄養士　□医師　□歯科医師　□看護師　□准看護師　□介護福祉士　□介護士　□OT　□PT　□言語聴覚士　□歯科衛生士

## Ⅳ. 口腔のアセスメントとケア計画について（対応して実施するケア計画）

食事の時や口腔ケア時に観察して記入してください。

| | 問題の有無 | | 問題の内容<br>該当する項目にチェックする（複数回答） | 対応して実施した（する）<br>ケア計画（複数回答） |
|---|---|---|---|---|
| | 無 | 有 | | |
| 1．口腔乾燥 | □ | □ | □ a. 2種以上の薬を服用している。<br>□ b. 口呼吸をしている。<br>□ c. 口が開いている時間が長い。 | ①専門的口腔ケア<br>②歯科医師・歯科衛生士による介護職への指導<br>③口腔ケア<br>④保湿 |
| 2．開口 | □ | □ | □ a. 口を開けることができない、拒否する。<br>□ b. 口が開きにくい。<br>□ c. 口から食べていない。 | ①専門的口腔ケア<br>②歯科医師・歯科衛生士による介護職への指導<br>③口腔ケア |
| 3．うがい<br>（うがいをしていない場合はaにチェックしてこの項目は終了です。日常的にうがいをしている場合のみ観察して記入して下さい。） | □ | □ | □ a. 日常的にうがいはしていない。<br>□ b. がらがらうがいができない。<br>□ c. ぶくぶくうがいができない。<br>□ d. がらがらうがい時にむせることがある。<br>□ e. ぶくぶくうがい時にむせることがある。 | |
| 4．咀嚼力<br>（頬に触れることを拒否する場合はaにチェックしてこの項目は終了です。食事の時に耳の下の頬を軽く指先で触れて筋肉の硬さを確認して記入してください。） | □ | □ | □ a. 頬に触れることを拒否する。<br>□ b. 咀嚼時に右の咬筋が硬くならない。<br>□ c. 咀嚼時に左の咬筋が硬くならない。 | ①専門的口腔ケア<br>②咀嚼機能訓練<br>③歯科受診 |
| 5．口臭と口の中の問題<br>（口を開けることができないまたは拒否する場合はb.にチェックしてこの項目は終了です。口腔ケアの際に観察できる範囲で記入してください。） | □ | □ | □ a. 強い口臭がある。<br>□ b. 口を開けることができない、拒否する。<br>□ c. 口の中に汚れや食べかすがある。<br>□ d. グラグラする歯や大きなむし歯がある。<br>□ e. 義歯がはずれやすい。<br>□ f. 義歯を取り外していない。<br>□ g. 歯肉が赤く腫れている。<br>□ h. 口内炎がある。 | ①専門的口腔ケア<br>②歯科医師・歯科衛生士による介護職への指導<br>③口腔ケア<br>④歯科受診 |
| 担当職種(複数回答) | □管理栄養士　□栄養士　□医師　□歯科医師　□看護師　□准看護師　□介護福祉士　□介護士　□OT　□PT　□言語聴覚士　□歯科衛生士 | | | |

①専門的口腔ケア：歯科医師・歯科衛生士による口腔ケア　③口腔ケア：介護職による日常的な口腔ケア

## Ⅴ．食事中の兆候・症状を観察して、該当した問題がありましたか？　また、対応して実施したケア計画は何ですか

| 姿勢 | 問題の有無<br>無 | 有 | 対応して実施した（する）ケア計画<br>(複数回答) |
|---|---|---|---|
| 1.座位保持困難（例、まっすぐ座ることができない、横・前・後ろにたおれる） | □ | □ | □ 摂食動作・姿勢の評価<br>□ 座席・テーブル調整<br>□ 食事姿勢の調整 |
| 2．クッションなどの支えがあっても座位保持困難 | □ | □ | |
| 3.いすやテーブルの高さが合っていない | □ | □ | |
| 4.食べるときに下顎が出る | □ | □ | |

| 認知症関連の徴候・症状(1) | 1 全くない | 2 週に1-2回 | 3 週に3-5回 | 4 1日に1-2回 | 5 毎食みられる | 対応して実施したケア計画（複数回答） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1．傾眠 | □ | □ | □ | □ | □ | □ 覚醒を促すため声掛けする<br>□ 覚醒を促すためにボディータッチする<br>□ 声掛けして覚醒状態を確認し、自力摂取を促す<br>□ 覚醒状態を確認し、食事介助する<br>□ 食事時の姿勢を保持する<br>□ 薬剤について確認し、副作用の可能性を報告する<br>□ 食事の時間を覚醒時に変更する<br>□ その他（　　） |

| 認知症関連の徴候・症状⑵ | 1 全くない | 2 週に1-2回 | 3 週に3-5回 | 4 1日に1-2回 | 5 毎食みられる | 対応して実施したケア計画（複数回答） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2.食事の失認 | □ | □ | □ | □ | □ | □ 「食事ですよ」と声掛けする<br>□ 声掛けをしながら一皿ずつ順番に提供する<br>□ 食事時間を知らせる<br>□ 食器の色を変更する（○色から○色へ）<br>□ スプーンや箸を直接手にもたせ、最初の一口を食べてもらう（介助して食べてもらう）<br>その他<br>（ ） |
| 3. 興奮・大声・暴言・暴力 | □ | □ | □ | □ | □ | □ 興奮状態をなだめるために声掛けする<br>□ 傾聴する<br>□ 落ち着いている時間に食事を提供する<br>□ 静かな別室など落ち着く食事環境を提供する<br>□ その他（ ） |
| 4 拒食 | □ | □ | □ | □ | □ | □ お気に入りのものを置いたり、本人の食器を用いたり、本人の落ち着く環境を提供する<br>□ 好みのものを提供する<br>□ 食事の匂いにより食欲を刺激する（ご飯の炊けるにおいや味噌汁、コーヒー等）<br>□ その他（ ） |
| 5 偏食 | □ | □ | □ | □ | □ | □ 食事を促すため声掛けする<br>□ その他（ ） |
| 6 .失行 | □ | □ | □ | □ | □ | □ 手づかみしないよう声掛けする<br>□ 主食を食べやすい大きさのおにぎり等にする<br>□ こぼれないよう安定した食器を使用する<br>□ 食器具の使い方を説明する<br>□ その他（ ） |
| 7 .妄想 | □ | □ | □ | □ | □ | □ 食事が安全であることを伝える<br>□ 食事や食器を取り換える<br>□ 好みのものを提供する<br>□ その他（ ） |
| 8. 早食い・詰め込み・丸呑み | □ | □ | □ | □ | □ | □ ゆっくり食べるよう声掛けする<br>□ 器を小分けにして提供する<br>□ 一品ずつ提供する<br>□ スプーンを小さくするなど食具を変更する<br>□ 食べやすい食形態に変更する<br>□ 誤嚥や窒息の危険がある食品を除去する（サラダ菜、パセリ、しその葉、海苔等）<br>□ その他（ ） |
| 9. 徘徊・多動 | □ | □ | □ | □ | □ | □ 席に着くように声掛けする<br>□ その他（ ） |
| 10. 盗食 | □ | □ | □ | □ | □ | □ 席の間隔をあける<br>□ 盗食しないよう見守る<br>□ 盗食しないよう声掛けする<br>□ 個別の席で食事を提供する<br>□ その他（ ） |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 11　.異食 | □ | □ | □ | □ | □ | □ 異食しないよう見守る<br>□ 食べられない飾りなどを提供しない（バラン、銀カップ、調味料入れ等）<br>□ みかんやバナナなどの果物の皮を剥いて提供する<br>□ その他（　　） |
| 12.その他<br>（　　） | □ | □ | □ | □ | □ | |
| 担当職種(複数回答) | | | □管理栄養士　□栄養士　□医師　□歯科医師　□看護師　□准看護師　□介護福祉士　□介護士　□OT　□PT　□言語聴覚士　□歯科衛生士 | | | |

**Ⅵ．脱水・溢（いっ）水の状態と対応して実施している、あるいは実施するケア計画について記入してください。**
**食事の時等に観察して記入してください。**

| | 問題の有無 | | 問題の内容<br>該当する項目にチェックする<br>（複数回答） | 対応して実施している、あるいは<br>実施するケア計画（複数回答） |
|---|---|---|---|---|
| | 無 | 有 | | |
| 1．脱水状態 | □ | □ | □ a. 体重が3%以上低下した<br>□ b. 手足が以前に比べて冷たくなった<br>□ c. 手の甲をつまんだ跡が３秒以上（めやす）残る<br>□ d. 舌が渇いて、でこぼこがある<br>□ e. 指の爪を押して白色からピンク色になるまでの時間が３秒以上<br>□ f. 原因不明の微熱が続く<br>□ g. 脈拍が100/分以上ある<br>□ h. 尿量が減少した | □ 尿量の確認<br>□ 食事量の確認<br>□ 水分補給量の確認<br>□ 必要補給水分量の算出(体重×40ml － 食事中の水分量)<br>□ 適切な食事摂取計画の立案<br>□ 適切な飲水補給計画の立案（８回程度/日）<br>（　　ml/回×　　回）<br>とろみ剤 □無 □有（段階 □うすい □中間　□濃い）<br>□ 定期的な体重計測の実施<br>□ 血圧・脈拍計測<br>□ 採血によりナトリウムイオン濃度の測定<br>（　　mEq/ｌ）<br>□ 輸液療法を実施<br>□ 経口補水療法を実施<br>その他(　　) |
| 2．溢水状態<br>(低ナトリウム血症) | □ | □ | □　a. 立位、座位でも頸静脈が怒張<br>□　b. 体重が3%以上増加した<br>□　c. 意識の異常が生じた<br>□　d. 浮腫がある<br>□　e. 尿量が増加した | □ 尿量の確認<br>□ 食事量の確認<br>□ 水分補給量の確認<br>□ 必要補給水分量の算出(体重×40ml―食事中の水分量)<br>□ 適切な食事摂取計画の立案<br>□ 適切な飲水補給計画の立案（８回程度/日）<br>（　　ml/回×　　回）<br>とろみ剤 □無 □有（段階 □うすい □中間　□濃い）<br>□ 定期的な体重計測の実施<br>□ 血圧・脈拍計測<br>□ 採血によりナトリウムイオン濃度の測定(低ナトリウムの確認,　　mEq/l)<br>□ 胸部レントゲン撮影<br>□ 血清アルブミン濃度の測定（　　g/dl)<br>その他（　　） |
| 担当職種<br>(複数回答) | □管理栄養士　□栄養士　□医師　□歯科医師　□看護師　□准看護師　□介護福祉士　□介護士<br>□OT　　□PT　□言語聴覚士　□歯科衛生士 | | | |

特記事項やご意見などご自由にご記載ください。

平成25年度老人保健事業推進等補助金（老人保健健康増進等事業分）

『施設入居者に対する栄養管理、口腔管理のあり方に関する調査研究』
介護保険施設における摂食･嚥下機能が低下した高齢者の「食べること」支援のための栄養ケア･マネジメントのあり方に関する研究―介護保険施設における要介護高齢者の摂食嚥下評価のための簡易スクリーニング、栄養ケア・マネジメントのためのアセスメント･モニタリング表および栄養ケア計画試案による実態調査―

# 調査説明書

## 貴施設の施設ＩＤ番号＿＿＿＿＿＿＿＿

**（調査票の施設ＩＤに記入してください。）**

## 目　次

はじめに

研究計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

調査の手順・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７

調査票の記入方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
（観察の方法を含めて）

ID 対照表（保管用）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５

謝金関係書類一式・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９

## はじめに

介護保険施設への平成 17 年 10 月の栄養ケア･マネジメントの導入に伴い平成 18 年 4 月に摂食嚥下機能が低下した高齢者の「食べること」を支援するために経口移行加算及び経口維持加算が導入され、摂食嚥下機能の低下を評価したうえでの栄養ケア･マネジメントにおける管理栄養士による栄養ケア計画が作成されることになりました。しかし、嚥下造影検査（VF）や嚥下内視鏡検査（VE）など医療機関と連携した摂食・嚥下機能評価は困難である施設が多く、経口移行加算や経口維持加算Ⅰの取得が伸びず、また、VF・VE 等の医療的な摂食嚥下評価が算定条件ではない経口維持加算Ⅱの取得も推進されておりません。

近年、肺炎や脱水による入院は増大し、介護保険施設入所者の摂食嚥下機能低下者の早期把握のための簡便なスクリーニング法の導入と、その個別の身体状況、栄養状態、嗜好、食環境等に見合って、経口摂取を支援することを目的とした栄養ケア･マネジメントを推進し、アセスメント･モニタリング表の様式例の見直しや、栄養ケア計画作成上の指針が緊急に求められています。

そこで、本研究は、平成25年度老人保健事業推進等補助金（老人保健健康増進等事業分）の交付を得て、一般社団法人日本健康・栄養システム学会に設置された研究委員会が、介護保険施設における要介護高齢者の経口摂取を支援するために、摂食嚥下評価のための簡易スクリーニング、効果的な栄養ケア・マネジメントのための、主に食事の場面の観察によるアセスメント･モニタリング表および栄養ケア計画作成のための試案を作成し、さらに介護保険施設において、これらの試案を用いての利用者の実態調査を行い、今後の介護保険制度の見直しと加算の取得にも反映させていくことを目的としております。是非とも本研究の趣旨をご理解頂き、ご協力のことお願います。

平成25年10月

厚生労働省の平成25年度老人保健事業推進等補助金『施設入居者に対する栄養管理、口腔管理のあり方に関する調査研究』介護保険施設における摂食･嚥下機能が低下した高齢者の「食べること」支援のための栄養ケア･マネジメントのあり方に関する研究―介護保険施設における要介護高齢者の摂食嚥下評価のための簡易スクリーニング、栄養ケア・マネジメントのためのアセスメント･モニタリング表および栄養ケア計画試案による実態調査―

研究委員会

榎裕美　愛知淑徳大学准教授・〇杉山みち子　神奈川県立保健福祉大学教授・加藤昌彦　椙山女学院大学教授・小山秀夫　兵庫県立大学大学院教授・葛谷雅文　名古屋大学大学院医学系研究科教授・鎌倉やよい　愛知県立大学副学長・角保徳　国立長寿医療研究センター部長・藤本保志　　名古屋大学医学部付属病院耳鼻咽喉科講師・高田和子　国立健康・栄養研究所室長・大原里子　東京医科歯科大学歯学部・岡本節子　北新宿特別養護老人ホーム・西本悦子　医療法人社団　光陽会ヴィラ光陽・梶井文子　聖路加看護大学准教授・菊谷武　日本歯科大学教授・合田敏尚　静岡県立大学教授・田中和美　神奈川県大和市役所健康福祉部健康づくり推進課・谷口英喜　神奈川県立保健福祉大学教授・藤谷順子国立国際医療センター・長瀬香織　神奈川県立保健福祉大学大学院

（〇：研究代表者）

# 研究計画書

## 『施設入居者に対する栄養管理、口腔管理のあり方に関する調査研究』
## 介護保険施設における摂食･嚥下機能が低下した高齢者の「食べること」支援のための栄養ケア･マネジメントのあり方に関する研究
### ―介護保険施設における要介護高齢者の摂食嚥下評価のための簡易スクリーニング、栄養ケア・マネジメントのためのアセスメント･モニタリング表および栄養ケア計画試案による実態調査―

榎 裕美（愛知淑徳大学 准教授）
杉山 みち子（神奈川県立保健福祉大学 教授）
加藤 昌彦（椙山女学園大学 教授）
小山 秀夫（兵庫県立大学大学院 教授）
葛谷 雅文（名古屋大学大学院医学系研究科 教授）
鎌倉 やよい（愛知県立大学 副学長）
角　保徳（国立長寿医療研究センター 歯科口腔先進医療開発センター 歯科口腔先端診療開発部部長）
藤本 保志（名古屋大学医学部付属病院耳鼻咽喉科 講師）
高田 和子（国立健康・栄養研究所栄養ケア・マネジメント研究室長）
大原 里子（東京医科歯科大学歯学部　講師）
岡本 節子（北新宿特別養護老人ホーム　管理栄養士）
西本 悦子（医療法人社団 光陽会ヴィラ光陽 事務長 管理栄養士）
梶井 文子（聖路加看護大学 准教授）
菊谷 武（日本歯科大学教授 口腔リハビリテーション多摩クリニック院長）
合田 敏尚 （静岡県立大学 教授）
田中 和美（神奈川県大和市役所健康福祉部健康づくり推進課）
谷口 英喜（神奈川県立保健福祉大学栄養学科 教授）
藤谷 順子（国立国際医療研究センター病院リハビリテーション科 医長）
長瀬 香織（神奈川県立保健福祉大学大学）

１．研究の概要

介護保険施設への平成 17 年 10 月の栄養ケア･マネジメントの導入に伴い平成 18 年 4 月に摂食嚥下機能が低下した高齢者の「食べること」を支援するために経口移行加算及び経口維持加算が導入され、摂食嚥下機能の低下を評価したうえでの栄養ケア･マネジメントにおける管理栄養士による栄養ケア計画の作成が期待されることになった。しかし、介護保険施設においては、嚥下造影検査（VF）や嚥下内視鏡検査（VE）などの医療機関と連携した摂食・嚥下機能評価を実施するためには困難をきたす施設が多く、経口移行加算や経口維持加算Ⅰの取得が、現在も依然として伸びていない。また、医療的な摂食嚥下機能評価を行わない経口維持加算Ⅱの取得についても、簡便なスクリーニング機能を果たす摂食嚥下機能の評価票が厚生労働省から通知されていないこともあり推進されていない。介護保険施設入所者の摂食嚥下機能低下者の早期把握のための簡便な

スクリーニング法の導入と、その個別の身体状況、栄養状態、嗜好、食環境等に見合い、経口摂取を支援することを目的とした栄養ケア･マネジメントを推進するために、アセスメント・モニタリング表の様式例の見直しや、栄養ケア計画作成上の指針が緊急に求められている。

一般社団法人日本健康･栄養システム学会は、これまで、当該研究費の交付により介護保険施設における栄養ケア・マネジメントの制度化に関する研究に携わり、認知症、摂食嚥下障害、エンド･オブ･ライフなどのアセスメント･モニタリングの方法と栄養ケア計画作成のあり方についての検討を行い、これらの成果は施設及び在宅の栄養ケアチーム研修として約 1,200 名の他職種を対象とした研修にも活用されてきた(委員長　井形昭弘、検討委員　杉山みち子)。

一方、本研究の検討委員の葛谷雅文（名古屋大学大学院医学系研究科教授）は、これまでに、全国の介護保険施設で最も経口維持、経口移行加算の進まない理由として、摂食嚥下機能評価実施の困難さと多職種協働が困難という２点を挙げている。介護保険施設入所高齢者の摂食嚥下機能を維持すること、あるいは摂食嚥下機能のレベルに見合った食環境と食事の提供が今後の栄養ケア･マネジメントを進めていく上での最重要項目であり、これには管理栄養士、歯科医師、言語聴覚士、看護師等の職種が施設･在宅で協働して介入できることが理想である。

そこで、本研究は、平成 25 年度老人保健事業推進等補助金(老人保健健康増進等事業分)の交付を得て、一般社団法人日本健康・栄養システム学会における研究委員会が、介護保険施設における要介護高齢者の経口摂取を支援するために、摂食嚥下評価のための簡易スクリーニング、効果的な栄養ケア・マネジメントのための、主に食事の場面の観察によるアセスメント･モニタリング表および効果的な栄養ケア計画作成のための指針の試案を作成し、介護保険施設において、これらの試案を用いての利用者の実態調査を行い、その実用化を図ることを目的とする。

## ２．方法

### １）対象施設と対象者

研究委員会を自由な意志によって傍聴した日本健康･栄養システム学会認定臨床栄養師の介護保険施設の施設長及び管理栄養士を対象に協力依頼を郵送によって行い、協力同意が得られた施設30か所の管理栄養士を調査責任者とする。調査票を記載するための食事の場面の観察や記載は、管理栄養士が全て行う、あるいは他の専門職と協力して行う。調査協力者は、平成25年10月～12月の入所者50名、計1,500名を対象として、調査票への既存関連資料からの転記及び観察による記載を行う。

### ２）調査票の作成

調査票は、当該研究委員会委員及び協力委員によって作成され、施設属性(施設調査票)、対象者の基本属性、アセスメント・モニタリング・ケア項目（栄養スクリーニング・アセスメント・モニタリング・栄養ケア計画調査票）から構成されている。摂食嚥下リスク評価尺度は、当該小委員会である鎌倉、葛谷らが、口腔に関する項目は大原、角、菊谷らの口腔の専門家が、脱水・逸水は谷口が、食事中の認知症の徴候・症状は田中らが、姿勢は合田らによって既存の研究成果から作成されている。また、食事形態の記載は、藤谷らの日本摂食・嚥下リハビリテーション学会による嚥下

調整食の分類を取り入れた。調査票は調査開始時の登録者について、その後1年間の登録者の健康障害に対して1年間前向きに調査する(イベント調査票)。調査票には施設IDと対象者ID番号を交付し連結可能匿名化し、その対照表は協力施設の調査責任者が保管する。

３）調査方法

調査責任者及び調査協力者による調査票の記載は、10月～12月を登録時の調査（初回）とし、2回目は1年後（平成26年10月～12月、1年後の調査票とイベント調査票）に記載し再度郵送により回収する。

４）データ入力と解析

データの入力は業者委託し、匿名化されたデータベースについて、神奈川県立保健福祉大学、愛知淑徳大学、愛知県立大学、東京医科歯科大学、国立健康・栄養研究所においてデータの解析を行う。SPSSを用いて基本集計を行い、施設の種類、要介護度別にアセスメント、モニタリング、ケア項目の利用状況を把握するとともに、1年後の変化を縦断的に比較し解析する。1年後には、前向きの健康障害記録に基づいて、健康障害のイベントの有無と利用者特性、低栄養状態、アセスメント・モニタリング要因、ケア内容との関係を検討する。

３．倫理的手続き

１）愛知淑徳大学健康医療科学部倫理審査委員会に提出し承認を得た。

２）調査方法は、入所の記録からの情報収集及び主に食事場面の観察、実施しているケア計画の記載による情報収集をデータとする方法であり、身体的介入は実施しない調査であることから、施設内に研究実施に関する掲示を行う。掲示文には、研究の目的、対象、方法、期間について明記し、さらにデータ使用を拒否できる手続きを明記する。なお、介護保険施設においては、入所時に「個人情報に配慮したうえでデータを使用することがあります」等の記載がある入所同意書が、利用者から提出されている。

３）施設長宛に研究協力依頼の文章を送付し、承諾書を得る。

４）調査票への既存資料からの転記、主として食事の場面の観察による調査票への記載、実施しているケア計画の記載を管理栄養士の協力責任者として研究協力の依頼文書を送付し承諾を得る。管理栄養士は関連の他職種に協力を依頼する場合には、依頼文章を手渡しし協力承諾書を得て事務局に送る。

５）調査票には、研究事務局が施設 ID の記載し、施設の協力責任者である管理栄養士が、利用者 ID を記載する。協力責任者は利用者 ID の個人名の対照表を作成し、この対照表を 5 年間保管する。これにより、研究事務局は ID 番号で回収調査票、データを取り扱う。

６）調査票、データベース、対照表は研究終了 5 年後の粉砕処分する。

## 調査の手順

１．施設長・臨床栄養師・管理栄養士は、事務局から郵送された依頼状、調査説明書をお読み頂き、ご質問があれば事務局にお問い合わせください。

２．管理栄養士は、同封されている施設長宛の調査書類一式を用いて施設長や必要に応じて関連職種に調査内容についてご説明ください。

３．施設長・管理栄養士は、調査のご協力の同意書（ご協力をお断りになる場合も）を事務局へFAXでお送りください。調査説明書がご必要な場合は、必要数をお知らせいただければ、お送りさせていただきます。ご同意が頂けた場合には、改めて施設調査票（初回、1年後）と50人分の栄養スクリーニング・アセスメント・モニタリング・栄養ケア計画調査票(初回、1年後)、イベント調査票を事務局から送付させて頂きます。

４．調査実施にあたってご協力いただける関連職種の方には、管理栄養士から調査方法をご説明いただき、依頼状、協力の承諾は、同封の関連職種宛のものを複写してお使いいただき、後日、調査票と一緒に事務局にお送りください。

５．調査を始める前に、同封の「研究実施のお知らせとご協力のお願い」を利用者やご家族が見える所に掲示して下さい。その場合、連絡先を貴施設の代表者や担当者を記載して、協力をお断りなられた利用者は対象者から除外し、また、お問い合わせ内容によっては研究事務局の杉山までご連絡下さい。当該調査について個別に同意をとる必要はありません。

６．施設入所者50名の初回調査を平成25年10月～12月の間に実施してください。開始期間11月以降に遅れる場合には、事務局へメールでご一報ください。

７.対象高齢者のID番号を調査票に記載し､対照表(p15)にはID番号とお名前を記載してください。この対照表は、調査責任者の管理栄養士に保管して頂きます。今後5年間が保管期間になりますので、なくさないでください。

８．調査票の記入方法は、説明書をよく読んで行ってください。

９．①施設調査票(初回)

②栄養スクリーニング・アセスメント・モニタリング・栄養ケア計画調査票(初回)

③謝金支払書類一式(対象者1名当たり1000円)

を事務局に同封封筒で**平成25年12月末日**までに事務局に郵送してください。

１０．イベント調査票は、初回調査を終了した登録者について毎月確認して変化があれば、記載してください。

１１.1年後にも同封の初回と同じ1年後の調査票を用いて登録者に行い、イベント調査票と一緒に事務局へお送りください。なお、1年後の施設調査票は、初回と異なる項目のみ記入してください。

## 調査票の記入方法

〇施設調査票(緑色)

内容は、施設の経口維持のための栄養ケア・マネジメントに関する基本的な属性となるものでる。初回調査月の現状について、調査票の質問内容をよく読んでご回答ください。記載は、調査責任者の臨床栄養師・管理栄養士か、あるいは、依頼した場合には、その職種名を記載してください。記入したら、回収封筒に入れて栄養スクリーニング・アセスメント・モニタリング・栄養ケア計画調査票(初回)と一緒に事務局にお送りください。

調査票の最後には、日本摂食嚥下リハビリテーション学会の作成した嚥下調整食の分類ととろみ剤の濃度表がありますので、貴施設の食事形態やとろみ剤の濃度について分類して記載してみてください。この分類した表を参照して、栄養スクリーニング・アセスメント・モニタリング・栄養ケア計画調査票に食事の形態ととろみ剤の記載をすることになります。

この分類表の記載をエクセルでも行うことができるように、協力施設の調査責任者には、協力同意を頂きましたら、エクセルファイルを、日本摂食・嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類2013の概説・総論とともにメールに添付してお送りします。

1年後には、1年後の調査票に初回と異なった項目のみに記載して、その他の1年後の調査票とともに事務局にお送りください。

〇栄養スクリーニング・アセスメント・モニタリング・栄養ケア計画調査票(白色)

Ⅰ. 基本的事項について

施設ID：説明書の表紙にありますので、記載してください。

利用者ID：ID番号と対照表に氏名を記載し、管理栄養士が０１～５０まで順次ふってください。

男女、年齢を転記し、要介護度に☑、この利用者が現在取得している加算に☑してください。

記録を終了した日を作成年月日としてください。

療養食加算の有無に☑し、有の場合にはその種類に☑してください。

疾患名はわかっているもの全てを転記してください。

認知症の無・有・不明を☑し、有の場合には、認知症日常生活活動度に該当レベルに☑してください。

常用医薬品は、わかっているもの全てを転記してください。

今年の1月から発熱38度以上があったかを、無・有・不明に☑し、有の場合には、その該当する回数を☑してください。

今年の1月からの肺炎の既往の無・有を記載し、有の場合には、その月を記載してください。

今年1月からの入院を無・有に☑し、有の場合には、その回数と理由（例　肺炎、骨折・・）と記

載してください。

ここ1か月くらいの健康・平穏な状態について該当するものに☑してください。

本人の食べることへの意欲について、管理栄養士（あるいは介護職）が感じているか、該当するものに☑してください。

摂食・嚥下能力のグレード評価です。該当するレベル一つに☑してください。

歯の状態について、該当するものに☑してください。

食事が終わるまでのおおよその時間を、該当するものに☑してください。

摂食方法について、該当するものに☑してください。自力摂取の場合には、通常スプーンの場合には、スプーンを〇で囲んでください。

食べる姿勢について該当するものに☑してください。

基本的生活動作(Barthel Index)を転記あるいは記載してください。該当する得点を記載し合計点の記載はしなくても結構です。

Ⅱ. 低栄養状態のリスクとその状況・食事について

この1か月、あるいは近似の栄養ケア・マネジメント帳票から転記してください。但し、かなり変化している場合には、確認して記載してください。食事形態ととろみ剤は、施設調査で記載した問9, 10の分類をみて、提供している食事が、一番近いレベルに☑してください。

Ⅲ. 摂食・嚥下障害リスクと栄養ケア計画について

この3か月の間の食事中の症状について、それがどの程度あらわれたか、該当するレベルを〇で囲むか、点数を記載してください。合計点は記載しなくても結構です。また、症状に対応したケア計画のうち、現在実施している、あるいは実施するケア計画に☑してください。（複数回答）。食形態の変更やとろみ剤の変更を症状に対応して実施している、あるいは実施する場合には、その分類に☑してください。

おわりに、当該調査項目の観察やケアを担当した職種全てに☑してください。

Ⅳ. 口腔のアセスメントとケア計画について

食事前や食事時の口腔を観察して、各項目の無・有に☑してください。また、有の場合には、問題の内容のうち該当するものに☑してください。該当する内容がない場合には、その他に記載してください。対応して実施した、あるいは実施するケア計画にも☑してください(複数回答)。おわりに、観察やケアを担当した職種全てに☑してください。

口腔を観察する場合にはp11の参考資料をご参照ください。

## 口腔のアセスメント参考資料

### 1. 口腔乾燥

口腔乾燥により味覚、咀嚼、嚥下の機能が低下します。保湿する必要があります。

### 2. 開口

嚥下障害により口から食べていない場合であっても、口腔内の細菌は繁殖します。
唾液による誤嚥があるので、口腔清掃により口腔内の細菌を少なくする必要があります。

### 3. うがい

ブクブクうがいができることは、口唇、頬、舌の機能が協調して動いている事を示します。

### 4. 咀嚼力

咀嚼により嚥下しやすい食塊が作られ、唾液も増えます。しっかりかむと咬筋が硬くなります。

咬筋が硬くなる位置
（点線部分）

食事の時に指で触れて、咬筋が硬くなるかを確認します。上下の奥歯が触れるだけでは咬筋は硬くなりません。自分の咬筋を指で触れて、かみしめた時と力が入っていない時の咬筋の硬さを確認すると違いがよくわかります。

### 5. 口臭と口の中の問題

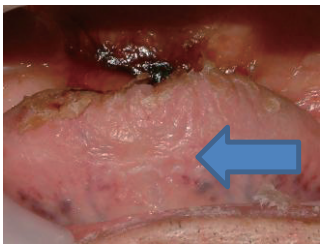
通常の話をする距離で口臭が気になる場合は　□ a 強い口臭がある。 にチェックしてください。

**口の中の問題の例**

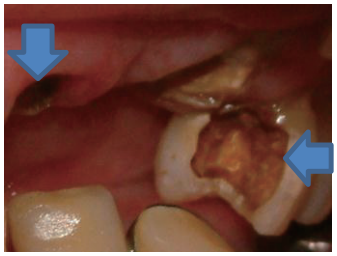
歯の汚れと歯肉の腫れ

義歯の汚れ

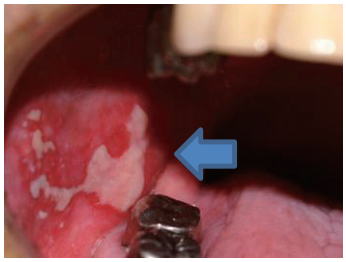
乾燥した舌



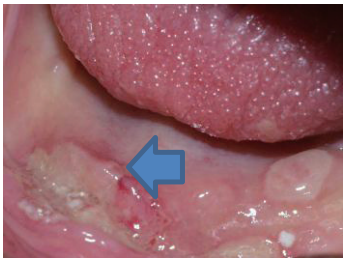
大きな虫歯



口内炎（頬粘膜）



歯肉の潰瘍



写真提供　三豊総合病院　木村年秀先生

Ⅳ食事中の姿勢、認知症の徴候・症状について

食事前や食事中の姿勢の問題の有無や認知症の徴候･症状のレベルの該当するものに☑してください。対応して実施している、あるいは実施するケア計画にも☑してください（複数回答）、おわりに、観察やケアを担当した職種全てに☑してください。

姿勢や認知症の徴候・症状の観察のポイントについては、次の表を参照してください。

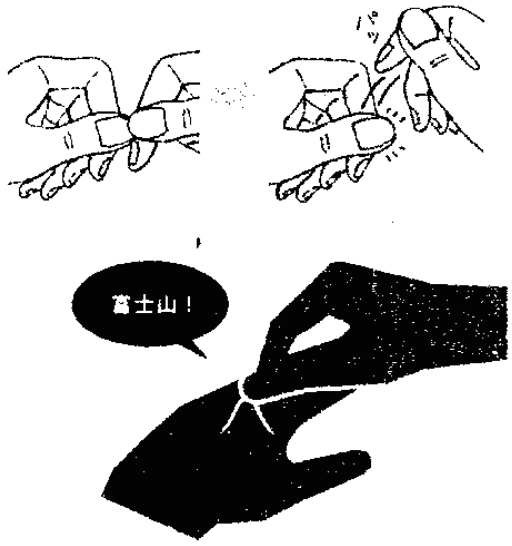
| 食事中の徴候・症状 | 概念 | 観察の要点 |
|---|---|---|
| **食事の失認** | 食事の認識ができない | 食事であることがわからない<br>食事を混ぜあわせる<br>食器や食べ物で遊んでいる<br>食器の位置や食品と食器の位置関係がわからない<br>箸やスプーンの使い方がわからない<br>食べたことを忘れる |
| **傾眠** | 食事時に寝ている | 食事時にウトウトしている<br>食事時に意識の混濁がみられる<br>食事時に閉眼している |
| **興奮・大声・暴言・暴力** | 食事時に興奮、大声をあげる、暴言・暴力をふるう | 特になし |
| **妄想** | 食事に関して現実にはありえないことをいう | 特になし |
| **拒食** | 食事を拒否する | 食事を拒否する<br>水分を拒否する<br>食事介助を拒否する |
| **偏食** | 偏った食べ方をする | 偏食がある<br>一品食い<br>決まったものしか食べない |
| **徘徊・多動** | 食事の時間に動きまわる | 食事中に歩き回る<br>食事中に立ち上がる |
| **早食い・詰め込み・丸呑み** | 早食いする・食べ物を口に詰め込む、十分に咀嚼せず飲み込む | 早くたべてしまう<br>飲み込む前に次々に食べ物を口にいれてしまう<br>十分に咀嚼せず呑み込む |
| **失行（手づかみ食べ）** | 運動機能が損なわれていないにも関わらず、適切な食器・食具が使用できない | 手づかみ食べをする<br>食器具が適切に使えない |
| **異食** | 食品でないものを口にいれる | |
| **盗食** | 他人の食事を盗って食べる | |

V. 脱水・溢（いっ）水の徴候・症状について

脱水と溢（いっ）水の徴候・症状の無・有に☑してください。有の場合には、実施している、あるいは実施するケア計画にも☑してください。水分の補給計画の量や回数、とろみ剤の利用については、計画事項を記載してください。

徴候・症状は下記の図(谷口英喜委員提供)も参照してください。

おわりに、観察やケア計画の実施の担当職種全てに☑してください。




最後に抜け落ちがないかを確認して終わりにしてください。

1年後に、1年後の調査票を用いて記載し、イベント調査票と一緒に事務局にお送りください。

〇イベント調査票

調査票に対照表に記載した利用者の ID を記載して、要介護の変化、経口移行・経口維持・看取り等サービスの変化、入院、施設入所、死亡があった場合は、そのイベントが発生した年月日を＜イベント調査票＞に記載してください。登録後からイベントがあるたびにご記入ください。1 年後（平成 26 年 10～12 月）に一括して事務局に宅急便の着払いでご郵送ください。

**添付資料**

**対照表**
**（居宅介護支援事業所で鍵のかかる保管庫にて、平成 30 年 3 月まで保管し、その後粉砕処分してください。）**
**謝金関係書類一式（依頼状・承諾書・謝礼振込願書）**
**調査票**
**施設調査票(緑色・同意後にも初回、1 年後送付)**

**栄養スクリーニング・アセスメント・モニタリング・栄養ケア計画調査票(白色、同意後に初回・1年後の50名分送付)**

**イベント調査票(A3版白色：同意後に50名分送付)**

**返信用封筒（同意後に1部送付、1年後の分は着払い）**

**事務局連絡先**

研究に関するお問い合わせ先
〒238-8522　神奈川県横須賀市平成町 1－10－1　神奈川県立保健福祉大学栄養学科内

**平成25年度老人保健事業推進等補助金(老人保健健康増進等事業分)**

**『施設入居者に対する栄養管理、口腔管理のあり方に関する調査研究』**
**介護保険施設における摂食･嚥下機能が低下した高齢者の「食べること」支援のための栄養ケア･マネジメントのあり方に関する研究―介護保険施設における要介護高齢者の摂食嚥下評価のための簡易スクリーニング、栄養ケア・マネジメントのためのアセスメント･モニタリング表および栄養ケア計画試案による実態調査―**

担当：杉山みち子、長瀬香織
電話：046-828-2662　FAX：046-828-2663

経理に関するお問い合わせ先　一般社団法人　日本健康・栄養システム学会
経理事務　〒111-0053　東京都台東区浅草橋 2-21-5　クレア 201
03-5159-0365　ncm@j-ncm.com
担当　駒形

# 研究Ⅱ調査票

資料１

研究課題：要介護高齢者のための摂食・嚥下機能評価簡易スクリーニング方法の開発

# 調　査　票


研究組織：愛知淑徳大学　健康医療科学部　准教授　榎裕美
名古屋大学大学院医学系研究科発育・加齢医学講座　教授　葛谷雅文
愛知県立大学　看護学部　教授　鎌倉やよい
名古屋大学　医学部　耳鼻いんこう科　講師　藤本保志
長寿医療研究センター　歯科口腔先端診療開発部　部長　角保徳

連絡先　愛知県立大学　看護学部　教授　鎌倉やよい
電話：　守山キャンパス　052－736－1401　(内線 213)
長久手キャンパス　0561－76－8901
E-mail：kamakura@nrs.aichi-pu.ac.jp

愛知淑徳大学　健康医療科学部　准教授　榎裕美
電話：　0561－62－4111　(内線 2473)
E-mail：enokih@asu.aasa.ac.jp

Ⅰ．基本情報　　調査日（　　月　　日）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ＩＤ番号（記入して下さい） | | | コード番号 | *記入しないで下さい |
| 利用施設はどちら？ | ①　介護老人保健施設<br>（入所日　　年　　月） | | ②　ディサービス・ディケア | |
| 現在治療中の疾患は？<br>（複数選択可） | ①　糖尿病 | ②　高血圧 | ③　心臓病 | ④慢性呼吸器疾患 |
| | ⑤　腎臓病 | ⑥　その他（　　） | | ⑦　不明 |
| 常用している薬の名前は? | ① | ② | ③ | ④ |

＊ディサービス利用者には、別用紙をご家族に渡して、内服薬全てを記入していただくよう依頼して下さい。

Ⅱ．観察して下さる方についておたずねします。該当する数字に丸をつけて下さい。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| あなたの資格は？ | ①　管理栄養士 | | ② その他（　　） | |
| 今の職場の経験年数は？ | ① 3 年未満 | ② 3～6 年未満 | ③ 6～9 年未満 | ④ 9 年以上 |

Ⅲ．利用者（高齢者）についておたずねします。　該当する数字に○をつけて下さい。
（　　）の欄には数字をご記入下さい。３～６は利用者又は家族に聞いてご記入下さい。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| １．性別・年齢は？ | ①　男性　　② 女性 | | ③　年齢（　　歳） | | |
| ２．身長と体重は？ | ①　身長（　　cm） | | ②　体重（　　kg） | | |
| ３．ここ１ヶ月くらいの健康状態は？ | ① 非常に健康だと思う | ② まあ健康だと思う | ③ あまり健康ではない | ④ 全く健康ではない | ⑤ 不明 |
| ４．1月から38.0℃以上の発熱がありましたか? | ①　全くない | ② 1～3 回 | ③ 4～5 回 | ④ 7 回以上 | ⑤ 不明 |
| ５．今年の１月から、肺炎になったことがありますか？ | 回答元は？　(1)入所者：記録から　　(2)ディ：本人・家族から聴取<br>① 肺炎と診断されたことはない<br>② 肺炎と診断された　（それはいつですか　平成２５年＿＿＿月）<br>③ 不明 | | | | |
| ６．今年の 1 月からタバコを吸いましたか? | ①　吸わない | ② 1～9 本/日 | ③ 10～19 本/日 | ④ 20 本以上/日 | |
| ７．食事時の歯の状態は？ | ①　自歯と義歯で 20 本以上 | ②　自歯と義歯で 20 本未満 | ③　総義歯 | ④ 歯茎のみ | |
| ８．食事の種類は？ | ①　常菜 | ②　軟菜 | ③ きざみ | ④ ソフト | |
| | ⑤ ミキサー | ⑥ 経管栄養（経鼻） | ⑦ 経管栄養（胃瘻） | ⑧ その他（　　） | |
| ９．水分にとろみ調整剤を使いますか？ | ①　使用する | | ②　使用しない | | |
| 10．食事が終わるまでの時間は？ | ①　15 分程度 | ②　30 分程度 | ③　45 分程度 | ④　1 時間以上 | |
| 11．摂食方法は？ | ①　自力摂取（はし/スプーン） | ②　自力摂取（自助具使用） | ③ 部分介助 | ④ 全面介助 | |
| 12．食べる姿勢は？ | ①　座位 | ②60～90°挙上 | ③　30～45°挙上 | ④　0～15°挙上 | |

| | |
|---|---|
| 13. 介護認定を受けていますか？ | （以下の該当する基準に〇をつけてください）<br>要支援１　要支援２<br>要介護１　要介護２　要介護３　要介護４　要介護５ |

## Ⅳ. 基本的生活動作（Barthel Index）

■ 以下に記す１～１０の質問内容について、該当する点数に〇をつけて下さい。
10 項目の合計得点が Barthel Index の得点です。

| 設問 | 点数 | 質問内容 | 得点 |
|---|---|---|---|
| １食事 | １０ | 自立、自助具などの装着可、標準的時間内に食べ終える | |
| | ５ | 部分介助（たとえば、おかずを切って細かくしてもらう） | |
| | ０ | 全介助 | |
| ２車椅子からベッドへの移動 | １５ | 自立、ブレーキ、フットレストの操作も含む（非行自立も含む） | |
| | １０ | 軽度の部分介助または監視を要する | |
| | ５ | 座ることは可能であるがほぼ全介助 | |
| | ０ | 全介助または不可能 | |
| ３整容 | ５ | 自立（洗面、整髪、歯 磨き、ひげ剃り） | |
| | ０ | 部分介助または不可能 | |
| ４トイレ動作 | １０ | 自立、衣服の操作、後始末を含む、ポータブル便器などを使用している場合はその洗浄も含む | |
| | ５ | 部分介助、体を支える、衣服、後始末に介助を要する | |
| | ０ | 全介助または不可能 | |
| ５入浴 | ５ | 自立 | |
| | ０ | 部分介助または不可能 | |
| ６歩行 | １５ | 45m以上の歩行、補装具（車椅子、歩行器は除く）の使用の有無は問わない | |
| | １０ | 45m以上の介助歩行、歩行器の使用を含む | |
| | ５ | 歩行不能の場合、車椅子にて45M以上の操作可能 | |
| | ０ | 上記以外 | |
| ７階段昇降 | １０ | 自立、手すりなどの使用の有無は問わない | |
| | ５ | 介助または監視を要する | |
| | ０ | 不能 | |
| ８着替え | １０ | 自立、靴、ファスナー、装具の着脱を含む | |
| | ５ | 部分介助、標準的な時間内、半分以上は自分で行える | |
| | ０ | 上記以外 | |
| ９排便コントロール | １０ | 失禁なし、浣腸、坐薬の取り扱いも可能 | |
| | ５ | ときに失禁あり、浣腸、坐薬の取り扱いに介助を要する者も含む | |
| | ０ | 上記以外 | |
| 10排尿コントロール | １０ | 失禁なし、収尿器の取り扱いも可能 | |
| | ５ | ときに失禁あり、収尿器の取り扱いに介助を要する者も含む | |
| | ０ | 上記以外 | |
| 合計得点／100 | | | |

## Ⅴ．　高齢者のための摂食・嚥下障害リスク他者評価尺度

■ここ３ヶ月の間、食事中に次の症状がどの程度あらわれましたか？
■一問ごとに、該当する程度の点数（０・１・２・３）のいずれか１つに○をつけてください。
■○をつけた点数を枠ごとに合計して記入してください。その合計点を下の段に記入してください。

| 番号 | 食事中にあらわれる症状の質問 | ほとんどない | まれにある | 時々ある | いつもある | 点数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 噛むことが困難である | 0 | 1 | 2 | 3 | |
| 2 | 硬い食べ物を避け、軟らかい食べ物ばかり食べる | 0 | 1 | 2 | 3 | |
| 3 | 口から食べ物がこぼれる | 0 | 1 | 2 | 3 | |
| 4 | ことばが明瞭でない | 0 | 1 | 2 | 3 | |
| 5 | 食べ物をいつまでも飲み込まずに噛んでいる | 0 | 1 | 2 | 3 | |
| 6 | 食事中や食後に濁った声に変わる | 0 | 1 | 2 | 3 | |
| 7 | 食べるのが遅くなる | 0 | 1 | 2 | 3 | 点 |
| 8 | 水分や食べ物が口に入ったとたんにむせたり、せきこんだりする | 0 | 1 | 2 | 3 | |
| 9 | 水分や食べ物を飲み込む時にむせたり、せきこんだりする | 0 | 1 | 2 | 3 | |
| 10 | 水分や食べ物を飲み込んだ後にむせたり、せきこんだりする | 0 | 1 | 2 | 3 | |
| 11 | 水分を飲み込むときにむせる | 0 | 1 | 2 | 3 | |
| 12 | ご飯を飲み込むときにむせる | 0 | 1 | 2 | 3 | 点 |
| 13 | 口に水をふくむことができない | 0 | 1 | 2 | 3 | |
| 14 | 口に水をふくむことはできるが、口からこぼれる | 0 | 1 | 2 | 3 | |
| 15 | 口に水をふくむことはできるが、口内にためておけない | 0 | 1 | 2 | 3 | 点 |
| 合　計　点　数 | | | | | | 点 |

## Ⅵ．摂食・嚥下能力のグレード評価（嚥下グレード）

■　該当するグレードに○を付して下さい

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| Ⅰ重症 | 経口不可 | Gr.1 | 嚥下困難または不能 | |
| | | Gr.2 | 基礎的嚥下訓練のみ可能 | |
| | | Gr.3 | 厳密な条件下の摂食訓練が可能 | |
| Ⅱ中等症 | 経口と補助栄養 | Gr.4 | 楽しみとしての摂食が可能 | |
| | | Gr.5 | 一部（1～2 食）経口摂取 | |
| | | Gr.6 | 3 食経口摂取プラス補助栄養 | |
| Ⅲ軽症 | 経口のみ | Gr.7 | 嚥下調整食で，3 食とも経口摂取 | |
| | | Gr.8 | 特別嚥下しにくい食品（パサつくもの，堅いもの、水など）を除き，3 食経口摂取 | |
| | | Gr.9 | 普通食の経口摂取可能<br>ただし、臨床的観察（ムセなど）と指導（姿勢など）が必要 | |
| Ⅳ正常 | | Gr.10 | 正常の摂食・嚥下能力 | |

平成25年度厚生労働省老人保健事業推進等補助金（老人保健健康推進等事業分）

『施設入居者に対する栄養管理、口腔管理のあり方に関する調査研究』

介護護保険施設における摂食・嚥下機能が低下した高齢者の「食べること」支援のための栄養ケア・マネジメントのあり方に関する研究

2014年3月発行

一般社団法人日本健康・栄養システム学会

〒111-0053 東京都台東区浅草橋2-21-5　クレア201

Tel：03-5159-0365　fax：03-5829-6679

e-mail：ncm@j-ncm.com